齒学科専門科目

時間割番号	021001				
科目名	歯学入門				
担当教員	荒木 孝二				
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	4
主な講義場所					
特に断りのない限り、御茶ノ水キャンパス7号館第4講義室で行う。					
授業の目的、概要等					
毎週火曜日に御茶ノ水キャンパスで1日歯学に関する授業を受けることで、自分が将来歯科医師になる大学にいるという認識を強く意識してもらうことが目的である。授業内容も、学部教育で行われる最先端のトピックスの紹介、歯学部附属病院見学、歯科の歴史への誘い、医の倫理の基本的な理解、コンピュータをどのように活用するかの実践などを経験する。					
授業の到達目標(SBOs)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 東京医科歯科大学の歴史と我が国の歯科界の様々な状況を理解する。 2) 歯科の歴史に興味を持つ。 3) 最新の歯学研究、歯科臨床歯どこまで進んでいるかを理解する。 4) 歯学部附属病院を知ると共に、グループ学習の基本作業を行う。 5) 医の倫理の基本的な知識について理解する。 6) IT 機器を使いこなすための第一歩としての情報リテラシーを理解する。 					
準備学習などについての具体的な指示					
<p>2 年次以降の学部教育内容の紹介的な授業なので、原則として準備学習の必要性はない。各回の授業テーマについて既に興味を持っている学生は、事前に2 年次以降の当該科目のシラバス内容の確認、インターネットなどでの専門的内容の予習をしておく、より授業内容を深く理解出来ると思われる。</p> <p>なお、ユニットによっては準備学習についての別の記載があるので確認すること。</p>					
構成ユニット					
<ol style="list-style-type: none"> 01 歯学概説 02 歯学史 03 最新の歯学 04 早期臨床体験実習 05 医の倫理 06 基礎情報医歯学 					
モジュールの単位判定					
<p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。</p>					
連絡先					
karaki.gend@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
月～金 16:30～18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)					

時間割番号	021002																																																																																
科目名	歯学概説																																																																																
担当教員	水口 俊介																																																																																
開講時期	後期	対象年次	1																																																																														
モジュール名:歯学入門 英語名:Introduction to Dentistry 授業形態:講義及び見学 ユニット番号:01																																																																																	
授業の目的、概要等 ●授業の目的 (Primary goal) 歯学部に進学する学生の多くが抱いているこのような疑問に答え、全学共通科目履修の間、しっかり将来を見据えて、はっきりとした方向性と自覚を持って学習を組織し、教養部での生活を充実した有意義なものにすることを目的とする。 ●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 東京医科歯科大学歯学部とは一体どんなところだろうか、歯学部ではどんな先生からどんなことを学ぶのだろうか、歯科医師として社会からどんなことを期待されているのだろうか、歯科医学界の将来はどのようなのだろうか。この科目の教育項目は、次のように構成されている。第一は、本学歯学部の教育課程に関する項目である。これに関連してまず、本学歯学部の建学の精神について学び、その後の発展の跡を辿り、諸君が本学歯学部の歴史の中でどのような位置を占めているかを理解する。さらに、本学歯学部における教育の理念、方針及び教科課程の構成を把握した上で、専門科目の履修および卒後の学習、研修、研究の場となる歯学部の研究室及び附属病院を見学して、歯学部の実際の教育・研究・診療の諸活動の一端を体験学習する。第二は、職業人として社会から期待されている事柄を、歯科医療を取り巻く環境や職業倫理と関連させて把握することを目的とする項目である。ここでは、第一線の医療現場から講師を迎え、歯科医と患者の両方の立場から、歯科医療の諸問題を論じ、歯科医のあるべき姿について考える。また、歯科医療への美的感覚の必要性といった意外な側面にも触れて、歯科医に要求されることの多様性を理解する。第三に、歯科医学の研究の最近の動向を紹介する。ここでは、多数の先輩が留学を経験しているアメリカの歯学研究の実態と、最新の研究技術を駆使して行われている本学歯学部の研究その他を紹介する。歯科医学における研究が、世界的な視野で様々な魅力的な主題について行われていることを理解する。最後に我が国の歯科医学と歯科医療の現状に関する展望を知り、職業人としての諸君を取り巻く環境を把握する。																																																																																	
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>08:50-10:20</td> <td>特別講堂</td> <td>カリキュラム提示</td> <td>荒木 孝二</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/14</td> <td>10:30-12:00</td> <td>特別講堂</td> <td>歯学部及び歯学部附属病院見学</td> <td>水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/14</td> <td>14:30-16:00</td> <td>特別講堂</td> <td>歯学部及び歯学部附属病院見学</td> <td>水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/29</td> <td>08:50-10:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学概説のオリエンテーション</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/29</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>病院歯科の役割</td> <td>佐野 晴男</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/24</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯科医療の現場から「開業医として、先輩として」</td> <td>国光 隆史</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>12/1</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>インフォームドコンセントについて</td> <td>植村 研一</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/8</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>海外の研究:矯正歯科の立場から</td> <td>小野 卓史</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/15</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯科医療とアート「顔面美について」</td> <td>宮永 美知代</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>1/5</td> <td>12:50-14:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>患者と心</td> <td>佐藤 貢悦</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/12</td> <td>08:50-10:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>補綴学の立場からみた歯科医学</td> <td>水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/19</td> <td>08:50-10:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>本学歯学部附属病院の役割について</td> <td>嶋田 昌彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/14	08:50-10:20	特別講堂	カリキュラム提示	荒木 孝二	2	4/14	10:30-12:00	特別講堂	歯学部及び歯学部附属病院見学	水口 俊介	3	4/14	14:30-16:00	特別講堂	歯学部及び歯学部附属病院見学	水口 俊介	4	9/29	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯学概説のオリエンテーション	俣木 志朗	5	9/29	10:30-12:00	歯学科第4講義室	病院歯科の役割	佐野 晴男	6	11/24	12:50-14:20	歯学科第4講義室	歯科医療の現場から「開業医として、先輩として」	国光 隆史	7	12/1	12:50-14:20	歯学科第4講義室	インフォームドコンセントについて	植村 研一	8	12/8	12:50-14:20	歯学科第4講義室	海外の研究:矯正歯科の立場から	小野 卓史	9	12/15	12:50-14:20	歯学科第4講義室	歯科医療とアート「顔面美について」	宮永 美知代	10	1/5	12:50-14:20	歯学科第4講義室	患者と心	佐藤 貢悦	11	1/12	08:50-10:20	歯学科第4講義室	補綴学の立場からみた歯科医学	水口 俊介	12	1/19	08:50-10:20	歯学科第4講義室	本学歯学部附属病院の役割について	嶋田 昌彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																												
1	4/14	08:50-10:20	特別講堂	カリキュラム提示	荒木 孝二																																																																												
2	4/14	10:30-12:00	特別講堂	歯学部及び歯学部附属病院見学	水口 俊介																																																																												
3	4/14	14:30-16:00	特別講堂	歯学部及び歯学部附属病院見学	水口 俊介																																																																												
4	9/29	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯学概説のオリエンテーション	俣木 志朗																																																																												
5	9/29	10:30-12:00	歯学科第4講義室	病院歯科の役割	佐野 晴男																																																																												
6	11/24	12:50-14:20	歯学科第4講義室	歯科医療の現場から「開業医として、先輩として」	国光 隆史																																																																												
7	12/1	12:50-14:20	歯学科第4講義室	インフォームドコンセントについて	植村 研一																																																																												
8	12/8	12:50-14:20	歯学科第4講義室	海外の研究:矯正歯科の立場から	小野 卓史																																																																												
9	12/15	12:50-14:20	歯学科第4講義室	歯科医療とアート「顔面美について」	宮永 美知代																																																																												
10	1/5	12:50-14:20	歯学科第4講義室	患者と心	佐藤 貢悦																																																																												
11	1/12	08:50-10:20	歯学科第4講義室	補綴学の立場からみた歯科医学	水口 俊介																																																																												
12	1/19	08:50-10:20	歯学科第4講義室	本学歯学部附属病院の役割について	嶋田 昌彦																																																																												
成績評価の方法 講義ごとにレポートを課し、担当教員が評価する。																																																																																	
準備学習などについての具体的な指示																																																																																	
教科書 その都度、必要に応じて提示する。																																																																																	
参考書 その都度、必要に応じて提示する。																																																																																	
連絡先 s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp																																																																																	
オフィスアワー 随時																																																																																	

時間割番号	021003																																												
科目名	歯学史																																												
担当教員	鈴木 聖一																																												
開講時期	後期	対象年次	1																																										
モジュール名:歯学入門 英語名:History of Dentistry ユニット番号:02																																													
主な講義場所 第4講義室																																													
授業の目的、概要等 ●授業の目的 (Primary goal) 歯科医学、歯科医療の歴史的発達について学ぶ。先人達の今日の歯科医学を築き上げるに至った 努力、研鑽の跡を知ることは、未曾有の歯科医師過剰時代に、過ちのない対応で乗り切り、歯科 医学を探求し新しい知識を拓いてゆくのである。 ●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 今日に至る歯科医学および歯科医療発展の経緯について歴史的事象をふまえて解説する。授業は講義形式で行う。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1)歯学史を学ぶ意義を理解する。 2)基本的な医学および歯科医学の歴史を知る。 3)義歯の誕生と改良、保存、矯正など歯科各科の進歩について知る。 4)木床義歯など日本固有の技術、歯科医療における先人の工夫の跡を知る。 5)近代における歯学教育の発展と東京医科歯科大学の歴史を知る。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11/24</td> <td>08:50-10:20</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学史を学ぶ意義 基礎医学、臨床医学の発展</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/24</td> <td>10:30-12:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>医学の発展、歯科医学の誕生</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12/1</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯科医学の発展、歯科各科の誕生と発展</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12/8</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>木床義歯 木床義歯の誕生、江戸時代の歯科医術</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/15</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>楊子と歯磨 楊子と歯磨の歴史、歯科医療の発展(江戸から明治)</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/5</td> <td>14:30-16:00</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>歯学教育 近代日本の歯学教育、東京医科歯科大学の歴史</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	11/24	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯学史を学ぶ意義 基礎医学、臨床医学の発展	鈴木 聖一	2	11/24	10:30-12:00	歯学科第4講義室	医学の発展、歯科医学の誕生	鈴木 聖一	3	12/1	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯科医学の発展、歯科各科の誕生と発展	鈴木 聖一	4	12/8	14:30-16:00	歯学科第4講義室	木床義歯 木床義歯の誕生、江戸時代の歯科医術	鈴木 聖一	5	12/15	14:30-16:00	歯学科第4講義室	楊子と歯磨 楊子と歯磨の歴史、歯科医療の発展(江戸から明治)	鈴木 聖一	6	1/5	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学教育 近代日本の歯学教育、東京医科歯科大学の歴史	鈴木 聖一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																								
1	11/24	08:50-10:20	歯学科第4講義室	歯学史を学ぶ意義 基礎医学、臨床医学の発展	鈴木 聖一																																								
2	11/24	10:30-12:00	歯学科第4講義室	医学の発展、歯科医学の誕生	鈴木 聖一																																								
3	12/1	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯科医学の発展、歯科各科の誕生と発展	鈴木 聖一																																								
4	12/8	14:30-16:00	歯学科第4講義室	木床義歯 木床義歯の誕生、江戸時代の歯科医術	鈴木 聖一																																								
5	12/15	14:30-16:00	歯学科第4講義室	楊子と歯磨 楊子と歯磨の歴史、歯科医療の発展(江戸から明治)	鈴木 聖一																																								
6	1/5	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯学教育 近代日本の歯学教育、東京医科歯科大学の歴史	鈴木 聖一																																								
成績評価の方法 授業態度、必要に応じてレポートにより総合的に評価する。																																													
準備学習などについての具体的な指示																																													
教科書 スタンダード歯科医学史 石井拓男、渋谷 鮎、西巻明彦 学建書院																																													
連絡先 s-suzuki.mort@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 水・木 16:00-17:30																																													

時間割番号	021004				
科目名	最新の歯学				
担当教員	荒木 孝二				
開講時期	後期	対象年次	1		
主な講義場所					
7号館第4講義室(変更がある場合は事前に連絡する)					
授業の目的、概要等					
<p>●授業の目的 (Primary goal) 歯科研究・歯科臨床の最新トピックスを理解する。科学研究のおもしろさや重要性を理解する。歯科研究・歯科臨床が国民・社会にどこまで貢献しているかを理解する。</p> <p>●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 大学院医歯学総合研究科(歯学系)の分野長(基礎系および臨床系教授)が専門分野の最新トピックスについて説明する。基礎系は科学研究のおもしろさや重要性、臨床系は歯科臨床がどこまで国民あるいは社会に貢献しているかを分かりやすく説明し、将来学生諸君がこのような歯科研究者あるいは歯科臨床家になりたいという夢と希望を与える。講師は毎週異なり、各講師が一つのテーマについてそれぞれの立場から分かりやすく講義を行う。</p>					
授業の到達目標(SBOs)					
最新の歯科研究・歯科臨床の内容を説明出来る。学部専門科目内容の緒を掴む。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/29	12:50-14:20	歯学科第4講義室	心の病と歯科疾患	豊福 明
2	9/29	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯科と脳科学研究	泰羅 雅登
3	11/24	14:30-16:00	歯学科第4講義室	歯を失った場合の治療法—インプラントか再生歯か	春日井 昇平
4	12/1	08:50-10:20	歯学科第4講義室	バーチャルリアリティで体験する匠の技	木下 淳博
5	12/8	08:50-10:20	歯学科第4講義室	口腔外科最前線	原田 清
6	12/15	08:50-10:20	歯学科第4講義室	にのいの科学:口臭治療最前線	川口 陽子
7	1/5	08:50-10:20	歯学科第4講義室	最新の歯科矯正	森山 啓司
8	1/5	10:30-12:00	歯学科第4講義室	顔のでき方	井関 祥子
9	1/26	08:50-10:20	歯学科第4講義室	ここまで出来る顎顔面補綴	谷口 尚
10	2/2	08:50-10:20	歯学科第4講義室	審美歯科の最前線	三浦 宏之
成績評価の方法					
出席状況とレポートによる評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
2年次以降の学部教育内容の紹介的な授業なので、特に準備学習の必要性はない。各回の授業テーマについて既に興味を持っている学生は、事前に2年次以降の当該科目のシラバス内容の確認、インターネットなどでの専門的内容の予習をしておく、より授業内容を深く理解出来ると思われる。					
試験の受験資格					
試験は行わない。					
教科書					
教科書は使用せず、レジュメ・資料等をその都度配布する。					
参考書					
参考図書・文献は講義の中で随時紹介する。					
履修上の注意事項					
全10回中2/3以上の出席が履修の条件である。出席は毎回授業終了時に行う授業アンケートの提出の有無で決定する。授業アンケートを提出しなかった場合は、原則としていかなる理由があっても欠席扱いとする。					
連絡先					
karaki.gend@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
月～金 16:30-18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)					

時間割番号	021005					
科目名	早期臨床体験実習					
担当教員	俣木 志朗					
開講時期	後期	対象年次	1			
<p>モジュール名: 歯学入門 英語名: Introduction to Clinical Dentistry</p> <p>ユニット番号: 04</p>						
<p>主な講義場所 各診療科に関連した研究室等。</p>						
<p>授業の目的、概要等 今後6年間にわたって歯科医学を学んでいくにあたり、今後の学習への強い動機を獲得するために、歯科医学 ならびに歯科医療の現状を認識するとともに、医の原則を理解し、医療人としての基本的態度を修得する。</p>						
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>1: 歯科医療従事者に求められる基本的態度(挨拶、時間厳守、言葉づかい)を身につける。 2: 歯科医療が人々の健康の維持・増進に果たす社会的役割を認識する。 3: 1口腔単位として歯科疾患を理解する。 4: 基礎医学、一般教養科目の重要性を説明できる。 5: 自分自身の将来像を具体的に述べるができる。 6: 自分の将来像を具現化するための具体的な目標設定ができる。 7: 自分自身で問題を提起し、自ら解決する能力を養う習慣を身につける。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/6	09:00-09:50	歯学科第4講義室	早期臨床体験実習	概要説明	俣木 志朗
2	10/6	10:00-10:50	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	外来等見学	俣木 志朗
3	10/6	11:00-11:50	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	研究室見学	俣木 志朗
4	10/6	12:50-13:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	テーマ抽出	俣木 志朗
5	10/6	13:50-14:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	テーマ決定	俣木 志朗
6	10/6	14:50-15:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	テーマ発表の準備	俣木 志朗
7-9	10/13	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ発表会	暫定テーマの発表	俣木 志朗
10	10/13	12:50-13:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	テーマ再検討	俣木 志朗
11-12	10/13	13:50-15:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	研究演習	俣木 志朗
13-15	10/20	09:00-11:50	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	研究演習	俣木 志朗
16-18	10/20	12:50-15:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	中間発表の準備	俣木 志朗
19-21	10/27	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ発表会	中間発表会	俣木 志朗, 大槻 昌幸
22	10/27	12:50-13:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	途中検討	俣木 志朗
23-24	10/27	13:50-15:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	研究演習	俣木 志朗
25-27	11/10	09:00-11:50	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	研究演習	俣木 志朗
28-30	11/10	12:50-15:40	その他(歯学科)	早期臨床体験実習	成果発表の準備	俣木 志朗
31-36	11/17	09:00-15:40	特別講堂	研究成果発表	研究成果発表	俣木 志朗, 大槻 昌幸
<p>授業方法 1グループ2~3人で各臨床の診療科あるいは専攻分野に配属され、自ら研究テーマを設定し、実施する。必要に応じて助言するために、各グループには各診療科のチューターが配置されている。テーマ決定、中間発表会を経て最終的には研究成果発表会で発表する。</p>						
<p>成績評価の方法 出席、遅刻の有無、受講態度、実習態度、中間発表会および成果発表会での発表内容、発表の態度等を総合的に評価する。</p>						
<p>成績評価の基準 プレレポート、ポストレポートの提出。実習態度、中間発表会および成果発表会での発表内容、態度等の総合評価と学生同士の相互評価</p>						

結果、報告書の内容を総合的に評価する。
準備学習などについての具体的な指示 本学のHPから「2015年度大学案内」を通読し、6年間の歯学部カリキュラムにおけるこのカリキュラムの位置づけについて理解しておくこと。
試験の受験資格 4分の3以上の出席
構成ユニット 2～3名で1グループを構成し、各診療科に配属される。6週間にわたり、毎週火曜日に9時～16時まで実習を行う。
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内のすべてのユニットに合格しなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出物の内容および平常学習態度等が評価に加味される。
教科書 歯科医療のおもしろさ：後輩たちへ贈る28のドラマ／橋本光二、升谷滋行、飯野文彦 編：口腔保健協会、2013 医の現在／高久 史磨 編：岩波書店 歯の健康学／江藤 一洋 編：岩波書店 必要に応じて、各研究分野の教員から適宜、提示される。
参考書 必要に応じて、各研究分野の教員から適宜、提示される。
連絡先 mataki.diag@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水 16:00-18:00

時間割番号	021006				
科目名	医の倫理				
担当教員	水口 俊介, 田中 智彦, 森本 直子				
開講時期	後期	対象年次	1		
モジュール名: 歯学入門 英語名: Medical Ethics and Bioethics ユニット番号: 05					
主な講義場所 第4講義室					
授業の目的、概要等 ● 授業の目的 (Primary goal) 医療者にとって必須である「医の倫理」の入門編。 ● 授業の概要 (Outline of content and teaching method) この講義では、歯学部歯学科の学生諸君が歯科医療・歯学研究の「専門家」として従うべき規範について理解を深めるとともに、「医歯学総合」という幅広い視座から現代医学の諸問題を把握し、分析するための基本的な能力を身につけることが目指されます。 ところで一口に「医の倫理」と言っても、その舞台となるのが現代の医歯学である以上、はるか昔の「ヒポクラテスの誓い」を引き合いに出すだけではもはや十分ではありません。実際、20世紀の後半に「バイオエシックス(生命倫理)」が成立し、「患者の権利」が確立されてゆきつかけとなったのは、第二次世界大戦後の医学・医療における人体実験の問題でした。そしてそれゆえに、現代の「医の倫理」にあっては、「倫理的な思考」と「法的な思考」とが分かちことのできない関係になっています。現代の医歯学はそれを「職業」とする人々に、従来の「医の心」や「医師の良心」にはとどまらない倫理規範と思考とを求めているのです。 そこでこの講義も、現代の医療や医歯学のあれこれの「約束事」についてただ解説するという形はとりません。むしろ、現代の「医の倫理」の由来を歴史のうちに探りながら、他方ではその意義と課題とを具体的な諸問題から検討する、という形で進めてゆきます。それゆえこの講義では、いわゆる「座学」による基本的な知識の提供だけでなく、さまざまな問題提起にもとづいた学生諸君によるプレゼンテーションとディスカッションの機会も設けられています。したがって学生諸君には、何よりもまず、自らの頭脳で思考することが求められます。講義への、そして、そこで提示される諸問題への積極的なコミットメントを期待します。					
授業の到達目標(SBOs) 上記のテーマに関して、 ① 基本的な理解を得ること。 ② 基本的な文献を自分で読めるようになること。 ③ さらなる問いを自分で立て、自分で考えられるようになること。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	12/1	10:30-12:00	歯学科第4講義室	なぜ「医の倫理」を学ばねばならないのか——倫理学および法学の視点から	田中 智彦 森本 直子
2	12/8	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「治療するとはどういうことか」を考える①	田中 智彦 森本 直子
3	12/15	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「治療するとはどういうことか」を考える②	田中 智彦 森本 直子
4	1/12	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「自己決定権」について考える①	田中 智彦 森本 直子
5	1/19	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「自己決定権」について考える②	田中 智彦 森本 直子
6	1/26	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(1)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える①	田中 智彦 森本 直子
7	2/2	10:30-12:00	歯学科第4講義室	生命倫理の基礎(2)——「人間の尊厳」「生命の尊厳」について考える②	田中 智彦 森本 直子
成績評価の方法 期末試験、プレゼンテーションとディスカッションへの参加、講義への出席等をもとに総合的に評価します。					

<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>2回目以降は毎回、論点の提示・解説⇒教材の視聴⇒それらにもとづく学生のプレゼンテーション⇒全員でのディスカッション、という流れになりますので、</p> <p>(1)提示された論点について教材をもとに自分で考えてから、プレゼンテーションとディスカッションに臨むこと、</p> <p>(2)その成果をふまえ、あらためて自分の考えをまとめた上で、次の論点に臨むこと、が求められます。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業に3分の2以上出席していること。</p>
<p>教科書</p> <p>教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布します。</p>
<p>参考書</p> <p>参考文献は講義のなかで随時紹介してゆきます。</p> <p>ただし、以下にあげる文献については、夏休みが終わるまでに各自で読んでおくこと。</p> <p>市野川容孝編『生命倫理とは何か』(平凡社、2002年)</p> <p>香川知晶『命は誰のものか』(ディスカヴァー・トゥエンティワン、2009年)</p>
<p>連絡先</p> <p>水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p> <p>田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>水口 俊介:随時</p> <p>田中 智彦:毎週月曜日 11:00~13:00 管理研究棟2階 哲学研究室</p>

時間割番号	021007				
科目名	基礎情報医歯学				
担当教員	木下 淳博, 青木 和広, 田畑 純, 須永 昌代				
開講時期	後期	対象年次	1		
モジュール名: 歯学入門 英語名: Medical and Dental Informatics ユニット番号: 06					
授業の目的、概要等 ●授業の目的 (Primary goal) 医学・歯学の研究・調査に必要な情報技術を理解し、その利用方法を習得する。ワープロ、メール、インターネットといった基本的な情報技術に加えて、研究・調査に実際に使用する情報技術について実習を行いながら学ぶ。ファイル操作など OS の基本的操作、e-learning の操作は習得済みであることを前提として講義・実習を行うので、事前に自身の知識を確認すること。 ●授業の概要 (Outline of content and teaching method) 医歯学に関連する基礎的情報技術の知識・操作について講義および実習を行う。実習は図書館のパソコンを使用する。毎回、課題の提出を行う。また、全講義終了後に CBT 試験を行う。					
授業の到達目標(SBOs) 1. コンピューターを使用したプレゼンテーションの作成ができる。 2. 生物医学画像の取り扱いと解析ができる。 3. 動画の編集ができる。 4. オリジナル・ホームページを作ることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	1/12	12:50-16:00	情報検索室	基礎情報医歯学概説、インターネット・セキュリティと著作権 メディアコンテンツ作成1 静止画像処理	木下 淳博
3-4	1/19	12:50-16:00	情報検索室	研究における画像解析	青木 和広
5-6	1/26	12:50-16:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成2 動画画像処理	木下 淳博 須永 昌代
7-8	2/2	12:50-16:00	情報検索室	オリジナル・ホームページの作成 (著作権遵守、画像、ファイル操作、HTML の基礎)	田畑 純
授業内容 1. 情報セキュリティ、著作権 / 医歯学プレゼンテーション入門(画像の扱い方): 講義・実習 2. メディアコンテンツ作成1(静止画像処理): 講義・実習 3. メディアコンテンツ作成2(動画画像処理) : 講義・実習 4. オリジナル・ホームページの作成: 講義・実習					
成績評価の方法 評価方法 (その他) 再評価(有) 実習における課題の達成度、CBT 試験の成績を評価する。					
準備学習などについての具体的な指示 eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。					
教科書					

プリントを配布する。

備考

実習では一人一台のコンピューターを使用する。

USB メモリーを持参すること。

動画画像処理実習の際は、各自のステレオイヤホンを持参することが望ましい。

連絡先

木下 淳博:kinoshita.emdv@tmd.ac.jp

青木 和広:kazu.hpha@tmd.ac.jp

須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp

田畑 純:tabatamj.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木下 淳博:毎週金曜日 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部

青木 和広:随時 MDタワー7階南 研究室1(S760)

須永 昌代:随時

田畑 純:随時 (メールでの事前連絡がのぞましいが必須ではない。なおメールでの質問等は受け付けない。)

時間割番号	021008				
科目名	人体の構造と機能				
担当教員	柴田 俊一, 井関 祥子, 泰羅 雅登				
開講時期	1.5 通年	対象年次	2~3	単位数	19
コマ数: 308 (38) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 02					
授業の到達目標(SBOs) 人体を構成する組織、器官の構造と生理的機能および発生の仕組みを知るとともに、成長、発育・発達、加齢の過程でそれらがどのように変化するかを理解する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 人体の構造 I (解剖学総論、運動系) 02 人体の構造 II (脈管系、末梢神経系、器官系) 03 人体の発生 04 人体組織総論(四大組織) 05 人体組織各論(器官ごとの組織学) 06 神経系の機能 I (神経生理学総論、運動機能) 07 神経系の機能 II (知覚、情動、本能、睡眠、高次機能) 08 生命維持のための生体機能 09 人体解剖実習 10 中枢神経解剖 11 生理学実習 12 口腔生理 13 口腔組織・発生学 14 医療と造形 15 歯の解剖 16 歯型彫刻					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 柴田 俊一:sshibata.mfa@tmd.ac.jp 井関 祥子:s.iseki.emb@tmd.ac.jp 泰羅 雅登:masato.cnb@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 柴田 俊一:随時(必ず事前に連絡の事)M&D タワー6F 南側 顎顔面解剖教授室 井関 祥子:随時 (必ず事前に連絡すること) 泰羅 雅登:随時(必ず事前に連絡のこと)					

時間割番号	021009					
科目名	人体の構造I (解剖学総論、運動系)					
担当教員	柴田 俊一					
開講時期	前期	対象年次	2			
<p>モジュール名:人体の構造と機能 ユニット名:人体の構造 I (解剖学総論、運動系) ユニット責任者:柴田俊一 ユニット番号:01 開設時期:2年 前期 コマ数(授業コマ数+試験コマ数):33+3(必要自習時間20時間) 授業形態:講義・実習</p>						
<p>授業の目的、概要等 解剖学用語を正確に使える。 人体の正常構造が系統的にどのように構成されているかを3次的に理解する。 人体を構成する骨・関節・筋の正常構造と機能を理解する。</p>						
<p>授業の到達目標(SBOs) 1) 人体の基本構造について解剖学用語を用いて説明できる。 2) 系統を構成する臓器とそれらのつながりを説明できる。 3) 人体を構成する骨と関節を体系的に分類し、その特徴について説明できる。 4) 人体を構成する主要な筋の起始停止・走向・作用・神経支配を説明できる。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/7	09:00-09:50	解剖学実習室	解剖学総論	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義:SBOs 1, 2
2-3	4/7	10:00-11:50	解剖学実習室	骨学実習1: 体幹の骨	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
4-6	4/7	12:50-15:40	解剖学実習室	骨学実習2: 上肢の骨	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
7-9	4/8	09:00-11:50	解剖学実習室	骨学実習3: 下肢の骨	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
10-12	4/8	12:50-15:40	歯学科第1講義室	骨学実習4: 頭蓋の骨1	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
13-15	4/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	骨学実習5: 頭蓋の骨2	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
16-18	4/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	骨学実習6: 頭蓋の骨3	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	講義・実習:SBOs 3
19-21	4/15	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筋学1 頭部、頸部の筋1	柴田 俊一	講義:SBOs:4
22-24	4/17	09:00-11:50	歯学科第1講義室	筋学2 頭部、頸部の筋2	柴田 俊一	講義:SBOs:4

25-27	4/22	12:50-15:40	歯学科第1講義室	筋学3 体幹の筋	柴田 俊一	講義:SBOs:4
28-30	4/27	12:50-15:40	歯学科第2講義室	筋学4 上肢の筋、下肢の筋	柴田 俊一	講義:SBOs:4
31-32	9/7	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の構造 I試験	柴田 俊一	
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・ユニット最終日に、筆記試験と実習試験を行い、総括的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
<p>骨学は人体の構造を理解する上での基礎となります。解剖名を覚えるのではなく、その構造が身体にとってどのような役割を果たしているかを理解することが重要です。そのためには事前の予習が必須です。骨実習の時間が短いために、予習したことを実習で確認することで、効果的に実習を進めて、学習内容を理解してください。</p>						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						
教科書						
<p>分担解剖学 1/森 於菟:金原出版, 1982 解剖学講義/伊藤隆 原著.:南山堂, 2012 グレイ解剖学/Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2011 プロメテウス解剖学アトラス 頭部/神経解剖/坂井建雄 河田光博:医学書院, 2010 口腔解剖学/井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修.:医歯薬出版, 2009</p>						
参考書						
<p>骨学実習の手びき/寺田春水, 藤田恒夫 著.:南山堂, 1992</p>						
履修上の注意事項						
<ul style="list-style-type: none"> ・解剖実習室内では、専用の解剖実習衣、実習室専用の靴の使用が必要となります。 						
備考						
<p>柴田俊一 教授 随時 (必ず事前に連絡のこと) sshibata.mfa@tmd.ac.jp 鹿野俊一 助教 随時 (必ず事前に連絡のこと) shika.mfa@tmd.ac.jp 田巻玉器 助教 随時 (必ず事前に連絡のこと) ttamaki.mfa@tmd.ac.jp</p>						
連絡先						
sshibata.mfa@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時(必ず事前に連絡の事)M&D タワー6F 南側 顎顔面解剖教授室						

時間割番号	021010				
科目名	人体の構造Ⅱ(脈管系、末梢神経系、器官系)				
担当教員	柴田 俊一				
開講時期	前期	対象年次	2		
モジュール名:人体の構造と機能 コマ数:49+3(必要自習時間40時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:02					
主な講義場所 第1講義室					
授業の目的、概要等 人体を構成する各器官系(脈管系、末梢神経系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系)の正常構造と機能を理解する。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 末梢神経系の構成と基本機能を説明できる。 2) 体性神経系と自律神経系の構造的、機能的相違を説明できる 3) 脊髄と脊髄神経の構成と機能を説明できる。 4) 脳神経の構成と機能を説明できる。 5) 大循環、肺循環、胎児循環を説明できる。 6) 三叉神経と顔面神経の走行と分布および線維構成を説明できる。 7) 心臓の構造と機能を説明できる。 8) 主な動脈、静脈、リンパ管を説明できる。 9) 頭頸部の血管とリンパ管の走行および血流路、リンパ流路を説明できる。 10) 消化器系の構成を概説できる。 11) 気道と肺の構成と構造を説明できる。 12) 縦隔と胸膜を説明できる。 13) 泌尿器の構成、位置と形態を説明できる。 14) 生殖器の構成、位置と形態を説明できる。 15) 内分泌器官を列挙し、構造と機能を説明できる。 16) 口唇・口腔の基本構造が説明できる。 17) 唾液腺の種類、構造が説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	脈管系1 概説、頭頸部の動脈	鹿野 俊一
4-6	4/13	09:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系1 概説、線維の種類	柴田 俊一
7-9	4/20	09:00-11:50	歯学科第1講義室	脈管系2 頭頸部以外の動脈	鹿野 俊一
10	4/22	11:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系2 脳神経1(三叉神経)	柴田 俊一
11-13	4/24	09:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系3 脳神経2(顔面神経)	柴田 俊一
14-16	5/1	09:00-11:50	歯学科第2講義室	脈管系3 静脈、リンパ系	鹿野 俊一
17-19	5/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	末梢神経系4 脳神経3(舌咽、迷走、副、舌下神経)	柴田 俊一
20	5/11	11:00-11:50	歯学科第1講義室	脈管系4 模擬試験1(概説、動脈)	鹿野 俊一
21-23	5/13	09:00-11:50	歯学科第1講義室	脈管系5 胎生期の血液循環、心臓	鹿野 俊一
24-26	5/15	09:00-11:50	歯学科第2講義室	末梢神経系5 脳神経4(その他の脳神経)	柴田 俊一
27	5/18	11:00-11:50	歯学科第1講義室	脈管系6 模擬試験2(静脈、リンパ系)	鹿野 俊一
28-30	5/22	09:00-11:50	歯学科第2講義室	脈管系6 模擬試験3(心臓、胎児期の血液循環)、総復習	鹿野 俊一
31	5/25	11:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系1 消化器系1(口腔)	田巻 玉器
32	5/29	11:00-11:50	歯学科第2講義室	器官系2 消化器系2(食道?胃)	田巻 玉器
33	6/1	11:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系3 消化器系3(小腸?大腸?膵臓?肝臓)	田巻 玉器
34-36	6/3	09:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系6 脊髄神経1	柴田 俊一

37-38	6/5	13:50-15:40	歯学科第1講義室	器官系4 呼吸器系1(鼻腔?咽頭?喉頭)	田巻 玉器
39	6/8	11:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系5 呼吸器系2(気管支?肺)	田巻 玉器
40-42	6/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系7 脊髄神経2	柴田 俊一
43-44	6/12	13:50-15:40	歯学科第2講義室	末梢神経系8 自律神経系1	柴田 俊一
45-46	6/15	09:00-10:50	歯学科第1講義室	器官系6 泌尿器系(腎臓?尿管?膀胱)	田巻 玉器
47	6/15	11:00-11:50	歯学科第1講義室	末梢神経系9 自律神経系2	柴田 俊一
48-50	6/17	09:00-11:50	歯学科第1講義室	器官系7 生殖器系(精巣、陰茎、卵巣、子宮)	田巻 玉器
51-52	6/19	13:50-15:40	歯学科第1講義室	器官系8 内分泌系(下垂体、甲状腺、副腎他)	田巻 玉器
53-54	9/11	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の構造 II 試験	柴田 俊一

成績評価の方法

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

教科書中の講義範囲に相当する部分に眼を通しておく。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

分担解剖学 2/平沢 興他:金原出版, 1982

分担解剖学 3/平沢 興他:金原出版, 1992

口腔解剖学/井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修.:医歯薬出版, 2009

解剖学講義/伊藤隆 原著.:南山堂, 2012

グレイ解剖学/Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2011

参考書

グレイ解剖学アトラス/Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell, Richard M.Tibbitts, Paul E.Richardson 原著,塩田浩平 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2008

プロメテウス解剖学アトラス : 口腔・頭頸部/Eric W.Baker 著,坂井建雄, 天野修 監訳.:医学書院, 2012

ネッター解剖学アトラス/Frank H. Netter 著,相磯貞和 訳.:エルゼビア・ジャパン, 2011

ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス/Neil S. Norton 著,前田健康 監訳.:医歯薬出版, 2012

プロメテウス解剖学アトラス/Anne M.Gilroy, Jonas Broman, Anna Josephson [編],Michael Schunke, Erik Schulte, Udo Schumacher [著],坂井建雄 監訳,市村浩一郎, 澤井直 訳.:医学書院, 2011

備考

担当教員の Office Hour

鹿野俊一 助教 随時(必ず事前に連絡の事)shika.mfa@tmd.ac.jp

田巻玉器 助教 随時(必ず事前に連絡の事)ttamaki.mfa@tmd.ac.jp

連絡先

sshibata.mfa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡の事)M&D タワー6F 南側 顎顔面解剖教授室

時間割番号	021011																																																																																
科目名	人体の発生																																																																																
担当教員	井関 祥子																																																																																
開講時期	前期	対象年次	2																																																																														
<p>モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 20+3+2 (必要自習時間 10 時間) 授業形態: 講義+実習 ユニット番号: 03</p>																																																																																	
<p>授業の目的、概要等 人体の発生とその基本的な仕組みについて、初期発生から器官形成の過程を理解する。また、頭頸部融合ブロック基礎の前に、口腔・頭蓋・顎顔面領域の形成について概要を把握する。</p>																																																																																	
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人体における初期発生の仕組みを説明できる。 2) 減数分裂の過程を概説できる。 3) 生殖(卵子・精子)形成および受精の過程を概説できる。 4) 三胚葉の形成過程と分子機構を説明できる。 5) 三胚葉から形成される器官の器官形成の概要を説明できる。 6) 各器官の器官形成に重要な分子を列挙し、分子機構を説明できる。 7) 胚性幹細胞と組織幹細胞を区別し、その特徴を説明できる。 8) 発生過程の異常と先天異常との関連を概説できる。 9) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 10) 頭部神経堤細胞の役割について説明できる。 11) 一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 12) 特殊感覚器と中枢神経系の発生を概説できる。 13) 初期発生期や器官形成期のニワトリ胚を観察し、からだの成り立ちについて説明できる。 																																																																																	
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>4/22</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生1 初期発生</td> <td>井関 祥子</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>5/11</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生2 三胚葉形成 器官形成概要</td> <td>池田 正明</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>5/25</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生3 幹細胞</td> <td>二宮 洋一郎</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>6/1</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生4 骨格・筋系</td> <td>武智 正樹</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>6/8</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生5 神経系</td> <td>武智 正樹</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>6/19</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生6 形態形成と先天異常頭頸部発生導入</td> <td>井関 祥子</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>7/15</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生7 呼吸器・消化器系</td> <td>池田 正明</td> </tr> <tr> <td>15-16</td> <td>7/17</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>人体の発生8 感覚器系</td> <td>太田 正人</td> </tr> <tr> <td>17-18</td> <td>7/22</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生9 心臓脈管系</td> <td>中島 裕司</td> </tr> <tr> <td>19-20</td> <td>7/24</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>人体の発生6 泌尿生殖器系</td> <td>鈴木 仁美</td> </tr> <tr> <td>21-23</td> <td>7/29</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室</td> <td>ニワトリ胚観察実習</td> <td>武智 正樹</td> </tr> <tr> <td>24-25</td> <td>9/10</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>井関 祥子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-2	4/22	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生1 初期発生	井関 祥子	3-4	5/11	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生2 三胚葉形成 器官形成概要	池田 正明	5-6	5/25	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生3 幹細胞	二宮 洋一郎	7-8	6/1	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生4 骨格・筋系	武智 正樹	9-10	6/8	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生5 神経系	武智 正樹	11-12	6/19	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生6 形態形成と先天異常頭頸部発生導入	井関 祥子	13-14	7/15	13:50-15:40	歯学科第1講義室	人体の発生7 呼吸器・消化器系	池田 正明	15-16	7/17	13:50-15:40	歯学科第2講義室	人体の発生8 感覚器系	太田 正人	17-18	7/22	13:50-15:40	歯学科第1講義室	人体の発生9 心臓脈管系	中島 裕司	19-20	7/24	13:50-15:40	歯学科第1講義室	人体の発生6 泌尿生殖器系	鈴木 仁美	21-23	7/29	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	ニワトリ胚観察実習	武智 正樹	24-25	9/10	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	井関 祥子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																												
1-2	4/22	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生1 初期発生	井関 祥子																																																																												
3-4	5/11	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生2 三胚葉形成 器官形成概要	池田 正明																																																																												
5-6	5/25	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生3 幹細胞	二宮 洋一郎																																																																												
7-8	6/1	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生4 骨格・筋系	武智 正樹																																																																												
9-10	6/8	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生5 神経系	武智 正樹																																																																												
11-12	6/19	09:00-10:50	歯学科第1講義室	人体の発生6 形態形成と先天異常頭頸部発生導入	井関 祥子																																																																												
13-14	7/15	13:50-15:40	歯学科第1講義室	人体の発生7 呼吸器・消化器系	池田 正明																																																																												
15-16	7/17	13:50-15:40	歯学科第2講義室	人体の発生8 感覚器系	太田 正人																																																																												
17-18	7/22	13:50-15:40	歯学科第1講義室	人体の発生9 心臓脈管系	中島 裕司																																																																												
19-20	7/24	13:50-15:40	歯学科第1講義室	人体の発生6 泌尿生殖器系	鈴木 仁美																																																																												
21-23	7/29	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	ニワトリ胚観察実習	武智 正樹																																																																												
24-25	9/10	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	井関 祥子																																																																												
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 																																																																																	
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>																																																																																	
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 																																																																																	

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・小テスト、筆記試験結果、実習レポートをもとに包括的評価を行う。

参考書

- ・「ラングマン人体発生学」第9版（訳：安田峯生）メディカル・サイエンス・インターナショナル
- ・「ラーセン最新人体発生学」第2版（監訳：相川英三・山下和雄・三木昭徳・大谷浩）西村書店
- ・「ムーア人体発生学」第6版（訳：瀬口春道・小林俊博他）医歯薬出版

連絡先

s.iseki.emb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時（必ず事前に連絡すること）

時間割番号	021012																																																																				
科目名	組織学総論(四大組織)																																																																				
担当教員	田畑 純																																																																				
開講時期	前期	対象年次	2																																																																		
<p>モジュール名:人体の構造と機能 コマ数:27+3(必要自習時間18時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:04</p>																																																																					
<p>主な講義場所 第1講義室</p>																																																																					
<p>授業の目的、概要等 解剖学と組織学は「からだ」の構造・名称・機能を学ぶ学問であり、解剖学は肉眼観察、組織学は顕微観察による機能形態学である。組織学は総論と各論に分けられ、総論では「からだ」を構成する最小構成単位である細胞をまず学び、4大組織(上皮組織・結合組織・神経・筋)の特徴と機能を細胞レベルで学んでいく。学習は講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。</p>																																																																					
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)組織標本作成法、観察法の概要を説明できる。 2)細胞の基本構造を説明できる。 3)細胞接着の概念、接着装置の構造と機能を説明できる。 4)人体を構成する4つの組織を列挙し、概説できる。 5)組織と器官を類別し、説明できる。 6)上皮組織を形態的、機能的に分類できる。 7)腺の概念と基本構造、種類を説明できる。 8)結合組織の概念と構成(線維性要素、基質、細胞要素)を説明できる。 9)骨の形成と改造の仕組み、構造を説明できる。 10)軟骨の区分、構造と機能を説明できる。 11)造血の場としての骨髄と血球の特徴を説明できる。 12)筋の区分、組織構造の特徴と機能を説明できる。 13)神経系の構成要素とそれらの構造の特徴を説明できる。 																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>5/1</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>概論・細胞・上皮組織</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>5/8</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>結合組織</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>5/13</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>上皮組織【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>5/15</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>結合組織【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/20</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>特殊結合組織(骨・軟骨・血液)</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>5/20</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>特殊結合組織【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>5/22</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>神経組織</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>5/26</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>筋組織</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>5/27</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>神経組織・筋組織【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>28-29</td> <td>7/31</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>(試験)</td> <td>田畑 純</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	5/1	12:50-15:40	歯学科第1講義室	概論・細胞・上皮組織	田畑 純	4-6	5/8	12:50-15:40	歯学科第1講義室	結合組織	田畑 純	7-9	5/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	上皮組織【実習】	田畑 純	10-12	5/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	結合組織【実習】	田畑 純	13-15	5/20	09:00-11:50	歯学科第1講義室	特殊結合組織(骨・軟骨・血液)	田畑 純	16-18	5/20	12:50-15:40	歯学科第1講義室	特殊結合組織【実習】	田畑 純	19-21	5/22	12:50-15:40	歯学科第1講義室	神経組織	田畑 純	22-24	5/26	12:50-15:40	歯学科第1講義室	筋組織	田畑 純	25-27	5/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	神経組織・筋組織【実習】	田畑 純	28-29	7/31	09:00-10:50	歯学科第1講義室	(試験)	田畑 純
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																
1-3	5/1	12:50-15:40	歯学科第1講義室	概論・細胞・上皮組織	田畑 純																																																																
4-6	5/8	12:50-15:40	歯学科第1講義室	結合組織	田畑 純																																																																
7-9	5/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	上皮組織【実習】	田畑 純																																																																
10-12	5/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	結合組織【実習】	田畑 純																																																																
13-15	5/20	09:00-11:50	歯学科第1講義室	特殊結合組織(骨・軟骨・血液)	田畑 純																																																																
16-18	5/20	12:50-15:40	歯学科第1講義室	特殊結合組織【実習】	田畑 純																																																																
19-21	5/22	12:50-15:40	歯学科第1講義室	神経組織	田畑 純																																																																
22-24	5/26	12:50-15:40	歯学科第1講義室	筋組織	田畑 純																																																																
25-27	5/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	神経組織・筋組織【実習】	田畑 純																																																																
28-29	7/31	09:00-10:50	歯学科第1講義室	(試験)	田畑 純																																																																
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、小テストもしくは中間試験を行う。 ・組織実習の提出課題は、A～Eで判定をする。D以下の場合は、未提出扱いとする。 ・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。 ・最終判定は、試験、実習課題、出席等を総合し、100点満点の60点以上を合格とする。 																																																																					
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>解剖学と組織学は「からだ」の構造・名称・機能を学ぶ学問であり、解剖学は肉眼観察、組織学は顕微観察による機能形態学である。このため解剖学と組織学の理解は、全ての医歯学系専門科目の基盤となるもので、生理学、病理学、発生学、口腔組織学(=歯の組織と発</p>																																																																					

生)と関連が深く、全ての臨床科目の理解の前提ともなっている。

組織学は基本的には細胞と組織の構造や機能を学ぶ。これを実際に観察して学習するのが、組織実習である。ヒトや動物を使った組織切片を顕微鏡で観察して組織スケッチを描画する。この作業は、目的の細胞や組織を見つけ出し、それをリアルにスケッチするというもので、講義の理解と物を見るスキル、絵を描くスキルが必要である。従って実習時間中に自分の理解不足や間違った理解に気づくことも多いはずで、こうした点を教科書等で調べたり、指導教員にたずねることで正しく理解できるようになる。従って、実習を軽視してはならない。有効な復習時間と位置づけるべきである。加えて正常組織の観察を前提に、病理観察や理解が成り立つのであり、将来の臨床スキルの基盤ともなるので、得るものは大きいはずである。

教科書等は以下に挙げる教科書以外にも講義の中で随時、紹介する予定であり、急いで購入する必要はない。自分の理解度や興味に応じて購入するのがのぞましい。例えば、組織実習などに難しさを感じたら、組織学系のアトラス(=写真やスケッチがたくさん掲載されている)などの購入も必要になるかもしれない。本科目の講義・実習はどの教科書にも偏らずに構成しているが、全範囲をカバーできるわけではなく、学生全員が完全に理解できるように講義できるわけでもない。講義にはどうしても不足部分が生じるはずで、これを各自の学習によって補って欲しい。そのためには「よい教科書」の助けが必要なはずである。教科書を選ぶ際には、こうしたことから、自分によく合った教科書を探すこと、そして他の科目でも役立つものをよく吟味して探してほしい。

試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。組織や解剖の図説については、いかに簡略化した図を描けるかが重要である。また、記述の際にも重要なものを順番に記載できる能力が要求される。日頃から、ひとつひとつをきちんと理解する積み重ねが重要であり、のぞましい組織学の学習態度である。

以上、学生諸君は本科目を単なるひとつの科目として見るのではなく、他の科目にも広く関連する科目ということをよく理解し、積極的に取り組むことを強く望む。単なる暗記科目ではなく、なぜそうなるのか、なぜそういう細胞や構造があるのか、という踏み込んだ理解ができるようになれば、組織学の面白さに気づく第一歩であり、他の基礎科目・臨床科目にとどまらず、将来の基礎研究や臨床研究にもつながる道が開かれるはずである。

試験の受験資格

- ・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。
- ・実習は全てに出席し、課題を全て提出していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

自分の理解度に合わせて下記のものから選択し、購入もしくは図書館などで利用すること。すでに所有している本があれば、これ以外の本でもかまわない。

- ・「入門組織学」第2版(牛木辰男著) 南江堂
- ・「最新カラー組織学」(LP.ガートナー、J.L. ハイアット 著)西村書店
- ・「新組織学」改訂第5版(野上晴雄著) 日本医事新報社

参考書

自分の理解度に合わせて下記のものから選択すること。

- ・「標準組織学総論」第4版(藤田尚男、藤田恒夫 著)医学書院
- ・「標準組織学各論」第4版(藤田尚男・藤田恒夫著) 医学書院
- ・「カラーアトラス組織・細胞学」(岩永 敏彦 著) 医歯薬出版
- ・「分担解剖学第2巻 脈管学・神経系」 金原出版
- ・「分担解剖学第3巻 感覚器学・内臓学」 金原出版
- ・「ネッター解剖学アトラス」第4版 南江堂
- ・「カラー人体解剖学」(井上貴央監訳) 西村書店
- ・「新解剖学」改訂第6版(加藤征著) 日本医事新報社
- ・「カールソン人体発生学」(白井敏雄監訳) 西村書店

履修上の注意事項

<実習の注意> ・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。 ・実習は全てに出席し、全ての課題を提出することが必要。不足がある場合は、ユニット最終日の筆記試験の受験資格を得られない。 ・実習は最初の10分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパラートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着し

ている必要がある。遅刻は厳禁。・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。・組織のスケッチは評価して返却する。一定評価以下のものは提出と認めない。 <追試・再試について> ・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合っ決めてのものとする(必ず行うものではない)。・再試の試験結果は、規定に従い、100点満点の60点以上を合格とするが、最終成績は60点以上の点とは与えられない(満点でも60点が最終成績となる)。

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/dent/oa2/index.htm>

連絡先

tabatamj.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時 (メールでの事前連絡がのぞましいが必須ではない。なおメールでの質問等は受け付けない。)

時間割番号	021013																																																														
科目名	組織学各論(器官ごとの組織学)																																																														
担当教員	田畑 純																																																														
開講時期	前期	対象年次	2																																																												
<p>モジュール名:組織学各論(器官ごとの組織学)</p> <p>コマ数:45+3(必要自習時間30時間)</p> <p>授業形態:講義・実習</p> <p>ユニット番号:05</p>																																																															
<p>授業の目的、概要等</p> <p>組織学各論は、組織学総論で学んだことを基本として、循環系、リンパ系、消化管系、内分泌系、呼吸器、泌尿器、生殖器、感覚器を順にとりあげ、それぞれの組織と機能を学習し、各器官ごとの特徴や役割を学ぶ。学習は講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。</p>																																																															
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 循環器の発生を説明できる。 2) 動脈、静脈、毛細血管、リンパ管の組織構造を説明できる。 3) リンパ組織とリンパ器官の構造と機能を説明できる。 4) 毛細血管の組織構造と物質交換を説明できる。 5) 消化器系の発生と構成を概説できる。 6) 口腔粘膜の特徴を説明できる。 7) 舌の構造と機能、支配神経を説明できる。 8) 唾液腺の名称と局在、組織構造を説明できる。 9) 消化管(食道、胃、小腸、大腸、肛門)の組織構造と機能を説明できる。 10) 消化管の付属腺の組織構造と機能を説明できる。 11) 肝臓・胆嚢・膵臓の組織構造と機能を説明できる。 12) 呼吸器の発生、組織構造、機能を説明できる。 13) 皮膚、毛、爪の組織構造と感覚器としての機能を説明できる。 14) 内分泌器の発生と組織構造を説明できる。 15) 脳下垂体、視床下部などの神経内分泌機能を説明できる。 16) 甲状腺、副腎、膵臓、消化器、生殖器などの内分泌機能を説明できる。 17) 泌尿器の発生、組織構造、機能を説明できる。 18) 腎臓の尿管と尿管、腎単位と尿細管の構造を説明できる。 19) 男性生殖器の発生、組織構造、機能を説明できる。 20) 男性生殖器の付属腺、尿路、精路の構造や働きを説明できる。 21) 女性生殖器の発生、組織構造、機能を説明できる。 22) 性周期、卵胞の成熟、黄体の形成過程を説明できる。 23) 精子と卵の形成過程、受精のプロセスを説明できる。 																																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>5/27</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>循環器とリンパ器官</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>5/29</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>循環器とリンパ器官【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>6/2</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>消化器系(1) 口腔・舌・唾液腺</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>6/3</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>消化器系(1) 口腔・舌・唾液腺【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>6/9</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>消化器系(2) 腸管</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>6/10</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>消化器系(2) 腸管【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>6/16</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>消化器系(3) 肝胆膵</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>6/17</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>消化器系(3) 肝胆膵【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>7/13</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>内分泌器</td> <td>田畑 純</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	5/27	09:00-11:50	歯学科第1講義室	循環器とリンパ器官	田畑 純	4-6	5/29	12:50-15:40	歯学科第1講義室	循環器とリンパ器官【実習】	田畑 純	7-9	6/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(1) 口腔・舌・唾液腺	田畑 純	10-12	6/3	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(1) 口腔・舌・唾液腺【実習】	田畑 純	13-15	6/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(2) 腸管	田畑 純	16-18	6/10	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(2) 腸管【実習】	田畑 純	19-21	6/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(3) 肝胆膵	田畑 純	22-24	6/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(3) 肝胆膵【実習】	田畑 純	25-27	7/13	12:50-15:40	歯学科第2講義室	内分泌器	田畑 純
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																										
1-3	5/27	09:00-11:50	歯学科第1講義室	循環器とリンパ器官	田畑 純																																																										
4-6	5/29	12:50-15:40	歯学科第1講義室	循環器とリンパ器官【実習】	田畑 純																																																										
7-9	6/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(1) 口腔・舌・唾液腺	田畑 純																																																										
10-12	6/3	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(1) 口腔・舌・唾液腺【実習】	田畑 純																																																										
13-15	6/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(2) 腸管	田畑 純																																																										
16-18	6/10	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(2) 腸管【実習】	田畑 純																																																										
19-21	6/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(3) 肝胆膵	田畑 純																																																										
22-24	6/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化器系(3) 肝胆膵【実習】	田畑 純																																																										
25-27	7/13	12:50-15:40	歯学科第2講義室	内分泌器	田畑 純																																																										

28-30	7/14	12:50-15:40	歯学科第1講義室	内分泌器【実習】	田畑 純
31-33	7/16	12:50-15:40	歯学科第2講義室	呼吸器・皮膚・感覚器(鼻)	田畑 純
34-36	7/21	12:50-15:40	歯学科第2講義室	泌尿器	田畑 純
37-39	7/23	12:50-15:40	歯学科第2講義室	生殖器	田畑 純
40-42	7/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	泌尿器【実習】	田畑 純
43-45	7/30	12:50-15:40	歯学科第1講義室	呼吸器・生殖器【実習】	田畑 純
46-47	7/31	12:50-14:40	歯学科第1講義室	【試験】	田畑 純

成績評価の方法

- ・必要に応じて、小テストもしくは中間試験を行う。
- ・組織実習の提出課題は、A～Eで判定をする。D以下の場合は、未提出扱いとする。
- ・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。
- ・最終判定は、試験、実習課題、出席等を総合し、100点満点の60点以上を合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

解剖学と組織学は「からだ」の構造・名称・機能を学ぶ学問であり、解剖学は肉眼観察、組織学は顕微鏡観察による機能形態学である。このため解剖学と組織学の理解は、全ての医歯学系専門科目の基盤となるもので、生理学、病理学、発生学、口腔組織学(=歯の組織と発生)と関連が深く、全ての臨床科目の理解の前提ともなっている。

組織学は基本的には細胞と組織の構造や機能を学ぶ。これを実際に観察して学習するのが、組織実習である。ヒトや動物を使った組織切片を顕微鏡で観察して組織スケッチを描画する。この作業は、目的の細胞や組織を見つけ出し、それをリアルにスケッチするというもので、講義の理解と物を見るスキル、絵を描くスキルが必要である。従って実習時間中に自分の理解不足や間違った理解に気づくことも多いはずで、こうした点を教科書等で調べたり、指導教員にたずねることで正しく理解できるようになる。従って、実習を軽視してはならない。有効な復習時間と位置づけるべきである。加えて正常組織の観察を前提に、病理観察や理解が成り立つのであり、将来の臨床スキルの基盤ともなるので、得るものは大きいはずである。

教科書等は以下に挙げる教科書以外にも講義の中で随時、紹介する予定であり、急いで購入する必要はない。自分の理解度や興味に応じて購入するのがのぞましい。例えば、組織実習などに難しさを感じたら、組織学系のアトラス(=写真やスケッチがたくさん掲載されている)などの購入も必要になるかもしれない。本科目の講義・実習はどの教科書にも偏らずに構成しているが、全範囲をカバーできるわけではなく、学生全員が完全に理解できるように講義できるわけでもない。講義にはどうしても不足部分が生じるはずで、これを各自の学習によって補って欲しい。そのためには「よい教科書」の助けが必要なはずである。教科書を選ぶ際には、こうしたことから、自分によく合った教科書を探すこと、そして他の科目でも役立つものをよく吟味して探してほしい。

試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。組織や解剖の図説については、いかに簡略化した図を描けるかが重要である。また、記述の際にも重要なものを順番に記載できる能力が要求される。日頃から、ひとつひとつをきちんと理解する積み重ねが重要であり、のぞましい組織学の学習態度である。

以上、学生諸君は本科目を単なるひとつの科目として見るのではなく、他の科目にも広く関連する科目ということをよく理解し、積極的に取り組むことを強く望む。単なる暗記科目ではなく、なぜそうなのか、なぜそういう細胞や構造があるのか、という踏み込んだ理解ができるようになれば、組織学の面白さに気づく第一歩であり、他の基礎科目・臨床科目にとどまらず、将来の基礎研究や臨床研究にもつながる道が開かれるはずである。

試験の受験資格

- ・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。
- ・実習は全てに出席し、課題を全て提出していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

入門組織学 第2版/牛木辰男 著; 南江堂, 2013

最新カラー組織学/LPガートナー, J.L.ハイアット 著, 石村和敬, 井上貴央 監訳; 西村書店, 2003

新組織学 改訂5版/野上晴雄 編著, 野上晴雄, 権五徹 執筆; 日本医事新報社, 2011

自分の理解度に合わせて下記のものから選択し、購入もしくは図書館などで利用すること。すでに所有している本があれば、これ以外の本でもかまわない。

- ・「入門組織学」第2版（牛木辰男著）南江堂
- ・「最新カラー組織学」（LP.ガートナー、J.L. ハイアット 著）西村書店
- ・「新組織学」改訂第5版（野上晴雄著）日本医事新報社

参考書

標準組織学総論 第4版／藤田尚男, 藤田恒夫 共著. 医学書院, 2002
 分担解剖学 2 (脈管学・神経系): 金原出版, 1982
 分担解剖学 3 (感覚器学・内臓学): 金原出版, 1982
 ネットー解剖学アトラス／Frank H. Netter 著, 相磯貞和 訳. エルゼビア・ジャパン, 2011
 カラー人体解剖学：構造と機能ミクロからマクロまで／F.H.マティーニ, M.J.ティモンズ, M.P.マッキンリ 著, 井上貴央 監訳, 新井良八 [ほか] 訳. 西村書店, 2003
 新解剖学 第6版／加藤征, 福島統, 國府田稔 執筆, 加藤征 監修. 日本医事新報社, 2011
 カールソン人体発生学：分子から個体へ／カールソン 著, 白井敏雄 監訳, 熊木克治 [ほか] 訳. 西村書店, 2002
 標準組織学 各論 第4版／藤田尚男, 藤田恒夫 共著. 医学書院, 2010
 自分の理解度に合わせて下記のものから選択すること。

- ・「標準組織学総論」第4版（藤田尚男・藤田恒夫著）医学書院
- ・「標準組織学各論」第4版（藤田尚男・藤田恒夫著）医学書院
- ・「分担解剖学第2巻 脈管学・神経系」金原出版
- ・「分担解剖学第3巻 感覚器学・内臓学」金原出版
- ・「ネットー解剖学アトラス」第4版 南江堂
- ・「カラー人体解剖学」（井上貴央監訳）西村書店
- ・「新解剖学」改訂第6版（加藤征著）日本医事新報社
- ・「カールソン人体発生学」（白井敏雄監訳）西村書店

履修上の注意事項

<実習の注意> ・組織標本の顕微鏡観察とスケッチを行うので、12色程度の色鉛筆を必ず持参すること。色鉛筆を使用していないスケッチの提出は認められない。なお、A4のスケッチ用紙は配布するが、ケント紙などを持参して使用してもよい。 ・実習は全てに出席し、全ての課題を提出することが必要。不足がある場合は、ユニット最終日の筆記試験の受験資格を得られない。 ・実習は最初の10分ほどで課題の説明や諸注意を行う。また、顕微鏡の準備やプレパラートの受取は授業前に行う。従って、実習日はその前に教室へ到着している必要がある。遅刻は厳禁。 ・スケッチに時間がかかる場合は、適宜、実習時間を延長する。未完成のスケッチを提出することは認められない。 ・組織のスケッチは評価して返却する。一定評価以下のものは提出と認めない。 <追試・再試について> ・追試は不測の事態で中間試験や最終試験を受験できなかった者に対して、所定の要件を満たす場合にのみ実施する。成績判定等は、本試験と同等とする。 ・再試は中間試験や最終試験で合格と認められなかった者に対して行う。実施の有無は当該学生と話し合って決めるものとする（必ず行うものではない）。 ・再試の試験結果は、規定に従い、100点満点の60点以上を合格とするが、最終成績は60点以上の点は与えられない（満点でも60点が最終成績となる）。

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/dent/oir2/index.htm>

連絡先

tabatamj.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時（メールでの事前連絡がのぞましいが必須ではない。なおメールでの質問等は受け付けない。）

時間割番号	021014																																																								
科目名	神経系の機能 I (神経生理学総論、運動機能)																																																								
担当教員	泰羅 雅登																																																								
開講時期	前期	対象年次	2																																																						
<p>モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 17+3 (必要自習時間10時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 06</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等 神経系の基本の作動原理と運動制御の神経機構を修得する</p>																																																									
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 神経の活動電位の発生とその伝播の機序を説明できる。 2) シナプスの構造と興奮伝達の仕組みを説明できる。 3) 骨格筋の収縮のメカニズムを説明できる。 4) 筋の伸展受容器の構造と機能を説明できる。 5) 脊髄・脳幹反射について説明できる。 6) 小脳の機能について説明できる。 7) 大脳基底核の機能について説明できる。 8) 皮質運動野の機能について説明できる。 																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/18</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>一般神経生理</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>5/29</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>一般神経生理</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>6/5</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>一般神経生理</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>6/12</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>骨格筋の収縮メカニズム</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>9-11</td> <td>7/27</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>反射・運動の中枢制御</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>12-14</td> <td>7/28</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>運動の中枢制御</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>15-17</td> <td>7/29</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>運動の中枢制御</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>18-19</td> <td>9/9</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-2	5/18	09:00-10:50	歯学科第1講義室	一般神経生理	泰羅 雅登	3-4	5/29	09:00-10:50	歯学科第2講義室	一般神経生理	泰羅 雅登	5-6	6/5	09:00-10:50	歯学科第1講義室	一般神経生理	泰羅 雅登	7-8	6/12	09:00-10:50	歯学科第1講義室	骨格筋の収縮メカニズム	泰羅 雅登	9-11	7/27	09:00-11:50	歯学科第1講義室	反射・運動の中枢制御	泰羅 雅登	12-14	7/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	運動の中枢制御	泰羅 雅登	15-17	7/29	09:00-11:50	歯学科第1講義室	運動の中枢制御	泰羅 雅登	18-19	9/9	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	泰羅 雅登
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1-2	5/18	09:00-10:50	歯学科第1講義室	一般神経生理	泰羅 雅登																																																				
3-4	5/29	09:00-10:50	歯学科第2講義室	一般神経生理	泰羅 雅登																																																				
5-6	6/5	09:00-10:50	歯学科第1講義室	一般神経生理	泰羅 雅登																																																				
7-8	6/12	09:00-10:50	歯学科第1講義室	骨格筋の収縮メカニズム	泰羅 雅登																																																				
9-11	7/27	09:00-11:50	歯学科第1講義室	反射・運動の中枢制御	泰羅 雅登																																																				
12-14	7/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	運動の中枢制御	泰羅 雅登																																																				
15-17	7/29	09:00-11:50	歯学科第1講義室	運動の中枢制御	泰羅 雅登																																																				
18-19	9/9	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	泰羅 雅登																																																				
<p>成績評価の方法 ユニット終了後に筆記試験を行い包括的評価を行う。 尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。 不合格者には、原則として1回の追試験の機会を与える。 尚、追試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。</p>																																																									
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数(筆記試験)を除くのうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 																																																									
<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「標準生理学」医学書院(神経系に限らない一般的な生理学教科書) ・「基礎歯科生理学」医歯薬出版(口腔領域が詳細) ・「カールソン神経科学テキスト 脳と行動」丸善(病態も含めた神経科学の教科書) ・「ベアー コノーズ パラディーソ 神経科学」西村書店(神経科学の教科書) ・「カandel神経科学」メディカル・サイエンス・インターナショナル(神経科学の教科書) 																																																									
<p>連絡先 masato.cnb@tmd.ac.jp</p>																																																									
<p>オフィスアワー 随時(必ず事前に連絡のこと)</p>																																																									

時間割番号	021015																																																																												
科目名	神経系の機能Ⅱ(知覚、情動、本能、睡眠、高次機能)																																																																												
担当教員	泰羅 雅登																																																																												
開講時期	前期	対象年次	2																																																																										
<p>モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 30+3(必要自習時間16時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 07</p>																																																																													
<p>授業の目的、概要等 感覚、知覚、情動、本能、睡眠、高次機能にかかわる神経系の機能を修得する。</p>																																																																													
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 体性感覚系の機能について説明できる。 2) 聴覚系の機能について説明できる。 3) 前庭系の機能について説明できる。 4) 味覚、嗅覚系の機能について説明できる。 5) 視覚系の機能について説明できる。 6) 情動、本能、睡眠の神経機構について説明できる。 7) 高次脳機能について説明できる。 																																																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>9/14</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>知覚</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>9/15</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>知覚</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>9/16</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>知覚</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>9/17</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>知覚</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>9/18</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>高次脳機能</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>9/18</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>高次脳機能</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>9/24</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>高次脳機能</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>9/24</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>高次脳機能</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>9/25</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>情動、本能、睡眠</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>28-30</td> <td>9/25</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>情動、本能、睡眠</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> <tr> <td>31-32</td> <td>12/18</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>泰羅 雅登</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	9/14	09:00-11:50	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登	4-6	9/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登	7-9	9/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登	10-12	9/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登	13-15	9/18	09:00-11:50	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登	16-18	9/18	12:50-15:40	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登	19-21	9/24	09:00-11:50	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登	22-24	9/24	12:50-15:40	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登	25-27	9/25	09:00-11:50	歯学科第1講義室	情動、本能、睡眠	泰羅 雅登	28-30	9/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	情動、本能、睡眠	泰羅 雅登	31-32	12/18	12:50-14:40	歯学科第1講義室	筆記試験	泰羅 雅登
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																								
1-3	9/14	09:00-11:50	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登																																																																								
4-6	9/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登																																																																								
7-9	9/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登																																																																								
10-12	9/17	12:50-15:40	歯学科第1講義室	知覚	泰羅 雅登																																																																								
13-15	9/18	09:00-11:50	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登																																																																								
16-18	9/18	12:50-15:40	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登																																																																								
19-21	9/24	09:00-11:50	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登																																																																								
22-24	9/24	12:50-15:40	歯学科第1講義室	高次脳機能	泰羅 雅登																																																																								
25-27	9/25	09:00-11:50	歯学科第1講義室	情動、本能、睡眠	泰羅 雅登																																																																								
28-30	9/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	情動、本能、睡眠	泰羅 雅登																																																																								
31-32	12/18	12:50-14:40	歯学科第1講義室	筆記試験	泰羅 雅登																																																																								
<p>成績評価の方法 ユニット終了後に筆記試験を行い包括的評価を行う。 尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。 不合格者には、原則として1回の追試験の機会を与える。 尚、追試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。</p>																																																																													
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数(筆記試験)のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 																																																																													
<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「標準生理学」医学書院(神経系に限らない一般的な生理学教科書) ・「基礎歯科生理学」医歯薬出版(口腔領域が詳細) ・「カールソン神経科学テキスト 脳と行動」丸善(病態も含めた神経科学の教科書) ・「ペアー コノーズ パラディーソ 神経科学」西村書店(神経科学の教科書) ・「カandel神経科学」メディカル・サイエンス・インターナショナル(神経科学の教科書) 																																																																													
<p>連絡先 masato.cnb@tmd.ac.jp</p>																																																																													
<p>オフィスアワー 随時(必ず事前に連絡のこと)</p>																																																																													

時間割番号	021016																																																																
科目名	生命維持のための生体機能																																																																
担当教員	泰羅 雅登																																																																
開講時期	後期	対象年次	2																																																														
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 24+3 授業形態: 講義 ユニット番号: 08																																																																	
授業の目的、概要等 人体生命維持システムの機能を修得する。																																																																	
授業の到達目標(SBOs) 1) 自律神経の構造と機能について説明できる。 2) 循環の機能について説明できる。 3) 呼吸の機能について説明できる。 4) 消化と吸収の機能について説明できる。 5) 体液、体温調節、代謝の機能について説明できる。 6) 排泄と体液調節の機能について説明できる。 7) 内分泌器官とホルモンの種類、機能について説明できる。 8) 生殖器官の構造と機能について説明できる。																																																																	
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>10/26</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>自律神経の構造と機能</td> <td>小島 久幸</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>11/2</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>循環の機能</td> <td>勝山 成美</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>11/4</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>呼吸の機能</td> <td>小島 久幸</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>11/6</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>消化と吸収の機能</td> <td>勝山 成美</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>11/9</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>体液、体温調節、代謝機能</td> <td>勝山 成美</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>11/11</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>排泄と体液調節機能</td> <td>勝山 成美</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>11/18</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>内分泌の機能</td> <td>小島 久幸</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>11/25</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>生殖の機能</td> <td>小島 久幸</td> </tr> <tr> <td>25-26</td> <td>2/23</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>小島 久幸, 勝山 成美</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	10/26	09:00-11:50	歯学科第1講義室	自律神経の構造と機能	小島 久幸	4-6	11/2	09:00-11:50	歯学科第1講義室	循環の機能	勝山 成美	7-9	11/4	12:50-15:40	歯学科第1講義室	呼吸の機能	小島 久幸	10-12	11/6	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化と吸収の機能	勝山 成美	13-15	11/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	体液、体温調節、代謝機能	勝山 成美	16-18	11/11	09:00-11:50	歯学科第1講義室	排泄と体液調節機能	勝山 成美	19-21	11/18	12:50-15:40	歯学科第1講義室	内分泌の機能	小島 久幸	22-24	11/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	生殖の機能	小島 久幸	25-26	2/23	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	小島 久幸, 勝山 成美
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																												
1-3	10/26	09:00-11:50	歯学科第1講義室	自律神経の構造と機能	小島 久幸																																																												
4-6	11/2	09:00-11:50	歯学科第1講義室	循環の機能	勝山 成美																																																												
7-9	11/4	12:50-15:40	歯学科第1講義室	呼吸の機能	小島 久幸																																																												
10-12	11/6	12:50-15:40	歯学科第1講義室	消化と吸収の機能	勝山 成美																																																												
13-15	11/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	体液、体温調節、代謝機能	勝山 成美																																																												
16-18	11/11	09:00-11:50	歯学科第1講義室	排泄と体液調節機能	勝山 成美																																																												
19-21	11/18	12:50-15:40	歯学科第1講義室	内分泌の機能	小島 久幸																																																												
22-24	11/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	生殖の機能	小島 久幸																																																												
25-26	2/23	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	小島 久幸, 勝山 成美																																																												
成績評価の方法 ユニットの最終講義時間に筆記試験を行ない、包括的評価を行なう。 尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。 不合格者には、原則として1回の追試験の機会を与える。 尚、追試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。																																																																	
試験の受験資格 ・全授業時間数(筆記試験を除く8回)のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																																	
参考書 ・「基礎歯科生理学」 医歯薬出版 (ユニット全体にわたって参照します) ・「標準生理学」 医学書院 (生理学全般の教科書) ・「生理学テキスト」 文光堂 (生理学全般の教科書)																																																																	
連絡先 masato.cnb@tmd.ac.jp																																																																	
オフィスアワー 随時(必ず事前に連絡のこと)																																																																	

時間割番号	021017				
科目名	人体解剖実習				
担当教員	柴田 俊一				
開講時期	前期	対象年次	2		
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 71+3(必要自習時間66時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 09					
授業の目的、概要等 修得した解剖学的、生理学的知識を、実際にご遺体に触れ、身体の内部構造を剖出する作業を通して、人体の正常な構造を肉眼的なレベルで三次元的に観察することにより、人体の構造の形態学的特徴と機能的特性を有機的に修得する。 実習を通して生命の尊厳に触れ、将来の歯科医師を目指す歯学生としての自覚を促し、倫理観の養成につとめるとともに、献体の意義についても考える。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 人体の体表に現れる形態的特徴を認識し、それらに直接触れることで内部構造を類推することができる。 2) 人体解剖によって剖出される人体の基本構造の解剖学的名称と相互の位置関係を述べることができる。 3) 人体を構成する諸器官の位置・形態・機能・内部構造、それらの神経、血管支配、相互のつながりについて、剖出結果をもとに述べる ことができる。 4) 主要な血管の枝・走行・支配領域について、剖出結果をもとに説明できる。 5) 主要な神経の枝・走行・神経叢・神経節・支配領域について、剖出結果をもとに説明できる。 6) 主要なリンパ管の枝・走行・支配領域、リンパ節の分布について、剖出結果をもとに説明できる。 7) 主要な筋の起始・停止・走行・支配神経について、剖出結果をもとに説明できる。 8) 主要な骨や関節の名称と機能について、剖出結果をもとに説明できる。 9) 基本的な解剖学的構造の変異を指摘することができる。 10) 実習中に会おう疑問点についてグループ内で自発的に調べ、説明することができる。 11) 強い精神力と柔軟性を身に付けて心のバランス 保ち、人体解剖にグループの一員として協調的に参加し、規律ある倫理的態度を保って意欲的に実習を遂行できる。 12) 生命の尊厳について考え、その重要について 自分の意見を述べる ことができる。 13) 人体解剖実習が献体により支えられていることを実感し、感謝の念と使命感を抱き、態度を律することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/10	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 1 頸胸の皮下	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器
4-6	4/13	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 2 頸の中層	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器
7-9	4/15	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 3 頸の中層	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
10-12	4/17	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 4 背の皮下、背の上肢筋	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
13-15	4/20	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 5 頭部のまとめ 脳硬膜	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
16-18	4/24	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 6 頭部の切断	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
19-21	4/27	09:00-11:50	解剖学実習室	解剖実習 7 胸の上肢筋 大腿伸側表層	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
22-24	4/28	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 8 腹・上肢の皮下 頸から腋窩 開胸	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
25-27	5/11	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 9 肺の解剖 大腿伸側 上腕屈側	柴田 俊一, 鹿野 俊一,

					田巻 玉器
28-30	5/14	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 10 縦隔 大腿伸側 腹壁 心臓	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
31-33	5/18	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 11 上肢切断 固有背筋 殿部 大腿屈側	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
34-36	5/21	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 12 前腕屈側 固有背筋 下腿屈側	柴田 俊一, 寺島 達夫 鹿野 俊一, 田巻 玉器
37-39	5/25	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 13 手掌 腹腔 胃・腸の血管 下腿伸側	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
40-42	5/28	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 14 前腕屈側 腹部内臓 下腿伸側	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
43-45	6/1	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 15 腹膜後器官 腹腔・胸腔の後壁	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
46-48	6/4	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 16 上腕伸側 体幹の神経・血管	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
49-51	6/8	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 17 肩甲骨側 脊髄と脊柱 下肢筋の停止	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
52-54	6/11	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 18 手・前腕伸側 足底 外陰部	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
55-57	6/15	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 19 上肢、下肢筋の起始・停止 骨盤腔	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
58-60	6/18	12:50-15:40	解剖学実習室	解剖実習 20 上肢、下肢の連結 骨盤内臓 股関節	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
61-63	7/13	09:00-11:50	歯学科第1講義室	頭頸部局所解剖 1 画像による頭頸部臨床解剖	倉林 亨
64-65	7/15	09:00-10:50	歯学科第2講義室	頭頸部局所解剖 2 口腔周囲の壁の構造	柴田 俊一
66-67	7/17	09:00-10:50	歯学科第1講義室	頭頸部局所解剖 3 頭頸部の筋間隙と連絡路	柴田 俊一
68-69	7/22	09:00-10:50	歯学科第1講義室	頭頸部局所解剖 4 頭頸部の脈管・神経	柴田 俊一
70-71	7/24	09:00-10:50	歯学科第1講義室	頭頸部局所解剖 5 顎関節の構造	柴田 俊一
72-73	9/8	09:00-10:50	歯学科第1講義室	試験 人体解剖実習試験	柴田 俊一

成績評価の方法

・解剖実習は解剖実習態度、口頭試問による形成的評価とともに、解剖実習終了時の筆記試験を行い、総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に配布する資料、実習書に必ず目を通しその日の実習の手順および観察する構造物をまとめておく事。

試験の受験資格

- ・人体解剖実習の4分の3以上出席していなければならない。
- ・毎回の実習に先立ち、実習の進め方と重要事項に対する講義を聴取しなければ、実習に参加できない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

グレイ解剖学／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳:エルゼビア・ジャパン, 2011

実習人体解剖図譜／浦 良治:南江堂, 2008

プロメテウス解剖学アトラス : 口腔・頭頸部／Eric W.Baker 著,坂井建雄, 天野修 監訳:医学書院, 2012

ネッター解剖学アトラス／Frank H. Netter 著,相磯貞和 訳:エルゼビア・ジャパン, 2011

グレイ解剖学アトラス／Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell, Richard M.Tibbitts, Paul E.Richardson 原著,塩田浩平 訳:エルゼビア・ジャパン, 2008

分担解剖学 (平沢 興他著) 第1巻・第2巻・第3巻 金原出版

解剖学講義 (伊藤隆・高野廣子著)南山堂

解剖実習の手引き (寺田春水・藤田恒夫著) 南山堂

人体解剖実習(浦 良治著) 南江堂
参考書 口腔解剖学／井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修.: 医歯薬出版, 2009 ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス／Neil S. Norton 著,前田健康 監訳.: 医歯薬出版, 2012 プロメテウス解剖学アトラス／Anne M.Gilroy, Jonas Broman, Anna Josephson [編],Michael Schunke, Erik Schulte, Udo Schumacher [著],坂井建雄 監訳,市村浩一郎, 澤井直 訳.: 医学書院, 2011
備考 人体解剖実習用具ならびに実習着等が必要となる。 (詳細については担当教員から指示ある予定) 担当教員の Office Hour 倉林 亨 教授 火・木 16:00-17:00 kura.oral@tmd.ac.jp 鹿野俊一 助教 随時(ただし必ず事前に連絡の事) shika.mfa@tmd.ac.jp 田巻玉器 助教 随時(ただし必ず事前に連絡の事) ttamaki.mfa@tmd.ac.jp
連絡先 sshibata.mfa@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時(必ず事前に連絡の事)M&D タワー6F 南側 顎顔面解剖教授室

時間割番号	021018																																																								
科目名	中枢神経系																																																								
担当教員	柴田 俊一																																																								
開講時期	後期	対象年次	2																																																						
<p>モジュール名: 人体の構造と機能</p> <p>ユニット名: 中枢神経系</p> <p>ユニット責任者: 柴田俊一</p> <p>コマ数(授業コマ数+試験コマ数): 20+3(必要自習時間10時間)</p> <p>授業形態: 講義・実習</p> <p>ユニット番号: 10</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等</p> <p>中枢神経系</p> <p>中枢神経系の構成を理解し、それらの構造と機能を修得する。</p> <p>脳解剖実習</p> <p>人体における脳の系統的観察法を修得し、これらの構造と機能について統合的に理解する。</p>																																																									
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>中枢神経系</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 中枢神経系の構成と基本機能を説明できる。 2) 脊髄の構造と機能を説明できる。 3) 脳幹の構造と機能を説明できる。 4) 脳と脳被膜の関係を説明できる。 5) 脳の外観と内部構造を、機能と関連づけて説明できる。 6) 脳の主な線維連絡と伝導路を説明できる。 7) 脳の血流と脳脊髄液の流れを説明できる。 <p>脳解剖実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 神経系の発生の知識を基に脳の区分を説明し、同定することができる。 2) 脳の基本構造を実際の脳において剖出・同定し、それらの解剖学的名称と相互の位置関係、機能について述べることができる。 3) 脳の主要な血管の走向とその支配領域を、剖出結果をもとに説明することができる。 4) 脳幹と脳神経を同定し、その構造と機能を説明することができる。 5) グループでの脳実習に協動的に参加することができる。 6) 脳と脊髄の内部構造を説明することができる。 																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>10/21</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系 1 脊髄、脳幹</td> <td>柴田 俊一</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/22</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系 2 小脳、大脳</td> <td>柴田 俊一</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>11/4</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系組織実習</td> <td>柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>10-11</td> <td>11/16</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系 3 神経回路</td> <td>柴田 俊一</td> </tr> <tr> <td>12-14</td> <td>12/7</td> <td>09:00-11:50</td> <td>解剖学実習室</td> <td>脳解剖実習 1</td> <td>鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>15-17</td> <td>12/9</td> <td>12:50-15:40</td> <td>解剖学実習室</td> <td>脳解剖実習 2</td> <td>柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>18-20</td> <td>12/11</td> <td>12:50-15:40</td> <td>解剖学実習室</td> <td>脳解剖実習 3</td> <td>柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>21-22</td> <td>2/26</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>中枢神経系 試験</td> <td>柴田 俊一</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	10/21	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 1 脊髄、脳幹	柴田 俊一	4-6	10/22	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 2 小脳、大脳	柴田 俊一	7-9	11/4	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系組織実習	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器	10-11	11/16	09:00-10:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 3 神経回路	柴田 俊一	12-14	12/7	09:00-11:50	解剖学実習室	脳解剖実習 1	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器	15-17	12/9	12:50-15:40	解剖学実習室	脳解剖実習 2	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器	18-20	12/11	12:50-15:40	解剖学実習室	脳解剖実習 3	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器	21-22	2/26	09:00-10:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 試験	柴田 俊一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1-3	10/21	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 1 脊髄、脳幹	柴田 俊一																																																				
4-6	10/22	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 2 小脳、大脳	柴田 俊一																																																				
7-9	11/4	09:00-11:50	歯学科第1講義室	中枢神経系組織実習	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器																																																				
10-11	11/16	09:00-10:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 3 神経回路	柴田 俊一																																																				
12-14	12/7	09:00-11:50	解剖学実習室	脳解剖実習 1	鹿野 俊一, 柴田 俊一, 田巻 玉器																																																				
15-17	12/9	12:50-15:40	解剖学実習室	脳解剖実習 2	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器																																																				
18-20	12/11	12:50-15:40	解剖学実習室	脳解剖実習 3	柴田 俊一, 鹿野 俊一, 田巻 玉器																																																				
21-22	2/26	09:00-10:50	歯学科第1講義室	中枢神経系 試験	柴田 俊一																																																				
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニット最終日に筆記試験を行い、包括的評価を行う。但し、筆記試験の中に実習試験を含むものとする。 ・脳解剖実習は口頭試問、レポート等で形成的評価をする。 																																																									
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>中枢神経系(脳実習を含む)の講義実習は短時間で実施されるため、脳(中枢神経系を含む)に関する簡単な概説書を読んでおくことによ</p>																																																									

り、中枢神経系の概要を理解しておくこと。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

分担解剖学 2／平沢 興他:金原出版, 1982

プロメテウス解剖学アトラス／Michael Schunke, Erik Schulte, Udo Schumacher [著],坂井建雄, 河田光博 監訳:医学書院, 2009

実習人体解剖図譜／浦良治:南江堂, 2008

解剖学講義／伊藤隆 原著:南山堂, 2012

図説中枢神経系／Rudolf Nieuwenhuys [ほか]著,水野昇 [ほか]訳:医学書院, 1991

参考書

最新カラー組織学／LP.ガートナー, J.L.ハイアット 著,石村和敬, 井上貴央 監訳:西村書店, 2003

備考

柴田俊一 教授 随時 (ただし必ず事前に連絡のこと) sshibata.mfa@tmd.ac.jp

鹿野俊一 助教 随時 (ただし必ず事前に連絡のこと) shika.mfa@tmd.ac.jp

田巻玉器 助教 随時 (ただし必ず事前に連絡のこと) ttamaki.mfa@tmd.ac.jp

連絡先

sshibata.mfa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡の事)M&D タワー6F 南側 顎顔面解剖教授室

時間割番号	021019																																																														
科目名	生理学実習																																																														
担当教員	泰羅 雅登																																																														
開講時期	後期	対象年次	2																																																												
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 24+3 (必要自習時間12時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 11																																																															
授業の目的、概要等 人体が正常に機能する「しくみ」を実験をとおして実体験し、得られたデータを正確な解釈のもとに組み立てて現象を論理的に修得する。																																																															
授業の到達目標(SBOs) 1) 神経が機能する現象を観測してそのメカニズムを解釈し説明できる。 2) 運動器官が機能する現象を観測してそのメカニズムを解釈し説明できる。 3) 味覚の特性についての実験をおこないそのメカニズムを解釈し説明できる。																																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>9/30</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>実験</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/1</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>データ整理</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>10/7</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>実験</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>10/8</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>データ整理</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>10/14</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>実験</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>10/15</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>データ整理</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>10/28</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>実験</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>10/29</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>データ整理</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>11/5</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>筆記試験</td> <td>泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	9/30	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子	4-6	10/1	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子	7-9	10/7	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子	10-12	10/8	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子	13-15	10/14	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子	16-18	10/15	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子	19-21	10/28	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子	22-24	10/29	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子	25-27	11/5	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	筆記試験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																										
1-3	9/30	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
4-6	10/1	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
7-9	10/7	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
10-12	10/8	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
13-15	10/14	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
16-18	10/15	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
19-21	10/28	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
22-24	10/29	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	データ整理	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
25-27	11/5	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	筆記試験	泰羅 雅登 小島 久幸, 勝山 成美 山下 晶子																																																										
授業方法 1) 神経の興奮と伝導 …………… 実験1回、データ整理1回 2) 咬合と咀嚼…………… 実験1回、データ整理1回 3) 誘発筋電図 (H波・M波) …… 実験1回、データ整理1回 4) 味覚…………… 実験1回、データ整理1回																																																															
成績評価の方法 ・実習項目毎のレポート(個人または班単位:実習項目による)と筆記試験による評価																																																															
準備学習などについての具体的な指示																																																															
試験の受験資格 ・実習期間中(試験日は含まない)は、毎回の開始時と終了時に出席をとる。																																																															

- ・全日出席は出席点を1とし、無断遅刻・早退の場合は0.5を減じる。
- ・合計の出席点が全出席点(8点:実習期間8日間、試験日は含まない)75%未満の者は筆記試験を受けることができない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

- ・特に定めなし。

連絡先

masato.cnb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡のこと)

時間割番号	021020				
科目名	口腔生理				
担当教員	泰羅 雅登				
開講時期	後期	対象年次	2		
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 9+2(必要自習時間5時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 12					
授業の目的、概要等					
口腔領域の感覚と運動にかかわる神経機構を理解する					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 口腔領域の体性感覚機能が説明できる。 2) 正常な咀嚼の神経制御機構について説明できる。 3) 正常な嚥下の神経制御機構について説明できる。 4) 唾液の分泌機構について説明できる。 5) 口腔領域の痛みについて説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	10/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	咀嚼と嚥下の神経機構	泰羅 雅登
4-6	10/14	09:00-11:50	歯学科第1講義室	口腔領域の体性感覚機能	泰羅 雅登
7-9	10/19	09:00-11:50	歯学科第1講義室	唾液分泌	勝山 成美
10-11	2/25	09:00-10:50	歯学科第1講義室	筆記試験	泰羅 雅登
成績評価の方法					
ユニットの最終講義時間に筆記試験を行い包括的評価を行う。 尚、この試験の合計得点が6割に達したものを合格とする。 不合格者には、原則として1回の追試験の機会を与える。 尚、追試験も合計得点が6割に達したものを合格とする。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
・全授業時間数(筆記試験)のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
参考書					
・「標準生理学」医学書院(神経系に限らない一般的な生理学教科書) ・「基礎歯科生理学」医歯薬出版(口腔領域が詳細) ・「生理学テキスト」文光堂(生理学全般の教科書)					
連絡先					
masato.cnb@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
随時(必ず事前に連絡のこと)					

時間割番号	021021																																																														
科目名	口腔組織・発生学																																																														
担当教員	田畑 純																																																														
開講時期	後期	対象年次	2																																																												
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 24+3 (必要自習時間12時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 13																																																															
主な講義場所 第1講義室																																																															
授業の目的、概要等 口腔組織・発生学では、組織学の総論と各論で学んだことを基本として、歯と歯周組織の組織構造およびそれらの発生の仕組みを学び、顎顔面の発達に伴う咀嚼器の発生と発達、経年的変化の過程を包括的に修得する。学習は講義を先行し、実習でその実際を観察して、理解を深めるものとする。																																																															
授業の到達目標(SB0s) 1) 歯と歯周組織の発生の仕組みを説明できる。 2) 歯胚の構成要素と役割を説明できる。 3) 歯の硬組織の構造と組成および形成機構の概要を説明できる。 4) 歯髄の特徴と役割、経年変化を説明できる。 5) 歯周組織の構造と機能を説明できる。 6) 歯の萌出と交換の仕組みを説明できる。 7) 歯牙歯肉境の構造と機能を説明できる。 8) 歯と歯周組織の脈管と神経の特徴、それらの経年変化を説明できる。																																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>9/28</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>口腔と歯の発生</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/2</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>エナメル質</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>10/5</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>象牙質と歯髄</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>10/19</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>口腔と歯の発生【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>10/21</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>エナメル質・象牙質・歯髄【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>10/30</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>セメント質と歯周組織</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>11/13</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>口腔粘膜・顎関節・加齢変化</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>11/20</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>セメント質・歯周組織・歯肉【実習】</td> <td>田畑 純</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>11/30</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>【試験】</td> <td>田畑 純</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	9/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔と歯の発生	田畑 純	4-6	10/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	エナメル質	田畑 純	7-9	10/5	12:50-15:40	歯学科第1講義室	象牙質と歯髄	田畑 純	10-12	10/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔と歯の発生【実習】	田畑 純	13-15	10/21	12:50-15:40	歯学科第1講義室	エナメル質・象牙質・歯髄【実習】	田畑 純	16-18	10/30	12:50-15:40	歯学科第1講義室	セメント質と歯周組織	田畑 純	19-21	11/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔粘膜・顎関節・加齢変化	田畑 純	22-24	11/20	12:50-15:40	歯学科第1講義室	セメント質・歯周組織・歯肉【実習】	田畑 純	25-27	11/30	09:00-11:50	歯学科第1講義室	【試験】	田畑 純
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																										
1-3	9/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔と歯の発生	田畑 純																																																										
4-6	10/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	エナメル質	田畑 純																																																										
7-9	10/5	12:50-15:40	歯学科第1講義室	象牙質と歯髄	田畑 純																																																										
10-12	10/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔と歯の発生【実習】	田畑 純																																																										
13-15	10/21	12:50-15:40	歯学科第1講義室	エナメル質・象牙質・歯髄【実習】	田畑 純																																																										
16-18	10/30	12:50-15:40	歯学科第1講義室	セメント質と歯周組織	田畑 純																																																										
19-21	11/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔粘膜・顎関節・加齢変化	田畑 純																																																										
22-24	11/20	12:50-15:40	歯学科第1講義室	セメント質・歯周組織・歯肉【実習】	田畑 純																																																										
25-27	11/30	09:00-11:50	歯学科第1講義室	【試験】	田畑 純																																																										
成績評価の方法 ・必要に応じて、小テストもしくは中間試験を行う。 ・組織実習の提出課題は、A～Eで判定をする。D以下の場合は、未提出扱いとする。 ・ユニット最終日に筆記試験を行う。筆記試験の中に実習試験も含めて行う。 ・最終判定は、試験、実習課題、出席等を総合し、100点満点の60点以上を合格とする。																																																															
準備学習などについての具体的な指示 口腔の組織は「歯」と「それ以外」に分けることができる。いずれも組織としては変わった成り立ちであったり、特徴のある構造であったりする。従って、ここまで学んだ組織学・解剖学の知識をベースにさらに踏み込んだ学習を行うことが必要になる。 組織学は基本的には細胞と組織の構造や機能を学ぶ。これを実際に観察して学習するのが、組織実習である。ヒトや動物を使った組織切片を顕微鏡で観察して組織スケッチを描画する。この作業は、目的の細胞や組織を見つけ出し、それをリアルにスケッチするというもので、講義の理解と物を見るスキル、絵を描くスキルが必要である。従って実習時間中に自分の理解不足や間違った理解に気づくことも多いはずで、こうした点を教科書等で調べたり、指導教員にたずねることで正しく理解できるようになる。従って、実習を軽視してはならない。有効な復習時間と位置づけるべきである。加えて正常組織の観察を前提に、病理観察や理解が成り立つのであり、将来の臨床スキルの基盤ともなるので、得るものは大きいはずである。																																																															

教科書は「口腔の発生と組織 第3版」を必携とし、配付プリントでこれを補う予定である。無論、不足を感じる事があれば、他の教科書・参考書なども購入し、各自の学習によって補って欲しい。

試験については、図説と記述を中心とする。いずれも単語などの丸覚えでは通用しない。組織や解剖の図説については、いかに簡略化した図を描けるかが重要である。また、記述の際にも重要なものを順番に記載できる能力が要求される。日頃から、ひとつひとつをきちんと理解する積み重ねが重要であり、のぞましい組織学の学習態度である。

以上、学生諸君は本科目を単なるひとつの科目として見るのではなく、他の科目にも広く関連する科目ということをよく理解し、積極的に取り組むことを強く望む。単なる暗記科目ではなく、なぜそうなるのか、なぜそういう細胞や構造があるのか、という踏み込んだ理解ができるようになれば、組織学の面白さに気づく第一歩であり、他の基礎科目・臨床科目にとどまらず、将来の基礎研究や臨床研究にもつながる道が開かれるはずである。

試験の受験資格

- ・全時間数のうち、講義は3分の2以上出席していなければならない。
- ・実習は全てに出席し、課題を全て提出していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

口腔の発生と組織／田畑 純：南山堂、2015

参考書

- ・「口腔組織・発生学」(脇田 稔ら編) 医歯薬出版
- ・「カラーエッセンシャル口腔組織・発生学」(J. Avery 著、高野吉郎 監訳) 西村書店
- ・「Ten Cate's Oral Histology」6th Ed. Antonio Nanci, Mosby
- ・「Oral Anatomy, Embryology and Histology」B. K. B. Berkovitz, G. R. Holland, B. J. Moxham, Mosby

備考

- ・顕微鏡観察実習ではスケッチを行うので、実習日には 12色程度の鉛筆セットを持参すること。
- ・スケッチ用紙として A4 普通紙を用意するが、A4ケント紙を持参してもいい。

連絡先

tabatamj.bss@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時 (メールでの事前連絡がのぞましいが必須ではない。なおメールでの質問等は受け付けない。)

時間割番号	021022					
科目名	医療と造形					
担当教員	三浦 宏之, 岡田 大蔵					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 42+0 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 14						
主な講義場所 美術解剖学講義: 第1講義室(7号館1階) 塑像製作実習: 2号館305室						
授業の目的、概要等 人の頭部顔面を観察し、立体構造と特徴を理解し、審美医療を行うための基本的技法を修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 人モデルを観察し、塑像制作の基本的操作を理解し、行うことができる。 2) 人体外部からの観察により、頭頸部の骨・筋肉の形態が理解できる。 3) 歯科領域における美的感覚の重要性を説明できる。 4) 人体解剖における芸術と医学の共通の時代背景を説明できる。 5) 芸術的視点からの人体の観察法を理解する。 6) 人体の頭部・顔面領域のサイズを計測し、分類・比較を行うことにより、人体の特徴を深く理解できる。 7) 骨の特徴から性差を説明できる。 8) 頭蓋骨から個人を特定する方法を説明できる。 9) 警察の身元調査に歯科が重要な所見を与えることが理解できる。 10) 歯の形態と人の顔貌の関連性を説明できる。 11) 顔貌が人に与える心理的影響を説明できる。 12) 歯の審美的な治療方法の概要を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	10/26	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(医療と造形の接点としての美術解剖学)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
4-6	10/26	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(課題説明、クロッキー)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
7-9	11/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(顔をどう見るか)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
10-12	11/9	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(心棒の制作、粘土練り、制作)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
13-15	11/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(頭蓋と顔)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
16-18	11/16	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(制作)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
19-21	11/30	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(表情と顔)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
22-24	11/30	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像製作実習(制作)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
25-27	12/7	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像製作実習(制作)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
28-30	12/14	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像製作実習(仕上げ)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
31-33	1/8	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯と顔貌(全体講義)	三浦 宏之	講義:SBOs 10-12
34-36	1/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	科学捜査と復顔(全体講義)	宮坂 祥夫	講義:SBOs 7-9
37-39	1/18	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(課題説明、クロッキー)	藤原 彩人	実習:SBOs 1-3

					角田 優	
40-42	1/18	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(医療と造形の接点としての美術解剖学)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
43-45	1/25	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(心棒の制作、粘土練り、制作)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
46-48	1/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(顔をどう見るか)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
49-51	2/1	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(制作)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
52-54	2/1	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(頭蓋と顔)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
55-57	2/8	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(制作)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
58-60	2/8	12:50-15:40	歯学科第1講義室	美術解剖学(表情と顔)	宮永 美知代	講義:SBOs 4-6
61-63	2/15	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像制作実習(制作)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3
64-66	2/22	12:50-15:40	305室 連携教育講義室	塑像製作実習(仕上げ)	藤原 彩人 角田 優	実習:SBOs 1-3

成績評価の方法

・講義出席状況、レポート内容および適宜、実習態度の評価、作品の評価を行い、総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・4分の3以上出席を必要とする。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

連絡先

三浦 宏之:h.miura.fpro@tmd.ac.jp

岡田 大蔵:d.okada.fpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三浦 宏之:水 10:30 ~ 12:00

岡田 大蔵:随時

時間割番号	021023																																																		
科目名	歯の解剖																																																		
担当教員	柴田 俊一																																																		
開講時期	後期	対象年次	2																																																
モジュール名: 人体の構造と機能 コマ数: 16+3 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 15																																																			
授業の目的、概要等 ヒトの乳歯と永久歯の正常形態を学び、歯の形態の特徴と機能の関係を修得し、臨床科目との関連性を理解する。 歯の英語用語を理解するとともに、自己能力を認識し振り返りを通じた自己研鑽に務める。																																																			
授業の到達目標(SBOs) 1) 乳歯と永久歯の名称と、個々の歯の形態的特徴を説明できる。 2) 歯を正しく鑑別できる。 3) 歯列と咬合について説明できる。 4) 永久歯の形態異常を説明できる 5) 歯の英語用語を使用できる。																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>10/9</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>前歯、犬歯の形態と鑑別</td> <td>田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/28</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>小臼歯の形態と鑑別</td> <td>柴田 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>11/11</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>上顎大臼歯の形態と鑑別</td> <td>柴田 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11/16</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>下顎大臼歯の形態と鑑別</td> <td>柴田 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>11-13</td> <td>11/19</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>乳歯の形態と鑑別</td> <td>柴田 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>14-16</td> <td>12/2</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯列および歯の異常</td> <td>柴田 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> <tr> <td>17-19</td> <td>12/18</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯の解剖学 試験</td> <td>柴田 俊一, 田巻 玉器</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	10/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	前歯、犬歯の形態と鑑別	田巻 玉器	4-6	10/28	09:00-11:50	歯学科第1講義室	小臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	7-9	11/11	12:50-15:40	歯学科第1講義室	上顎大臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	10	11/16	11:00-11:50	歯学科第1講義室	下顎大臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	11-13	11/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	乳歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器	14-16	12/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯列および歯の異常	柴田 俊一, 田巻 玉器	17-19	12/18	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯の解剖学 試験	柴田 俊一, 田巻 玉器
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																														
1-3	10/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	前歯、犬歯の形態と鑑別	田巻 玉器																																														
4-6	10/28	09:00-11:50	歯学科第1講義室	小臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器																																														
7-9	11/11	12:50-15:40	歯学科第1講義室	上顎大臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器																																														
10	11/16	11:00-11:50	歯学科第1講義室	下顎大臼歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器																																														
11-13	11/19	12:50-15:40	歯学科第1講義室	乳歯の形態と鑑別	柴田 俊一, 田巻 玉器																																														
14-16	12/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯列および歯の異常	柴田 俊一, 田巻 玉器																																														
17-19	12/18	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯の解剖学 試験	柴田 俊一, 田巻 玉器																																														
成績評価の方法 ・歯のスケッチ、レポートで形式的評価をするとともに、筆記試験、実習試験の結果をもとに包括的評価をする。																																																			
準備学習などについての具体的な指示 講義で対象になった歯の鑑別を次の講義までに出来るようにしておくこと。																																																			
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																			
教科書 歯の解剖学／藤田 恒太郎／原著、金原出版、1995																																																			
参考書 簡明歯の解剖学／三好作一郎 編著、医歯薬出版、1996 歯の解剖学入門／赤井三千男 編、医歯薬出版、1990																																																			
備考 担当教員の Office Hour 柴田俊一 教授 随時(ただし必ず事前に連絡の事) sshibata.mfa@tmd.ac.jp 田巻玉器 助教 随時(ただし必ず事前に連絡の事) ttamaki.mfa@tmd.ac.jp																																																			
連絡先 sshibata.mfa@tmd.ac.jp																																																			
オフィスアワー 随時(必ず事前に連絡の事) M&D タワー6F 南側 顎顔面解剖教授室																																																			

時間割番号	021024					
科目名	歯型彫刻					
担当教員	三浦 宏之, 吉田 恵一					
開講時期	前期	対象年次	3			
主な講義場所 補綴実習室(7号館3階)						
授業の目的、概要等 永久歯の歯冠の解剖学的形態を正確に理解し、歯冠形態を回復するための基本的技法を修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) ワックス棒を彫刻し、直線、曲線、点および面によって構成される種々の立体を造ることができる。 2) 解剖学的歯冠形態を描画できる。 3) ワックス棒を彫刻し、解剖学的歯冠形態を造ることができる。 4) 歯牙石膏半切模型にワックスを築盛し、歯冠形態を回復できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	6/12	09:00-11:50	補綴実習室	歯型彫刻 上顎右側中切歯近心側ワックス修復	田上 順次, 大槻 昌幸	実習:SBOs 1-4
4-6	6/19	09:00-11:50	補綴実習室	上顎右側第1大臼歯近心側ワックス修復	田上 順次, 大槻 昌幸	実習:SBOs 1-4
7-9	6/26	09:00-11:50	補綴実習室	上顎右側第1小臼歯近心側ワックス修復	田上 順次, 大槻 昌幸	実習:SBOs 1-4
10-12	7/3	09:00-11:50	補綴実習室	下顎右側第2大臼歯頬側ワックス修復	田上 順次, 大槻 昌幸	実習:SBOs 1-4
13-15	7/10	09:00-11:50	補綴実習室	上顎左側第1大臼歯スケッチ, ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 佐藤 佑介, 吉田 恵一, 吉田 隆義, 清水 正裕	実習:SBOs 1-4
16-18	7/17	09:00-11:50	補綴実習室	上顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 佐藤 佑介, 吉田 恵一, 吉田 隆義, 清水 正裕	実習:SBOs 1-4
19-21	7/24	09:00-11:50	補綴実習室	上顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 佐藤 佑介, 吉田 恵一, 吉田 隆義, 南 孝, 清水 正裕	実習:SBOs 1-4
22-24	9/18	09:00-11:50	補綴実習室	下顎左側第1大臼歯スケッチ, ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 佐藤 佑介, 吉田 恵一, 吉田 隆義, 南 孝, 清水 正裕	実習:SBOs 1-4
25-27	9/25	09:00-11:50	補綴実習室	下顎左側第1大臼歯ワックス歯型彫刻	三浦 宏之, 和達 重郎, 佐藤 佑介, 吉田 恵一, 吉田 隆義, 南 孝, 清水 正裕	実習:SBOs 1-4
成績評価の方法 ・実習への参加姿勢、提出された製作物による形成的評価を行い、別途行われる実技試験で包括的評価をする。						
準備学習などについての具体的な指示 事前に配布される指導書を熟読の上、臨むこと。また歯の解剖学など、歯冠、歯根形態に関連する講義に関して十分復習を行い、知識を整理しておくこと。						
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
モジュールの単位判定 ・実習への参加姿勢、提出された製作物による形成的評価を行い、別途行われる実技試験で包括的評価をする。						

参考書

・歯型彫刻実習は、実習の際に指導書が配布される。

連絡先

三浦 宏之 h.miura.fpro@tmd.ac.jp

吉田 恵一 k.yoshida.fpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三浦 宏之:水 10:30 ~ 12:00

吉田 恵一:月・水 16:30-17:30

時間割番号	021025				
科目名	患者と医療者				
担当教員	俣木 志朗, 礪波 健一				
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	3
コマ数: 45(5) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 3					
授業の目的、概要等					
将来、歯科医療、歯科医学にたずさわり社会に貢献するために、歯科医療に関わる基本的な知識、技能、態度を養う。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 行動科学基礎					
02 医の倫理					
03 インフォームドコンセント					
04 医療面接					
05 チーム医療					
06 医療安全と危機管理の基礎					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
俣木 志朗:mataki.diag@tmd.ac.jp					
礪波 健一:ken1.gend@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
俣木 志朗:水 16:00-18:00					
礪波 健一:毎週水曜日 16:00-18:00 10号館2階総合診療歯科学研究室					

時間割番号	021026				
科目名	行動科学基礎				
担当教員					
開講時期	通年	対象年次	2		
モジュール名:患者と医療者 コマ数:37(37+0) 授業形態:講義・演習・実習 ユニット番号:01					
主な講義場所 講義・演習は第1または第2講義室、ゼミ室等 体験学習は学外の医療施設もしくは福祉施設					
授業の目的、概要等 近年の科学の進歩により医療はますます専門特化している。その一方で専門的な知識・技術について、社会全体に翻訳説明し適合させることの重要性もまた高まっている。この医療の社会化を行うことは医療従事者に課せられた責務であるが、これを遂行するためには人間そのものに対する深い関心と社会的な洞察を行う姿勢が必要である。本授業では、学生諸君が将来医療者として人や社会とかかわり成長していくために必要な、こうした「構え」を体験し修得することを目的としている。授業は前期の体験学習参加のための演習、夏休み期間中に学外施設で行う体験学習、後期の体験学習の振り返りの演習から構成されるが、体験実習と振り返り演習を通して「人間観」を獲得し、さらに自己理解を深めることが諸君に求められる。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 他者と関わる中で、自分自身の中に起こってくる考えや感情とその変化を意識する。 2) 自分の中に起こってくる感情を、必要ときには言葉で表現する。 3) 必要に応じて、その感情を相手に伝える。 4) 相手の話を聴き、確かめ、相手をそのまま理解する体験する。 5) 人と互いに理解しあう、あるいは「人との出会い」の意味を体験的に理解する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	6/5	11:00-13:40	歯学科第1講義室	オリエンテーション	礪波 健一, 山田 梓, 各務 仁美, 中村 千賀子, 久田 登志子, 俣木 志朗
3-4	6/12	11:00-13:40	歯学科第2講義室	歯科医師と行動科学	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子
5-6	6/19	11:00-13:40	歯学科第1講義室	書き綴ることとフレクシオン	礪波 健一, 山田 梓, 各務 仁美, 中村 千賀子, 久田 登志子, 遠山 由美
7-8	7/15	11:00-13:40	歯学部演習室 第4ゼミナル室	他者理解とは	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子
9-10	7/17	11:00-13:40	歯学部演習室 第4ゼミナル室	障害者と社会	礪波 健一, 山田 梓, 各務 仁美, 中村 千賀子, 久田 登志子, 長瀬 修
11-12	7/22	11:00-13:40	歯学部演習室 第4ゼミナル室	知・情・意のダイナミクス	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子
13-14	7/24	11:00-13:40	歯学科第1講義室	体験学習準備	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子
15-17	10/2	09:00-11:50	歯学科第1講義室	体験学習振り返り	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子
18-20	10/23	09:00-11:50	歯学部演習室, 歯学科第1講義室, 第4ゼミナル室	体験学習振り返り	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子
21-22	10/30	10:00-11:50	歯学部演習室, 歯学科第1講義室, 第4ゼミナル室	訪問歯科診療	礪波 健一, 山田 梓, 各務 仁美, 中村 千賀子, 久田 登志子, 五島 朋幸
23-25	11/6	09:00-11:50	歯学部演習室, 歯学科第1講義室, 第4ゼミナル室	チーム医療	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美, 久田 登志子

26-28	11/13	09:00-11:50	歯学部演習室 歯学科第1講義室 第4ゼミナル室	よりそうこの意味	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美 久田 登志子
29-31	11/20	09:00-11:50	歯学部演習室 歯学科第1講義室 第4ゼミナル室	本学歯学部附属病院では	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美 久田 登志子
32-34	11/27	09:00-11:50	歯学部演習室 歯学科第1講義室 第4ゼミナル室	行動科学基礎から全人的医療へ	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美 久田 登志子
35-37	12/4	09:00-11:50	歯学科第1講義室	グループ発表・総括	礪波 健一, 山田 梓, 中村 千賀子, 各務 仁美 久田 登志子

成績評価の方法

授業の参加状況、レポートの提出状況、体験学習先での態度等を担当教員・指導者間で協議し、成績評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

- 1) 自分がなぜ歯科医師を志したのか、どんな歯科医師になりたいのか
 - 2) 医療従事者には「汝自身ヲ知ル」が必要とされるがそれは何故か
 - 3) 医療はサービス業に分類されるが、同じサービス業の小売業やレストラン、ホテルとどの点で異なるか、あるいは同じなのか
- 以上について、自分の考えを言葉で言えるように準備しておくこと

モジュールの単位判定

全授業時間の3分の2以上、体験実習の全出席、レポートの遅滞ない提出を単位認定の条件とする。特に体験実習は原則として欠席を認めず、病気などを理由に欠席する者は別日に補講を行う。また、大学の担当教員に無断で体験実習先を欠席・遅刻・早退・実習日程の変更を行ったものは即実習停止とし、単位を認めないこととする。

参考書

- 思索と経験をめぐって／森有正、講談社、1979
- 創造的に生きる—人格的成長への期待／小林 純一、金子書房、1986
- 失われた物語を求めて キッチン・テーブルの知恵／レイチェル・ナオミ・リーメン 著 藤本和子 編訳、埼玉県立熊谷点字図書館、2002
- 星子が居る：言葉なく語りかける重複障害の娘との20年／最首悟 著、世織書房、1998
- 学びの身体技法／佐藤学 著、太郎次郎社、1997
- 管理される心：感情が商品になるとき／A. R. ホックンールド 著、石川 准 訳、室伏 亜希 訳、世界思想社
- 死にざまの医学／永田勝太郎、NHK ブックス、2006
- パレント療法：全人的医療入門／永田勝太郎 編、医歯薬出版、1992
- 反哲学入門／木田元 著、新潮社、2010
- 「治らない」時代の医療者心得帳：カスガ先生の答えのない悩み相談室／春日 武彦 著、吉野 朔実 画、医学書院

履修上の注意事項

本授業は、ひとりひとりの学生諸君の積極的参加があって初めてクラス全体としての学習効果があがる。したがって、遅刻・欠席がないよう心掛けること。本授業の根幹は夏の体験学習にある。体験学習であるがゆえに、学生ひとりひとりの学習内容詳細の均一性は担保されない。むしろ、自己の体験を活かしかに成長するかは、各々の感性に依存するところが多い。諸君は己の置かれた場(学内での演習、学外での体験学習)に最大限の状況参加をすることが求められる。

時間割番号	021027																																																			
科目名	医の倫理																																																			
担当教員	俣木 志朗																																																			
開講時期	後期	対象年次	2																																																	
モジュール名:患者と医療者 コマ数:5+1 授業形態:講義 ユニット番号:02																																																				
授業の目的、概要等 将来、適切な歯科医療あるいは歯学研究を实践、遂行するために、医療・歯科医療および医学・歯学研究における倫理の重要性を理解する。																																																				
授業の到達目標(SBOs) 1) 医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 2) ヒポクラテスの誓いを説明できる。 3) ジュネーブ宣言を説明できる。 4) 生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 5) シドニー宣言を説明できる。 6) 患者の権利を説明できる。 7) リスボン宣言を説明できる。 8) 患者の自己決定権を説明できる。																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/28</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>倫理、道徳、法について</td> <td>ヒポクラテスの誓い</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/28</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>医の倫理、ヘルシンキ宣言等</td> <td>扶氏医戒之略</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/28</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>患者—医療者関係の歴史的変遷</td> <td></td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/30</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>患者の権利、</td> <td>リスボン宣言など</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/30</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>生と死に関わる倫理的問題</td> <td>シドニー宣言、脳死</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/5</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td></td> <td>俣木 志朗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	9/28	09:00-09:50	歯学科第1講義室	倫理、道徳、法について	ヒポクラテスの誓い	俣木 志朗	2	9/28	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医の倫理、ヘルシンキ宣言等	扶氏医戒之略	俣木 志朗	3	9/28	11:00-11:50	歯学科第1講義室	患者—医療者関係の歴史的変遷		俣木 志朗	4	9/30	09:00-09:50	歯学科第1講義室	患者の権利、	リスボン宣言など	俣木 志朗	5	9/30	10:00-10:50	歯学科第1講義室	生と死に関わる倫理的問題	シドニー宣言、脳死	俣木 志朗	6	10/5	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験		俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	9/28	09:00-09:50	歯学科第1講義室	倫理、道徳、法について	ヒポクラテスの誓い	俣木 志朗																																														
2	9/28	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医の倫理、ヘルシンキ宣言等	扶氏医戒之略	俣木 志朗																																														
3	9/28	11:00-11:50	歯学科第1講義室	患者—医療者関係の歴史的変遷		俣木 志朗																																														
4	9/30	09:00-09:50	歯学科第1講義室	患者の権利、	リスボン宣言など	俣木 志朗																																														
5	9/30	10:00-10:50	歯学科第1講義室	生と死に関わる倫理的問題	シドニー宣言、脳死	俣木 志朗																																														
6	10/5	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験		俣木 志朗																																														
成績評価の方法 ・筆記試験とレポートにより評価を行う。																																																				
準備学習などについての具体的な指示 参考書を読んでおくこと。																																																				
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																				
参考書 胡蝶の夢／司馬遼太郎 著.:新潮社, 1983 医療の倫理／星野一正／著.:岩波書店, 1992																																																				
連絡先 mataki.diag@tmd.ac.jp																																																				
オフィスアワー 水 16:00-18:00																																																				

時間割番号	021028																																																			
科目名	インフォームドコンセント																																																			
担当教員	俣木 志朗																																																			
開講時期	後期	対象年次	2																																																	
モジュール名:患者と医療者 コマ数:5+1 授業形態:講義 ユニット番号:03																																																				
授業の目的、概要等 将来、患者本位の歯科医療を実践するために、インフォームドコンセントに関する基礎的な知識、技能、態度を修得する。																																																				
授業の到達目標(SBOs) 1)インフォームドコンセントの定義と重要性を説明できる。 2)インフォームドコンセントの歴史的経過を説明できる。 3)インフォームドチョイスを説明できる。 4)ヘルシンキ宣言を説明できる。 5)インフォームドコンセントの問題点を説明できる。 6)患者の自己決定権を説明できる。 7)患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 8)インフォームドコンセントについて、患者さんに解りやすい言葉で説明できる。																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/5</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>インフォームドコンセントについて(1)</td> <td>実習:ダックスの場合</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/5</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>インフォームドコンセントについて(2)</td> <td>実習:ダックスの場合</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/7</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯科医療におけるインフォームドコンセント</td> <td>グループ討議</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/7</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>インフォームドコンセントの実際</td> <td>グループ討議</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/7</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>インフォームドコンセントの問題点</td> <td>発表</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/30</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td></td> <td>俣木 志朗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/5	10:00-10:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントについて(1)	実習:ダックスの場合	俣木 志朗	2	10/5	11:00-11:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントについて(2)	実習:ダックスの場合	俣木 志朗	3	10/7	09:00-09:50	歯学科第1講義室	歯科医療におけるインフォームドコンセント	グループ討議	俣木 志朗	4	10/7	10:00-10:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントの実際	グループ討議	俣木 志朗	5	10/7	11:00-11:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントの問題点	発表	俣木 志朗	6	10/30	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験		俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																														
1	10/5	10:00-10:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントについて(1)	実習:ダックスの場合	俣木 志朗																																														
2	10/5	11:00-11:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントについて(2)	実習:ダックスの場合	俣木 志朗																																														
3	10/7	09:00-09:50	歯学科第1講義室	歯科医療におけるインフォームドコンセント	グループ討議	俣木 志朗																																														
4	10/7	10:00-10:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントの実際	グループ討議	俣木 志朗																																														
5	10/7	11:00-11:50	歯学科第1講義室	インフォームドコンセントの問題点	発表	俣木 志朗																																														
6	10/30	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験		俣木 志朗																																														
成績評価の方法 ・筆記試験とレポートにより評価を行う。																																																				
準備学習などについての具体的な指示 参考書を読んでおくこと。																																																				
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																				
参考書 インフォームド・コンセント：医療現場における説明と同意／水野肇／著：中央公論社，1993 インフォームド・コンセント／森岡恭彦 著：日本放送出版協会，1994 胡蝶の夢／司馬遼太郎 著：新潮社，1983 医療の倫理／星野一正／著：岩波書店，1992																																																				
連絡先 mataki.diag@tmd.ac.jp																																																				
オフィスアワー 水 16:00-18:00																																																				

時間割番号	021029																																																																																																								
科目名	医療面接																																																																																																								
担当教員	俣木 志朗																																																																																																								
開講時期	後期	対象年次	2																																																																																																						
モジュール名:患者と医療者 コマ数:15+1 授業形態:講義 ユニット番号:04																																																																																																									
授業の目的、概要等 患者との信頼関係を築くために、コミュニケーション、医療面接に関する基本的知識、技能、態度を修得する。																																																																																																									
授業の到達目標(SB0s) 1)患者との信頼関係の構築に必要な要素を列挙できる。 2)信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 3)コミュニケーションの目的と技法を概説できる。 4)医療面接の役割を説明できる。 5)言語的、非言語的、準言語的コミュニケーションを説明できる。 6)言語的、非言語的、準言語的コミュニケーションを使い分けることができる。 7)患者の心理状態や社会的背景に配慮できる。 8)基本的質問法を説明できる。 9)医療面接に先立ち、身だしなみを整えることができる 10)歯科医学生にふさわしい言葉遣いができる。																																																																																																									
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1/6</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>医療面接とは</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1/6</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>医療におけるコミュニケーション</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1/6</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>コミュニケーションの基本</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1/13</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>コミュニケーション技法</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1/13</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>効果的な質問法</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/13</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>正しい敬語の使い方</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1/18</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>シナリオ作成</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>1/18</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>ロールプレイ(1)</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1/18</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>ロールプレイ(2)</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>1/20</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>模擬患者実習(1)</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/20</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>模擬患者実習(2)</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1/20</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>模擬患者実習(3)</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/25</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>模擬患者実習の振り返り(1)</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/25</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>模擬患者実習の振り返り(2)</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>1/25</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>医療面接のまとめ</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>2/1</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	1/6	09:00-09:50	歯学科第1講義室	医療面接とは	俣木 志朗	2	1/6	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医療におけるコミュニケーション	俣木 志朗	3	1/6	11:00-11:50	歯学科第1講義室	コミュニケーションの基本	俣木 志朗	4	1/13	09:00-09:50	歯学科第1講義室	コミュニケーション技法	俣木 志朗	5	1/13	10:00-10:50	歯学科第1講義室	効果的な質問法	俣木 志朗	6	1/13	11:00-11:50	歯学科第1講義室	正しい敬語の使い方	俣木 志朗	7	1/18	09:00-09:50	歯学科第1講義室	シナリオ作成	俣木 志朗	8	1/18	10:00-10:50	歯学科第1講義室	ロールプレイ(1)	俣木 志朗	9	1/18	11:00-11:50	歯学科第1講義室	ロールプレイ(2)	俣木 志朗	10	1/20	09:00-09:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(1)	俣木 志朗	11	1/20	10:00-10:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(2)	俣木 志朗	12	1/20	11:00-11:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(3)	俣木 志朗	13	1/25	09:00-09:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習の振り返り(1)	俣木 志朗	14	1/25	10:00-10:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習の振り返り(2)	俣木 志朗	15	1/25	11:00-11:50	歯学科第1講義室	医療面接のまとめ	俣木 志朗	16	2/1	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																				
1	1/6	09:00-09:50	歯学科第1講義室	医療面接とは	俣木 志朗																																																																																																				
2	1/6	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医療におけるコミュニケーション	俣木 志朗																																																																																																				
3	1/6	11:00-11:50	歯学科第1講義室	コミュニケーションの基本	俣木 志朗																																																																																																				
4	1/13	09:00-09:50	歯学科第1講義室	コミュニケーション技法	俣木 志朗																																																																																																				
5	1/13	10:00-10:50	歯学科第1講義室	効果的な質問法	俣木 志朗																																																																																																				
6	1/13	11:00-11:50	歯学科第1講義室	正しい敬語の使い方	俣木 志朗																																																																																																				
7	1/18	09:00-09:50	歯学科第1講義室	シナリオ作成	俣木 志朗																																																																																																				
8	1/18	10:00-10:50	歯学科第1講義室	ロールプレイ(1)	俣木 志朗																																																																																																				
9	1/18	11:00-11:50	歯学科第1講義室	ロールプレイ(2)	俣木 志朗																																																																																																				
10	1/20	09:00-09:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(1)	俣木 志朗																																																																																																				
11	1/20	10:00-10:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(2)	俣木 志朗																																																																																																				
12	1/20	11:00-11:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習(3)	俣木 志朗																																																																																																				
13	1/25	09:00-09:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習の振り返り(1)	俣木 志朗																																																																																																				
14	1/25	10:00-10:50	歯学科第1講義室	模擬患者実習の振り返り(2)	俣木 志朗																																																																																																				
15	1/25	11:00-11:50	歯学科第1講義室	医療面接のまとめ	俣木 志朗																																																																																																				
16	2/1	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	俣木 志朗																																																																																																				
成績評価の方法 ・筆記試験とレポートにより評価を行う。																																																																																																									
準備学習などについての具体的な指示 ・参考書を読んでおくこと																																																																																																									
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																																																																									
教科書 参考書を読んでおくこと。																																																																																																									

参考書

メディカルインタビュー：三つの機能モデルによるアプローチ／Steven A.Cole, Julian Bird [著], 飯島克巳, 佐々木将人 訳: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2003

でんたるこみゆにけーしょん：歯科医療面接総論／山田隆文 著,: 学建書院, 2002

連絡先

mataki.diag@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水 16:00-18:00

時間割番号	021030																																												
科目名	チーム医療																																												
担当教員	俣木 志朗																																												
開講時期	後期	対象年次	2																																										
モジュール名:患者と医療者 コマ数:5+1 授業形態:講義 ユニット番号:05																																													
授業の目的、概要等 将来歯科医師として社会に貢献するために、社会における歯科医療とその重要性を理解し、医療が組織として実践されることを学ぶ。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1)保健・医療・福祉の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。 2)歯科医師に関する法律を概説できる。 3)歯科医師の法的義務を説明できる。 4)医療チームのメンバーの役割と連携を説明できる。 5)高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 6)ノーマライゼーションの考え方を説明できる。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2/1</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>チーム医療とは</td> <td>俣木 志朗 岩上 好伸</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2/1</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯科診療所におけるチーム医療の実際(1)</td> <td>俣木 志朗 岩上 好伸</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2/8</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯科診療所におけるチーム医療の実際(2)</td> <td>俣木 志朗 岩上 好伸</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2/8</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>大学病院におけるチーム医療の実際</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>2/8</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯科におけるチーム医療</td> <td>遠藤 圭子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2/15</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td>俣木 志朗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	2/1	10:00-10:50	歯学科第1講義室	チーム医療とは	俣木 志朗 岩上 好伸	2	2/1	11:00-11:50	歯学科第1講義室	歯科診療所におけるチーム医療の実際(1)	俣木 志朗 岩上 好伸	3	2/8	09:00-09:50	歯学科第1講義室	歯科診療所におけるチーム医療の実際(2)	俣木 志朗 岩上 好伸	4	2/8	10:00-10:50	歯学科第1講義室	大学病院におけるチーム医療の実際	鈴木 聖一	5	2/8	11:00-11:50	歯学科第1講義室	歯科におけるチーム医療	遠藤 圭子	6	2/15	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																								
1	2/1	10:00-10:50	歯学科第1講義室	チーム医療とは	俣木 志朗 岩上 好伸																																								
2	2/1	11:00-11:50	歯学科第1講義室	歯科診療所におけるチーム医療の実際(1)	俣木 志朗 岩上 好伸																																								
3	2/8	09:00-09:50	歯学科第1講義室	歯科診療所におけるチーム医療の実際(2)	俣木 志朗 岩上 好伸																																								
4	2/8	10:00-10:50	歯学科第1講義室	大学病院におけるチーム医療の実際	鈴木 聖一																																								
5	2/8	11:00-11:50	歯学科第1講義室	歯科におけるチーム医療	遠藤 圭子																																								
6	2/15	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	俣木 志朗																																								
成績評価の方法 ・筆記試験とレポートにより評価を行う。																																													
準備学習などについての具体的な指示 参考書等で予習しておくこと。																																													
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
参考書 スタンダード社会歯科学／石井拓男, 岡田真人, 尾崎哲則, 平田幸夫 編:学建書院, 2010																																													
連絡先 mataki.diag@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 水 16:00-18:00																																													

時間割番号	021031					
科目名	医療安全と危機管理の基礎					
担当教員	宮本 智行, 俣木 志朗					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名:患者と医療者 コマ数:5+1 授業形態:講義・実習 ユニット番号:06						
主な講義場所						
第1講義室						
授業の目的、概要等						
医療上の事故等(インシデント、医療過誤等を含む)は日常的に起こり得ることを認識し、将来安全で信頼される歯科医療を実践するために、歯科医療における安全性への配慮と危機管理に関する基本的な知識、考え方を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科医療における事故の特異性を説明できる。 2) 医療事故はどのような状況で起こりやすいかを説明できる。 3) 医療事故防止のためのリスク管理を説明できる。 4) 基本的予防策(チェックリスト、フェイルセーフ等)の必要性を説明できる。 5) 医療機関における安全管理体制を概説できる。 6) 医療事故とニアミス、医療事故と医療過誤の違いを説明できる。 7) 医療上の事故等(医療事故やニアミス等)の事例の原因を分析し、防止対策を説明できる。 8) 医療上の事故等を防止するには、組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。 9) 医療上の事故等(医療事故やニアミス等)の可能性とその対応を説明できる。 10) 医療安全に関連した法律・規則の基本的事項を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	2/15	10:00-10:50	歯学科第1講義室	医療事故はなぜ起こる	俣木 志朗 宮本 智行	講義: SBOs1,2
2	2/15	11:00-11:50	歯学科第1講義室	医療事故防止対策	俣木 志朗 宮本 智行	講義: SBOs3
3	2/18	12:50-13:40	歯学科第1講義室	フェイルセーフ・フールプルーフ	俣木 志朗 宮本 智行	講義: SBOs4
4	2/18	13:50-14:40	歯学科第1講義室	リスク管理	俣木 志朗 宮本 智行	グループ: SBOs3-10
5	2/18	14:50-15:40	歯学科第1講義室	医療機関における安全管理対策	俣木 志朗 宮本 智行	全体発表: SBOs3-10
6	2/22	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	俣木 志朗 宮本 智行	
成績評価の方法						
・筆記試験とレポートにより評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
・家庭用電化製品や自動車などで、事故が起きないような工夫、事故が起きても被害を最小限にする工夫がなされているものを探してみる。						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
医療事故：なぜ起こるのか、どうすれば防げるのか／山内桂子, 山内隆久 著, 朝日新聞社, 2005 人は誰でも間違える：より安全な医療システムを目指して／L.コーン, J.コリガン, M.ドナルドソン 編, 米国医療の質委員会, 医学研究所 著, 医学ジャーナリスト協会 訳, 日本評論社, 2000 一から学ぶ歯科医療安全管理／海野雅浩, 小谷順一郎, 渋井尚武, 森崎市治郎 編, 医歯薬出版, 2005						

Patient Safety Curriculum Guide:WHO, 2011

医療安全ことはじめ／中島和江, 児玉安司 編:医学書院, 2010

スタンダード全身管理・歯科麻酔学／小谷順一郎 編:学建書院, 2014

参照ホームページ

公益財団法人日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業. <http://www.med-safe.jp/index.html>

連絡先

宮本 智行:to-miyamo.anph@tmd.ac.jp

俣木 志朗:mataki.diag@tmd.ac.jp

オフィスアワー

宮本 智行火 17:00-18:00

俣木 志朗水 16:00-18:00

時間割番号	021032				
科目名	社会と環境				
担当教員	川口 陽子, 佐々木 好幸				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1
主な講義場所 各ユニットの講義場所を参照のこと					
授業の目的、概要等 各ユニットの目的、概要等を参照のこと					
授業の到達目標(SBOs) 各ユニットの到達目標を参照のこと					
成績評価の方法 各ユニットを参照のこと					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格 各ユニットの受験資格を参照のこと					
構成ユニット 01 ライフスタイルと健康 講義 02 環境・社会と健康 講義・演習 03 食生活と健康 講義					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 川口 陽子:yoko.ohp@tmd.ac.jp 佐々木 好幸:sasaki.prev@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 川口 陽子:火・水 16:00-18:00 歯科棟北 10 階 健康推進歯学分野教授室 佐々木 好幸:毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00					

時間割番号	021033																																						
科目名	環境・社会と健康																																						
担当教員	佐々木 好幸																																						
開講時期	後期	対象年次	2																																				
モジュール名:社会と環境 コマ数:13(12+1)(必要自習時間5時間) 授業形態:講義・演習 ユニット番号:01																																							
授業の目的、概要等 健康と社会制度や環境との関連を理解し、人々の健康の維持・増進を支援できる歯科医師となるために必要な知識、技能、態度を修得する。																																							
授業の到達目標(SBOs) 1)健康の概念を説明できる。 2)環境による健康への影響を説明できる。 3)環境基準と環境汚染を説明できる。 4)主な保健医療統計を説明できる。 5)主な健康指標を説明できる。 6)調査方法と統計的分析法を説明できる。 7)疫学とEBMの概念を説明できる。 8)スクリーニング検査を説明できる。																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>11/18</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>衛生の主要指標、人口問題、生命表</td> <td>佐々木 好幸</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>11/25</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>疾病・異常の発生要因、疫学</td> <td>佐々木 好幸</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>12/2</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>環境保健</td> <td>佐々木 好幸</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>12/9</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>廃棄物、食品衛生、感染対策</td> <td>佐々木 好幸</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>2/22</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>試験</td> <td>佐々木 好幸</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	11/18	09:00-11:50	歯学科第1講義室	衛生の主要指標、人口問題、生命表	佐々木 好幸	4-6	11/25	09:00-11:50	歯学科第1講義室	疾病・異常の発生要因、疫学	佐々木 好幸	7-9	12/2	09:00-11:50	歯学科第1講義室	環境保健	佐々木 好幸	10-12	12/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	廃棄物、食品衛生、感染対策	佐々木 好幸	13	2/22	11:00-11:50	歯学科第1講義室	試験	佐々木 好幸
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																		
1-3	11/18	09:00-11:50	歯学科第1講義室	衛生の主要指標、人口問題、生命表	佐々木 好幸																																		
4-6	11/25	09:00-11:50	歯学科第1講義室	疾病・異常の発生要因、疫学	佐々木 好幸																																		
7-9	12/2	09:00-11:50	歯学科第1講義室	環境保健	佐々木 好幸																																		
10-12	12/9	09:00-11:50	歯学科第1講義室	廃棄物、食品衛生、感染対策	佐々木 好幸																																		
13	2/22	11:00-11:50	歯学科第1講義室	試験	佐々木 好幸																																		
成績評価の方法 ・筆記試験を総括的評価とする。																																							
準備学習などについての具体的な指示 シラバスに沿った内容を参考書で予習しておくこと。 配布プリントの記載内容のすべてを講義できないため復習が必要である。																																							
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																							
参考書 衛生学・公衆衛生学／宮武光吉、渡邊達夫、雫石聰、川口陽子 編:医歯薬出版、2008 歯科国試必修 KEY WORDS TOPICS／DES 歯学教育スクール 編集岸光男 著:医学評論社、2013 図説国民衛生の動向／厚生労働統計協会／編集:厚生労働統計協会、2013 ・国民衛生の動向、厚生統計協会																																							
履修上の注意事項 ・各コマの開始時刻までに出席管理システムに学生証を読ませること。(読ませた時刻により出席・遅刻・欠席の判定をする) ・講義の途中で無断退出した者は欠席とする。																																							
連絡先 sasaki.prev@tmd.ac.jp																																							
オフィスアワー 毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00																																							

時間割番号	021034				
科目名	ライフスタイルと健康				
担当教員	川口 陽子				
開講時期	後期	対象年次	2		
主な講義場所					
第1講義室					
授業の目的、概要等					
健康とライフスタイル・生活習慣との関連を理解し、人々の健康の維持・増進を支援できる歯科医師となるために必要な知識、技能、態度を習得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1)健康の概念を説明できる。 2)口腔と全身の健康との関連を説明できる。 3)疾病の概念、種類および予防を概説できる。 4)健康日本 21 を説明できる。 5)第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 6)プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 7)プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 8)主な保健医療統計を説明できる。 9)主な健康指標を説明できる。 10)国際保健医療活動を説明できる。 11)大災害時の歯科保健医療を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	2/3	09:00-11:50	歯学科第1講義室	健康の定義、健康・疾病・障害の概念、ライフスタイルと健康、口腔保健法、第1,2,3次予防、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ、ヘルスプロモーションとプライマリヘルスケア	川口 陽子
4-5	2/9	09:00-10:50	歯学科第1講義室	歯科医師の任務、保健指導と健康教育、健康行動と健康行動理論、健康日本 21、健康日本 21(第2次)、健康増進法、ヘルスリテラシー	植野 正之
6	2/9	11:00-11:50	歯学科第1講義室	宇宙と南極における口腔保健管理	財津 崇
7-9	2/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	WHOの健康戦略、国際保健、健康観と健康指標、QOL、口腔と全身の健康、大災害時の保健医療、保健医療統計からみた国民の健康状態の変化、社会制度と健康の関連	川口 陽子
10	2/24	09:00-09:50	歯学科第1講義室	試験	川口 陽子
成績評価の方法					
・2月24日の筆記試験(9割)とレポート(1割)を総合的評価とする。					
準備学習などについての具体的な指示					
健康は社会制度、環境、生活習慣、栄養など多くの要因と密接に関連している。自然科学のみならず、社会科学や人文科学など他分野にわたる知識を得るための準備学習が必要である。					
試験の受験資格					
・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
構成ユニット					
01 ライフスタイルと健康 講義					
02 環境・社会と健康 講義・演習					
03 食生活と健康 講義					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					

参考書

衛生学・公衆衛生学／宮武光吉, 渡邊達夫, 雫石聰, 川口陽子 編. 医歯薬出版, 2008

The Strategy of preventive medicine／Geoffrey Rose, :Oxford University Press, 1994

連絡先

yoko.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火・水 16:00-18:00 歯科棟北10階 健康推進歯学分野教授室

時間割番号	021035					
科目名	食生活と健康					
担当教員	品田 佳世子					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名: 社会と環境 コマ数: 9+1 (必要自習時間 2 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 03						
主な講義場所						
歯学科 第1 講義室						
授業の目的、概要等						
健康づくりの基本となる栄養・食生活を理解し、口腔の健康との関連を概説できる。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 日本人の栄養・食生活の現状を説明できる。 2) 栄養・食生活の診断・評価法を説明できる。 3) 基礎疾患を有する患者の臨床栄養について説明できる。 4) 口腔の健康と栄養・食生活との関連を説明できる。 5) 栄養・食生活の改善方法を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	1/15	09:00-11:50	歯学科第1 講義室	日本人の栄養・食生活の現状と課題	食育、国民健康栄養調査、食事摂取基準、食事バランスガイド、食生活指針	品田 佳世子
4-6	1/22	09:00-11:50	歯学科第1 講義室	栄養アセスメント・食形態・臨床栄養	入院患者の栄養アセスメント、栄養補助食品等	豊島 瑞枝
7-9	2/12	09:00-11:50	歯学科第1 講義室	口腔と栄養、食生活との関連について	食育と歯科・口腔保健との関わり、ライフステージにおける歯科保健と食生活、代用甘味料、う蝕と関連する疫学研究	品田 佳世子
10	2/24	11:00-11:50	歯学科第1 講義室	試験	講義内容について	品田 佳世子
成績評価の方法						
・レポート(1 割)および筆記試験(9 割)を総合的評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
食事バランスガイドについて、1 年次(教養科目)の講義を復習しておく。						
試験の受験資格						
・3 分の 2 以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
食品成分表／香川 芳子／監修: 女子栄養大学出版部, 2014 口腔保健推進ハンドブック: 地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井 稜博, 池主 憲夫, 川口 陽子, 米山 武義 編: 医歯薬出版, 2009						
履修上の注意事項						
・課題を出しますので、自学自習し、期限までに提出してください。						
備考						
担当教員(3時間): 豊島瑞枝 東京医科歯科大学歯学部附属病院 管理栄養士						
参照ホームページ						
厚生労働省ホームページ 国民健康・栄養調査結果の概要 農林水産省ホームページ 食育、食事バランスガイド等						
連絡先						
shinada.pvoh@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時						

時間割番号	021036				
科目名	生命の分子的基盤				
担当教員	中濱 健一, 篠村 多摩之				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	5
コマ数:105+4 授業形態:講義・演習・実習 モジュール番号:05					
主な講義場所					
第1講義室					
授業の目的、概要等					
生命現象の物質的基盤を細胞という生命単位を中心に理解する。生命を構成する分子とその代謝を理解し、各種疾患の分子的基盤を理解する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 生命を構成する分子とその代謝					
02 遺伝の分子的基盤					
03 細胞機能の分子的基盤					
04 疾患の分子的基盤					
05 生命の分子的基盤実習					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
教科書					
生化学・分子生物学／William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著],清水孝雄, 工藤一郎 訳:東京化学同人, 2007					
参考書					
(全ユニット共通)					
・「エリオット 生化学・分子生物学、第3版」エリオットら(東京化学同人)					
・「カープ 分子細胞生物学」カープら(東京化学同人)					
・「ストライヤー 生化学」L Stryer ら(東京化学同人)					
連絡先					
中濱 健一:nakacell@tmd.ac.jp					
篠村 多摩之:t.shinomura.trg@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
中濱 健一:毎週 水・木曜日 17:00 以降 M&D タワー6階 分子細胞機能学准教授室 (N-609)					
篠村 多摩之:月・水・金 16:00 - 18:00 M&D タワー7階(北側) 結合組織再生学分野					

時間割番号	021037					
科目名	生命を構成する分子とその代謝					
担当教員	中濱 健一					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名:生命の分子的基盤 コマ数:27+1 授業形態:講義・演習 ユニット番号:01						
主な講義場所 第1講義室						
授業の目的、概要等 生命を構成する分子とその代謝を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 生命と物質の関係-概説。 2) 生化学を理解する上で必要な知識を説明できる。 3) タンパク質の構造と生物学的機能の関係について酵素を例として理解し、説明できる。 4) 糖代謝とエネルギー生成の仕組みを説明できる。 5) 脂質代謝の仕組みを説明できる。 6) アミノ酸、核酸の代謝の仕組みを説明できる。 7) 物質代謝の制御による生体機能の調節について説明できる。 8) 生命を構成する分子の代謝について討論をおこない、また質問に答えることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	11/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	生命の物質的基盤概説	中濱 健一, 篠原 正浩	講義:SBOs1、4~6時限目 連続の3コマの授業
4-6	12/1	12:50-15:40	歯学科第1講義室	基礎生化学演習	中濱 健一, 篠原 正浩	演習:SBOs2、4~6時限目 連続の3コマの授業
7-9	12/4	12:50-15:40	歯学科第1講義室	タンパク質の構造と機能	中濱 健一	講義:SBOs3、4~6時限目 連続の3コマの授業
10-12	12/8	12:50-15:40	歯学科第1講義室	酵素	中濱 健一	講義:SBOs3、4~6時限目 連続の3コマの授業
13-15	12/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	糖代謝とエネルギーの生成	中濱 健一	講義:SBOs4、1~3時限目 連続の3コマの授業
16-18	12/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	脂質代謝	中濱 健一	講義:SBOs5、4~6時限目 連続の3コマの授業
19-21	1/12	12:50-15:40	歯学科第1講義室	アミノ酸、核酸の代謝	田中 裕二郎	講義:SBOs6、4~6時限目 連続の3コマの授業
22-24	1/20	12:50-15:40	歯学科第1講義室	物質代謝の制御による生体機能の調節	中濱 健一	講義:SBOs7、1~3時限目 連続の3コマの授業
25-27	1/22	12:50-15:40	歯学科第1講義室	代謝の総合演習及び実習講義	中濱 健一, 中島 友紀 井上 カタジナアンナ	演習:SBOs8、1~3時限目 連続の3コマの授業
28	2/23	12:50-13:40	歯学科第1講義室	試験	中濱 健一	中濱健一:試験:SBOs1-7、 4時限目のみ1コマの授業
成績評価の方法 ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・2月23日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						

授業前に必ず予習を行い、積極的に授業に望むこと。具体的には、教科書指定されている図書を参照しながら、配布されたプリントの概略の理解に努める事。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

生化学・分子生物学／William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著],清水孝雄, 工藤一郎 訳:東京化学同人, 2007

参考書

ストライヤー生化学／Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著,入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄 監訳:東京化学同人, 2004

生化学／キャンベル, ファーレル [著],川崎敏祐 監訳:廣川書店, 2004

カラー図解人体の正常構造と機能／坂井建雄, 河原克雅 総編集:日本医事新報社, 2008

- ・「エリオット 生化学・分子生物学、第3版」エリオットら(東京化学同人)
- ・「カープ 分子細胞生物学」カープら(東京化学同人)
- ・「ストライヤー 生化学」L.Stryerら(東京化学同人)

連絡先

nakacell@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水・木曜日 17:00 以降 M&D タワー6階 分子細胞機能学准教授室 (N-609)

時間割番号	021038				
科目名	遺伝の分子的基盤				
担当教員	篠村 多摩之				
開講時期	後期	対象年次	2		
モジュール名:生命の分子的基盤 コマ数:15+1 授業形態:講義 ユニット番号:02					
主な講義場所					
第一講義室					
授業の目的、概要等					
遺伝情報の物質的な基盤とその流れについて説明できる。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 細胞構造と遺伝情報の流れについて相互の関係が説明できる。 2) DNA の構造とその複製機構が説明できる。 3) RNA の構造と転写の機構が説明できる。 4) タンパク質の合成とその分配機構が説明できる。 5) 遺伝子発現の制御機構が説明できる。 6) ヒトゲノム DNA の特徴とその異常について説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	1/6	12:50-15:40	歯学科第1講義室	セントラルドグマ、DNA	篠村 多摩之
4-6	1/8	09:00-11:50	歯学科第1講義室	RNA	篠村 多摩之
7-9	1/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	タンパク質	篠村 多摩之
10-12	1/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	遺伝子発現制御	篠村 多摩之
13-15	1/29	09:00-11:50	歯学科第1講義室	がんゲノミクス、エピゲノミクス	井上 純
16	2/25	12:50-13:40	歯学科第1講義室	遺伝の分子的基盤 試験	篠村 多摩之
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・28年2月25日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。 					
準備学習などについての具体的な指示					
高校の化学および生物の教科書に書かれている内容を理解していることが前提で講義を行います。従って、高校の化学・生物の理解が不十分と思われる場合は、十分に復習しておくこと。					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 					
構成ユニット					
ユニット名:遺伝の分子的基盤					
モジュールの単位判定					
各ユニットごとに成績判定を行い、その上でモジュールの単位判定を行う。					
教科書					
生化学・分子生物学/William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著];清水孝雄, 工藤一郎 訳:東京化学同人, 2007					
参考書					
ストライヤー生化学/Jeremy M.Berg, John L.Tymoczko, Lubert Stryer 著,入村達郎, 岡山博人, 清水孝雄 監訳:東京化学同人, 2013 分子細胞生物学/H.LODISH [ほか著],石浦章一, 榎森康文, 堅田利明, 須藤和夫, 仁科博史, 山本啓一 訳:東京化学同人, 2010					
連絡先					
tshinomura.trg@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
月・水・金 16:00 - 18:00 M&D タワー7階(北側) 結合組織再生学分野					

時間割番号	021039					
科目名	細胞機能の分子的基盤					
担当教員	横山 三紀					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名:生命の分子的基盤 コマ数:21+1 授業形態:講義 ユニット番号:03						
主な講義場所 第1講義室						
授業の目的、概要等 生命現象を理解するために生体膜の構造と機能を関連づける。						
授業の到達目標(SB0s) 1) 生体膜の基本構造を説明できる。 2) 生体分子(低分子)が膜を横切って移動する仕組みを説明できる。 3) タンパク質が細胞内の異なったコンパートメントに局在化・移動する仕組みを説明できる。 4) 細胞骨格の構造と役割を説明できる。 5) 細胞外マトリックスの構造と役割を説明できる。 6) 細胞内情報伝達経路の仕組みを説明できる。 7) 細胞周期、細胞分裂、細胞死の仕組みを説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/12	12:50-15:40	歯学科第1講義室	生体膜の基本構造	生体膜を形成する脂質(リン脂質、スフィンゴ脂質、コレステロール)の構造と特性	横山 三紀
4-6	11/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	低分子の膜輸送	生体分子(低分子)が、膜を横切って移動する仕組み。代表的な輸送タンパク質の機能	横山 三紀
7-9	12/11	09:00-11:50	歯学科第1講義室	細胞内小器官と細胞内輸送	タンパク質・脂質が細胞内の異なったコンパートメントに移動・局在化するしくみ	横山 三紀
10-12	12/14	09:00-11:50	歯学科第1講義室	細胞骨格と細胞運動	3種類の細胞骨格の構造と機能および細胞運動との関連	横山 三紀
13-15	12/16	09:00-11:50	歯学科第1講義室	細胞外マトリックス	細胞外マトリックスの構造と機能	篠村 多摩之
16-18	1/5	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞内情報伝達	Gタンパク質共役型受容体およびチロシンキナーゼ共役型受容体により活性化されるシグナル伝達経路	横山 三紀
19-21	1/7	09:00-11:50	歯学科第1講義室	細胞周期・細胞死	細胞周期の開始と進行および細胞死のメカニズム	横山 三紀
22	2/24	12:50-13:40	歯学科第1講義室	試験		横山 三紀
成績評価の方法 ・小テストを行い、形成的評価を行う。 ・平成28年2月24日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 前回の講義内容を復習して、次回講義の冒頭でおこなうミニテストに臨むようにする。						
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
教科書						

生化学・分子生物学／William H.Elliott, Daphne C.Elliott [著],清水孝雄, 工藤一郎 訳, 東京化学同人, 2007

参考書

- ・「エリオット 生化学・分子生物学、第3版」エリオットら(東京化学同人)
- ・「カープ 分子細胞生物学」カープら(東京化学同人)
- ・「ストライヤー 生化学」L. Stryerら(東京化学同人)

連絡先

m.yokoyama.bch@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月-金 16:00 ~ 18:00

時間割番号	021040					
科目名	疾患の分子的基盤					
担当教員	中濱 健一					
開講時期	後期	対象年次	2			
モジュール名:生命の分子的基盤 コマ数:24+1 授業形態:講義 ユニット番号:04						
主な講義場所						
第1講義室						
授業の目的、概要等						
生体の恒常性維持のしくみを理解し、その破綻に伴う各種疾患の発症機序を分子レベルで理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1)ホルモンの役割とその異常により発症する病態を説明できる。 2)ホルモンをはじめとする生理活性物質の作用機序を説明できる。 3)オータコイド、サイトカインやケモカインの役割とその作用機序を説明できる。 4)歯・骨に関連したミネラルの代謝について説明できる。 5)細胞機能の異常により発症する病態を説明できる。 6)メタボリックシンドロームの病態と発症機序について説明できる。 7)幹細胞および再生医療について説明できる。 8)発がんのしくみとがん細胞の性質を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	1/26	12:50-15:40	歯学科第1講義室	ホルモン	森田 育男	講義:SBOs1、4~6時限目 連続の3コマの授業
4-6	1/27	09:00-11:50	歯学科第1講義室	プロスタグランジン	森田 育男	講義:SBOs2、1~3時限目 連続の3コマの授業
7-9	1/29	12:50-15:40	歯学科第1講義室	オータコイド、サイトカイン、ケモカイン	中島 友紀	講義:SBOs3、4~6時限目 連続の3コマの授業
10-12	2/2	12:50-15:40	歯学科第1講義室	メタボリックシンドローム	小川 佳宏	講義:SBOs6、4~6時限目 連続の3コマの授業
13-15	2/5	09:00-11:50	歯学科第1講義室	先天性代謝疾患	森尾 友宏	講義:SBOs5、1~3時限目 連続の3コマの授業
16-18	2/10	09:00-11:50	歯学科第1講義室	再生医療	中濱 健一	講義:SBOs7、1~3時限目 連続の3コマの授業
19-21	2/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	発がんの仕組み	池田 正明	講義:SBOs8、4~6時限目 連続の3コマの授業
22-24	2/17	09:00-11:50	歯学科第1講義室	ミネラルの代謝	竹内 靖博	講義:SBOs4、1~3時限目 連続の3コマの授業
25	2/26	12:50-13:40	歯学科第1講義室	試験	中濱 健一	試験:SBOs1-7、4時限目のみ1コマの授業
成績評価の方法						
2月26日の筆記試験による。						
準備学習などについての具体的な指示						
本ユニットは各分野のエキスパートによる講義である。より理解を深めるためには、講義前の予習が必要である。						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						
連絡先						

nakacell@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 水・木曜日 17:00 以降 M&D タワー6階 分子細胞機能学准教授室 (N-609)

時間割番号	021041				
科目名	生命の分子的基盤実習				
担当教員	中島 友紀				
開講時期	後期	対象年次	2		
モジュール名:生命の分子的基盤 コマ数:18+0 授業形態:講義・演習 ユニット番号:05					
授業の目的、概要等 生命を構成する主要な分子(タンパク質、核酸)の性質について実習を通して理解する。					
授業の到達目標(SBOs) 1)タンパク質の1つである酵素の機能を理解し、説明できる。 2) 核酸の性質を理解し、核酸研究方法を習得する。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	2/3	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之
4-6	2/4	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之
7-9	2/5	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之
10-12	2/9	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之
13-15	2/10	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之
16-18	2/12	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	生命の分子的基盤実習	中島 友紀 井上 カタジナアナ, 中濱 健一, 横山 三紀 篠村 多摩之
成績評価の方法 ・レポート作成					
準備学習などについての具体的な指示 実習前に必ず予習を行い、積極的に実習に望むこと。					
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
連絡先 naka.csi@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 月-金 (事前メール連絡後) 17:00 以降					

時間割番号	021049					
科目名	臨床歯学イントロダクション					
担当教員	若林 則幸, 新田 浩					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2	
<p>モジュール: 臨床歯学イントロダクション 英語科目名: Introduction to Clinical Dentistry モジュールコマ数: 46 ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数): 46 授業形態: 講義, グループ学習 モジュール番号: 06 ユニット番号: 01</p>						
主な講義場所 第2講義室, 補綴実習室						
授業の目的、概要等 主要な歯科疾患とそれに対する治療方法の特徴, および治療の流れを理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 臨床歯学の主要専門用語の理解/表記/発音ができる。 2) 患者中心の医療とインフォームドコンセントについて説明できる。 3) 患者の要望や懸念, 社会的背景を認識することができる。 4) 歯科臨床科目の対象とする疾病の特徴を説明できる。 5) 歯科臨床科目の治療の特徴を説明できる。 6) 各歯科臨床科目のつながりと治療の流れを説明できる。 7) 臨床上の疑問を定義でき, 治療のエビデンスを認識できる。 8) 患者の全身状態と歯科診療との関連の強さを知る。 9) 歯科臨床におけるチーム医療の重要性を知る。 10) 医療の質と医療アクセスに関する知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/6	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	ユニット紹介, 歯の欠損と義歯の診療	若林 則幸
4-6	4/6	12:50-15:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	高齢者と有床義歯	佐藤 佑介, 猪越 正直
7-8	4/7	09:00-10:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	歯冠補綴の診療	岡田 大蔵
9	4/7	11:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	インプラントの診療	黒田 真司
10-12	4/7	12:50-15:40	歯学科第2講義室 補綴実習室	臨床歯学イントロダクション	補綴系 TBL	若林 則幸, 佐藤 佑介, 竹内 周平, 岡田 大蔵 黒田 真司
13-14	4/8	12:50-14:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	う蝕の治療	島田 康史
15	4/8	14:50-15:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	顎顔面補綴の診療	乙丸 貴史
16-17	4/9	12:50-14:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	歯内療法	和達 礼子
18-20	4/10	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	歯周病の治療	新田 浩, 須田 智也
21-23	4/10	12:50-15:40	歯学科第2講義室 補綴実習室	臨床歯学イントロダクション	保存系 TBL	島田 康史, 和達 礼子, 新田 浩, 須田 智也
24-26	4/13	09:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	口腔外科の診療1	黒原 一人
27-29	4/13	12:50-15:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	口腔外科の診療2	島本 裕彰
30-31	4/14	09:00-10:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	歯科麻酔の診療	脇田 亮
32	4/14	11:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	障害者歯科の診療	楠本 康香
33-35	4/14	12:50-15:40	歯学科第2講義室 補綴実習室	臨床歯学イントロダクション	外科系 TBL	鶴澤 成一, 楠本 康香

36-38	4/15	12:50-15:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	小児歯科の診療	宮新 美智世
39-40	4/16	12:50-14:40	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	顎変形症の治療	鈴木 聖一
41-42	4/17	09:00-10:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	不正咬合の治療	松本 芳郎
43	4/17	11:00-11:50	歯学科第2講義室	臨床歯学イントロダクション	顎関節症の治療	西山 暁
44-46	4/17	12:50-15:40	歯学科第2講義室 補綴実習室	臨床歯学イントロダクション	育成系 TBL	松本 芳郎 宮新 美智世 鈴木 聖一, 西山 暁

成績評価の方法

・ユニットの合格判定には、グループ学習の成績(個人テストおよびグループテスト)を基にして、出席日数及び平常学習態度等が評価に加味される。

準備学習などについての具体的な指示

事前学習として必要な資料は授業3日前までに Web Class 上に掲示するので、必ず閲覧し、指示に従うこと。

試験の受験資格

- ・合格には3分の2以上の授業の出席を必要とする。
- ・合格判定を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

01 臨床歯学イントロダクション

モジュールの単位判定

- ・合計4回実施されるグループ基盤学習(TBL)の成績及び平常学習態度で判定される。
- ・TBLの成績は、個人:グループが5:5で換算される。

教科書

患者の診かたと歯科診療/黒崎紀正 [ほか]編:医歯薬出版, 2001

参考書

Behavioral Dentistry. Mostofsky (著), Fortune (著) Wiley-Blackwell; 2版 (2013/12/31) ISBN-13: 978-1118272060

備考

- ・第3学年学生を、ユニット責任者が決めた8つのグループに分け、同一のグループ編成で全てのグループ学習を行う。

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/pro/education/dental-student/dental-student.html>

連絡先

若林 則幸:wakabayashi.rpyo@tmd.ac.jp

新田 浩:nitta.behd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

若林 則幸:随時(メールにて面談の日程を調整すること) 歯科棟 11階 部分床義歯補綴学分野教授室

新田 浩:月・水・木 16:00- 17:00 歯科棟南 4階 歯科臨床研修センター

時間割番号	021050				
科目名	感染と生体防御				
担当教員	東 みゆき				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	4
コマ数:89+5 授業形態:講義・実習 モジュール番号:07					
授業の目的、概要等					
感染症の原因となる病原生物の性状および作用を学ぶとともに、生体防御機構を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
各モジュールを参考にすること。					
成績評価の方法					
ユニット毎に評価が変わるため、各ユニットに記載されている内容を確認すること。					
準備学習などについての具体的な指示					
授業の範囲をシラバスに記載しているため、当該授業の前に、相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。					
試験の受験資格					
履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。					
構成ユニット					
01 感染と免疫概論					
02 病原性細菌と感染症					
03 病原性ウイルスと感染症					
04 バイオインフォマティクス概論					
05 生体免疫応答					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席が単位取得に必要である。 また、各ユニットにおける再試験は1回のみしか行わない。					
履修上の注意事項					
本モジュールでは、全ユニットを合格してモジュールを合格とする。そのため、1ユニットでも合格とならなかった場合は、モジュールとして不合格となるので、注意すること。					
連絡先					
miyuki.mim@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
月～金 PM.16:00～PM.18:00 M&D タワー6 階南 教員・教授室					

時間割番号	021051					
科目名	感染と免疫概論					
担当教員	東 みゆき					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名:感染と生体防御 コマ数:14+1 授業形態:講義 ユニット番号:01						
主な講義場所 第2講義室						
授業の目的、概要等 感染と生体防御の基礎的機構を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 感染症と人類の歴史について概説できる。 2) 微生物学の歴史を概説できる。 3) 滅菌と消毒の意義と代表的な方法について原理を説明できる。 4) 微生物の多様性について説明できる。 5) 免疫学の歴史を概説できる微生物の多様性について説明できる。 6) 微生物の生理代謝について説明できる。 7) 細菌の構造について説明できる。 8) 環境中の微生物分布や病原性微生物の侵入経路について説明できる。 9) 人と微生物の共生について説明できる。 10) リンパ球循環について説明できる。 11) サイトカイン・ケモカインについて説明できる。 12) 血液の構成成分を列挙できる。 13) 血液・免疫系細胞の分化について説明できる。 14) 免疫担当細胞の種類が列挙でき、その機能が説明できる。 15) 抗原受容体の多様性獲得のしくみが説明できる。 16) Bリンパ球の分化と機能について説明できる。 17) 抗体の役割について説明できる。 18) 化学療法と耐性獲得の仕組みについて説明できる。 19) Tリンパ球の分化と抗原認識について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/20	09:00-09:50	歯学科第2講義室	感染症と微生物学の歴史	東 みゆき	SBOs: 1, 2, 3
2	4/20	10:00-10:50	歯学科第2講義室	免疫システム概論	東 みゆき	SBOs: 1, 5
3	4/22	12:50-13:40	歯学科第2講義室	微生物の多様性と分類	大野 建州	SBOs: 4
4	4/22	13:50-14:40	歯学科第2講義室	環境と微生物(1)	大野 建州	SBOs: 6
5	4/22	14:50-15:40	歯学科第2講義室	環境と微生物(2)	大野 建州	SBOs: 6
6	4/24	09:00-09:50	歯学科第2講義室	リンパ組織とリンパ球循環	東 みゆき	SBOs: 10, 11
7	4/24	10:00-10:50	歯学科第2講義室	微生物の病原因子	永井 重徳	SBOs: 8
8	4/24	11:00-11:50	歯学科第2講義室	微生物の構造	永井 重徳	SBOs: 7
9	4/27	09:00-09:50	歯学科第2講義室	免疫担当細胞	東 みゆき	SBOs: 12, 13, 14
10	4/27	10:00-10:50	歯学科第2講義室	化学療法と薬剤耐性	永井 重徳	SBOs: 18
11	4/27	11:00-11:50	歯学科第2講義室	パイオセフティーの概念:滅菌と消毒	永井 重徳	SBOs: 3, 18
12	4/28	09:00-09:50	歯学科第2講義室	Bリンパ球の分化と抗原受容体の多様性の獲得	烏山 一	SBOs: 15, 16
13	4/28	10:00-10:50	歯学科第2講義室	抗体の役割	烏山 一	SBOs: 16, 17
14	4/28	11:00-11:50	歯学科第2講義室	Tリンパ球の分化と選択	東 みゆき	SBOs: 15, 19
15	5/11	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット1試験	東 みゆき	SBOs: 1-19

					永井 重徳 大野 建州	
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト(4回)により形成的評価を行う。 ・小テスト(30%) および平成 27 年 5 月 11 日に筆記試験(70%)を行い、総合的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
当該授業の前に、指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。						
試験の受験資格						
・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。						
モジュールの単位判定						
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席が単位取得に必要なである。						
参考書						
<ul style="list-style-type: none"> ・口腔微生物学・免疫学 第3版(医歯薬出版) 編集:浜田 茂幸 ほか ・口腔微生物学 ―感染と免疫― 第4版(学建書院) 編集:石原 和幸 ほか ・口腔微生物学サイドリーダー 第4版(学建書院) 著:前田 伸子, 大島 朋子 ・Medical Microbiology and Infection at a Glance, 4th Edition, Stephen Gillespie, Kathleen Bamford, and Hammersmith Hospital. Wiley-Blackwell Publishing Group. ・Microbiology: Principles and Explorations, 7th Edition, Jacquelyn G. Black, Wiley Publishers. ・標準微生物学 第11版(医学書院) 監修:山西 弘一 編集:平松 啓一・中込 治 ・リップピンコット シリーズ イラストレイテッド免疫学 原書2版(丸善) 監訳:矢田 純一・高橋 秀実(原書 Lippincott's Illustrated Reviews Immunology, Lippincott Williams & Wilkins) ・免疫学イラストレイテッド 原書第7版(南江堂) 監訳:高津 聖志 ほか(原書 Immunology 7th Edition, Mosby Elsevier) ・分子細胞生物学 原書第7版(エルセビア出版) 監訳:松島 綱治・山田 幸宏(原書 Cellular and Molecular Immunology, 7th Edition, Saunders) 						
連絡先						
miyuki.mim@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月～金 PM.16:00～PM.18:00 M&D タワー6 階南 教員・教授室						

時間割番号	021052				
科目名	病原性細菌と感染症				
担当教員	東 みゆき				
開講時期	前期	対象年次	3		
モジュール名: 感染と生体防御 コマ数: 32+1 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 02					
授業の目的、概要等 感染予防と治療の基礎を、微生物の特性に着眼して理解するとともに、その方法と限界について知る。 到達目標(SBOs):					
授業の到達目標(SBOs) 1. 細菌の生活環について説明できる。 2. 細菌の代謝経路の特徴と呼吸について説明できる。 3. 細菌の遺伝発現の制御機構について説明できる。 4. 細菌の遺伝子伝播の特徴とその機構と病原性との関わりについて説明できる。 5. 細菌の病原性について説明できる。 6. 細菌の感染・発症にかかわる病原体側の因子、宿主側の因子、感染経路を説明できる。 7. グラム陽性球菌について細菌学的特徴、感染症を説明できる。 8. グラム陽性桿菌について細菌学的特徴、感染症を説明できる。 9. グラム陰性球菌について細菌学的特徴、感染症を説明できる。 10. グラム陰性桿菌について細菌学的特徴、感染症を説明できる。 11. 真菌感染症について説明できる。 12. 口腔感染症について説明できる。 13. 口腔フローラの成立過程を説明できる。 14. 歯垢の成立過程を理解し、バイオフィルムとしての歯垢を説明できる。 15. う蝕および歯周疾患に関与する細菌についてその発症過程と病原性因子を説明できる。 16. 口腔細菌により起こる全身疾患について説明できる。 17. 細菌の分離培養とその細菌の鑑別ができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	備考
1	6/3	12:50-13:40	歯学科第2講義室	細菌のライフサイクルと遺伝	SBOs: 1
2	6/3	13:50-14:40	歯学科第2講義室	細菌の代謝と呼吸	SBOs: 2
3	6/3	14:50-15:40	歯学科第2講義室	細菌の遺伝子発現の制御	SBOs: 3
4	6/5	10:00-10:50	歯学科第2講義室	プラスミド	SBOs: 4
5	6/5	11:00-11:50	歯学科第2講義室	トランスポゾン	SBOs: 4
6	6/10	12:50-13:40	歯学科第2講義室	バクテリオファージ	SBOs: 4
7	6/10	13:50-14:40	歯学科第2講義室	細菌の病原性	SBOs: 5
8	6/17	12:50-13:40	歯学科第2講義室	細菌感染と感染の経路	SBOs: 6
9	6/17	13:50-14:40	歯学科第2講義室	グラム陽性菌と疾患とその感染症(1)	SBOs: 7
10	6/17	14:50-15:40	歯学科第2講義室	グラム陽性菌と疾患とその感染症(2)	SBOs: 7
11	7/2	12:50-13:40	歯学科第2講義室	グラム陽性菌と疾患とその感染症(3)	SBOs: 7, 8
12	7/2	13:50-14:40	歯学科第2講義室	グラム陰性菌と疾患とその感染症(1)	SBOs: 9
13	7/2	14:50-15:40	歯学科第2講義室	グラム陰性菌と疾患とその感染症(2)	SBOs: 9, 10
14	7/6	10:00-10:50	歯学科第2講義室	グラム陰性菌と疾患とその感染症(3)	SBOs: 9, 10
15	7/6	11:00-11:50	歯学科第2講義室	真菌のライフスタイルと真菌感染症	SBOs: 11
16	7/7	12:50-13:40	歯学科第2講義室	口腔微生物	SBOs: 12
17	7/7	13:50-14:40	歯学科第2講義室	口腔内フローラとバイオフィルム	SBOs: 13, 14, 15
18	7/7	14:50-15:40	歯学科第2講義室	口腔内グラム陽性菌とその感染症	SBOs: 13, 14, 15

19-21	7/8	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習 1:微生物の分子生物学的実験	SBOs: 1-17
22	7/13	10:00-10:50	歯学科第2講義室	口腔内グラム陰性菌とその感染症	SBOs: 13, 14, 15
23	7/13	11:00-11:50	歯学科第2講義室	口腔内真菌感染症	SBOs: 12
24-26	7/15	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習 2:微生物の分子生物学的実験	SBOs: 1-17
27	7/21	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット2試験	SBOs: 1-17
28-30	7/22	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習 3:微生物の分子生物学的実験	SBOs: 1-17
31-33	7/27	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習 4:微生物の分子生物学的実験	SBOs: 1-17

成績評価の方法

・レポート(20%) および平成 27 年 7 月 21 日に筆記試験(80%)を行い、総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

当該授業の前に、指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。

試験の受験資格

・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュール単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席が単位取得に必要なである。

参考書

- ・口腔微生物学・免疫学 第3版(医歯薬出版) 編集:浜田 茂幸 ほか
- ・口腔微生物学 ー感染と免疫ー 第4版(学建書院) 編集:石原 和幸 ほか
- ・口腔微生物学サイトリダー 第4版(学建書院) 著:前田 伸子, 大島 朋子
- ・Medical Microbiology and Infection at a Glance, 4th Edition, Stephen Gillespie, Kathleen Bamford, and Hammersmith Hospital. Wiley-Blackwell Publishing Group.
- ・Microbiology: Principles and Explorations, 7th Edition, Jacquelyn G. Black, Wiley Publishers.
- ・標準微生物学 第11版(医学書院) 監修:山西 弘一 編集:平松 啓一・中込 治
- ・医科細菌学 改訂第4版(南江堂) 編集:笹川 千尋・林 哲也
- ・環境微生物学 地球環境を守る微生物学の役割と応用(化学同人) 著 者:久保 幹 ほか

連絡先

miyuki.mim@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 PM.16:00-PM.18:00 M&D タワー6 階南 教員・教授室

時間割番号	021053																																																																																
科目名	病原性ウイルスと感染症																																																																																
担当教員																																																																																	
開講時期	後期	対象年次	3																																																																														
モジュール名: 感染と生体防御 コマ数: 13+1 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 03																																																																																	
授業の目的、概要等 ウイルスの構造と性状を学び、ウイルス感染症の病態を理解する。																																																																																	
授業の到達目標(SBOs) 1. ウイルスの増殖および感染の概略を説明できる。 2. ウイルスの形態、構造および分類について説明できる。 3. DNA ウイルスとその感染症および予防法について説明できる。 4. RNA ウイルスとその感染症および予防法について説明できる。 5. 肝炎ウイルスとその感染症と予防法について説明できる。 6. レトロウイルス(HIV, HTLV-I)とその感染症および予防法について説明できる。 7. ウイルス感染の予防と治療の基礎を説明できる。																																																																																	
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/29</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>ウイルスのライフスタイル</td> <td>SBOs: 1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/30</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>ウイルスの形態と構造</td> <td>SBOs: 2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/30</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>DNA ウイルスとその感染症(1)</td> <td>SBOs: 3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/30</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>DNA ウイルスとその感染症(2)</td> <td>SBOs: 3</td> </tr> <tr> <td>5-7</td> <td>10/9</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室</td> <td>実習</td> <td>SBOs: 1-7</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>10/14</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>DNA ウイルスとその感染症(3)</td> <td>SBOs: 3, 5</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>10/14</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>RNA ウイルスとその感染症(1)</td> <td>SBOs: 4</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>10/14</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>RNA ウイルスとその感染症(2)</td> <td>SBOs: 4</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>10/15</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>RNA ウイルスとその感染症(3)</td> <td>SBOs: 4, 6</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>10/15</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>ウイルス疾患に対する感染制御</td> <td>SBOs: 7</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>10/15</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>ワクチンによるウイルス疾患の防御</td> <td>SBOs: 1, 7</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>11/2</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>ユニット3試験</td> <td>SBOs: 1-7</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	備考	1	9/29	11:00-11:50	歯学科第2講義室	ウイルスのライフスタイル	SBOs: 1	2	9/30	12:50-13:40	歯学科第2講義室	ウイルスの形態と構造	SBOs: 2	3	9/30	13:50-14:40	歯学科第2講義室	DNA ウイルスとその感染症(1)	SBOs: 3	4	9/30	14:50-15:40	歯学科第2講義室	DNA ウイルスとその感染症(2)	SBOs: 3	5-7	10/9	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習	SBOs: 1-7	8	10/14	12:50-13:40	歯学科第2講義室	DNA ウイルスとその感染症(3)	SBOs: 3, 5	9	10/14	13:50-14:40	歯学科第2講義室	RNA ウイルスとその感染症(1)	SBOs: 4	10	10/14	14:50-15:40	歯学科第2講義室	RNA ウイルスとその感染症(2)	SBOs: 4	11	10/15	12:50-13:40	歯学科第2講義室	RNA ウイルスとその感染症(3)	SBOs: 4, 6	12	10/15	13:50-14:40	歯学科第2講義室	ウイルス疾患に対する感染制御	SBOs: 7	13	10/15	14:50-15:40	歯学科第2講義室	ワクチンによるウイルス疾患の防御	SBOs: 1, 7	14	11/2	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット3試験	SBOs: 1-7
回	日付	時刻	講義室	授業題目	備考																																																																												
1	9/29	11:00-11:50	歯学科第2講義室	ウイルスのライフスタイル	SBOs: 1																																																																												
2	9/30	12:50-13:40	歯学科第2講義室	ウイルスの形態と構造	SBOs: 2																																																																												
3	9/30	13:50-14:40	歯学科第2講義室	DNA ウイルスとその感染症(1)	SBOs: 3																																																																												
4	9/30	14:50-15:40	歯学科第2講義室	DNA ウイルスとその感染症(2)	SBOs: 3																																																																												
5-7	10/9	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習	SBOs: 1-7																																																																												
8	10/14	12:50-13:40	歯学科第2講義室	DNA ウイルスとその感染症(3)	SBOs: 3, 5																																																																												
9	10/14	13:50-14:40	歯学科第2講義室	RNA ウイルスとその感染症(1)	SBOs: 4																																																																												
10	10/14	14:50-15:40	歯学科第2講義室	RNA ウイルスとその感染症(2)	SBOs: 4																																																																												
11	10/15	12:50-13:40	歯学科第2講義室	RNA ウイルスとその感染症(3)	SBOs: 4, 6																																																																												
12	10/15	13:50-14:40	歯学科第2講義室	ウイルス疾患に対する感染制御	SBOs: 7																																																																												
13	10/15	14:50-15:40	歯学科第2講義室	ワクチンによるウイルス疾患の防御	SBOs: 1, 7																																																																												
14	11/2	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット3試験	SBOs: 1-7																																																																												
成績評価の方法 ・実習レポート(20%)および平成 27 年 11 月 2 日に筆記試験(80%)を行い、総合的評価を行う。																																																																																	
準備学習などについての具体的な指示 当該授業の前に、指定された参考図書の相当する部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。																																																																																	
試験の受験資格 ・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席総数の3分の2以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。																																																																																	
参考書 ・口腔微生物学・免疫学 第3版(医歯薬出版) 編集: 浜田 茂幸 ほか ・口腔微生物学 ―感染と免疫― 第4版(学建書院) 編集: 石原 和幸 ほか ・口腔微生物学サイドリーダー 第4版(学建書院) 著: 前田 伸子, 大島 朋子 ・標準微生物学 第11版(医学書院) 監修: 平松 啓一 編集: 中込 治/神谷 茂 ・医科ウイルス学 改訂第3版(南光堂) 編集: 高田 賢蔵 ・Medical Microbiology, 24th Edition, Brooks GF, Carol KC, Butel JS, and Morse SA, Lange Medical Book/McGraw-Hill.																																																																																	

時間割番号	021054																																																								
科目名	バイオインフォマティクス概論																																																								
担当教員																																																									
開講時期	後期	対象年次	3																																																						
モジュール名: 感染と生体防御 コマ数: 7+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 04																																																									
授業の目的、概要等 生物学の理解に必至な遺伝子情報を効率的に扱うための情報処理技術であるバイオインフォマティクスについて理解する。																																																									
授業の到達目標(SBOs) 1. バイオインフォマティクスとは何かを理解する。 2. DNA 塩基配列情報を解析するための基礎となる情動的な処理方法を説明できる。 3. アミノ酸配列情報を解析するための基礎となる情動的な処理方法を説明できる。 4. 多量の情報を処理するための基本的な方法を説明できる。 5. ゲノム配列決定を行うための基本的な方法を説明できる。 6. 塩基配列を多量に解析するための基本的な技術について説明できる。 7. 得られた配列情報から生物学的な意味を引き出す基本的な記述について説明できる。																																																									
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/2</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>バイオインフォマティクス概論</td> <td>SBOs: 1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/2</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>塩基配列・ゲノム配列決定の技術</td> <td>SBOs: 2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/2</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(1)</td> <td>SBOs: 2, 3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/5</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(2)</td> <td>SBOs: 3, 4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/5</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(3)</td> <td>SBOs: 4, 5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/5</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(4)</td> <td>SBOs: 5, 6</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/6</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>バイオインフォマティクスの応用</td> <td>SBOs: 6, 7</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>10/14</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>ユニット4試験</td> <td>SBOs: 1-8</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	備考	1	10/2	12:50-13:40	歯学科第2講義室	バイオインフォマティクス概論	SBOs: 1	2	10/2	13:50-14:40	歯学科第2講義室	塩基配列・ゲノム配列決定の技術	SBOs: 2	3	10/2	14:50-15:40	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(1)	SBOs: 2, 3	4	10/5	09:00-09:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(2)	SBOs: 3, 4	5	10/5	10:00-10:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(3)	SBOs: 4, 5	6	10/5	11:00-11:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(4)	SBOs: 5, 6	7	10/6	11:00-11:50	歯学科第2講義室	バイオインフォマティクスの応用	SBOs: 6, 7	8	10/14	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット4試験	SBOs: 1-8
回	日付	時刻	講義室	授業題目	備考																																																				
1	10/2	12:50-13:40	歯学科第2講義室	バイオインフォマティクス概論	SBOs: 1																																																				
2	10/2	13:50-14:40	歯学科第2講義室	塩基配列・ゲノム配列決定の技術	SBOs: 2																																																				
3	10/2	14:50-15:40	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(1)	SBOs: 2, 3																																																				
4	10/5	09:00-09:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(2)	SBOs: 3, 4																																																				
5	10/5	10:00-10:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(3)	SBOs: 4, 5																																																				
6	10/5	11:00-11:50	歯学科第2講義室	塩基配列・アミノ酸配列の情報処理(4)	SBOs: 5, 6																																																				
7	10/6	11:00-11:50	歯学科第2講義室	バイオインフォマティクスの応用	SBOs: 6, 7																																																				
8	10/14	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット4試験	SBOs: 1-8																																																				
成績評価の方法 ・平成 27 年 10 月 14 日に筆記試験を行い、評価を行う。																																																									
準備学習などについての具体的な指示 当該授業の前に、指定された参考図書相当の部位を予習しておくこと。また、授業では全範囲について説明することが時間的に難しいため、試験時には、それぞれ担当の教官からあらかじめ範囲を指示することがある。																																																									
試験の受験資格 ・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ3分の2以上の出席総数の3分の2以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。																																																									
参考書 ・バイオインフォマティクス ゲノム配列から機能解析へ 第2版(メディカル・サイエンス・インターナショナル) 著者:マウント デービッド W 監訳:岡崎 康司・坊農 秀雄																																																									

時間割番号	021055					
科目名	生体免疫応答					
担当教員	東 みゆき					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名:感染と生体防御						
コマ数:23+1						
授業形態:講義・実習						
ユニット番号:05						
主な講義場所						
第2講義室						
授業の目的、概要等						
病原生物や様々な刺激に対して生体の免疫系がどのように応答するか、また免疫系により引き起こされる疾患を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 抗原提示細胞について説明できる。						
2) Tリンパ球の機能と特徴を説明できる。						
3) 抗原特異的な免疫応答の成立を説明できる。						
4) 免疫寛容を説明できる。						
5) 細胞性免疫と液性免疫が説明できる。						
6) 免疫関連疾患とその発症機序を説明できる。						
7) 移植片拒絶について説明できる。						
8) アレルギーの分類とその内容が説明できる。						
9) 粘膜免疫の特徴について説明できる。						
10) 自然免疫と適応免疫が説明できる。						
11) 細菌・ウイルスに対する免疫応答が説明できる。						
12) 自己免疫疾患について説明できる。						
13) 免疫不全について説明できる。						
14) 癌に対する免疫応答について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/8	12:50-13:40	歯学科第2講義室	抗原提示細胞と MHC	東 みゆき	SBOs: 1, 2
2	5/8	13:50-14:40	歯学科第2講義室	Tリンパ球のエフェクター機能	東 みゆき	SBOs: 2, 3
3	5/8	14:50-15:40	歯学科第2講義室	細胞性免疫と液性免疫	東 みゆき	SBOs: 3, 5, 6
4	5/13	12:50-13:40	歯学科第2講義室	免疫寛容	東 みゆき	SBOs: 3, 4
5	5/14	12:50-13:40	歯学科第2講義室	移植免疫	東 みゆき	SBOs: 1, 3, 5, 7
6	5/14	13:50-14:40	歯学科第2講義室	感染免疫(1)先天免疫	東 みゆき	SBOs: 6, 10, 11
7	5/21	12:50-13:40	歯学科第2講義室	感染免疫(2)適応免疫	東 みゆき	SBOs: 5, 6, 10, 11
8	5/21	13:50-14:40	歯学科第2講義室	感染免疫(3)ワクチン	東 みゆき	SBOs: 6, 10, 11
9	6/5	12:50-14:10	歯学科第2講義室	腫瘍免疫	東 みゆき	SBOs: 6, 13, 14
10	6/5	14:20-15:40	歯学科第2講義室	自己免疫	東 みゆき	SBOs: 6, 12, 13
11	6/15	09:00-10:20	歯学科第2講義室	アレルギー	横関 博雄	SBOs: 6, 8
12	6/15	10:30-11:50	歯学科第2講義室	粘膜免疫	清野 宏	SBOs: 6, 9
13-15	6/18	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	免疫学実習(1)	東 みゆき, 永井 重徳, 大野 建州, 櫻井 仁亨, 朴 今花, 斉藤 潔, 壺谷 達, 上條 達央, 伊東 大典	SBOs: 5, 6, 8
16-18	6/29	09:00-11:50	歯学部基礎実習室	免疫学実習(2)	東 みゆき, 永井 重徳, 大野 建州	SBOs: 5, 6, 8
19-21	6/30	12:50-15:40	情報検索室 歯学	免疫学実習(3)	東 みゆき, 永井 重徳, 大	SBOs: 5, 6, 8

			部基礎実習室		野 建州	
22	7/6	09:00-09:50	歯学科第2講義室	ユニット5試験	東 みゆき, 永井 重徳, 大野 建州	SBOs: 1-14
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト (4回) により形成的評価を行う。 ・小テスト (20%), レポート (20%) および平成 27 年 7 月 6 日に筆記試験 (60%) を行い, 総括的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
<p>ユニット5開始前に, ユニット1で学習したことを復習しておくこと。また, 講義2、3コマ終了ごとに, 学習確認のための小テストを実施する。講義資料およびプリントは, 事前に Web システムにアップロードされる。</p>						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・出席に関係なく履修者全員が受験資格を有す。ただし, 当該モジュール全ユニット終了時において, 当該モジュール全ユニットの講義および実習総数のそれぞれ 3 分の 2 以上の出席を満たさなかった場合はモジュール未履修となり, 次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。 						
参考書						
<ul style="list-style-type: none"> ・リップンコット シリーズ イラストレイテッド免疫学 原書2版(丸善) 監訳: 矢田 純一・高橋 秀実(原書 Lippincott's Illustrated Reviews Immunology, Lippincott Williams & Wilkins) ・免疫学イラストレイテッド 原書第7版(南江堂) 監訳: 高津 聖志 ほか(原書 Immunology 7th Edition, Mosby Elsevier) ・分子細胞生物学 原書第7版(エルセビア出版) 監訳: 松島 綱治・山田 幸宏(原書 Cellular and Molecular Immunology, 7th Edition, Saunders) 						
連絡先						
miyuki.mim@tmd.ac.jp						
フィスアワー						
月～金 PM.16:00-PM.18:00 M&D タワー6 階南 教員・教授室						

時間割番号	021056				
科目名	臨床予備実習				
担当教員	俣木 志朗, 新田 浩				
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	3
コマ数:72 授業形態:講義・実習・SGD・発表 モジュール番号:08					
主な講義場所 第2講義室 各診療科診療室 演習室					
授業の目的、概要等 将来の歯科医師としての自覚を 高めるために、歯科臨床の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 患者さんに自己紹介、挨拶をする。 2) 患者さんを安全に誘導する。 3) 患者さんの問題点に配慮する。 4) 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。 5) 各診療室で基本的な診療補助をする。 6) 清潔・不潔に配慮した行動をする。 7) 安全に配慮した行動をする。 8) コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。 9) 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。 10) 歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。					
成績評価の方法 1) 毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価) 2) 毎回の実習記録(形成的評価) 3) レポート(形成的評価)					
準備学習などについての具体的な指示 ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。 ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。					
構成ユニット 01 各診療科における診療の補助Ⅰ 02 各診療科における診療の補助Ⅱ					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
履修上の注意事項 ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					

備考

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。

欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

連絡先

俣木 志朗:mataki.diag@tmd.ac.jp

新田 浩:nitta.behd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

俣木 志朗:水 16:00-18:00

新田 浩:月・水・木 16:00- 17:00 歯科棟南4階歯科臨床研修センター

時間割番号	021057																																																																				
科目名	各診療科における診療の補助 I																																																																				
担当教員	新田 浩																																																																				
開講時期	前期	対象年次	3																																																																		
<p>モジュール名:臨床予備実習</p> <p>コマ数:30+0</p> <p>授業形態:講義・実習</p> <p>ユニット番号:01</p>																																																																					
<p>主な講義場所</p> <p>第2講義室</p> <p>各診療科診療室</p>																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>将来の歯科医師としての自覚を高めるために、各診療科の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。</p>																																																																					
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者さんに自己紹介、挨拶をする。 2) 患者さんを安全に誘導する。 3) 患者さんの問題点に配慮する。 4) 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。 5) 各診療室で基本的な診療補助をする。 6) 清潔・不潔に配慮した行動をする。 7) 安全に配慮した行動をする。 8) コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。 9) 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。 10) 歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。 																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>ガイダンス</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>4/15</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I・相互実習</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>4/22</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I・相互実習</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>5/13</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/20</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>5/27</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>6/3</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>6/10</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>6/17</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>28-30</td> <td>6/24</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科での診療の補助 I</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	4/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	ガイダンス	新田 浩, 俣木 志朗	4-6	4/15	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I・相互実習	新田 浩, 俣木 志朗	7-9	4/22	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I・相互実習	新田 浩, 俣木 志朗	10-12	5/13	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗	13-15	5/20	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗	16-18	5/27	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗	19-21	6/3	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗	22-24	6/10	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗	25-27	6/17	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗	28-30	6/24	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																
1-3	4/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	ガイダンス	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
4-6	4/15	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I・相互実習	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
7-9	4/22	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I・相互実習	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
10-12	5/13	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
13-15	5/20	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
16-18	5/27	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
19-21	6/3	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
22-24	6/10	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
25-27	6/17	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
28-30	6/24	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科での診療の補助 I	新田 浩, 俣木 志朗																																																																
<p>成績評価の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価) 2) 毎回の実習記録(形成的評価) 																																																																					
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>ガイダンスで配布説明した、病院の理念・こころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。</p> <p>ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。</p>																																																																					
<p>試験の受験資格</p> <p>・本ユニットでは試験を行わないが、全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。</p>																																																																					

・4分の3以上出席のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

履修上の注意事項

・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

備考

※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。

欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。

※ 統括責任者は歯科医療行動科学分野の新田 浩准教授が担当する。

連絡先

nitta.behd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水・木 16:00- 17:00 歯科棟南4階歯科臨床研修センター

時間割番号	021058																																																																																
科目名	各診療科における診療の補助Ⅱ																																																																																
担当教員	新田 浩																																																																																
開講時期	後期	対象年次	3																																																																														
モジュール名:臨床予備実習 コマ数:36+0 授業形態:実習・SGD・発表 ユニット番号:02																																																																																	
主な講義場所 第2講義室 各診療科診療室 演習室																																																																																	
授業の目的、概要等 将来の歯科医師としての自覚を高めるために、各診療科の現場を体験することを通じて基礎科目と臨床科目の関連性を理解し、歯科医療に必要な基本的な態度、技能、知識を身につける。																																																																																	
授業の到達目標(SBOs) 1) 患者さんに自己紹介、挨拶をする。 2) 患者さんを安全に誘導する。 3) 患者さんの問題点に配慮する。 4) 指導教員、D6 学生および同級生と良好なコミュニケーションをとる。 5) 各診療室で基本的な診療補助をする。 6) 清潔・不潔に配慮した行動をする。 7) 安全に配慮した行動をする。 8) コデンタルスタッフの業務を補助あるいは体験する。 9) 基礎科目と臨床科目の関連性の例を挙げて説明する。 10) 歯科臨床の現場を体験し、今後の学習の方向性を見出す。																																																																																	
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>10/2</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/9</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>10/23</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>10/30</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>11/6</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>11/13</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>11/20</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>11/27</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>12/4</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>28-30</td> <td>12/11</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>31-33</td> <td>12/18</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学部演習室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ(SGD・発表)</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> <tr> <td>34-36</td> <td>1/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>各診療科における診療補助Ⅱ(予備日)</td> <td>新田 浩, 俣木 志朗</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	10/2	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	4-6	10/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	7-9	10/23	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	10-12	10/30	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	13-15	11/6	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	16-18	11/13	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	19-21	11/20	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	22-24	11/27	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	25-27	12/4	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	28-30	12/11	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗	31-33	12/18	09:00-11:50	歯学部演習室	各診療科における診療補助Ⅱ(SGD・発表)	新田 浩, 俣木 志朗	34-36	1/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ(予備日)	新田 浩, 俣木 志朗
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																												
1-3	10/2	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
4-6	10/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
7-9	10/23	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
10-12	10/30	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
13-15	11/6	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
16-18	11/13	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
19-21	11/20	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
22-24	11/27	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
25-27	12/4	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
28-30	12/11	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
31-33	12/18	09:00-11:50	歯学部演習室	各診療科における診療補助Ⅱ(SGD・発表)	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
34-36	1/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	各診療科における診療補助Ⅱ(予備日)	新田 浩, 俣木 志朗																																																																												
成績評価の方法 1) 毎回の指導教員・コデンタルスタッフによる観察記録(形成的評価) 2) 毎回の実習記録(形成的評価) 3) SGD 後の課題(レポート)(形成的評価)																																																																																	
準備学習などについての具体的な指示 ガイダンスで配布説明した、病院の理念・ころざし、病院内のきまり、院内感染予防のルール、外来での注意事項を確認し、実習に臨むこと。																																																																																	

<p>ガイダンスで配布した資料で各自実習見学を行う診療科の特徴について予習しておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本ユニットでは試験を行わないが、全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出しなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出実習記録、レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・SGD 後の課題(レポート)を提出していなければならない。 ・4分の3以上出席のない学生、レポートの提出のない学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>備考</p> <p>※ 臨床体験実習の前段階として、各診療科、第1総合診療室、第2総合診療室で診療補助を中心とした実習を行う。D3 ではまだ臨床科目の知識が習得されていないため、患者接遇、診療補助を通して基本的態度を身につけるとともに、基礎科目と臨床科目の関連性を認識することが中心となる。</p> <p>欠席する場合は各自で実習する診療科の指導責任者に連絡する。</p> <p>※ 統括責任者は歯科医療行動科学分野の新田 浩准教授が担当する。</p>
<p>連絡先</p> <p>nitta.behd@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>月・水・木 16:00- 17:00 歯科棟南 4 階歯科臨床研修センター</p>

時間割番号	021059				
科目名	病理				
担当教員	坂本 啓				
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	4
コマ数:88+6 授業形態講義・実習 モジュール番号:9					
授業の目的、概要等					
疾病の原因、病態に関する基本的知識を体系的に修得する。					
成績評価の方法					
ユニット1:病理学総論とユニット2:口腔病理学の得点を合計して評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 病理学総論					
02 口腔病理学					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等も考慮される。					
連絡先					
s-kei.mpa@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
水 16:30-18:00					

時間割番号	021060					
科目名	病理学総論					
担当教員	栢森 高, 坂本 啓, 出雲 俊之					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 病理 モジュール番号 9 コマ数: 50+3 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 01						
主な講義場所 第1講義室						
授業の目的、概要等 近代医学発展の根幹をなし、基礎医学と臨床医学の架け橋である病理学の重要性を認識し、病因論と病態生理を正しく理解し、臨床医学を科学的に理解する能力を体得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 疾病の原因となる変化が遺伝子、タンパク、細胞、組織、器官、器官系、個体の各レベルにあり、相互に密接に関連していることを説明できる。 2) 遺伝性疾患の発生の機序を説明できる。 3) 変性を含む細胞傷害と組織傷害について説明できる 4) 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 5) アポトーシスと疾患の関連性について説明できる。 6) 萎縮と仮性肥大を説明できる。 7) 修復と再生について説明できる。 8) 化生を説明できる。 9) 創傷治癒に関与する細胞とその過程を説明できる。 10) 器質化を説明できる。 11) 虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 12) 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 13) 血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 14) 塞栓の成因、種類および転帰を説明できる。 15) 梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。 16) 浮腫の原因とその転帰を説明できる。 17) ショックの成因と種類を説明できる。 18) 炎症の定義と発症機序を説明できる。 19) 炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 20) 滲出性炎の種類と病理組織学的特徴および経時的变化を説明できる。 21) 肉芽腫性炎の種類と病理組織学的な特徴および経時的变化を説明できる。 22) 腫瘍の定義を説明できる。 23) 腫瘍の病因を説明できる。 24) 異形成を説明できる。 25) 腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 26) 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 27) 局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	4/20	12:50-15:40	歯学科第1講義室	病理学序論、病因論	坂本 啓	講義:SBOs 1
4-6	4/24	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞傷害の機序とその修復	栢森 高	講義・実習:SBOs 3-10
7-9	4/27	12:50-15:40	歯学科第1講義室	細胞傷害の機序とその修復	坂本 啓	講義・実習:SBOs 3-10
10-12	4/28	12:50-15:40	歯学科第1講義室	代謝障害	栢森 高	講義・実習:SBOs 1-3

13-15	5/8	09:00-11:50	歯学科第1講義室	代謝障害、内分泌障害	栢森 高	講義・実習:SBOs 1-3
16-18	5/11	12:50-15:40	歯学科第1講義室	炎症	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 18-21
19-21	5/15	09:00-11:50	歯学科第1講義室	炎症	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 18-21
22-24	5/18	12:50-15:40	歯学科第1講義室	感染症	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 1
25-27	5/22	09:00-11:50	歯学科第1講義室	免疫異常	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 1
28-30	5/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	循環障害	坂本 啓	講義・実習:SBOs 1,11-17
31-32	5/28	12:50-14:40	歯学科第1講義室	循環障害	坂本 啓	講義・実習:SBOs 1,11-17
33-35	5/29	09:00-11:50	歯学科第1講義室	染色体・遺伝子および発生の異常	栢森 高	講義・実習:SBOs 2
36-38	6/1	12:50-15:40	歯学科第1講義室	腫瘍	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 22-27
39-40	6/4	12:50-14:40	歯学科第1講義室	腫瘍	出雲 俊之	講義:SBOs 22-27
41	6/5	09:00-09:50	歯学科第2講義室	腫瘍	栢森 高	講義:SBOs 22-27
42-44	6/8	12:50-15:40	歯学科第1講義室	腫瘍	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 22-27
45-47	6/12	12:50-15:40	歯学科第1講義室	腫瘍	坂本 啓	講義・実習:SBOs 22-27
48-50	6/15	12:50-15:40	歯学科第1講義室	剖検の病理	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 22-27
51-53	6/22	12:50-15:40	歯学科第1講義室 歯学科第2講義室	病理学総論(病理 ユニット1)試験	坂本 啓	第2講義室も使用

成績評価の方法

平成27年6月22日にユニット試験(筆記および実習)を行う。提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

準備学習などについての具体的な指示

教科書を所持していることを前提として授業を行う。各自で教科書を熟読の上で授業に臨むこと。

試験の受験資格

ユニット試験の受験資格は、講義部分の授業コマ数合計の3分の2以上と、実習部分の授業コマ数合計の4分の3以上出席していなければならない。

受験資格を得られなかった学生はユニット1未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

ユニット1 病理学総論

ユニット2 口腔病理学

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。

教科書

標準病理学／坂本穆彦, 北川昌伸, 仁木利郎 編:医学書院, 2010

参考書

ロビンス基礎病理学／Vinay Kumar, Abul K.Abbas, Nelson Fausto, Richard N.Mitchell 原著,豊國伸哉, 高橋雅英 監訳:エルゼビア・ジャパン, 2011

Robbins Basic Pathology: With STUDENT CONSULT Online Access, 8e (Robbins Pathology)／Vinay Kumar MBBS MD FRCPATH (著), Abul K. Abbas MBBS (著), Nelson Fausto MD (著), Richard Mitchell MD PhD (著):Saunders, 2012

日本病理学会 病理学コア画像: <http://pathology.or.jp/corepictures2010/index.html>

履修上の注意事項

実習で病理組織標本のスケッチを行う。色鉛筆を使用するので各自持参のこと。

連絡先

坂本 啓:s-kei.mpa@tmd.ac.jp

出雲 俊之:izumo.dlab@tmd.ac.jp

栢森 高:kayamori.mpa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 啓:水 16:30-18:00

出雲 俊之:水 16:30 - 18:00

栢森 高:毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室

時間割番号	021061																																																																																																																		
科目名	口腔病理学																																																																																																																		
担当教員	栢森 高, 坂本 啓, 出雲 俊之																																																																																																																		
開講時期	前期	対象年次	3																																																																																																																
モジュール名: 病理 コマ数: 38+3 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 02																																																																																																																			
授業の目的、概要等 口腔領域に生じる主な疾患の病因、病理発生、病理像について理解する。																																																																																																																			
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯牙硬組織病変の臨床像と病理像について説明できる。 2) 歯髄炎の病理像について説明できる。 3) 歯周炎の病理像について説明できる。 4) 口腔領域の奇形について、その臨床像と病理像を説明できる。 5) 口腔粘膜病変の主なものについて、その病因と病理像を説明できる。 6) 顎骨、顎関節疾患の主なものについて、その病因と病理像を説明できる。 7) 唾液腺疾患の主なものについて、その病因と病理像を説明できる。 8) 全身疾患に伴う口腔病変について、その臨床像と病理像を説明できる。																																																																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>6/25</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯牙の病理、う蝕、歯髄炎</td> <td>栢森 高</td> <td>講義:SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>6/26</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯周炎</td> <td>坂本 啓</td> <td>講義:SBOs 3</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6/26</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>口腔領域の奇形</td> <td>坂本 啓</td> <td>講義:SBOs 4</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>6/29</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>口腔粘膜病変</td> <td>坂本 啓</td> <td>講義・実習:SBOs 5</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>7/1</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>口腔粘膜病変</td> <td>坂本 啓</td> <td>講義・実習:SBOs 5</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>7/1</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>嚢胞</td> <td>栢森 高</td> <td>講義・実習:SBOs 6</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>7/6</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>顎骨の病変</td> <td>坂本 啓</td> <td>講義・実習:SBOs 6</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>7/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>口腔粘膜上皮の腫瘍</td> <td>出雲 俊之</td> <td>講義・実習:SBOs 6</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>7/9</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>口腔軟組織・顎骨の腫瘍</td> <td>出雲 俊之</td> <td>講義・実習:SBOs 5,6</td> </tr> <tr> <td>25-27</td> <td>7/13</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯原性腫瘍</td> <td>坂本 啓</td> <td>講義・実習:SBOs 6</td> </tr> <tr> <td>28-30</td> <td>7/15</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>歯原性腫瘍</td> <td>坂本 啓</td> <td>講義・実習:SBOs 6</td> </tr> <tr> <td>31-33</td> <td>7/16</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>唾液腺腫瘍</td> <td>栢森 高</td> <td>講義・実習:SBOs 7</td> </tr> <tr> <td>34-35</td> <td>7/21</td> <td>10:00-11:50</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>唾液腺の非腫瘍性病変</td> <td>栢森 高</td> <td>講義・実習:SBOs 7</td> </tr> <tr> <td>36-38</td> <td>7/21</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>全身性疾患に伴う口腔病変</td> <td>出雲 俊之</td> <td>講義・実習:SBOs 8</td> </tr> <tr> <td>39-41</td> <td>7/23</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第1講義室 歯学科第3講義室</td> <td>ユニット2 口腔病理学 試験</td> <td>坂本 啓</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1-3	6/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯牙の病理、う蝕、歯髄炎	栢森 高	講義:SBOs 1,2	4-5	6/26	12:50-14:40	歯学科第1講義室	歯周炎	坂本 啓	講義:SBOs 3	6	6/26	14:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔領域の奇形	坂本 啓	講義:SBOs 4	7-9	6/29	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔粘膜病変	坂本 啓	講義・実習:SBOs 5	10-12	7/1	09:00-11:50	歯学科第1講義室	口腔粘膜病変	坂本 啓	講義・実習:SBOs 5	13-15	7/1	12:50-15:40	歯学科第1講義室	嚢胞	栢森 高	講義・実習:SBOs 6	16-18	7/6	12:50-15:40	歯学科第1講義室	顎骨の病変	坂本 啓	講義・実習:SBOs 6	19-21	7/8	09:00-11:50	歯学科第1講義室	口腔粘膜上皮の腫瘍	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 6	22-24	7/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔軟組織・顎骨の腫瘍	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 5,6	25-27	7/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯原性腫瘍	坂本 啓	講義・実習:SBOs 6	28-30	7/15	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯原性腫瘍	坂本 啓	講義・実習:SBOs 6	31-33	7/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	唾液腺腫瘍	栢森 高	講義・実習:SBOs 7	34-35	7/21	10:00-11:50	歯学科第1講義室	唾液腺の非腫瘍性病変	栢森 高	講義・実習:SBOs 7	36-38	7/21	12:50-15:40	歯学科第1講義室	全身性疾患に伴う口腔病変	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 8	39-41	7/23	12:50-15:40	歯学科第1講義室 歯学科第3講義室	ユニット2 口腔病理学 試験	坂本 啓	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																																																																													
1-3	6/25	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯牙の病理、う蝕、歯髄炎	栢森 高	講義:SBOs 1,2																																																																																																													
4-5	6/26	12:50-14:40	歯学科第1講義室	歯周炎	坂本 啓	講義:SBOs 3																																																																																																													
6	6/26	14:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔領域の奇形	坂本 啓	講義:SBOs 4																																																																																																													
7-9	6/29	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔粘膜病変	坂本 啓	講義・実習:SBOs 5																																																																																																													
10-12	7/1	09:00-11:50	歯学科第1講義室	口腔粘膜病変	坂本 啓	講義・実習:SBOs 5																																																																																																													
13-15	7/1	12:50-15:40	歯学科第1講義室	嚢胞	栢森 高	講義・実習:SBOs 6																																																																																																													
16-18	7/6	12:50-15:40	歯学科第1講義室	顎骨の病変	坂本 啓	講義・実習:SBOs 6																																																																																																													
19-21	7/8	09:00-11:50	歯学科第1講義室	口腔粘膜上皮の腫瘍	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 6																																																																																																													
22-24	7/9	12:50-15:40	歯学科第1講義室	口腔軟組織・顎骨の腫瘍	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 5,6																																																																																																													
25-27	7/13	12:50-15:40	歯学科第1講義室	歯原性腫瘍	坂本 啓	講義・実習:SBOs 6																																																																																																													
28-30	7/15	09:00-11:50	歯学科第1講義室	歯原性腫瘍	坂本 啓	講義・実習:SBOs 6																																																																																																													
31-33	7/16	12:50-15:40	歯学科第1講義室	唾液腺腫瘍	栢森 高	講義・実習:SBOs 7																																																																																																													
34-35	7/21	10:00-11:50	歯学科第1講義室	唾液腺の非腫瘍性病変	栢森 高	講義・実習:SBOs 7																																																																																																													
36-38	7/21	12:50-15:40	歯学科第1講義室	全身性疾患に伴う口腔病変	出雲 俊之	講義・実習:SBOs 8																																																																																																													
39-41	7/23	12:50-15:40	歯学科第1講義室 歯学科第3講義室	ユニット2 口腔病理学 試験	坂本 啓																																																																																																														
成績評価の方法 平成 27 年 7 月 23 日にユニット試験(筆記および実習)を行う。提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。																																																																																																																			
準備学習などについての具体的な指示 参考図書「口腔病理アトラス」の購入と学習への利用を薦める。																																																																																																																			
試験の受験資格 ユニット試験の受験資格は講義部分の授業コマ数合計の3分の2以上と、実習部分の授業コマ数合計の4分の3以上出席していなければならない。 受験資格を得られなかった学生はユニット2未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																																																																																			
構成ユニット ユニット1 病理学総論																																																																																																																			

<p>ユニット2 口腔病理学</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。</p>
<p>参考書</p> <p>口腔病理アトラス／高木實 監修,山本浩嗣, 坂井英隆, 高田隆 編.:文光堂, 2006</p> <p>Oral and Maxillofacial Pathology, 3rd edition: BW Neville, DD Damm, CM Allen, JE Bouquet, Saunders, 2008</p> <p>日本臨床口腔病理学会 口腔病理基本画像アトラス http://www.dent.nihon-u.ac.jp/OralPathologyAtlas/Ver1/</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>実習で病理組織標本のスケッチを行う。色鉛筆を使用するので各自持参のこと。</p>
<p>連絡先</p> <p>坂本 啓:s-kei.mpa@tmd.ac.jp</p> <p>出雲 俊之:izumo.dlab@tmd.ac.jp</p> <p>栢森 高:kayamori.mpa@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>坂本 啓:水 16:30-18:00</p> <p>出雲 俊之:水 16:30 - 18:00</p> <p>栢森 高:毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室</p>

時間割番号	021068				
科目名	予防と健康管理				
担当教員	川口 陽子, 植野 正之				
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	3
コマ数:74+4 授業形態:講義・実習 モジュール番号:10					
主な講義場所					
各ユニットの講義場所を参照のこと					
授業の目的、概要等					
口腔疾患の予防と健康管理を行うために必要な基本的知識、技術、態度を身につけ、さらに我が国の歯科保健医療制度や歯科法医学に関する基本的知識を習得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
各ユニットの到達目標を参照のこと					
成績評価の方法					
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと					
準備学習などについての具体的な指示					
各ユニットの指示を参照のこと					
試験の受験資格					
各ユニットの受験資格を参照のこと					
構成ユニット					
01 口腔疾患の予防 講義					
02 口腔疾患の予防 実習					
03 歯科医療と社会 講義					
04 歯科法医学 講義					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
教科書					
予防歯科実践ハンドブック					
連絡先					
川口 陽子:yoko.ohp@tmd.ac.jp					
植野 正之:ueno.ohp@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
川口 陽子:火・水 16:00-18:00 歯科棟北 10階 健康推進歯学分野教授室					
植野 正之:月・木 16:00-18:00 歯科棟北 10階 健康推進歯学分野准教授室					

時間割番号	021069				
科目名	口腔疾患の予防 I (講義)				
担当教員	川口 陽子				
開講時期	前期	対象年次	3		
コマ数: 24+2 授業形態: 講義 モジュール番号: 10					
主な講義場所 第2講義室					
授業の目的、概要等 口腔疾患の予防と健康管理を実践していく歯科医師となるために必要な知識、技術、態度を習得する。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 日本の歯科保健・医療制度を説明できる。 2) 日本と海外の歯科保健状況や歯科保健制度を国際比較して概説できる。 3) 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。 4) 口腔の健康と環境・社会・経済的状況との関連を説明できる。 5) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 6) 口腔疾患の第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 7) 口腔疾患のプロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 8) ライフステージにおける口腔疾患の予防を説明できる。 9) 主な口腔疾患の予防を説明できる。 10) 個人レベルと集団レベルの口腔疾患の予防と健康管理を説明できる。 11) 予防歯科学に関連した科学論文を読み、その内容を説明できる。 12) 大災害時の歯科保健医療を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/21	09:00-09:50	歯学科第2講義室	総論、口腔疾患の第1,2,3次予防	川口 陽子
2-3	4/21	10:00-11:50	歯学科第2講義室	口腔の不潔物、プラークコントロール、う蝕の予防(細菌対策、甘味制限)	財津 崇
4-6	5/12	09:00-11:50	歯学科第2講義室	う蝕の予防(フッ化物の局所応用)、う蝕の予防(フッ化物の全身応用)、歯磨剤・洗口剤	財津 崇
7-8	5/19	09:00-10:50	歯学科第2講義室	歯周疾患の予防(第1,2,3次予防)、歯周疾患の予防(歯周疾患と全身疾患)	植野 正之
9	5/19	11:00-11:50	歯学科第2講義室	リスクテスト(う蝕、歯周疾患)	財津 崇
10-12	5/26	09:00-11:50	歯学科第2講義室	母子保健、母子歯科保健、学校保健	川口 陽子
13-15	6/2	09:00-11:50	歯学科第2講義室	学校歯科保健、口臭・不正咬合等の予防、成人保健、成人歯科保健	川口 陽子
16-18	6/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	海外の歯科保健状況、産業歯科保健、老人歯科保健	川口 陽子
19	6/16	12:50-13:40	歯学科第2講義室	口腔ケアと口腔機能	白田 千代子
20-21	6/16	13:50-15:40	歯学科第2講義室	地域歯科保健の実際、保健医療福祉の連携	佐々木 勝忠
22	6/23	09:00-09:50	歯学科第2講義室	企業における成人の歯周病対策	加藤 元
23-24	6/23	10:00-11:50	歯学科第2講義室	口腔疾患の疫学、日本の統計調査	植野 正之
25-26	6/30	10:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	川口 陽子
成績評価の方法 ・6月30日の筆記試験を総括的評価とする。					
準備学習などについての具体的な指示 予防歯科学・口腔衛生学は、基礎科目、臨床科目と関連する箇所が多い。また、衛生学・公衆衛生学、衛生行政等とも関連があるので、関連の深い分野については、予防歯科学・口腔衛生学で学習した内容と、それぞれの科目で学習した内容とを自分でまとめて正しい知識として習得することが重要である。					
試験の受験資格					

- ・3分の2以上の出席を必要とする。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

- 01:口腔疾患の予防 講義
- 02:口腔疾患の予防 実習
- 03:歯科医療と社会 講義
- 04:歯科法医学 講義

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

新予防歯科学／米満正美, 小林清吾, 宮崎秀夫, 川口陽子, 鶴本明久 編:医歯薬出版, 2010

予防歯科実践ハンドブック／予防歯科臨床教育協議会 編:医歯薬出版, 2004

オーラルヘルスプロモーション : 21世紀の健康戦略／Lone Schou, Anthony S.Blinkhorn 著,川口陽子, 中村千賀子 監訳:口腔保健協会, 1994

連絡先

yoko.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

火・水 16:00-18:00 歯科棟北10階 健康推進歯学分野教授室

時間割番号	021070				
科目名	口腔疾患の予防Ⅱ(実習)				
担当教員	植野 正之				
開講時期	前期	対象年次	3		
モジュール名: 予防と健康管理 コマ数: 24(24+0)(必要自習時間 10時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 02					
主な講義場所					
口腔保健学科実習室、演習室、第2講義室、基礎実習室					
授業の目的、概要等					
口腔疾患の予防と健康管理を実践していく歯科医師となるために必要な知識、技術、態度を習得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 日本の歯科保健・医療制度を説明できる。 2) 日本と海外の歯科保健状況や歯科保健制度を国際比較して概説できる。 3) 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。 4) 口腔の健康と環境・社会・経済的状況との関連を説明できる。 5) 口腔と全身の健康との関連を説明できる。 6) 口腔疾患の第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 7) 口腔疾患のプロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 8) ライフステージにおける口腔疾患の予防を説明できる。 9) 主な口腔疾患の予防を説明できる。 10) 個人レベルと集団レベルの口腔疾患の予防と健康管理を説明できる。 11) 予防歯科学に関連した科学論文を読み、その内容を説明できる。 12) 大災害時の歯科保健医療を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/21	12:50-15:40	口腔保健学科基礎科学実習室	プラークコントロール	川口 陽子, 植野 正之, 財津 崇, 竹原 祥子, 半田 紀穂子
4-6	5/12	12:50-15:40	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	フッ化物の応用/歯磨剤	植野 正之, 半田 紀穂子, 南郷 里奈, 財津 崇, 竹原 祥子
7-8	5/19	12:50-14:40	口腔保健学科基礎科学実習室	味覚検査、飲料の糖度・pH、リスクテスト	川口 陽子, 植野 正之, 財津 崇, 竹原 祥子, 半田 紀穂子
9	5/19	14:50-15:40	歯学部演習室	疫学課題演習 1(TBL: Team Based Learning)	川口 陽子, 植野 正之, 財津 崇, 竹原 祥子, 半田 紀穂子
10-11	5/26	12:50-14:40	歯学科第2講義室, 歯学部演習室, 歯学部基礎実習室	乳幼児の歯科保健指導	川口 陽子, 植野 正之, 財津 崇, 竹原 祥子, 半田 紀穂子
12	5/26	14:50-15:40	歯学部演習室	疫学課題演習 2(TBL: Team Based Learning)	川口 陽子, 植野 正之, 財津 崇, 竹原 祥子, 半田 紀穂子
13-14	6/2	12:50-14:40	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	集団歯科健康診断/ 口臭検査、唾液検査	川口 陽子, 植野 正之, 財津 崇, 竹原 祥子, 半田 紀穂子, 南郷 里奈, 安川 由里子, 柳澤 道

					子
15	6/2	14:50-15:40	歯学部演習室	疫学課題演習 3(TBL: Team Based Learning)	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子, 南郷 里奈, 財津 崇, 竹原 祥子
16-17	6/9	12:50-14:40	口腔保健学科臨床基礎実習室 口腔保健学科相互実習室	集団歯科健康診断 / 口臭検査, 唾液検査	川口 陽子, 植野 正之, 財津 崇, 竹原 祥子, 半田 紀穂子, 南郷 里奈, 柳澤 道子, 森 智恵子
18	6/9	14:50-15:40	歯学部演習室	疫学課題演習 4(TBL: Team Based Learning)	川口 陽子, 植野 正之, 半田 紀穂子, 南郷 里奈, 財津 崇, 竹原 祥子
19-21	6/16	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室, 歯学科第 3 講義室	疫学課題演習 全体発表	川口 陽子, 竹原 祥子, 半田 紀穂子, 植野 正之, 財津 崇
22-24	6/23	12:50-15:40	歯学科第 2 講義室, 歯学部演習室, 歯学部基礎実習室	歯科健康教育	植野 正之, 財津 崇, 竹原 祥子, 半田 紀穂子, 川口 陽子

成績評価の方法

・ レポート(9 割)および実習態度(1 割)を総合的評価とする。なお、実習を休んだ場合は、担当教員に連絡をとり、指定されたレポートを提出すること。

準備学習などについての具体的な指示

口腔疾患の予防(講義)の内容を十分理解したうえで実習に臨むこと。

試験の受験資格

- ・4分の3以上の出席を必要とする。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

構成ユニット

- 01:口腔疾患の予防 講義
- 02:口腔疾患の予防 実習
- 03:歯科医療と社会 講義
- 04:歯科法医学 講義

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

新予防歯科学 / 米満正美, 小林清吾, 宮崎秀夫, 川口陽子, 鶴本明久 編: 医歯薬出版, 2010

予防歯科実践ハンドブック / 予防歯科臨床教育協議会 編: 医歯薬出版, 2004

オーラルヘルスプロモーション : 21 世紀の健康戦略 / Lone Schou, Anthony S.Blinkhorn 著, 川口陽子, 中村千賀子 監訳: 口腔保健協会, 1994

履修上の注意事項

1. 実習書は、毎回必ず持参する。
2. 実習時間は延長することがある。実習 4, 5, 7~10 では、白衣を着用する。爪を清潔に保って、高いヒールの着用などは避ける。白衣を着用しない場合、実習への参加を認めない場合がある。
3. 班によって実施する内容、集合場所が異なる場合があるので、注意する。
4. 実習 4, 9 では、昼食後は、必ず口腔清掃を行ってくる。
5. 実習 5, 7, 8 では、昼食後は口腔清掃、飲食、喫煙はしない。また、歯ブラシ、組織実習用色鉛筆、実習 1 で配布されたミラーを持参する。
6. 実習 7 では、組織実習用色鉛筆・マーカーのり・はさみを持参する。
7. 実習 8, 9 では、歯ブラシを持参する。
8. 実習 10 では 1 人 1 種類以上の飲み物を持参する。
9. 実習終了後は、提出用紙に必要事項を記入し、切り取って提出する。記入内容、提出方法については、毎回指示を出す。
10. 本実習では、全ての提出用紙ならびにレポートを提出していることが必須条件となる。実習を休んだ場合は、必ず担当者に連絡を取り、指示された課題を提出する。また、レポート内容によっては再提出を指示されることがある。その際は、指定された期限までに、新規にレポートを作成し、再提出を指示されたレポートとあわせて提出する。

連絡先

ueno.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・木 16:00-18:00 歯科棟北 10 階 健康推進歯学分野准教授室

時間割番号	021071					
科目名	歯科医療と社会					
担当教員	大原 里子					
開講時期	通年	対象年次	3			
モジュール名: 予防と健康管理 コマ数: 16(15+1) 授業形態: 講義 ユニット番号: 03						
主な講義場所 第2講義室						
授業の目的、概要等 歯科医師法および関連法規、保健、医療、福祉、介護に関する社会制度、地域医療および社会環境を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯科医師法および関連法規等を概説できる。 2) 保健・医療・福祉・介護に関連する社会制度を概説できる。 3) 保健・医療・福祉・介護の連携を理解し、その必要性を説明できる。 4) 歯科医師需給、歯科医療関係者の資質向上等を説明できる。 5) 地域医療における歯科医師の役割を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	7/14	12:50-15:40	歯学科第2講義室	保健・医療・福祉・介護関連制度および地域における連携	大原 里子	講義: SBOs2,3
4-6	7/24	12:50-15:40	歯学科第2講義室	地域医療における歯科医師の役割、歯科医療関係者の資質向上	大原 里子	講義: SBOs4,5
7-9	9/15	12:50-15:40	歯学科第2講義室	医事法制1	宮原 勇治	講義: SBOs1
10-12	9/29	12:50-15:40	歯学科第2講義室	医事法制2	五十嵐 公	講義: SBOs1
13-15	10/6	12:50-15:40	歯学科第2講義室	歯科医療の需要と供給	五十嵐 公	講義: SBOs4
16	10/13	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験	大原 里子	筆記試験
成績評価の方法 ・各講義での小テスト(3割)、および平成27年10月13日の筆記試験(7割)を総合的評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示 保健、医療、福祉、介護に関する課題や制度改正の方向性等について、日ごろから新聞、テレビ等の情報を積極的に得るようにすること。前回の講義内容に関する小テストを実施するので、復習しておくこと。						
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書 スタンダード社会歯科学第5版／石井拓男他編:学建書院, 2014						
連絡先 ohara.gend@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週火曜日 16:30-18:00 10号館 総合教育研究棟 2階 部屋番号201 総合診療歯科学講師室						

時間割番号	021072																																																																																						
科目名	歯科法医学																																																																																						
担当教員	櫻田 宏一																																																																																						
開講時期	通年	対象年次	3																																																																																				
モジュール名: 予防と健康管理 コマ数: 13(12+1) 授業形態: 講義 ユニット番号: 04																																																																																							
主な講義場所 第2講義室																																																																																							
授業の目的、概要等 歯科法医学の知識および一般社会との関連を学び、法医学的視点に立って問題解決できる能力を修得する。																																																																																							
授業の到達目標(SB0s) 1) 歯科法医学が扱う学問領域を理解し、その社会的意義を説明できる。 2) 死因究明制度を理解し、歯科医師との関連を説明できる。 3) 個人識別の種類と原理について理解する。 4) 法医学における死体現象および死因の特定について理解する。 5) 歯科所見を用いた個人識別の有用性について説明できる。 6) 骨形態および顔画像解析による個人識別法について理解する。 7) 大規模災害時での歯科医師による身元確認作業の重要性について説明できる。 8) 歯科医師と虐待あるいは医療訴訟との関連について理解する。																																																																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/18</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>歯科法医学総論</td> <td>櫻田 宏一</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/18</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>歯科医師と死因究明制度</td> <td>櫻田 宏一</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/18</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>個人識別の種類と原理</td> <td>櫻田 宏一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/25</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>法医学概論</td> <td>上村 公一</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/25</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>死後変化の原理と特徴</td> <td>上村 公一</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>9/25</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>死因の種類と特定</td> <td>上村 公一</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>9/28</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>歯からの個人識別</td> <td>櫻田 宏一</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>9/28</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>歯科所見による身元確認</td> <td>櫻田 宏一</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>9/28</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>骨形態と顔画像分析による個人識別</td> <td>宇都野 創</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>10/5</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>虐待の発見と防止</td> <td>佐藤 慶太</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>10/5</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>大規模災害における身元確認</td> <td>宇都野 創</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>10/7</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>医療事故と医事紛争</td> <td>櫻田 宏一</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>10/14</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>試験</td> <td>櫻田 宏一</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	9/18	12:50-13:40	歯学科第2講義室	歯科法医学総論	櫻田 宏一	2	9/18	13:50-14:40	歯学科第2講義室	歯科医師と死因究明制度	櫻田 宏一	3	9/18	14:50-15:40	歯学科第2講義室	個人識別の種類と原理	櫻田 宏一	4	9/25	12:50-13:40	歯学科第2講義室	法医学概論	上村 公一	5	9/25	13:50-14:40	歯学科第2講義室	死後変化の原理と特徴	上村 公一	6	9/25	14:50-15:40	歯学科第2講義室	死因の種類と特定	上村 公一	7	9/28	09:00-09:50	歯学科第2講義室	歯からの個人識別	櫻田 宏一	8	9/28	10:00-10:50	歯学科第2講義室	歯科所見による身元確認	櫻田 宏一	9	9/28	11:00-11:50	歯学科第2講義室	骨形態と顔画像分析による個人識別	宇都野 創	10	10/5	13:50-14:40	歯学科第2講義室	虐待の発見と防止	佐藤 慶太	11	10/5	14:50-15:40	歯学科第2講義室	大規模災害における身元確認	宇都野 創	12	10/7	13:50-14:40	歯学科第2講義室	医療事故と医事紛争	櫻田 宏一	13	10/14	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	櫻田 宏一
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																		
1	9/18	12:50-13:40	歯学科第2講義室	歯科法医学総論	櫻田 宏一																																																																																		
2	9/18	13:50-14:40	歯学科第2講義室	歯科医師と死因究明制度	櫻田 宏一																																																																																		
3	9/18	14:50-15:40	歯学科第2講義室	個人識別の種類と原理	櫻田 宏一																																																																																		
4	9/25	12:50-13:40	歯学科第2講義室	法医学概論	上村 公一																																																																																		
5	9/25	13:50-14:40	歯学科第2講義室	死後変化の原理と特徴	上村 公一																																																																																		
6	9/25	14:50-15:40	歯学科第2講義室	死因の種類と特定	上村 公一																																																																																		
7	9/28	09:00-09:50	歯学科第2講義室	歯からの個人識別	櫻田 宏一																																																																																		
8	9/28	10:00-10:50	歯学科第2講義室	歯科所見による身元確認	櫻田 宏一																																																																																		
9	9/28	11:00-11:50	歯学科第2講義室	骨形態と顔画像分析による個人識別	宇都野 創																																																																																		
10	10/5	13:50-14:40	歯学科第2講義室	虐待の発見と防止	佐藤 慶太																																																																																		
11	10/5	14:50-15:40	歯学科第2講義室	大規模災害における身元確認	宇都野 創																																																																																		
12	10/7	13:50-14:40	歯学科第2講義室	医療事故と医事紛争	櫻田 宏一																																																																																		
13	10/14	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	櫻田 宏一																																																																																		
成績評価の方法 ・10月14日の筆答試験を総合的評価とする。																																																																																							
準備学習などについての具体的な指示 配布資料を事前にチェックし、次の講義に備えること。																																																																																							
試験の受験資格 ・全講義時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																																																							
参考書 法医歯科学／山本勝一 著.: 医歯薬出版, 1993 NEW エッセンシャル法医学 = New Essentials of Forensic Medicine／高取健彦 監修, 長尾正崇, 中園一郎, 山内春夫 編.: 医歯薬出版, 2012																																																																																							
連絡先 sakurada.fde@tmd.ac.jp																																																																																							

時間割番号	021073				
科目名	生体と薬物				
担当教員	青木 和広				
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	3
コマ数:69+3 授業形態:講義・実習 モジュール番号:11					
授業の目的、概要等					
生体における薬物作用に関する知識と、歯科治療における薬物使用に関する基本的な知識を修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。 					
構成ユニット					
01 薬理学概説(薬理Ⅰ)					
02 神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)					
03 感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)					
04 薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
kazu.hpha@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
随時 MD タワー7 階南 研究室1 (S760)					

時間割番号	021074					
科目名	薬理学概説(薬理 I)					
担当教員	青木 和広, 原澤 秀樹					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 生体と薬物 コマ数: 12+1(必要自習時間 12 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
生体における薬物作用に関する基本的知識と、薬物を安全に使用するための基本的な考え方を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 薬理作用の種類を説明できる。 2) 薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 3) 薬物の構造活性相関について説明できる。 4) 薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 5) 薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 6) 薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。 7) 薬理作用を規定する要因について説明できる。 8) 新薬の開発とその臨床応用について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/20	11:00-11:50	歯学科第2講義室	薬理学概論・作用様式	青木 和広	講義SBOs 1
2	4/23	12:50-13:40	歯学科第2講義室	薬物受容体	青木 和広	講義SBOs 2
3	4/23	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬物の化学構造と薬理作用	青木 和広	講義SBOs 3
4	4/30	12:50-13:40	歯学科第2講義室	薬物の適応方法	青木 和広	講義SBOs 4
5	4/30	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬物の動態(吸収と分布、排泄、代謝) 1	青木 和広	講義SBOs 5
6	5/7	12:50-13:40	歯学科第2講義室	薬物の動態(吸収と分布、排泄、代謝) 2	青木 和広	講義SBOs 5
7	5/7	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬物の毒性と副作用	青木 和広	講義SBOs 6
8	5/11	10:00-10:50	歯学科第2講義室	生物学的検定法、用量反応曲線	青木 和広	講義SBOs 6
9	5/11	11:00-11:50	歯学科第2講義室	薬物の反復投与・規定要因	青木 和広	講義SBOs 7
10	5/13	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬物の併用・相互作用	青木 和広	講義SBOs 7
11	5/13	14:50-15:40	歯学科第2講義室	小児・高齢者の薬用量	青木 和広	講義SBOs 7
12	5/18	09:00-09:50	歯学科第2講義室	新薬の開発と臨床応用	原澤 秀樹	講義SBOs 8
13	5/25	09:00-09:50	情報検索室	試験	青木 和広, 原澤 秀樹	
成績評価の方法						
・各講義での小テスト(1割)と、平成27年5月25日におこなうCBT試験(9割)を総括的評価とする。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に資料配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。						
試験の受験資格						
・3分の2以上出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
現代歯科薬理学／大谷啓一、鈴木邦明、戸苅彰史 編、加藤有三、篠田壽 監修; 医歯薬出版、2012 NEW 薬理学／田中千賀子、加藤隆一 編; 南江堂、2011 薬理書：薬物治療の基礎と臨床(上)／グッドマン／〔原編〕、ギルマン／〔原編〕、高折修二／監訳、橋本敬太郎／監訳、赤池昭紀／監訳、石井邦雄／監訳; 廣川書店、2013						

薬理学：薬物治療の基礎と臨床(下)／グッドマン／〔原編〕、ギルマン／〔原編〕、高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳：廣川書店，2013

今日の治療薬：解説と便覧／浦部 晶夫／編集島田 和幸／編集川合 眞一／編集館田 一博／〔ほか〕執筆：南江堂，2015

病態生理に基づく臨床薬理学：ハーバード大学テキスト／デービッド E.ゴーラン，アーメン H.タジジアン 編，清野裕 日本語版監修：メディカル・サイエンス・インターナショナル，2006

Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他：Lippincott Williams & Wilkins，2011

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。使用方法は指示します。

歯学部 e-learning ホームページ：<http://lib02.tmd.ac.jp/>

連絡先

青木 和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

原澤 秀樹 hharasawa.dpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

青木 和広 随時 MD タワー7 階南 研究室1 (S760)

原澤 秀樹 月・水 16:00-17:00

時間割番号	021075					
科目名	神経系と薬物、麻酔薬、組織の損傷・炎症・治癒過程と薬物(薬理Ⅱ)					
担当教員	青木 和広, 田村 幸彦					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 生体と薬物 コマ数: 18+1 (必要自習時間 18 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等 中枢神経系および末梢神経系に作用する代表的な薬物と麻酔薬、鎮痛薬、抗炎症薬、免疫調節薬などを理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 中枢神経系に作用する薬物について説明できる。 2) 自律神経系に作用する薬物について説明できる 3) 運動神経系に作用する薬物について説明できる。 4) 全身麻酔薬、局所的麻酔薬について説明できる。 5) 抗炎症薬、鎮痛薬について説明できる。 6) 免疫系作用薬物の種類と作用について概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/18	10:00-10:50	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(全身麻酔薬)1	青木 和広	講義:SBOs 1、4
2	5/18	11:00-11:50	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(全身麻酔薬)2	青木 和広	講義:SBOs 1、4
3	5/20	12:50-13:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(興奮薬、抗痙攣薬)	田村 幸彦	講義:SBOs 1
4	5/20	13:50-14:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(抗不安薬、向精神薬)1	田村 幸彦	講義:SBOs 1
5	5/20	14:50-15:40	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(抗不安薬、向精神薬)2	田村 幸彦	講義:SBOs 1
6	5/25	10:00-10:50	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(パーキンソン病治療薬)	田村 幸彦	講義:SBOs 1
7	5/25	11:00-11:50	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(麻薬性鎮痛薬)1	青木 和広	講義:SBOs 1
8	5/27	12:50-13:40	歯学科第2講義室	自律神経系総論	青木 和広	講義:SBOs 2
9	5/27	13:50-14:40	歯学科第2講義室	自律神経系に作用する薬物(アドレナリン作動性関連薬、抗コリン作動性関連薬)	青木 和広	講義:SBOs 2
10	5/27	14:50-15:40	歯学科第2講義室	運動神経系に作用する薬物	青木 和広	講義:SBOs 3
11	6/1	09:00-09:50	歯学科第4講義室	末梢神経系に作用する薬物(TBL方式による試験および議論および講義)	青木 和広	講義:SBOs 2、3
12	6/1	10:00-10:50	歯学科第4講義室	同上	青木 和広	講義:SBOs 2、3
13	6/1	11:00-11:50	歯学科第4講義室	同上	青木 和広	講義:SBOs 2、3
14	6/8	09:00-09:50	歯学科第2講義室	中枢神経系に作用する薬物(麻薬性鎮痛薬)2	青木 和広	講義:SBOs 1
15	6/8	10:00-10:50	歯学科第2講義室	鎮痛薬、抗炎症薬1	青木 和広	講義:SBOs 5
16	6/8	11:00-11:50	歯学科第2講義室	鎮痛薬、抗炎症薬2	青木 和広	講義:SBOs 5
17	6/11	12:50-13:40	歯学科第2講義室	局所麻酔薬	青木 和広	講義:SBOs 4
18	6/11	13:50-14:40	歯学科第2講義室	免疫調節薬、免疫療法薬	青木 和広	講義:SBOs 6
19	6/22	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験	青木 和広 田村 幸彦	
成績評価の方法 ・各講義での小テスト(1割)と、平成27年6月22日におこなう筆答試験(9割)を総合的に評価とする。 ・TBL方式の講義における試験や授業態度なども成績に加味される。						
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に資料配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。						
試験の受験資格						

- ・3分の2以上の出席を必要とする。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸苅彰史 編,加藤有三, 篠田壽 監修:医歯薬出版, 2012

NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一 編:南江堂, 2011

薬理書:薬物治療の基礎と臨床(上)／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳:廣川書店, 2013

薬理書:薬物治療の基礎と臨床(下)／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳:廣川書店, 2013

今日の治療薬:解説と便覧／浦部 晶夫／編集,島田 和幸／編集,川合 眞一／編集,館田 一博／〔ほか〕執筆:南江堂, 2015

病態生理に基づく臨床薬理学:ハーバード大学テキスト／デービッド E.ゴーラン, アーメン H.タシジアン 編,清野裕 日本語版監修:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2006

Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他:Lippincott Williams & Wilkins, 2011

参照ホームページ

e-learning システムを利用します。使用方法は指示します。

歯学部 e-learning ホームページ:<http://lib02.tmd.ac.jp/>

連絡先

青木 和広:kazu.hpha@tmd.ac.jp

田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

青木 和広:随時 MD タワー7 階南 研究室1 (S760)

田村 幸彦:毎週金曜日 16:00-18:00 MD タワー7 階南 研究室 1(S760)

時間割番号	021076					
科目名	感染の予防および治療薬、内科的疾患とその治療薬(薬理Ⅲ)					
担当教員	田村 幸彦, 青木 和広					
開講時期	通年	対象年次	3			
モジュール名: 生体と薬物 コマ数: 21+1 (必要自習時間 21 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等						
代謝性骨疾患治療薬、消毒薬、感染症治療薬、悪性腫瘍治療薬、循環器系、呼吸器系、消化器系、血液に作用する代表的な薬物、重金属拮抗薬、内分泌系、口腔疾患への漢方薬物療法、唾液分泌に関連する薬物、歯科用薬物について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 代表的な代謝性骨疾患治療薬を説明できる。 2) 代表的な消毒薬について説明できる。 3) 代表的な感染症治療薬について説明できる。 4) 代表的な悪性腫瘍治療薬について説明できる。 5) 循環器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。 6) 呼吸器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。 7) 消化器系疾患の代表的な治療薬を説明できる。 8) 血液に作用する薬物を説明できる。 9) 代表的な重金属拮抗薬を説明できる。 10) 内分泌系に作用する薬物を説明できる。 11) 漢方薬による生体反応を説明できる。 12) 唾液腺に作用する薬物について説明できる。 13) 代表的な歯科用薬物について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	6/19	12:50-13:40	歯学科第2講義室	消毒薬1	高橋 悦子	講義SBOs 2
2	6/19	13:50-14:40	歯学科第2講義室	消毒薬2	高橋 悦子	講義SBOs 2
3	6/19	14:50-15:40	歯学科第2講義室	消化器系に作用する薬物	田村 幸彦	講義SBOs 7
4	6/22	10:00-10:50	歯学科第2講義室	悪性腫瘍治療薬1	田村 幸彦	講義SBOs 4
5	6/22	11:00-11:50	歯学科第2講義室	悪性腫瘍治療薬2	田村 幸彦	講義SBOs 4
6	6/24	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨組織と薬物1	二藤 彰	講義SBOs 1
7	6/24	13:50-14:40	歯学科第2講義室	歯科用薬物1	長谷川 望	講義SBOs 13
8	6/24	14:50-15:40	歯学科第2講義室	歯科用薬物2	長谷川 望	講義SBOs 13
9	7/7	09:00-09:50	歯学科第2講義室	呼吸器系に作用する薬物	田村 幸彦	講義SBOs 6
10	7/7	10:00-10:50	歯学科第2講義室	毒物と解毒薬(重金属拮抗薬)	田村 幸彦	講義SBOs 9
11	7/7	11:00-11:50	歯学科第2講義室	骨組織と薬物2	青木 和広	講義SBOs 1
12	7/13	09:00-09:50	歯学科第2講義室	循環器系に作用する薬物1	青木 和広	講義SBOs 5
13	7/14	09:00-09:50	歯学科第2講義室	循環器系に作用する薬物2	青木 和広	講義SBOs 5
14	7/14	10:00-10:50	歯学科第2講義室	漢方薬物療法1	高橋 悦子	講義SBOs 11
15	7/14	11:00-11:50	歯学科第2講義室	漢方薬物療法2	高橋 悦子	講義SBOs 11
16	7/22	09:00-09:50	歯学科第2講義室	血液に作用する薬物	青木 和広	講義SBOs 8
17	7/22	10:00-10:50	歯学科第2講義室	唾液腺に作用する薬物	田村 幸彦	講義SBOs 12
18	7/22	11:00-11:50	歯学科第2講義室	内分泌と薬物	田村 幸彦	講義SBOs 10
19	7/27	09:00-09:50	歯学科第2講義室	感染症治療薬1	青木 和広	講義SBOs 3
20	7/27	10:00-10:50	歯学科第2講義室	感染症治療薬2	青木 和広	講義SBOs 3
21	7/27	11:00-11:50	歯学科第2講義室	感染症治療薬3	青木 和広	講義SBOs 3
22	9/14	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験	田村 幸彦, 青木 和広	

					高橋 悦子, 長谷川 望 二藤 彰		
成績評価の方法							
各講義での小テスト(1割)と平成27年9月14日に実施される筆答試験(9割)を総合的評価とする。							
準備学習などについての具体的な指示							
<ul style="list-style-type: none"> ・事前に資料配付、e-learningへのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。 							
試験の受験資格							
<ul style="list-style-type: none"> ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 							
参考書							
現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸苅彰史 編, 加藤有三, 篠田壽 監修, 医歯薬出版, 2012							
NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一 編, 南江堂, 2011							
薬理書：薬物治療の基礎と臨床(上)／グッドマン／〔原編〕, ギルマン／〔原編〕, 高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳：廣川書店, 2013							
薬理書：薬物治療の基礎と臨床(下)／グッドマン／〔原編〕, ギルマン／〔原編〕, 高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳：廣川書店, 2013							
今日の治療薬：解説と便覧／浦部 晶夫／編集, 島田 和幸／編集, 川合 眞一／編集, 舘田 一博／〔ほか〕執筆, 南江堂, 2015							
病態生理に基づく臨床薬理学：ハーバード大学テキスト／デービッド E.ゴーラン, アーメン H. タンジアン 編, 清野裕 日本語版監修, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2006							
Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他, Richard A. Harvey PhD 他, 2011							
絵でみる和漢診療学／寺沢捷年 著, 医学書院, 1996							
参照ホームページ							
e-learning システムを利用します。使用方法は指示します。							
歯学部 e-learning ホームページ： http://lib02.tmd.ac.jp/							
連絡先							
田村 幸彦, tamu.hpha@tmd.ac.jp							
青木 和広, kazu.hpha@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
田村 幸彦: 毎週金曜日 16:00-18:00 MD タワー7 階南 研究室 1(S760)							
青木 和広: 随時 MD タワー7 階南 研究室 1(S760)							

時間割番号	021077					
科目名	薬物と生体反応の実際(薬理Ⅳ)					
担当教員	青木 和広, 田村 幸彦					
開講時期	前期	対象年次	3			
モジュール名: 生体と薬物 コマ数: 18+0(必要自習時間6時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 04						
主な講義場所 1号館6階歯学部基礎実習室・歯学部基礎小実習室、7階口腔保健学科基礎科学実習室						
授業の目的、概要等 薬物によりおこる生体反応を観察して薬理作用について理解する。小グループに分かれて実習を行うため実習書のとおりに行う。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 生物学的検定法を説明できる。 2) 競合的拮抗作用を説明できる。 3) 中枢神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。 4) 自律神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。 5) 体性神経系に作用する薬物による生体反応を説明できる。 6) 局所麻酔薬、抗炎症薬による生体反応を説明できる。 7) 全身麻酔薬、鎮痛薬による生体反応を説明できる。 8) 硬組織に作用する薬物による生体反応を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	5/15	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室 口腔保健学科基礎科学実習室	薬理実習1	青木 和広, 田村 幸彦, 大谷 啓一, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子, 瀬戸 浩行, 佐藤 俊三, 加藤 玄樹	講義SBOs 1~8
4-6	5/22	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室 口腔保健学科基礎科学実習室	薬理実習2	青木 和広, 田村 幸彦, 大谷 啓一, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子, 瀬戸 浩行, 佐藤 俊三, 加藤 玄樹	講義SBOs 1~8
7-9	5/29	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室 口腔保健学科基礎科学実習室	薬理実習3	青木 和広, 田村 幸彦, 大谷 啓一, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子, 瀬戸 浩行, 佐藤 俊三, 加藤 玄樹	講義SBOs 1~8
10-12	7/3	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室 口腔保健学科基礎科学実習室	薬理実習4	青木 和広, 田村 幸彦, 大谷 啓一, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子, 瀬戸 浩行, 佐藤 俊三, 加藤 玄樹	講義SBOs 1~8
13-15	7/10	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室 口腔保健学科基礎科学実習室	薬理実習5	青木 和広, 田村 幸彦, 大谷 啓一, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子, 瀬戸 浩行, 佐藤 俊三, 加藤 玄樹	講義SBOs 1~8
16-18	7/17	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室 口腔保健学科基礎科学実習室	薬理実習6	青木 和広, 田村 幸彦, 大谷 啓一, 久保村 英一, 脇 能広, 高橋 悦子, 瀬戸 浩行, 佐藤 俊三, 加藤 玄樹	講義SBOs 1~8
成績評価の方法 ・実習レポートによる総合的評価とする。						

<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず実習書を目を通してから実習に臨むこと。 ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分の3以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>参考書</p> <p>現代歯科薬理学／大谷啓一, 鈴木邦明, 戸苅彰史 編,加藤有三, 篠田壽 監修.; 医歯薬出版, 2012</p> <p>NEW 薬理学／田中千賀子, 加藤隆一 編.; 南江堂, 2011</p> <p>薬理書：薬物治療の基礎と臨床(上)／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳.; 廣川書店, 2013</p> <p>薬理書：薬物治療の基礎と臨床(下)／グッドマン／〔原編〕,ギルマン／〔原編〕,高折修二／監訳橋本敬太郎／監訳赤池昭紀／監訳石井邦雄／監訳.; 廣川書店, 2013</p> <p>今日の治療薬：解説と便覧／浦部 晶夫／編集,島田 和幸／編集,川合 眞一／編集,館田 一博／〔ほか〕執筆.; 南江堂, 2015</p> <p>病態生理に基づく臨床薬理学：ハーバード大学テキスト／デービッド E.ゴーラン, アーメン H.タシジャン 編,清野裕 日本語版監修.; メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2006</p> <p>Pharmacology, 5th edition／Richard A. Harvey PhD 他.; Lippincott Williams & Wilkins, 2011</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>e-learning システムを利用します。使用方法は指示します。</p> <p>歯学部 e-learning ホームページ：http://lib02.tmd.ac.jp/</p>
<p>連絡先</p> <p>青木 和広.kazu.hpha@tmd.ac.jp</p> <p>田村 幸彦.tamu.hpha@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>青木 和広.随時 MD タワー7 階南 研究室1 (S760)</p> <p>田村 幸彦.毎週金曜日 16:00-18:00 MD タワー7 階南 研究室 1(S760)</p>

時間割番号	021078				
科目名	歯科放射線基礎				
担当教員	倉林 亨, 大林 尚人				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1
コマ数: 45(1) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 12					
授業の目的、概要等					
歯科医療において放射線を安全かつ有効に利用するために、放射線の性質や人体に対する影響、各種画像検査法の特徴および適応を理解する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 放射線の性質と画像検査の基本					
02 放射線の性質と画像検査の基本 実習					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
倉林 亨:kura.oral@tmd.ac.jp					
大林 尚人:nao.orad@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
倉林 亨:特に曜日は定めないが、事前にメールで連絡すること。					
大林 尚人:月・水・木 16:00-17:00					

時間割番号	021079																																																														
科目名	放射線の性質と画像検査の基本																																																														
担当教員	倉林 亨																																																														
開講時期	後期	対象年次	3																																																												
モジュール名: 歯科放射線基礎 コマ数: 24+1 (必要自習時間 8 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01																																																															
授業の目的、概要等 放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。																																																															
授業の到達目標(SBOs) 1) 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。 2) エックス線画像の形成原理を説明できる。 3) エックス線フィルム および増感紙の構造と性質を説明できる。 4) エックス線写真処理 の原理と方法を説明できる。 5) エックス線投影の原則を説明できる。 6) デジタルエックス線撮影の原理および特徴を説明で ける。 7) 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 8) パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。 9) 頭部エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法 および適応を説明できる。 10) 造影エックス線撮影の種類と適応を説明できる。 11) CT, MRI, US, 核医学検査の原理と口腔顎顔面領域における適応を説明できる。 12) 各種画像に見られる顎口腔領域の正常像について説明できる。 13) 各種画像に見られる顎口腔領域の異常所見を指摘できる。 14) 放射線の細胞致死効果を説明できる。 15) 腫瘍に対する放射線の作用について説明できる 16) 放射線の人体に対する影響を説明できる。 17) 放射線防護の基本概念を説明できる。																																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>9/15</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>放射線と X 線の性質</td> <td>渡邊 裕</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>9/16</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>放射線と X 線の性質</td> <td>渡邊 裕</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>9/30</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>放射線診断学総論</td> <td>倉林 亨</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>10/7</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>放射線診断学総論</td> <td>倉林 亨</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>10/13</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>放射線診断学総論</td> <td>倉林 亨</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>10/21</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>放射線管理学</td> <td>吉野 教夫</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>10/28</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>放射線生物学</td> <td>三浦 雅彦</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>11/2</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>放射線生物学</td> <td>三浦 雅彦</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>1/8</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第 2 講義室</td> <td>試験</td> <td>倉林 亨</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	9/15	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線と X 線の性質	渡邊 裕	4-6	9/16	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線と X 線の性質	渡邊 裕	7-9	9/30	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線診断学総論	倉林 亨	10-12	10/7	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線診断学総論	倉林 亨	13-15	10/13	12:50-15:40	歯学科第 2 講義室	放射線診断学総論	倉林 亨	16-18	10/21	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線管理学	吉野 教夫	19-21	10/28	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線生物学	三浦 雅彦	22-24	11/2	12:50-15:40	歯学科第 2 講義室	放射線生物学	三浦 雅彦	25	1/8	12:50-13:40	歯学科第 2 講義室	試験	倉林 亨
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																										
1-3	9/15	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線と X 線の性質	渡邊 裕																																																										
4-6	9/16	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線と X 線の性質	渡邊 裕																																																										
7-9	9/30	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線診断学総論	倉林 亨																																																										
10-12	10/7	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線診断学総論	倉林 亨																																																										
13-15	10/13	12:50-15:40	歯学科第 2 講義室	放射線診断学総論	倉林 亨																																																										
16-18	10/21	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線管理学	吉野 教夫																																																										
19-21	10/28	09:00-11:50	歯学科第 2 講義室	放射線生物学	三浦 雅彦																																																										
22-24	11/2	12:50-15:40	歯学科第 2 講義室	放射線生物学	三浦 雅彦																																																										
25	1/8	12:50-13:40	歯学科第 2 講義室	試験	倉林 亨																																																										
成績評価の方法 ・1 月 8 日の筆記試験を総括的評価とする。																																																															
準備学習などについての具体的な指示																																																															
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																															
参考書																																																															

歯科放射線学／岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎 編集.: 医歯薬出版, 2013

Oral Radiology: Principles and Interpretation 7th ed／White SC, Pharoah MJ: Mosby, 2014

歯科放射線診断 teaching file／金田隆, 倉林亨, 佐野司 編著.: 砂書房, 2007

歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編.: 医歯薬出版, 2008

Radiobiology for the Radiologist 7th ed／Eric J Hall and Amato J Giaccia eds: Lippincott Williams & Wilkins

連絡先

kura.oral@tmd.ac.jp

オフィスアワー

特に曜日は定めませんが、事前にメールで連絡すること。

時間割番号	021080																																																		
科目名	放射線の性質と画像検査の基本 実習																																																		
担当教員	大林 尚人, 倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 吉野 教夫, 鉄村 明美, 中村 伸, 栗林 亜実, 坂本 潤一郎																																																		
開講時期	後期	対象年次	3																																																
モジュール名: 歯科放射線基礎 コマ数: 21+0(必要自習時間 10 時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 02																																																			
授業の目的、概要等 放射線の性質や、口腔顎顔面領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を実習を通じて理解する。																																																			
授業の到達目標(SBOs) 1) エックス線写真処理の方法を説明し、実施できる。 2) 放射線の物理学的性質を説明できる。 3) phantom を用いた口内法エックス線撮影の方法を説明し、実施できる。 4) パノラマエックス線撮影の方法を説明できる。 5) 頭部エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 6) CT, MRI の口腔顎顔面領域における適応を説明できる。 7) 各種画像に見られる顎口腔領域の正常像について説明できる。 8) 各種画像に見られる顎口腔領域の異常所見を指摘できる。 9) 口腔・顎顔面領域癌に対する放射線治療の役割を説明できる。																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>11/4</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>実習1</td> <td>倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>11/11</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>実習2</td> <td>倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>11/18</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>実習3</td> <td>倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>11/25</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>実習4</td> <td>倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>12/2</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>実習5</td> <td>倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>12/9</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>実習6</td> <td>倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>12/16</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>実習7</td> <td>倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	11/4	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習1	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫	4-6	11/11	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習2	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫	7-9	11/18	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習3	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫	10-12	11/25	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習4	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫	13-15	12/2	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習5	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫	16-18	12/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習6	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫	19-21	12/16	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習7	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																														
1-3	11/4	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習1	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫																																														
4-6	11/11	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習2	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫																																														
7-9	11/18	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習3	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫																																														
10-12	11/25	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習4	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫																																														
13-15	12/2	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習5	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫																																														
16-18	12/9	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習6	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫																																														
19-21	12/16	09:00-11:50	歯学科第2講義室	実習7	倉林 亨, 三浦 雅彦, 渡邊 裕, 大林 尚人, 吉野 教夫																																														
成績評価の方法 ・レポートを総括的評価とする。																																																			
準備学習などについての具体的な指示																																																			
試験の受験資格 ・4分の3以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																			
参考書 参考書はユニット 01 と同様である。																																																			
連絡先 大林 尚人:nao.orad@tmd.ac.jp 倉林 亨:kura.oral@tmd.ac.jp 三浦 雅彦:masa.mdth@tmd.ac.jp																																																			
オフィスアワー 大林 尚人:月・水・木 16:00-17:00 倉林 亨:特に曜日は定めませんが、事前にメールで連絡すること。 三浦 雅彦:月、水、金 16:00-18:00 M&D タワー7階 702																																																			

時間割番号	021081					
科目名	病態科学演習					
担当教員	青木 和広, 水口 俊介, 坂本 啓					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	3	
コマ数: 63(0) (必要自習時間30時間) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 13 ユニット番号: 01						
主な講義場所 全体講義: 1号館6階 演習室1~4 グループディスカッション: 演習室5~11						
授業の目的、概要等 授業の目的 解剖学、生理学、生化学、病理学、細菌学、免疫学、薬理学などの知識を、臨床歯科学における疾病の病態の解釈と理解に統合する。また、全身疾患を有する患者の歯科治療に関する基礎知識を養う。 授業概要 全身および口腔領域における疾病について、講義、ケースシナリオ、演習を組み合わせた授業を通して統合的な学習を進める。						
授業の到達目標(SBOs) ・臨床症例の病態を、症状や検査データを元に推論し、基礎医学的知識を用いて論理的に説明できるスキルを身につける。 ・糖尿病や循環器疾患など全身疾患を有する患者に歯科治療を適切に施せる基礎的知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	10/19	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 嚥下障害1	嚥下に関わる中枢神経の役割/嚥下障害の病因/嚥下障害の治療法、リハビリテーション/嚥下障害を伴う全身疾患の病因、機序、治療法	戸原 玄 泰羅 雅登 青木 和広
4-6	10/22	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 嚥下障害2	同上	泰羅 雅登 戸原 玄 青木 和広
7-9	10/26	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 味覚障害1	味覚器の構造と機能および伝達経路/味覚障害を生じる主な疾病・疾患 /味覚障害の治療法	杉本 久美子, 青木 和広
10-12	10/27	09:00-11:50	歯学部演習室	病態科学演習 疼痛1	神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能 /シナプスの構造と興奮伝達の仕組み/鎮痛の機序/顔面領域に生じる慢性疼痛/口腔内に疼痛を生じる疾病・疾患	嶋田 昌彦, 砂川 光宏 青木 和広
13-15	10/29	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 味覚障害2	味覚器の構造と機能および伝達経路/味覚障害を生じる主な疾病・疾患/味覚障害の治療法	杉本 久美子, 青木 和広
16-18	10/30	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 疼痛2	神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能 /シナプスの構造と興奮伝達の仕組み/鎮痛の機序/顔面領域に生じる慢性疼痛/口腔内に疼痛を生じる疾病・疾患	砂川 光宏 青木 和広
19-21	11/4	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 関口障害1	顎口腔系の解剖/下顎運動に関連する筋, 神経系の機能/顎機能異常/全身疾患に伴う関口障害	西山 暁 泰羅 雅登 青木 和広
22-24	11/6	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 関口障害2	同上	泰羅 雅登 西山 暁 青木 和広
25-27	11/9	12:50-15:40	歯学科第4講義室	病態科学演習	高血圧・低血圧・虚血性心疾患・不整脈・感染性	大渡 凡人

				心電図(正常)	心内膜炎・心不全について病態生理学的に説明 ／12誘導心電図について電気生理学的に説明 (心電図演習)／12誘導心電図の基礎的な解析が できる(心電図演習)／重要な不整脈について心 電図学的に解析(心電図演習)	青木 和広
28-30	11/13	12:50-15:40	歯学科第4講義室	病態科学演習 心電図(正常→ 不整脈)	同上	大渡 凡人 青木 和広
31-33	11/16	09:00-11:50	歯学科第4講義室	病態科学演習 心電図演習(不 整脈)	同上	大渡 凡人 青木 和広
34-36	11/16	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 循環器疾患を 持つ患者の歯 科治療1	循環器疾患と口腔領域疾患の関連／循環器疾 患患者の歯科治療におけるリスク管理方法／循 環器疾患患者に処方されている薬剤と相互作用 する歯科用薬剤	大渡 凡人 青木 和広
37-39	11/20	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 循環器疾患を 持つ患者の歯 科治療2	同上	大渡 凡人 青木 和広
40-42	11/24	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 感染症1	炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的 変化／炎症による組織学的変化、炎症性細胞の 種類、機能、免疫学的特徴／口内炎についての 病因・臨床病態および治療法	道 泰之 中川 一路 坂本 啓
43-45	11/27	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 感染症2	同上	道 泰之 坂本 啓
46-48	11/30	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 口腔粘膜疾患1	口腔粘膜に症状を呈する自己免疫疾患／口腔粘 膜に異常が生じる機序／自己免疫疾患の免疫学 的検査の意味	津島 文彦 東 みゆき 坂本 啓
49-51	12/4	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 口腔粘膜疾患2	同上	東 みゆき 津島 文彦 坂本 啓
52-54	12/7	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 腫瘍1	増殖と腫瘍の関係／腫瘍の発生の原因／癌の 診断、進展、予後／口腔領域腫瘍の病因と病理 像／全身疾患に伴う口腔病変の臨床像と病理像	原田 浩之 栢森 高 坂本 啓
55-57	12/11	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 腫瘍2	同上	栢森 高 原田 浩之 坂本 啓
58-60	12/14	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 糖尿病1	糖尿病について病態生理学的に説明／糖尿病 の疫学／糖尿病の治療法／糖尿病の重要な合 併症／糖尿病と口腔領域疾患との関連／糖尿病 患者の歯科治療におけるリスク管理方法	大渡 凡人 坂本 啓
61-63	12/18	12:50-15:40	歯学部演習室	病態科学演習 糖尿病2	同上	大渡 凡人 坂本 啓
64	1/8	14:50-15:40	歯学科第2講義室	病態科学演習 試験		青木 和広 坂本 啓 水口 俊介

授業方法

授業については、各学習項目に対して6～7コマの学習時間とし、ミニレクチャー、グループディスカッション、ミドルセッション、グループ発表、ラップアップセッションの組み合わせによって行う。具体的にはおおよ以下の流れに沿って授業を進める。

1日目

・プレテスト(MCQ:Multiple Choice Questions)

ケースシナリオで期待される学習目標に関わる MCQ を行う。

・ミニレクチャー(臨床症例:臨床系教員、講義形式)

臨床系教員により、ケースに関わる臨床症例を提示し、簡単な導入を行う。

・グループディスカッション(学習目標設定:チューター、PBL 形式)

ミニレクチャーの内容と学生自らの持っている基礎的知識あるいはチューターの助言により、ケースシナリオの病因、病態を解釈し、班の学習目標を設定する時間とする。

・ミドルセッション(病態科学:基礎系教員、講義形式)

グループディスカッションの後、基礎系教員により、ケースシナリオで期待される学習目標に関わる病態科学的な講義を行う。

・グループディスカッション(討議報告準備:チューター、PBL 形式)

ミドルセッションの内容をもとに討議をすすめ、2日目のグループ討議報告の準備をはじめ、個人の学習目標を設定する時間とする。

2日目(7限目まで延長する場合もある)

・グループディスカッション(学習報告)

各自学習してきた内容を報告し、班の発表内容としてまとめる。個人においては、2日目のはじまる前に学習内容のレジюмеを提出する。

・グループ討議報告(教員による評価)

グループとしてまとめた学習内容を発表する。その際、グループごとの発表内容を教員が評価する。

・ラップアップセッション(病態科学:基礎系あるいは臨床系教員)

必要に応じて、ケースシナリオで期待された学習内容について簡略に解説し、グループ討議報告において不確実であった知識について教員からコメントを加える。

・ポストテスト(MCQ)

ケースシナリオで期待される学習目標に関わる MCQ を行う。その後テストの解説を教員が行う。

なお、「循環器疾患を有する患者の抜歯」の学習にあっては、心電図演習を行ったうえで授業に入る。

授業内容

個別学習項目

1)嚥下障害

- ・嚥下に関わる中枢神経の役割を説明できる。
- ・嚥下障害の病因を説明できる。
- ・嚥下障害の治療法、リハビリテーションについて説明できる。
- ・嚥下障害を伴う全身疾患について、病因、機序、治療法を説明できる。

2)味覚障害

- ・味覚器の構造と機能および伝達経路を説明できる。
- ・味覚障害を生じる主な疾病・疾患を概説できる。
- ・味覚障害の治療法について説明できる。

3)疼痛

- ・神経系を構成する細胞の種類、構造的特徴と機能を説明できる。

- ・シナプスの構造と興奮伝達の仕組みを説明できる。
- ・鎮痛の機序を説明できる。
- ・顔面領域に生じる慢性疼痛について説明できる。
- ・口腔内に疼痛を生じる疾病、疾患を列挙できる。

4) 開口障害

- ・顎口腔系の解剖について説明できる。
- ・下顎運動に関連する筋、神経系の機能を説明できる。
- ・顎機能異常について概説できる。
- ・全身疾患に伴う開口障害について説明できる。

5) 感染症

- ・炎症の形態学的変化を生化学的、分子生物学的変化について説明できる。
- ・炎症による組織学的変化を理解し、炎症性細胞の種類、機能、免疫学的特徴を説明できる。
- ・口内炎についての病因・臨床病態および治療法について説明できる。

6) 循環器疾患(心電図演習を含む)

- ・高血圧・低血圧について病態生理学的に説明できる。
- ・虚血性心疾患について病態生理学的に説明できる。
- ・不整脈について病態生理学的に説明できる。
- ・感染性心内膜炎について病態生理学的に説明できる。
- ・心不全について病態生理学的に説明できる。
- ・12誘導心電図について電気生理学的に説明できる(心電図演習)。
- ・12誘導心電図の基礎的な解析ができる(心電図演習)。
- ・重要な不整脈について心電図学的に解析できる(心電図演習)。
- ・循環器疾患と口腔領域疾患の関連について説明できる。
- ・循環器疾患患者の歯科治療におけるリスク管理方法を立案できる。
- ・循環器疾患患者に処方されている薬剤と相互作用する歯科用薬剤について概説できる。

7) 口腔粘膜疾患

- ・口腔粘膜に症状を呈する自己免疫疾患について概説できる。
- ・口腔粘膜に異常が生じる機序を説明できる。
- ・自己免疫疾患の免疫学的検査の意味について説明できる。

8) 腫瘍

- ・増殖と腫瘍の関係について述べる事ができる。
- ・腫瘍の発生の原因を説明できる。
- ・癌の診断、進展、予後について概説できる。
- ・口腔領域の腫瘍について、その病因と病理像を説明できる。
- ・全身疾患に伴う口腔病変について、その臨床像と病理像を説明できる。

9) 糖尿病

- ・糖尿病について病態生理学的に説明できる。
- ・糖尿病の疫学について説明できる。
- ・糖尿病の治療法について説明できる。
- ・糖尿病の重要な合併症について説明できる。
- ・糖尿病と口腔領域疾患との関連について説明できる。
- ・糖尿病患者の歯科治療におけるリスク管理方法を立案できる。

成績評価の方法

プレテスト、学習内容のレジュメ、グループ別の討議報告内容、ポストテスト、ユニット試験の総合成績により評価する。

<p>成績評価の基準</p> <p>おおよそ、プレテスト(5%)、学習内容のレジュメ(10%)、グループ別の討議報告内容(15%)、ポストテスト(30%)、ユニット試験(40%)の割合で評価する。</p> <p>なお、学習内容のレジュメを未提出のままグループ討議に参加した場合は、討議報告内容評価の加点はないものとする。</p> <p>欠席した場合の点数は零点として扱うが、特別な理由がある場合には成績判定の際に考慮する。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学習項目ごとに必要な準備学習を行うこと。特に、各学習項目 2 日目の討議前に提出する個人の学習項目に準じたレジュメ作成に注力すること。 ・すでに終了している授業および同時期に行われているモジュール授業の内容を復習すること。 ・参考図書についても、その内容に準ずる。
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数の4分の3以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>構成ユニット</p> <p>01 病態科学演習ユニット</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、原則的には9つ全ての学習項目において学習到達目標に達していなければならない。なお、モジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、プレテスト、ポストテスト、ユニット試験だけでなく、平常学習態度等が評価に加味され最終判定される。</p>
<p>教科書</p> <p>Chou's Electrocardiography in Clinical Practice: Adult and Pediatric, 6e./Borys Surawicz and Timothy K. Knilans: Saunders, 2008</p> <p>ハリソン内科学/ダン L. ロンゴ [ほか] 編 福井次矢, 黒川清 日本語版監修.: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013</p> <p>全身的偶発症とリスクマネジメント : 高齢者歯科診療のストラテジー/大渡凡人 著.: 医歯薬出版, 2012</p> <p>新臨床内科学/貫和敏博 [ほか] 編 高久史磨, 尾形悦郎, 黒川清, 矢崎義雄 監修.: 医学書院, 2009</p> <p>ブラウンワルド心臓病学レビュー&アセスメント/Leonard S.Lilly [著], 小室一成 監訳 宮内秀行 責任編集.: メディカルレビュー社, 2011</p>
<p>参考書</p> <p>Goldman's Cecil Medicine./Lee Goldman, Andrew I. Schafer: Saunders/Elsevier, 2011</p>
<p>他科目との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎医学講義だけでなく、内科系・外科系講義の内容も関連する
<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間内に WebClass に課題を提出させることがあるので、各自ノートパソコンを持参すること。
<p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席の際は、理由書を、教務掛へ提出すること。 ・交通機関等の乱れによる遅刻の際は、証明書を提出すること。 ・学習時、本学教員へのインタビューが必要となることもあると思われるが、自学自習を基本とし、安易に質問しないこと。 ・その他、質問を行うにあたってのマナーもわかまえること。 ・必要に応じ、モジュールコーディネーター、担当チューターによる面談を行うことがある。
<p>参照ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WebClass 上に講義に使用するスライド内容を掲示する場合がある。
<p>連絡先</p> <p>青木 和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp</p> <p>水口 俊介 s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p> <p>坂本 啓 s-kei.mpa@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>青木 和広 随時 MD タワー7 階南 研究室1 (S760)</p> <p>水口 俊介 随時</p> <p>坂本 啓 水 16:30-18:00</p>

時間割番号	021082				
科目名	内科・小児・遺伝疾患				
担当教員	深山 治久, 松村 朋香				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	3
コマ数: 32+12 授業形態: 講義 モジュール番号: 14					
授業の目的、概要等 1. 内科疾患の原因、病態、治療に関する知識を修得する 2. 小児科疾患についてその原因、病態、治療に関する知識を修得する 3. 遺伝性疾患について原因、病態、治療に関する知識を修得する					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 1.循環器疾患・2.呼吸器疾患・3.消化器疾患 02 4.血液疾患・5.内分泌疾患・6.膠原病・7.腎尿路疾患・8.神経疾患 03 9.小児疾患 04 10.遺伝病					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 深山 治久:fukayama.anph@tmd.ac.jp 松村 朋香:tomoanph@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 深山 治久:月 10:00-18:00 10号館4階教授室(ただし、部屋のドアが開いているときにはいつでも可) 松村 朋香:月 17:00-18:00					

時間割番号	021083																																																																										
科目名	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患																																																																										
担当教員	松村 朋香																																																																										
開講時期	後期	対象年次	3																																																																								
モジュール名:内科・小児・遺伝疾患 コマ数:9+3 授業形態:講義 ユニット番号:01																																																																											
授業の目的、概要等 循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する																																																																											
授業の到達目標(SBOs) 1)代表的な循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患の成因と要因について理解する 2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的循環器・呼吸器・消化器疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。																																																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/19</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>虚血性心疾患</td> <td>秦野 雄</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/19</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>高血圧・動脈硬化症・弁疾患</td> <td>小菅 寿徳</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/19</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>不整脈</td> <td>川端 美穂子</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>10/20</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>呼吸器疾患</td> <td>稲瀬 直彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/26</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>試験①(循環器)</td> <td>松村 朋香</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/27</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>睡眠時無呼吸症候群</td> <td>佐藤 光生</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>10/27</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>OSASの歯科的アプローチ</td> <td>佐藤 光生</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/5</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>消化器疾患(1)</td> <td>大島 茂</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11/5</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>消化器疾患(2)</td> <td>中川 美奈</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>11/9</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>試験②(呼吸器)</td> <td>松村 朋香</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>11/9</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>試験③(消化器)</td> <td>松村 朋香</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	10/19	09:00-09:50	歯学科第2講義室	虚血性心疾患	秦野 雄	2	10/19	10:00-10:50	歯学科第2講義室	高血圧・動脈硬化症・弁疾患	小菅 寿徳	3	10/19	11:00-11:50	歯学科第2講義室	不整脈	川端 美穂子	4-5	10/20	12:50-14:40	歯学科第2講義室	呼吸器疾患	稲瀬 直彦	6	10/26	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験①(循環器)	松村 朋香	7	10/27	12:50-13:40	歯学科第2講義室	睡眠時無呼吸症候群	佐藤 光生	8	10/27	13:50-14:40	歯学科第2講義室	OSASの歯科的アプローチ	佐藤 光生	9	11/5	13:50-14:40	歯学科第2講義室	消化器疾患(1)	大島 茂	10	11/5	14:50-15:40	歯学科第2講義室	消化器疾患(2)	中川 美奈	11	11/9	10:00-10:50	歯学科第2講義室	試験②(呼吸器)	松村 朋香	12	11/9	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験③(消化器)	松村 朋香
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																						
1	10/19	09:00-09:50	歯学科第2講義室	虚血性心疾患	秦野 雄																																																																						
2	10/19	10:00-10:50	歯学科第2講義室	高血圧・動脈硬化症・弁疾患	小菅 寿徳																																																																						
3	10/19	11:00-11:50	歯学科第2講義室	不整脈	川端 美穂子																																																																						
4-5	10/20	12:50-14:40	歯学科第2講義室	呼吸器疾患	稲瀬 直彦																																																																						
6	10/26	09:00-09:50	歯学科第2講義室	試験①(循環器)	松村 朋香																																																																						
7	10/27	12:50-13:40	歯学科第2講義室	睡眠時無呼吸症候群	佐藤 光生																																																																						
8	10/27	13:50-14:40	歯学科第2講義室	OSASの歯科的アプローチ	佐藤 光生																																																																						
9	11/5	13:50-14:40	歯学科第2講義室	消化器疾患(1)	大島 茂																																																																						
10	11/5	14:50-15:40	歯学科第2講義室	消化器疾患(2)	中川 美奈																																																																						
11	11/9	10:00-10:50	歯学科第2講義室	試験②(呼吸器)	松村 朋香																																																																						
12	11/9	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験③(消化器)	松村 朋香																																																																						
成績評価の方法 ・ユニット最終日(H27年10月26日,11月9日)に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。																																																																											
準備学習などについての具体的な指示																																																																											
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。																																																																											
連絡先 tomoanph@tmd.ac.jp																																																																											
オフィスアワー 月 17:00-18:00																																																																											

時間割番号	021084																																																										
科目名	血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経疾患																																																										
担当教員	宮本 智行																																																										
開講時期	後期	対象年次	3																																																								
モジュール名:内科・小児・遺伝疾患 コマ数:9+5 授業形態:講義 ユニット番号:02																																																											
授業の目的、概要等 血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する																																																											
授業の到達目標(SBOs) 1) 代表的な循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患の成因と要因について理解する 2) 臨床的に遭遇する可能性の高い代表的血液疾患・内分泌疾患・膠原病・腎尿路疾患・神経内科疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。																																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>11/10</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>血液疾患</td> <td>坂下 千瑞子</td> <td>医学部臨牀師講義 SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>11/12</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>内分泌疾患</td> <td>南 勲</td> <td>医学部臨牀師講義 SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/17</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>膠原病</td> <td>齋藤 鉄也</td> <td>医学部臨牀師講義 SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/18</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>腎尿路疾患(1)</td> <td>野村 尚弘</td> <td>医学部臨牀師講義 SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/18</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>腎尿路疾患(2)</td> <td>内藤 省太郎</td> <td>医学部臨牀師講義 SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>8-9</td> <td>11/24</td> <td>10:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>神経内科疾患</td> <td>三條 伸夫</td> <td>医学部臨牀師講義 SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>10-11</td> <td>11/30</td> <td>10:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>試験(上記すべて)</td> <td>宮本 智行</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1-2	11/10	12:50-14:40	歯学科第2講義室	血液疾患	坂下 千瑞子	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2	3-4	11/12	13:50-15:40	歯学科第2講義室	内分泌疾患	南 勲	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2	5	11/17	11:00-11:50	歯学科第2講義室	膠原病	齋藤 鉄也	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2	6	11/18	12:50-13:40	歯学科第2講義室	腎尿路疾患(1)	野村 尚弘	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2	7	11/18	13:50-14:40	歯学科第2講義室	腎尿路疾患(2)	内藤 省太郎	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2	8-9	11/24	10:00-11:50	歯学科第2講義室	神経内科疾患	三條 伸夫	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2	10-11	11/30	10:00-11:50	歯学科第2講義室	試験(上記すべて)	宮本 智行	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																					
1-2	11/10	12:50-14:40	歯学科第2講義室	血液疾患	坂下 千瑞子	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2																																																					
3-4	11/12	13:50-15:40	歯学科第2講義室	内分泌疾患	南 勲	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2																																																					
5	11/17	11:00-11:50	歯学科第2講義室	膠原病	齋藤 鉄也	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2																																																					
6	11/18	12:50-13:40	歯学科第2講義室	腎尿路疾患(1)	野村 尚弘	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2																																																					
7	11/18	13:50-14:40	歯学科第2講義室	腎尿路疾患(2)	内藤 省太郎	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2																																																					
8-9	11/24	10:00-11:50	歯学科第2講義室	神経内科疾患	三條 伸夫	医学部臨牀師講義 SBOs 1,2																																																					
10-11	11/30	10:00-11:50	歯学科第2講義室	試験(上記すべて)	宮本 智行																																																						
成績評価の方法 ・原則的にユニット最終日に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。																																																											
準備学習などについての具体的な指示																																																											
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。																																																											
連絡先 to-miyamo.anph@tmd.ac.jp																																																											
オフィスアワー 火 17:00-18:00																																																											

時間割番号	021085																																																								
科目名	小児疾患																																																								
担当教員	松村 朋香																																																								
開講時期	後期	対象年次	3																																																						
モジュール名:内科・小児・遺伝疾患 コマ数:9+3 授業形態:講義 ユニット番号:03																																																									
主な講義場所 第2講義室																																																									
授業の目的、概要等 小児疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する																																																									
授業の到達目標(SBOs) 1) 代表的な小児疾患の成因と要因について理解する 2) 臨床的に遭遇する可能性の高い代表的な小児疾患(口腔の含む)の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。																																																									
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11/25</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小児の感染症・アレルギー疾患</td> <td>高木 正稔</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>11/25</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小児の呼吸器・循環器疾患</td> <td>土井 庄三郎</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>11/26</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小児の感染症・アレルギー疾患</td> <td>高木 正稔</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/1</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小児の血液疾患</td> <td>高木 正稔</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>12/1</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小児の内分泌・代謝疾患</td> <td>鹿島田 健一</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/2</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小児消化器疾患と腎尿路疾患</td> <td>田中 絵里子</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>12/2</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小児の口腔・歯科疾患</td> <td>茂木 瑞穂</td> </tr> <tr> <td>11-13</td> <td>12/14</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>試験</td> <td>松村 朋香</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	11/25	12:50-13:40	歯学科第2講義室	小児の感染症・アレルギー疾患	高木 正稔	2-3	11/25	13:50-15:40	歯学科第2講義室	小児の呼吸器・循環器疾患	土井 庄三郎	4-5	11/26	13:50-15:40	歯学科第2講義室	小児の感染症・アレルギー疾患	高木 正稔	6	12/1	10:00-10:50	歯学科第2講義室	小児の血液疾患	高木 正稔	7	12/1	11:00-11:50	歯学科第2講義室	小児の内分泌・代謝疾患	鹿島田 健一	8	12/2	12:50-13:40	歯学科第2講義室	小児消化器疾患と腎尿路疾患	田中 絵里子	9-10	12/2	13:50-15:40	歯学科第2講義室	小児の口腔・歯科疾患	茂木 瑞穂	11-13	12/14	09:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	松村 朋香
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1	11/25	12:50-13:40	歯学科第2講義室	小児の感染症・アレルギー疾患	高木 正稔																																																				
2-3	11/25	13:50-15:40	歯学科第2講義室	小児の呼吸器・循環器疾患	土井 庄三郎																																																				
4-5	11/26	13:50-15:40	歯学科第2講義室	小児の感染症・アレルギー疾患	高木 正稔																																																				
6	12/1	10:00-10:50	歯学科第2講義室	小児の血液疾患	高木 正稔																																																				
7	12/1	11:00-11:50	歯学科第2講義室	小児の内分泌・代謝疾患	鹿島田 健一																																																				
8	12/2	12:50-13:40	歯学科第2講義室	小児消化器疾患と腎尿路疾患	田中 絵里子																																																				
9-10	12/2	13:50-15:40	歯学科第2講義室	小児の口腔・歯科疾患	茂木 瑞穂																																																				
11-13	12/14	09:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	松村 朋香																																																				
成績評価の方法 ・ユニット最終日(H27年12月14日)に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。																																																									
準備学習などについての具体的な指示																																																									
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。																																																									
連絡先 tomoanph@tmd.ac.jp																																																									
オフィスアワー 月 17:00-18:00																																																									

時間割番号	021086																										
科目名	遺伝病																										
担当教員	松村 朋香																										
開講時期	後期	対象年次	3																								
モジュール名:内科・小児・遺伝疾患 コマ数:5+1 授業形態:講義 ユニット番号:04																											
授業の目的、概要等 遺伝性疾患についてその病態、検査法、治療法について理解する																											
授業の到達目標(SBOs) 1)代表的な遺伝性疾患の成因と要因について理解する 2)臨床的に遭遇する可能性の高い代表的な遺伝性疾患の症候、病態像、病理像、診断、治療、臨床像、予後、予防の基本的な知識を習得する。																											
授業計画 <table border="1" data-bbox="164 779 1058 943"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>12/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>遺伝性疾患の診断と治療</td> <td>木村 彰方</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>12/9</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>染色体異常症候群</td> <td>稲澤 譲治</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12/17</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>試験</td> <td>松村 朋香</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	12/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	遺伝性疾患の診断と治療	木村 彰方	4-5	12/9	12:50-14:40	歯学科第2講義室	染色体異常症候群	稲澤 譲治	6	12/17	14:50-15:40	歯学科第2講義室	試験	松村 朋香
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																						
1-3	12/8	09:00-11:50	歯学科第2講義室	遺伝性疾患の診断と治療	木村 彰方																						
4-5	12/9	12:50-14:40	歯学科第2講義室	染色体異常症候群	稲澤 譲治																						
6	12/17	14:50-15:40	歯学科第2講義室	試験	松村 朋香																						
成績評価の方法 ・ユニット最終日(H27年12月17日)に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。																											
準備学習などについての具体的な指示																											
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。																											
連絡先 tomoanph@tmd.ac.jp																											
オフィスアワー 月 17:00-18:00																											

時間割番号	021087				
科目名	外科系疾患				
担当教員	原田 清, 島本 裕彰				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2
コマ数: 48(8) 授業形態: 講義 モジュール番号: 15					
主な講義場所					
歯学科第2講義室					
授業の目的、概要等					
全身の外科的治療を要する疾患の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識を修得し、全人的観点より患者を診察する能力を養う。					
準備学習などについての具体的な指示					
準備学習として、各ユニットにおいて参考図書における該当箇所を熟読しておくことが望ましい。					
構成ユニット					
01 外科総論					
02 皮膚疾患					
03 消化器系・乳腺疾患					
04 循環器・呼吸器系疾患(外科系)					
05 腎・泌尿器系疾患					
06 生殖器系疾患					
07 脳神経疾患					
08 運動器系疾患					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、新歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
島本 裕彰hiroaki.osur@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
島本 裕彰火・木 16:00 ~ 17:00					

時間割番号	021088				
科目名	外科総論				
担当教員	富岡 寛文				
開講時期	後期	対象年次	3		
モジュール名:外科系疾患 コマ数:8+1 授業形態:講義 ユニット番号:01					
主な講義場所					
歯学科第2講義室					
授業の目的、概要等					
全身の外科的治療を要する疾患の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識を修得し、全人的観点より患者を診察する能力を養う。					
授業の到達目標(SB0s)					
1)基本的検査とカルテ記載ができる。 2)基本的な外科処置ができる。 3)血液疾患の病態、診断、治療と予後が説明できる。 4)炎症の病態、診断、治療と予後が説明できる。 5)良性腫瘍の病態、診断、治療と予後が説明できる。 6)悪性腫瘍の病態、診断、治療と予後が説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/14	12:50-13:40	歯学科第2講義室	外科総論(概念、侵襲と生体)	山内 慎一
2	9/14	13:50-14:40	歯学科第2講義室	外科総論(感染症、腫瘍)	石黒 めぐみ
3	9/14	14:50-15:40	歯学科第2講義室	外科総論(輸液・輸血、栄養管理)	岡田 卓也
4	10/5	12:50-13:40	歯学科第2講義室	外科総論(創傷治療、出血・止血)	豊福 崇浩
5	10/7	12:50-13:40	歯学科第2講義室	外科総論(基本手技、無菌・消毒)	植竹 宏之
6	10/21	12:50-13:40	歯学科第2講義室	外科総論(移植・人工臓器)	落合 高德
7-8	10/21	13:50-15:40	歯学科第2講義室	外科総論(災害医学)	牛澤 洋人
9	11/2	11:00-11:50	歯学科第2講義室	試験	富岡 寛文
成績評価の方法					
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
準備学習として、参考図書における当該箇所を熟読しておくが望ましい。					
試験の受験資格					
・全授業の時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
参考書					
外科研修マニュアル/京都大学大学院医学研究科外科学講座編:南江堂、2009 標準外科学/加藤治文、畠山勝義、北野正剛編、北島政樹監修:医学書院、2010					
連絡先					
tomy.osur@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
金 16:00-17:00					

時間割番号	021089																																																		
科目名	皮膚疾患																																																		
担当教員	津島 文彦																																																		
開講時期	後期	対象年次	3																																																
モジュール名:外科系疾患 コマ数:6+1 授業形態:講義 ユニット番号:02																																																			
授業の目的、概要等 皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。																																																			
授業の到達目標(SBOs) 1) 皮膚の構造と機能を説明できる。 2) 湿疹・皮膚炎を概説できる。 3) 蕁麻疹を概説できる。 4) 薬疹・水疱症・膿疱症を概説できる。 5) 皮膚悪性腫瘍を概説できる。 6) 皮膚感染症を概説できる。																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/28</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>解剖と機能</td> <td>井川 健</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/28</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>診断</td> <td>井川 健</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/28</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>湿疹・皮膚炎</td> <td>井川 健</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11/11</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>蕁麻疹・紅斑症、紅皮症</td> <td>井川 健</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/11</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>薬疹・水疱症・膿疱症</td> <td>井川 健</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/11</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>腫瘍・感染症</td> <td>井川 健</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>12/7</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>津島 文彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	10/28	12:50-13:40	歯学科第2講義室	解剖と機能	井川 健	2	10/28	13:50-14:40	歯学科第2講義室	診断	井川 健	3	10/28	14:50-15:40	歯学科第2講義室	湿疹・皮膚炎	井川 健	4	11/11	12:50-13:40	歯学科第2講義室	蕁麻疹・紅斑症、紅皮症	井川 健	5	11/11	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬疹・水疱症・膿疱症	井川 健	6	11/11	14:50-15:40	歯学科第2講義室	腫瘍・感染症	井川 健	7	12/7	10:00-10:50	歯学科第2講義室	筆記試験	津島 文彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																														
1	10/28	12:50-13:40	歯学科第2講義室	解剖と機能	井川 健																																														
2	10/28	13:50-14:40	歯学科第2講義室	診断	井川 健																																														
3	10/28	14:50-15:40	歯学科第2講義室	湿疹・皮膚炎	井川 健																																														
4	11/11	12:50-13:40	歯学科第2講義室	蕁麻疹・紅斑症、紅皮症	井川 健																																														
5	11/11	13:50-14:40	歯学科第2講義室	薬疹・水疱症・膿疱症	井川 健																																														
6	11/11	14:50-15:40	歯学科第2講義室	腫瘍・感染症	井川 健																																														
7	12/7	10:00-10:50	歯学科第2講義室	筆記試験	津島 文彦																																														
成績評価の方法 ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。																																																			
準備学習などについての具体的な指示 皮膚疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。																																																			
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																			
参考書 池田重雄:「今日の皮膚疾患治療指針」医学書院、東京																																																			
連絡先 ft.osur@tmd.ac.jp																																																			
オフィスアワー 火 17:00-18:00																																																			

時間割番号	021090																																																														
科目名	消化器系・乳腺疾患																																																														
担当教員	佐藤 豊																																																														
開講時期	後期	対象年次	3																																																												
モジュール名:外科系疾患 コマ数:8+1 授業形態:講義 ユニット番号:03																																																															
授業の目的、概要等 消化器系および乳腺の構造と機能を理解し、主な消化器疾患、乳腺疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。																																																															
授業の到達目標(SBOs) 1) 消化器系の構造と機能を説明できる。 2) 主な食道疾患を列挙できる。 3) 主な胃・十二指腸疾患を列挙できる。 4) 主な胆・肝・膵疾患を列挙できる。 5) 主な小腸疾患を列挙できる。 6) 主な大腸疾患を列挙できる。 7) 乳腺の構造と機能、乳腺疾患を説明できる。																																																															
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/14</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小腸・大腸の解剖と機能</td> <td>石川 敏昭</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/14</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>小腸・大腸疾患</td> <td>石川 敏昭</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/29</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>食道の解剖と機能、食道疾患</td> <td>川田 研郎</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>9/29</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>胃・十二指腸の解剖と機能、胃・十二指腸疾患</td> <td>大槻 将</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/6</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>乳腺の解剖と機能</td> <td>中川 剛士</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/6</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>乳腺疾患</td> <td>中川 剛士</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/20</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>胆・肝・膵の解剖と機能</td> <td>工藤 篤</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>10/20</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>胆・肝・膵疾患</td> <td>伴 大輔</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>10/26</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>佐藤 豊</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	9/14	10:00-10:50	歯学科第2講義室	小腸・大腸の解剖と機能	石川 敏昭	2	9/14	11:00-11:50	歯学科第2講義室	小腸・大腸疾患	石川 敏昭	3	9/29	09:00-09:50	歯学科第2講義室	食道の解剖と機能、食道疾患	川田 研郎	4	9/29	10:00-10:50	歯学科第2講義室	胃・十二指腸の解剖と機能、胃・十二指腸疾患	大槻 将	5	10/6	09:00-09:50	歯学科第2講義室	乳腺の解剖と機能	中川 剛士	6	10/6	10:00-10:50	歯学科第2講義室	乳腺疾患	中川 剛士	7	10/20	09:00-09:50	歯学科第2講義室	胆・肝・膵の解剖と機能	工藤 篤	8	10/20	10:00-10:50	歯学科第2講義室	胆・肝・膵疾患	伴 大輔	9	10/26	11:00-11:50	歯学科第2講義室	筆記試験	佐藤 豊
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																										
1	9/14	10:00-10:50	歯学科第2講義室	小腸・大腸の解剖と機能	石川 敏昭																																																										
2	9/14	11:00-11:50	歯学科第2講義室	小腸・大腸疾患	石川 敏昭																																																										
3	9/29	09:00-09:50	歯学科第2講義室	食道の解剖と機能、食道疾患	川田 研郎																																																										
4	9/29	10:00-10:50	歯学科第2講義室	胃・十二指腸の解剖と機能、胃・十二指腸疾患	大槻 将																																																										
5	10/6	09:00-09:50	歯学科第2講義室	乳腺の解剖と機能	中川 剛士																																																										
6	10/6	10:00-10:50	歯学科第2講義室	乳腺疾患	中川 剛士																																																										
7	10/20	09:00-09:50	歯学科第2講義室	胆・肝・膵の解剖と機能	工藤 篤																																																										
8	10/20	10:00-10:50	歯学科第2講義室	胆・肝・膵疾患	伴 大輔																																																										
9	10/26	11:00-11:50	歯学科第2講義室	筆記試験	佐藤 豊																																																										
成績評価の方法 ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。																																																															
準備学習などについての具体的な指示 受講前に参考図書に関連領域の部分に一通り目を通しておくことが望ましい。																																																															
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																															
参考書 「消化器疾患最新の治療」岡 博:南江堂、東京 「乳腺疾患」泉雄勝:金原出版、東京 「外科研修マニュアル」京都大学医学研究科外科学教室編集:南江堂、2009																																																															
連絡先 yu-sato.mfs@tmd.ac.jp																																																															
オフィスアワー 毎週 月・水 16:30～ 18:00 歯学部附属病院6F 顎顔面外科外来																																																															

時間割番号	021091																																												
科目名	循環器・呼吸器系疾患																																												
担当教員	黒原 一人																																												
開講時期	後期	対象年次	3																																										
モジュール名:外科系疾患 コマ数:8+1 授業形態:講義 ユニット番号:04																																													
主な講義場所 歯学科第2講義室																																													
授業の目的、概要等 循環器・呼吸器系の構造と機能を理解し、主な循環器・呼吸器系疾患(外科系)の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 循環器系の構造と機能を説明できる。 2) 主な心像・大動脈疾患を列挙できる。 3) 主な動脈・静脈疾患を列挙できる。 4) 原発性肺癌と転移性肺腫瘍を概説できる。 5) 胸膜・縦隔疾患を列挙できる。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>9/28</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>心臓・胸部大動脈疾患の外科治療</td> <td>大井 啓司</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/1</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>動静脈疾患1</td> <td>井上 芳徳</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/1</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>動静脈疾患2</td> <td>豊福 崇浩</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/8</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>肺腫瘍</td> <td>小林 正嗣</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/8</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>胸膜・縦隔疾患</td> <td>小林 正嗣</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/26</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>黒原 一人</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-2	9/28	12:50-14:40	歯学科第2講義室	心臓・胸部大動脈疾患の外科治療	大井 啓司	3	10/1	12:50-13:40	歯学科第2講義室	動静脈疾患1	井上 芳徳	4	10/1	13:50-14:40	歯学科第2講義室	動静脈疾患2	豊福 崇浩	5	10/8	12:50-13:40	歯学科第2講義室	肺腫瘍	小林 正嗣	6	10/8	13:50-14:40	歯学科第2講義室	胸膜・縦隔疾患	小林 正嗣	7	10/26	10:00-10:50	歯学科第2講義室	筆記試験	黒原 一人
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																								
1-2	9/28	12:50-14:40	歯学科第2講義室	心臓・胸部大動脈疾患の外科治療	大井 啓司																																								
3	10/1	12:50-13:40	歯学科第2講義室	動静脈疾患1	井上 芳徳																																								
4	10/1	13:50-14:40	歯学科第2講義室	動静脈疾患2	豊福 崇浩																																								
5	10/8	12:50-13:40	歯学科第2講義室	肺腫瘍	小林 正嗣																																								
6	10/8	13:50-14:40	歯学科第2講義室	胸膜・縦隔疾患	小林 正嗣																																								
7	10/26	10:00-10:50	歯学科第2講義室	筆記試験	黒原 一人																																								
成績評価の方法 ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。																																													
準備学習などについての具体的な指示 胸部を中心とした循環器・呼吸器の解剖・生理機能を復習して講義に出席するとより講義内容を理解することができる。																																													
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
参考書 「今日の内科学」宮本昭正:医歯薬出版、1993 「外科学」加藤繁次:医学書院、1996																																													
連絡先 kuzkuroh.mfs@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 月 16:00-17:00																																													

時間割番号	021092																										
科目名	腎・泌尿器系疾患																										
担当教員	富岡 寛文																										
開講時期	後期	対象年次	3																								
モジュール名:外科系疾患 コマ数:2+1 授業形態:講義 ユニット番号:05																											
主な講義場所 歯学科第2講義室																											
授業の目的、概要等 腎・泌尿器系の構造と機能を理解し、主な腎・泌尿器系疾患(外科系)の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。																											
授業の到達目標(SB0s) 1) 腎・泌尿器系の構造と機能を説明できる。 2) 尿路系結石を概説できる。 3) 腎嚢胞・腫瘍を概説できる。 4) 主な膀胱疾患を列挙できる。 5) 前立腺・精巣疾患を概説できる。																											
授業計画 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/17</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>尿路の解剖と機能</td> <td>横山 みなと</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/17</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>腎・膀胱疾患</td> <td>横山 みなと</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/13</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>富岡 寛文</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	9/17	12:50-13:40	歯学科第2講義室	尿路の解剖と機能	横山 みなと	2	9/17	13:50-14:40	歯学科第2講義室	腎・膀胱疾患	横山 みなと	3	10/13	11:00-11:50	歯学科第2講義室	筆記試験	富岡 寛文
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																						
1	9/17	12:50-13:40	歯学科第2講義室	尿路の解剖と機能	横山 みなと																						
2	9/17	13:50-14:40	歯学科第2講義室	腎・膀胱疾患	横山 みなと																						
3	10/13	11:00-11:50	歯学科第2講義室	筆記試験	富岡 寛文																						
成績評価の方法 ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。																											
準備学習などについての具体的な指示																											
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																											
参考書 「今日の内科学」宮本昭正:医歯薬出版、1993 「泌尿・生殖器系疾患」奥山明彦:(看護のための最新医学講座第22巻)、中山書店、2001																											
連絡先 tomy.osur@tmd.ac.jp																											
オフィスアワー 金 16:00-17:00																											

時間割番号	021093				
科目名	生殖器系疾患				
担当教員	津島 文彦				
開講時期	後期	対象年次	3		
モジュール名:外科系疾患 コマ数:4+1 授業形態:講義 ユニット番号:06					
主な講義場所					
歯学科第2講義室					
授業の目的、概要等					
生殖器系の構造と機能を理解し、主な生殖器系疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 女性の生殖器系の構造と機能を説明できる。 2) 妊娠・不妊を概説できる。 3) 外陰・膣疾患を列挙できる。 4) 子宮疾患を列挙できる。 5) 卵巣疾患を列挙できる。 6) 妊婦の歯科治療時の注意点を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	11/10	09:00-09:50	歯学科第2講義室	妊娠と不妊症	鬼塚 真由美
2-3	11/10	10:00-11:50	歯学科第2講義室	女性生殖器疾患	山本 篤
4	12/1	12:50-13:40	歯学科第2講義室	歯科治療と妊娠の関連	和泉 雄一
5	12/7	09:00-09:50	歯学科第2講義室	筆記試験	津島 文彦
成績評価の方法					
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
生殖器系疾患についての講義を理解するための予復習を行う意欲を持つこと。事前に参考図書の当該箇所を熟読しておくことが望ましい。					
試験の受験資格					
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
参考書					
「泌尿・生殖器系疾患」(看護のための最新医学講座第22巻)奥山明彦:中山書店、2001					
連絡先					
ft.osur@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
火 17:00-18:00					

時間割番号	021094				
科目名	脳神経疾患				
担当教員	儀武 啓幸				
開講時期	後期	対象年次	3		
モジュール名:外科系疾患 コマ数:3+1 授業形態:講義 ユニット番号:07					
主な講義場所					
歯学科第2講義室					
授業の目的、概要等					
脳神経系の構造と機能を理解し、主な脳神経疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 脳の血管支配と血液・脳関門を説明できる。 2) 頭蓋内圧亢進を概説できる。 3) 脳血管障害(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血)を概説できる。 4) 頭部外傷を概説できる。 5) 頭蓋内血腫を列挙できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/16	12:50-13:40	歯学科第2講義室	解剖と機能	稲次 基希
2	9/16	13:50-14:40	歯学科第2講義室	頭蓋内圧亢進	稲次 基希
3	9/16	14:50-15:40	歯学科第2講義室	血管障害	稲次 基希
4	10/13	10:00-10:50	歯学科第2講義室	筆記試験	儀武 啓幸
成績評価の方法					
・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
受講前に参考図書に関連領域の部分に一通り目を通しておく事が望ましい。					
試験の受験資格					
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
参考書					
「よくわかる脳神経外科」平塚秀雄:金原出版、1996					
「脳神経外科学」改訂8版 太田富雄:金芳堂、2000					
連絡先					
h-yoshitake.mfs@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
月・水 16:30-17:30					

時間割番号	021095				
科目名	運動器系疾患				
担当教員	山口 聡				
開講時期	後期	対象年次	3		
モジュール名:外科系疾患 コマ数:3+1 授業形態:講義 ユニット番号:08					
主な講義場所					
歯学科第2講義室					
授業の目的、概要等					
運動器の構造と機能を理解し、主な運動器疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶ。					
授業の到達目標(SB0s)					
1) 骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。 2) 骨粗鬆症を概説できる。 3) 関節疾患を列挙できる。 4) 骨肉腫, ユーイング肉腫を概説できる。 5) 椎間板ヘルニアを概説できる。 6) 脊髄損傷を概説できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	11/17	12:50-13:40	歯学科第2講義室	解剖と機能・脊髄疾患	川端 茂徳
2	11/17	13:50-14:40	歯学科第2講義室	下肢疾患	神野 哲也
3	11/17	14:50-15:40	歯学科第2講義室	上肢疾患	宮本 崇
4	12/7	11:00-11:50	歯学科第2講義室	筆記試験	山口 聡
成績評価の方法					
・受講態度, 筆記試験の成績を総合して評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
参考書					
「標準整形外科学」第10版 鳥巢岳彦: 医学書院、2008。 TUREK'S ORTHOPAEDICS: PRINCIPLES AND THEIR APPLICATION. Weinstein, Stuart L. LIPPINCOTT WILLIAMS & WILKINS. 2005. (ISBN 9780781742986)					
連絡先					
yamachan.mfs@tmd.ac.jp					
フィスアワー					
月・水 17:00-18:00					

時間割番号	021096				
科目名	課題統合セミナー				
担当教員	小野 卓史, 隅田 由香				
開講時期	2年通年(秋)	対象年次	3~5	単位数	3
コマ数: 63(3) (必要自習時間 25 時間) 授業形態: 講義 モジュール番号: 16					
授業の目的、概要等					
一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い、より深い理解を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 骨のバイオロジー					
02 咀嚼と嚥下のバイオロジー					
03 ことばの世界					
04 オクルージョン					
05 歯科と色					
06 口唇裂口蓋裂					
07 全人的総合診断					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
小野 卓史:tono.orts@tmd.ac.jp					
隅田 由香:yuka.mfp@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
小野 卓史:月・水 16:00-17:30 歯科棟北12階 教授室					
隅田 由香:月一金曜日 16:00-17:00 10号館2階 顎顔面補綴学分野講師室					

時間割番号	021097					
科目名	骨のバイオロジー					
担当教員	中島 友紀					
開講時期	後期	対象年次	3			
授業の目的、概要等						
骨のバイオロジーに関する知識を統合整理し、歯科医療における位置付けを確認する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1)骨芽細胞の機能を説明できる。 2)破骨細胞の機能を説明できる。 3)骨モデリング、リモデリングを説明できる。 4)骨・軟骨代謝に関わる生物学的調節因子とその連携を理解できる。 5)骨疾患の病態とその治療方法を理解できる。 6)骨発生の分子メカニズムを説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	11/5	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨芽細胞	竹田 秀	SBOs:1,3,5
2	11/12	12:50-13:40	歯学科第2講義室	破骨細胞	林 幹人	SBOs:2,3,5
3	11/19	12:50-13:40	歯学科第2講義室	軟骨細胞	浅原 弘嗣	SBOs:3,4,5
4	11/26	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨細胞	中島 友紀	SBOs:3,5
5	12/3	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨疾患と薬物治療	中島 友紀	SBOs:1,2,5
6	12/10	12:50-13:40	歯学科第2講義室	骨の発生	井関 祥子	SBOs:3,5,6
7	12/17	12:50-13:40	歯学科第2講義室	顎口腔疾患	井関 祥子	SBOs:3,5,6
成績評価の方法						
課題に対するレポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。						
参考書						
Osteoimmunology: Interactions of the Immune and Skeletal Systems, San Diego, CA:ELSEVIER, 2010 骨研究がわかる(羊土社) 新 骨の科学 (医歯薬出版株式会社) Developmental Biology Scott F Gilbert (Sinauer Associates Inc)						
備考						
担当教員の Office Hour: 竹田秀教授(細胞生理学分野)月・木・金(事前メール連絡後 17:00 以降 shu-tky@umin.ac.jp 林幹人助教(分子情報伝達学分野)月-金(事前メール連絡後)17:00 以降 hayashi.csi@tmd.ac.jp 中島友紀准教授(分子情報伝達学分野)月-金(事前メール連絡後)17:00 以降 naka.csi@tmd.ac.jp 浅原弘嗣教授(システム発生・再生医学分野)月-金(事前メール連絡後)17:00 以降 asahara.syst@tmd.ac.jp 井関祥子教授(分子発生学分野)木 13:00 以降 siseki.emb@tmd.ac.jp						
連絡先						
naka.csi@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月-金 (事前メール連絡後) 17:00 以降						

時間割番号	021519				
科目名	歯科と色				
担当教員	大槻 昌幸				
開講時期	前期	対象年次	5		
主な講義場所					
講義室					
授業の到達目標(SB0s)					
学習目標(GIO): 歯科診療における色の効果について理解する。					
到達目標(SB0s): 1)色の基本的性質について説明できる。 2)口腔および顎顔面の色の特徴について説明できる。 3)口腔および顎顔面の治療における色の果たす役割を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/9	12:50-13:40	歯学科第4講義室	色の基本	乙丸 貴史
2	4/9	13:50-14:40	歯学科第4講義室	直接法歯冠修復における色1	大槻 昌幸
3	4/16	12:50-13:40	歯学科第4講義室	口腔粘膜と色	山城 正司
4	4/16	13:50-14:40	歯学科第4講義室	直接法歯冠修復における色2	大槻 昌幸
5	4/23	12:50-13:40	歯学科第4講義室	歯内治療と歯の変色1	竹田 淳志
6	4/23	13:50-14:40	歯学科第4講義室	歯内治療と歯の変色2	竹田 淳志
7	4/30	12:50-13:40	歯学科第4講義室	間接法歯冠修復における色1	三浦 宏之
8	4/30	13:50-14:40	歯学科第4講義室	間接法歯冠修復における色2	三浦 宏之
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・小テストを適宜実施し、客観的評価を行う。 ・課題に対するレポートを提出し評価を行う。 					
準備学習などについての具体的な指示					
レポート作成のために必要な文献等は各自で検索し、収集すること。					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 					
参考書					
歯の色の話／日本歯科色彩学会 編著、クインテッセンス出版、1999 Fundamentals of color Shade matching and communication in esthetic dentistry 2nd ed./S.J.Chu, A 他: Quintessence, 2010 これで納得!デンタルホワイトニング : Dental Whitening 101/加藤純二, 金子潤, 大槻昌幸, 守矢佳世子 編著、医歯薬出版、2012 ホワイトニング&プリベンション : 「白い歯」からはじまるカリエスフリー時代の臨床アドバイス 10/椿智之 著、クインテッセンス出版、2011					
連絡先					
otsuki.ope@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
月・火・木・金 17:00以降 水 18:00以降					

時間割番号	021520				
科目名	口唇口蓋裂				
担当教員	小川 卓也				
開講時期	前期	対象年次	5		
モジュール名:課題統合セミナー					
コマ数:9+0					
授業形態:講義					
ユニット番号:06					
授業の目的、概要等					
口唇口蓋裂の病態ならびに治療法を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 口唇口蓋裂の発生と成因を説明できる。					
2) 口唇口蓋裂患者の言語の問題を述べることができる。					
3) 各時期における外科治療について述べるができる。					
4) 顎発育障害および咬合不全に対する治療体系を説明できる。					
5) 口唇口蓋裂のチームアプローチの重要性を述べるができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/3	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂児が出生した時に	落合 聡
2	6/3	10:00-10:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂の外科治療1	森田 圭一
3	6/3	11:00-11:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂の言語治療	壬生 美智子
4	6/10	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂の発生と成因	井関 祥子
5	6/10	10:00-10:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂の矯正治療1	島崎 一夫
6	6/10	11:00-11:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂の矯正治療2	小川 卓也
7	6/17	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂の外科治療2	森田 圭一
8	6/17	10:00-10:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂の補綴治療	隅田 由香
9	6/17	11:00-11:50	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂の矯正治療3ならびにまとめ	小川 卓也
成績評価の方法					
・レポートによる総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
口唇口蓋裂についての講義を理解するために、事前に参考図書に関連領域を熟読しておくことが望ましい。					
試験の受験資格					
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。					
参考書					
・高橋庄二郎:口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床. 日本歯科評論社、東京、1996.					
・森口隆彦:口唇裂口蓋裂の総合治療. 克誠堂出版、東京、2003					
・黒田敬之:アトラス顎顔面矯正-顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療-. 医歯薬出版、東京、2002					
・David S. Precious.: Cleft lip and palate: A physiological approach. Oral and Maxillofacial Surgery Clinics of North America. W. B. Saunders Co, Philadelphia, 12(3): 2000.					
連絡先					
t-ogawa.mort@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。					

時間割番号	021521						
科目名	全人的総合診断						
担当教員	荒木 孝二						
開講時期	前期	対象年次	5				
主な講義場所							
7号館4階第4講義室、1号館西6階演習室、病院1階歯科総合診療部							
授業の目的、概要等							
<p><講義> 口腔内診査の基本を理解するとともに、与えられた患者医療情報を全人的・総合的に分析することにより、正しい診断、治療法の選択、治療計画の立案について理解する。</p> <p><グループローテーション演習・実習> 口腔内検査相互実習、医療面接演習、治療計画の立案演習を通して、包括臨床実習に繋がる全人的総合診断の態度と技能の基本を修得する。</p>							
授業の到達目標(SBOs)							
<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者医療情報を正しく収集できる。 2) 口腔内診査の基本が正しく実施できる 3) 患者医療情報を分類する。 4) 患者医療情報から正しい診断を行う。 5) 診断から治療法が選択できる。 6) 患者中心の治療計画が立案できる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/23	09:00-09:50	歯学科第4講義室	診断の基本		荒木 孝二	
2	6/23	10:00-10:50	歯学科第4講義室	基本的診察法		山田 梓	
3	6/23	11:00-11:50	歯学科第4講義室	医療面接と患者の心理		俣木 志朗, 礪波 健一	
4	6/23	12:50-13:40	歯学科第4講義室	う蝕と審美		荒木 孝二	
5	6/23	13:50-14:40	歯学科第4講義室	粘膜疾患		大山 篤	
6	6/23	14:50-15:40	歯学科第4講義室	欠損部と補綴		則武 加奈子, 岩城 麻衣子	
7	6/29	09:00-09:50	歯学科第4講義室	歯周疾患と歯内疾患		小田 茂, 小 林 千尋	
8	6/29	10:00-10:50	歯学科第4講義室	全身疾患と口腔症状		新田 浩	
9	6/29	11:00-11:50	歯学科第4講義室	治療方針と治療計画		荒木 孝二	
10-12	6/29	12:50-15:40	歯学部演習室	3グループローテーション実習	医療面接	俣木 志朗, 礪波 健一, 則武 加奈子	
13-15	6/29	12:50-15:40	歯科総合診療部医局	3グループローテーション実習	口腔内検査	小田 茂, 山 田 梓, 松成 淳一	実習場所は変更 になる可能性有 ります。
16-18	6/29	12:50-15:40	歯学部演習室	3グループローテーション実習	治療計画の立案	荒木 孝二, 岩城 麻衣子, 濱野 英也	
19-21	6/30	09:00-11:50	歯学部演習室	3グループローテーション実習	医療面接	俣木 志朗, 大原 里子, 佐藤 光生, 田村 友寛	
22-24	6/30	09:00-11:50	歯科総合診療部医局	3グループローテーション実習	口腔内検査	小田 茂, 礪 波 健一, 松 成 淳一, 飯 田 浩司	実習場所は変更 になる可能性有 ります。

25-27	6/30	09:00-11:50	歯学部演習室	3グループローテーション実習	治療計画の立案	荒木 孝二 渡辺 大郎 石田 智洋	
28-30	6/30	12:50-15:40	歯学部演習室	3グループローテーション実習	医療面接	則武 加奈子, 山田 梓, 佐藤 光生, 田村 友寛	
31-33	6/30	12:50-15:40	歯科総合診療部医局	3グループローテーション実習	口腔内検査	礪波 健一, 飯田 浩司, 松成 淳一, 石田 智洋	実習場所は変更になる可能性有ります。
34-36	6/30	12:50-15:40	歯学部演習室	3グループローテーション実習	治療計画の立案	荒木 孝二, 岩城 麻衣子, 渡辺 大郎	
37	7/15	09:00-09:50	歯学科第4講義室	ユニット試験		荒木 孝二	7号館歯学科第3講義室も使用する可能性有ります。

成績評価の方法

- ・原則として各授業のはじめと終わりにミニテストによる形成的評価を行う。
- ・授業・演習・実習中の平常点、およびユニット最後の筆記試験(平成27年7月15日)により総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

必要実習時間9時間:5年前期までに履修した臨床系科目のまとめ的な授業であるので、歯科的疾患に関する知識(疾患名、病態、鑑別診断、検査法、治療法など)と歯科疾患に関係している全身疾患に関する知識(疾患名、病態、歯科との関連など)についての再確認しておくこと。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

口腔科学 = Stomatology / 戸塚靖則, 高戸毅 監修 飯田順一郎, 伊藤公一, 岡野友宏, 木村博人, 小谷順一郎, 齊藤力, 佐々木啓一, 白砂兼光, 須田英明, 丹沢秀樹, 前田健康, 山根源之, 山本浩嗣 編集:朝倉書店, 2013

参考書

- 人間学入門:医療のプロをめざすあなたに / 日本医学教育学会倫理・行動科学小委員会/準備教育小委員会 編:南山堂, 2009
 学生のための医療概論 / 千代豪昭, 黒田研二 編:医学書院, 2010
 歯科医療のおもしろさ:後輩たちへ贈る28のドラマ / 橋本光二, 升谷滋行, 飯野文彦 編:口腔保健協会, 2013
 歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice / 住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編:クインテッセンス出版, 2013
 ・Evidence Based Dentistry (The Dental Clinics of North America, Vol. 46, No.1, 2002)
- ・歯科診療のための内科(子島潤他編、永末書店、2007)
 - ・口腔癌の早期診断アトラス(天笠光雄他著、医歯薬出版、2008)
 - ・知りたいことがすぐわかる高齢者歯科医療—歯科医療につながる医学知識—(小谷淳一郎ら著、永末書店、2008)
 - ・口腔顔面痛の最新ガイドライン改訂第4版—米国AAOP学会による評価、診断、管理の指針—(杉崎正志ら監訳、クインテッセンス出版、2009)
 - ・実践!クリティカル・シンキングのすすめ(八重垣健監著、佐々木啓一ら著、クインテッセンス出版、2009)
 - ・開業医が診る口腔粘膜疾患—診断から対応まで—(天笠光雄ら著、デンタルダイヤモンド社、2010)
 - ・チャートでわかる口腔病変診断治療ビジュアルガイド(高野伸夫ら著、医歯薬出版、2011)
 - ・疾患・病態を有する高齢者への歯科における対応(佐藤田鶴子著、ヒョーロン・パブリッシャーズ、2011)

履修上の注意事項 グループローテーション演習・実習を休んだ場合は補習を必要とする。補習を受けなかった場合は総括評価を保留とする。
備考 本ユニットの出席確認の方法は初回授業時に詳細に説明する。
参照ホームページ 必要実習時間9時間:5年前期までに履修してきた臨床系科目のまとめ的な授業であるので、歯科的疾患に関する知識(疾患名、病態、鑑別診断、検査法、治療法など)と歯科疾患に関係している全身疾患に関する知識(疾患名、病態、歯科との関連など)についての再確認をしておくこと。
連絡先 k.karakigend@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月～金 16:30-18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)

時間割番号	021568					
科目名	ことばの世界					
担当教員	隅田 由香					
開講時期	前期	対象年次	5			
課題統合セミナーでは一つのテーマに沿ってさまざまな側面からの知識の整理を行い、より深い理解を行う。						
主な講義場所						
第4講義室						
授業の目的、概要等						
音、声、ことばという観点から歯科医療を検討することで知識の整理とさまざまな要因を説明できる。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。 2) 口腔外科治療とことばの問題を整理できる。 3) ことばに関わる治療を行うために用いられる技術や手法を整理できる。 4) 補綴治療とことばの問題を整理できる。 5) ことばの障害を概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/7	09:00-09:50	歯学科第4講義室	ことばと解剖	ことばの生成に関わる解剖学的知識の整理を行う。	佐藤 巖
2	5/7	10:00-10:50	歯学科第4講義室	ことばと外科治療	ことばの障害と外科治療について、外科治療に関わる症例とともに理解を深める。	佐藤 豊
3	5/7	11:00-11:50	歯学科第4講義室	ことばと補綴治療	ことばの障害と補綴治療について、補綴治療に関わる症例とともに理解を深める。	隅田 由香
4	5/12	12:50-13:40	歯学科第4講義室	ことばの評価	ことばの評価法、解析方法を説明する。	隅田 由香
5	5/12	13:50-14:40	歯学科第4講義室	総合討議	症例を用いて、その症例のことばの障害を分析、評価し、治療計画をグループごとに立てる。	服部 麻里子、 隅田 由香
6	5/12	14:50-15:40	歯学科第4講義室	総合討議	各グループの討議内容を紹介し、フィードバックを行う。	服部 麻里子、 隅田 由香
7	5/21	09:00-09:50	歯学科第4講義室	筆記試験	ユニット評価のための筆記試験を行う。	隅田 由香
成績評価の方法						
ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 ただし、全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければ試験を受けることはできない。						
準備学習などについての具体的な指示						
ことばのしくみを理解するには解剖学、生理学といった基礎を身につけることが必須となる。特に喉頭を中心とした解剖学的名称については開講前に確認しておくこと。						
試験の受験資格						
各ユニット毎に試験または、判定を行う。						
構成ユニット						
ユニット番号 ユニット名 授業形態						
01 咀嚼と嚥下のバイオロジー 講義						
02 骨のバイオロジー 講義						
03 ことばの世界 講義						
04 オクルージョン 講義						
05 歯科と色 講義						
06 口唇裂口蓋裂 講義						
07 全人的総合診断 講義						
モジュールの単位判定						

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

言語聴覚士に必要な歯科の知識／谷口尚 片倉伸郎 大野友久 隅田由香:インテルナ出版, 2007

顎顔面補綴の臨床 咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史 谷口尚:医学情報社

Acoustic analysis of Speech /Ray D Kent編:Singular publishing group INC

参考書

声と言葉のしくみ／亀田和夫:口腔保健協会

- ・ 声と言葉のしくみ 亀田和夫著 口腔保健協会
- ・ 言語聴覚士に必要な歯科の知識 谷口尚 片倉伸郎 大野友久 隅田由香 インテルナ出版, 2007
- ・ 顎顔面補綴の臨床 咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために 編集 大山喬史 谷口尚, 医学情報社
- ・ 音の福祉工学 伊福部達 コロナ社 1997
- ・ Acoustic analysis of Speech Ray D Kent編 Singular publishing group INC
- ・ イラスト解剖学 松村謙児 中外医学社 第7版
- ・ ゴジラ音楽と緊急自身速報 伊福部 達監修 株式会社ヤマハミュージックメディア

履修上の注意事項

- ・ユニット最終日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。

備考

各授業開始後3分の1にあたる20分を過ぎた場合には欠席とみなす。

連絡先

yuka.mfp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月一金曜日 16:00-17:00 10号館2階 顎顔面補綴学分野講師室

時間割番号	021569					
科目名	オクルージョン					
担当教員	小野 卓史					
開講時期	前期	対象年次	5			
コマ数: 6+1 (必要自習時間3時間)						
授業形態: 講義						
ユニット番号: 04						
主な講義場所						
7号館 第三講義室						
授業の目的、概要等						
咬合に関する知識を整理し、人の一生とともに俯瞰的に理解する。						
授業の到達目標(SB0s)						
1) 乳歯の正常な萌出ならびに異常とそれに関与する因子を説明できる。						
2) 乳歯列から混合歯列への正常な移行とその阻害因子を説明できる。						
3) 混合歯列から永久歯列への正常な移行とその阻害因子を説明できる						
4) 咬合の維持ならびに崩壊に関与する因子を説明できる。						
5) 咬合と全身機能との関係を説明できる。						
6) 咬合と顎機能異常との関連を説明できる。						
7) 咬合治療におけるチームアプローチの重要性を具体的に述べる事ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/4	11:00-11:50	歯学科第4講義室	オクルージョンの源—発生学の知見から		田巻 玉器
2	6/11	11:00-11:50	歯学科第4講義室	乳幼児と咬合		宮新 美智世
3	6/18	11:00-11:50	歯学科第4講義室	混合歯列から永久歯列へ	混合歯列期から永久歯列期にかけての成長発育に伴う生理的な咬合の変遷を理解する	松本 芳郎
4	6/25	11:00-11:50	歯学科第4講義室	成人から高齢者における咬合		水口 俊介
5	7/2	11:00-11:50	歯学科第4講義室	顎関節症と咬合		西山 暁
6	7/10	11:00-11:50	歯学科第4講義室	顎顔面補綴と咬合の回復	顎顔面欠損患者の抱える咬合の問題を明らかにし、補綴的手法による回復方法を学ぶ。	隅田 由香
7	7/13	11:00-11:50	歯学科第4講義室	筆記試験	ユニット評価のための筆記試験を行う。	小野 卓史
成績評価の方法						
・講義中における観察記録、ならびにユニット最終回の筆記試験(2015年7月13日)により総合的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。						
構成ユニット						
04 オクルージョン						
モジュールの単位判定						
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。						

教科書

- ・咀嚼運動の生理学 中村嘉男著、医歯薬出版、東京、1998
- ・テキストブック オクルージョン Mohl/Zarb/Carlsson/Rugh 共著、藍稔訳、クインテッセンス、東京、1993
- ・入門咬合学(古谷野潔ほか、補綴臨床 Practice Selection、医歯薬出版)
- ・新編咬合学辞典(保母須美也、クインテッセンス出版)
- ・全図解 顎関節症とかみ合わせの悩みが解決する本. 健康ライブラリー図解シリーズ. 講談社, 東京, 2011.
- ・歯科技工別冊・図解咬合の基礎知識(五十嵐孝義・田村勝美、医歯薬出版)
- ・オクルージョン・咬合治療の理論と臨床(覚道幸男・三谷春保・碑田豊治、医歯薬出版)
- ・スポーツ歯学の臨床(大山喬史、医学情報社)
- ・スポーツ歯科臨床マニュアル(日本スポーツ歯科医学会編、医学情報社)
- ・Clinical Management of Head, Neck and TMJ Pain and Dysfunction (Gelb H, WB Saunders, 1985)
- ・New Concepts in Craniomandibular and Chronic Pain Management (Gelb H, Mosby-Wolfe, 1994)

連絡先

t.ono.orts@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・水 16:00-17:30 歯科棟北12階 教授室

時間割番号	021570						
科目名	咀嚼と嚥下のバイオロジー						
担当教員	戸原 玄, 中根 綾子						
開講時期	前期	対象年次	5				
モジュール名:課題統合セミナー コマ数:9+0(必要自習時間 5時間) 授業形態:講義 ユニット番号:01							
授業の目的、概要等 咀嚼・嚥下に関する知識を統合理解し、歯科医療における位置付けを確認する。							
授業の到達目標(SBOs) 1)咀嚼・嚥下に関わる構造を説明できる。 2)咀嚼・嚥下の機能を説明できる。 3)咀嚼・嚥下の神経制御機構を説明できる。 4)摂食嚥下に関わる器官の発生過程を理解する。 5)摂食・嚥下障害の病態を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/24	09:00-09:50	歯学科第4講義室	摂食嚥下障害総論	摂食嚥下障害を持つ患者の診察の仕方について	戸原 玄	SBOs:5
2	6/24	10:00-10:50	歯学科第4講義室	在宅で対応した重症例の紹介	在宅訪問診療について、リハビリテーションの実例について	戸原 玄	SBOs:1, 2, 3
3	6/24	11:00-11:50	歯学科第4講義室	嚥下機能の評価法	嚥下障害のスクリーニングテストとVF検査、VE検査について	中根 綾子	SBOs:5
4	6/26	09:00-09:50	歯学科第4講義室	頭蓋顔面発生	摂食嚥下に関わる頭蓋及び顔面の発生について	里田 隆博	SBOs:4
5	6/26	10:00-10:50	歯学科第4講義室	摂食嚥下機能	摂食嚥下に関わる筋とそれぞれの動き方について	里田 隆博	SBOs:1, 2, 3, 5
6	6/26	11:00-11:50	歯学科第4講義室	咀嚼嚥下の神経機構	咀嚼嚥下に関する神経機構について	泰羅 雅登	SBOs:1, 2, 3
7	7/9	09:00-09:50	歯学科第4講義室	機能低下を起こしやすい疾患(脳卒中)	歯科医師が知っておくべきフレイルについて	稲次 基希	SBOs:5
8	7/9	10:00-10:50	歯学科第4講義室	機能低下を起こしやすい疾患(フレイル)	歯科医師が知っておくべきフレイルについて	阿部 庸子	SBOs:5
9	7/9	11:00-11:50	歯学科第4講義室	機能低下を起こしやすい疾患(認知症)	歯科医師が知っておくべき認知症について	阿部 庸子	SBOs:5
成績評価の方法 レポートによる総括的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。							
参考書 摂食・嚥下のメカニズム、解剖、生理編(CD-ROM)／里田隆博・戸原玄:医歯薬出版, 2013 咀嚼する脳:咀嚼運動をコントロールする脳・神経の仕組み／中村嘉男 著.:医歯薬出版, 2005							

時間割番号	021098				
科目名	学年混合選択セミナー				
担当教員	倉林 亨, 森尾 郁子, 豊福 明, 鈴木 聖一				
開講時期	2.5 通年	対象年次	3~5	単位数	1
コマ数: 10 授業形態: 講義・演習 モジュール番号: 17					
授業の目的、概要等					
興味を抱く医歯学領域のテーマを自ら選び、理解を深める。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 選択コース 1-A, B, C, D, E, F, G, H, I(いずれか一つを選択する)					
02 選択コース 2-A, B, C, D, E, F, G, H, I(いずれか一つを選択する)					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、すべてのユニット (=2 ユニット)に合格しなければならない。					
各ユニット共に、授業回数の 2/3 以上 (5 回中 4 回以上)に出席しなければならない。ユニットの合格判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。					
連絡先					
倉林 亨:kura.oral@tmd.ac.jp					
森尾 郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp					
鈴木 聖一:s-suzuki.mort@tmd.ac.jp					
豊福 明:toyoomp@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
倉林 亨:特に曜日は定めないが、事前にメールで連絡すること。					
森尾 郁子:毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7 階 教授室					
鈴木 聖一:水・木 16:00-17:30					
豊福 明:毎週火曜日 16:30- 18:00 10号館2階 歯科心身医学教授室					

時間割番号	021099		
科目名	選択コース1		
担当教員	倉林 亨, 森尾 郁子, 豊福 明, 鈴木 聖一		
開講時期	前期	対象年次	3～5
<p>モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 01</p>			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>* 1-A: 顔・顔・顔 [鈴木] 顎口腔領域の治療において、顔に関する知識、配慮が重要であることを認識する。</p> <p>* 1-B: 海外留学と海外協力 [倉林] 歯科医学領域における海外留学の意義を理解すると共に、海外協力に関する知識を修得する。</p> <p>* 1-C: 研究論文作成・特許取得 [南] 学会発表や論文発表においてすぐれた評価を受けた研究を知り、受賞や特許取得の意義を理解する。</p> <p>* 1-D: 明るい開業の道しるべ [鈴木] 歯科医院の開設に必要な会計、経営および法的事項の基礎について理解する。</p> <p>* 1-E: 多職種との連携・協働について考える [遠藤] 歯科医師として他職種と協働するために、歯科保健・医療・福祉の場における専門職の種類、役割、業務内容を理解する。</p> <p>1-F: 英語で日本を紹介する(1) [森尾] 医学英語の基本的語彙と表現の学習を通して、医療の場で英語が使えるようになるにはどのような学習が必要かを理解する。</p> <p>1-G: 診療室・国際学会の英語 [初級] (12名以内) [關] 歯科診療、国際学会発表で使われる表現(初級)を修得する。</p> <p>1-H: Basic English Writing (1) (15名以内) [森尾] Students will have the opportunity to write on topics of interest to them with increasing fluency.</p> <p>1-I: 自分らしいキャリアを創るには ～医療者のキャリアデザイン①～ (30名以内)[有馬] キャリアや自己理解について学び、医療従事者としての仕事面、また一人の人間としてのプライベート面において、今後の具体的なキャリアプランの道筋を立てられるようにする。医療従事者として男女ともに多様なキャリアがあることを知り、男女共同参画の視点を培う。</p>			
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>* 1-A: 顔・顔・顔 [鈴木] 1) 歯科医師にとって顔を扱うことの重要性を認識する。 2) 顔の表現法、評価分析法について説明できる。 3) 顔の見映えを変化させる方法、修復する方法を説明できる。</p> <p>* 1-B: 海外留学と海外協力 [倉林] 1) 海外留学することの成果について説明できる。 2) 世界各国における歯科研究の特徴について説明できる。 3) 歯科領域における海外協力の実際について説明できる。</p> <p>* 1-C: 研究論文作成・特許取得 [南] 1) 研究発表における受賞の意義を説明できる。 2) 独創的研究、先端医療技術について説明できる。 3) 特許取得制度とその出願方法について説明できる。</p> <p>* 1-D: 明るい開業の道しるべ [鈴木] 1) 歯科医院の開設に必要な事項について簡単に説明できる。 2) 開業医の資質について考え、そのためにどのような学習、修練が必要かを洞察できる。 3) 自らが理想とする開業形態について計画し、その概要について説明できる。</p>			

* 1-E: 多職種との連携・協働について考える [遠藤]

- 1) 歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動を考える。
- 2) 人の生活機能と障害、その背景を理解する。
- 3) 地域における住民のネットワークづくり支援について考える。
- 4) 病棟における看護師・歯科衛生士の役割を理解する。
- 5) 高齢者支援のあり方と専門職種間の連携を理解する。

1-F: 英語で日本を紹介する(1) [森尾]

- 1) アルクネットアカデミー2「医学英語入門」コースを適切に使用することができる。
- 2) 医学英語の基本的語彙と表現を修得する。
- 3) 自分にあった英語学習方法を見つけることができる。

1-G: 診療室・国際学会の英語 [初級] (12名以内) [關]

- 1) 診療室での会話で英語が使用できる。
- 2) 国際学会発表スライドを英語で説明できる。
- 3) 発音に注意して会話ができる。

1-H: Basic English Writing (1) (15名以内) [森尾]

- 1) The learning and practice of strategies for writing clear and concise English.
- 2) The ability to summarize an article and discuss its main points.

1-I: 自分らしいキャリアを創るには ～医療者のキャリアデザイン①～ (30名以内)[有馬]

- 1) キャリアの内容や、「自分らしいキャリアチャンス」の作り方を考える。
- 2) キャリア形成に必要な「自己理解」を行い、自分の価値観について理解する。
- 3) これまでのキャリアと現在のキャリアを振り返り、将来のキャリアをデザインできるようにする。
- 4) 将来の仕事と家庭との両立方法など、男女でキャリアについて考える。

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

1-F

・第5回目に行うテストによる。

1-G

・受講態度による。

1-H

・Classwork: Completion and the quality of work

1-I

・受講態度による。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

1-G

・丸ごと覚える 歯科臨床英会話フレーズ集 川口陽子監著 クインテッセンス出版株式会社

・TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材:56yo Female jaw pain. 他9本 關 奈央子, 須永昌代, 福井雄二, ジャネル・モロ

ス, 樺沢勇司, 木下淳博 著 東京大学出版会

履修上の注意事項

* は、以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

連絡先

倉林 亨:kura.oral@tmd.ac.jp

森尾 郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp

鈴木 聖一:s-suzuki.mort@tmd.ac.jp

豊福 明:toyoompm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

倉林 亨:特に曜日は定めないが、事前にメールで連絡すること。

森尾 郁子:毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室

鈴木 聖一:水・木 16:00-17:30

豊福 明:毎週火曜日 16:30- 18:00 10号館2階 歯科心身医学教授室

時間割番号	021100		
科目名	選択コース2		
担当教員	倉林 亨, 森尾 郁子, 豊福 明, 鈴木 聖一		
開講時期	前期	対象年次	3~5
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 02			
授業の目的、概要等 * 2-A: ロボットの世界 [豊福] ロボットに何ができ、またどのように使用されているのか認識する。 * 2-B: 歯科医師の進路 [倉林] 歯科医師として、将来の活躍の場に多様な選択肢のあることを認識する。 2-C: 世界の歯科事情 [鈴木] 英語で行われる授業内容を理解する。 世界各国の文化および歯科事情を学び、国際的な感覚を習得する。 * 2-D: 製品開発への途 [南] 歯科関連器材が製品開発されるまでの過程を各企業の開発担当社から学び、臨床研究における産学連携の意義を理解する。 2-E: TMDU の海外拠点を理解し国際貢献を考える (30名以内) [吉田] TMDU が行っている海外拠点を理解すると共にJICAの行う草の根技術協力事業を考える。 2-F: 英語で日本を紹介する(2) [森尾] 医学英語の基本的語彙と表現の学習を通して、医療の場で英語が使えるようになるにはどのような学習が必要かを理解する。 2-G: 診療室・国際学会の英語 [中級] (12名以内) [關] 歯科診療、国際学会発表で使われる表現(中級)を修得する。 2-H: Basic English Writing (2) (15名以内) [森尾] Students will have the opportunity to write on topics of interest to them with increasing fluency. 2-I: キャリア up のためのコミュニケーション ~医療者のキャリアデザイン②~ (30名以内) [有馬] キャリアを築いて行く上で必要な「コミュニケーション力」を身につけ、今後の人間関係やキャリア形成に役立てる。 自分のコミュニケーションパターンを知ること、将来の目標を実現するために役立てる。 コミュニケーション力を身につけることで、患者さんとのコミュニケーションの取り方のヒントを学ぶ。			
授業の到達目標(SBOs) * 2-A: ロボットの世界 [豊福] 1) 現在のロボットにどのようなことができるか説明できる。 2) ロボットを使用することの意義について意見を述べられる。 3) ロボットが活躍できる場を考え、その有用性について説明できる。 * 2-B: 歯科医師の進路 [倉林] 1) 歯科医師の活動とその社会的意義を説明できる。 2) 進路を選択する上で、自らに必要な課題を抽出できる。 3) 進路を選択する上で、自らの適性について評価できる。 2-C: 世界の歯科事情 [鈴木] 1) 英語で行われる授業の内容を理解し把握する。 2) 世界各国の歯科教育制度の違いについて説明できる。 3) 世界各国の社会医療制度の違いについて説明できる。 4) 世界各国の文化的背景の特徴について説明できる。 * 2-D: 製品開発への途 [南]			

- 1) どのようなニーズから製品開発プロジェクトが生まれるのか具体例を説明できる。
- 2) 機器や材料の製品開発までの過程を説明できる。
- 3) 産学連携における企業と大学の役割について説明できる。

2-E: TMDU の海外拠点を理解し国際貢献を考える (30 名以内) [吉田]

- 1) チリ海外拠点の活動を理解する。
- 2) タイ海外拠点の活動について理解する。
- 3) ガーナ海外拠点の活動について理解する。
- 4) JICAが行う青年海外協力隊事業を理解する。
- 5) JICAが行う草の根技術協力事業(口腔保健分野)について理解する。

2-F: 英語で日本を紹介する (2) [森尾]

- 1) アルクネットアカデミー2「医学英語入門」コースを適切に使用することができる。
- 2) 医学英語の基本的語彙と表現を修得する。
- 3) 自分にあった英語学習方法を見つけることができる。

2-G: 診療室・国際学会の英語 [中級] (12 名以内) [關]

- 1) 診療室での会話で英語が使用できる。
- 2) 国際学会発表スライドを英語で説明できる。
- 3) 発音に注意して会話ができる。

2-H: Basic English Writing (2) (15 名以内) [森尾]

- 1) The learning and practice of strategies for writing clear and concise English.
- 2) The ability to summarize an article and discuss its main points.

2-I: キャリア up のためのコミュニケーション ～医療者のキャリアデザイン②～ (30 名以内) [有馬]

- 1) 自分の物の見方やコミュニケーションのパターンを理解する。
- 2) 職場や家庭など、周囲とより良い人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを学ぶ。
- 3) 自分にとってのモチベーションを考える。
- 4) 患者さんとのコミュニケーションの取り方について考える。

成績評価の方法

・レポートによる総括的評価を行う。

2-E

・授業態度などを基に総合的評価を行う。

2-F

・第 5 回目に行うテストによる。

2-G

・受講態度による。

2-H

・Classwork: Completion and the quality of work

2-I

・受講態度による。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

2-G

・丸ごと覚える 歯科臨床英会話フレーズ集 川口陽子監著 クインテッセンス出版株式会社

・TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材:56yo Female jaw pain. 他9本 関 奈央子, 須永昌代, 福井雄二, ジャネル・モロ
ス, 樺沢勇司, 木下淳博 著 東京大学出版会

履修上の注意事項

* は、以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。

連絡先

倉林 亨:kura.oral@tmd.ac.jp

森尾 郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp

鈴木 聖一:s-suzuki.mort@tmd.ac.jp

豊福 明:toyoompm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

倉林 亨:特に曜日は定めませんが、事前にメールで連絡すること。

森尾 郁子:毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室

鈴木 聖一:水・木 16:00-17:30

豊福 明:毎週火曜日 16:30- 18:00 10号館2階 歯科心身医学教授室

時間割番号	021105																																						
科目名	選択コース 1-A:顔・顔・顔																																						
担当教員	鈴木 聖一																																						
開講時期	前期	対象年次	3~5																																				
モジュール名:学年混合選択セミナー コマ数:5+0 授業形態:講義 ユニット番号:01																																							
授業の目的、概要等 顎口腔領域の治療において、顔に関する知識、配慮が重要であることを認識する。																																							
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯科医師にとって顔を扱うことの重要性を認識する。 2) 顔の表現法、評価分析法について説明できる。 3) 顔の見映えを変化させる方法、修復する方法を説明できる。																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/9</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>学年混合セミナー「顔・顔・顔」</td> <td>鈴木 聖一</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/16</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>学年混合セミナー「顔・顔・顔」</td> <td>坂本 光徳</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/23</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>学年混合セミナー「顔・顔・顔」</td> <td>青木 昭子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/30</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>学年混合セミナー「顔・顔・顔」</td> <td>飯田 康博</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/7</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>学年混合セミナー「顔・顔・顔」</td> <td>向山 仁</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/9	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	鈴木 聖一	2	4/16	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	坂本 光徳	3	4/23	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	青木 昭子	4	4/30	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	飯田 康博	5	5/7	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	向山 仁
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																		
1	4/9	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	鈴木 聖一																																		
2	4/16	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	坂本 光徳																																		
3	4/23	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	青木 昭子																																		
4	4/30	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	飯田 康博																																		
5	5/7	14:50-15:40	5F 示説室	学年混合セミナー「顔・顔・顔」	向山 仁																																		
成績評価の方法 ・レポートによる総括的評価を行う。																																							
準備学習などについての具体的な指示																																							
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																							
履修上の注意事項 ・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。																																							
連絡先 s-suzuki.mort@tmd.ac.jp																																							
オフィスアワー 水・木 16:00-17:30																																							

時間割番号	021106					
科目名	選択コース 1-B: 海外留学と海外協力					
担当教員	倉林 亨					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等 歯科医学領域における海外留学の意義を理解すると共に、海外協力に関する知識を修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 海外留学することの成果について説明できる。 2) 世界各国における歯科研究の特徴について説明できる。 3) 歯科領域における海外協力の実際について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/9	14:50-15:40	特別講堂	海外研修制度を通じた国際交流	竹原 祥子, 石田 雄之	講義・ディスカッション 関連 SBOs: 1-2
2	4/16	14:50-15:40	歯学科第3講義室	歯科医師の海外協力	菅根田 兼司	講義 関連 SBOs: 5
3	4/23	14:50-15:40	歯学科第3講義室	自衛隊による海外歯科医療支援活動	海老沢 政人	講義 関連 SBOs: 5
4	4/30	14:50-15:40	歯学科第3講義室	海外留学の奨め1(研究編)	和達 礼子	講義 関連 SBOs: 3-4
5	5/7	14:50-15:40	歯学科第3講義室	海外留学の奨め2(臨床編)	西村 賢市	講義 関連 SBOs: 3-4
成績評価の方法 ・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項 ・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先 kura.oral@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 特に曜日は定めませんが、事前にメールで連絡すること。						

時間割番号	021107																																												
科目名	選択コース 1-C: 研究論文作成・特許取得																																												
担当教員	南 一郎																																												
開講時期	前期	対象年次	3～5																																										
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 01																																													
授業の目的、概要等 学会発表や論文発表においてすぐれた評価を受けた研究を知り、受賞や特許取得の意義を理解する。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 研究発表における受賞の意義を説明できる。 2) 独創的研究、先端医療技術について説明できる。 3) 特許取得制度とその出願方法について説明できる。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/9</td> <td>14:50-15:40</td> <td>病院演習室</td> <td>特許取得の意義と制度</td> <td>渡邊 公義</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/16</td> <td>14:50-15:40</td> <td>病院演習室</td> <td>独創的研究・先端医療技術</td> <td>青木 章</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/23</td> <td>14:50-15:40</td> <td>病院演習室</td> <td>独創的研究・先端医療技術</td> <td>南 一郎</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/30</td> <td>14:50-15:40</td> <td>病院演習室</td> <td>独創的研究・先端医療技術</td> <td>山口 聡</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/7</td> <td>14:50-15:40</td> <td>病院演習室</td> <td>独創的研究・先端医療技術</td> <td>渡邊 裕</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	4/9	14:50-15:40	病院演習室	特許取得の意義と制度	渡邊 公義	講義 関連 SBOs: 1-3	2	4/16	14:50-15:40	病院演習室	独創的研究・先端医療技術	青木 章	講義 関連 SBOs: 1-3	3	4/23	14:50-15:40	病院演習室	独創的研究・先端医療技術	南 一郎	講義 関連 SBOs: 1-3	4	4/30	14:50-15:40	病院演習室	独創的研究・先端医療技術	山口 聡	講義 関連 SBOs: 1-3	5	5/7	14:50-15:40	病院演習室	独創的研究・先端医療技術	渡邊 裕	講義 関連 SBOs: 1-3
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1	4/9	14:50-15:40	病院演習室	特許取得の意義と制度	渡邊 公義	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
2	4/16	14:50-15:40	病院演習室	独創的研究・先端医療技術	青木 章	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
3	4/23	14:50-15:40	病院演習室	独創的研究・先端医療技術	南 一郎	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
4	4/30	14:50-15:40	病院演習室	独創的研究・先端医療技術	山口 聡	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
5	5/7	14:50-15:40	病院演習室	独創的研究・先端医療技術	渡邊 裕	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
成績評価の方法 ・レポートによる総括的評価を行う。																																													
準備学習などについての具体的な指示 ・歯科領域で利用されている器材で、すでに特許となっている新技術について調べておく。 ・自分が将来どのような発明(研究)をしたら、歯科臨床に役立つのか創案する。																																													
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
履修上の注意事項 ・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。																																													
連絡先 minami.rpro@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 火・水・金曜日 16:30-17:30																																													

時間割番号	021108					
科目名	選択コース 1-D: 明るい開業の道しるべ					
担当教員	鈴木 聖一, 川元 龍夫					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名: 学年混合選択セミナー						
コマ数: 5+0						
授業形態: 講義						
ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
歯科医院の開設に必要な会計、経営および法的事項の基礎について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科医院の開設に必要な事項について簡単に説明できる。						
2) 開業医の資質について考え、そのためにどのような学習、修練が必要か洞察できる。						
3) 自らが理想とする開業形態について計画し、その概要について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/9	14:50-15:40	歯学科第2講義室	開業の手順	小島 龍哉	講義 関連 SBOs: 1-3
2	4/16	14:50-15:40	歯学科第2講義室	歯科医院の収支	宮田 威夫	講義 関連 SBOs: 1-3
3	4/23	14:50-15:40	歯学科第2講義室	医療訴訟	端山 智弘	講義 関連 SBOs: 1-3
4	4/30	14:50-15:40	歯学科第2講義室	歯科医師会とは	高橋 秀直	講義 関連 SBOs: 1-3
5	5/7	14:50-15:40	歯学科第2講義室	開業医の現実	辻 隆次	講義 関連 SBOs: 1-3
成績評価の方法						
・レポートによる総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。						
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
履修上の注意事項						
・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。						
連絡先						
鈴木 聖一: s-suzuki.mort@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
鈴木 聖一: 水・木 16:00-17:30						

時間割番号	021109																																												
科目名	選択コース 1-E: 協働する他職種理解のために																																												
担当教員	遠藤 圭子																																												
開講時期	前期	対象年次	3~5																																										
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 01																																													
授業の目的、概要等 歯科医師として他職種と協働するために、歯科保健・医療・福祉の場における専門職の種類、役割、業務内容を理解する。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯科保健・医療・福祉における歯科医療従事者の活動を考える。 2) 人の生活機能と障害、その背景を理解する。 3) 地域における住民のネットワークづくり支援について考える。 4) 病棟における看護師・歯科衛生士の役割を理解する。 5) 高齢者支援のあり方と専門職種間の連携を理解する。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/9</td> <td>14:50-15:40</td> <td>口腔保健学科 第2講義室</td> <td>歯科保健医療従事者の活動の現状と課題</td> <td>遠藤 圭子</td> <td>講義 関連 SBOs: 1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/16</td> <td>14:50-15:40</td> <td>口腔保健学科 第2講義室</td> <td>人びとの生活の質を向上するための活動とその意味</td> <td>小原 由紀</td> <td>講義 関連 SBOs: 1.2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/23</td> <td>14:50-15:40</td> <td>口腔保健学科 第2講義室</td> <td>地域保健における歯科保健活動 - 歯科医師・歯科衛生士の役割</td> <td>遠藤 圭子</td> <td>講義 関連 SBOs: 1.3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/30</td> <td>14:50-15:40</td> <td>口腔保健学科 第2講義室</td> <td>入院患者の口腔ケアの実際</td> <td>白田 千代子</td> <td>講義 関連 SBOs: 1.4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/7</td> <td>14:50-15:40</td> <td>口腔保健学科 第2講義室</td> <td>高齢者の生活を支える</td> <td>望月 修</td> <td>講義 関連 SBOs: 1.5</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	4/9	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	歯科保健医療従事者の活動の現状と課題	遠藤 圭子	講義 関連 SBOs: 1	2	4/16	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	人びとの生活の質を向上するための活動とその意味	小原 由紀	講義 関連 SBOs: 1.2	3	4/23	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	地域保健における歯科保健活動 - 歯科医師・歯科衛生士の役割	遠藤 圭子	講義 関連 SBOs: 1.3	4	4/30	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	入院患者の口腔ケアの実際	白田 千代子	講義 関連 SBOs: 1.4	5	5/7	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	高齢者の生活を支える	望月 修	講義 関連 SBOs: 1.5
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1	4/9	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	歯科保健医療従事者の活動の現状と課題	遠藤 圭子	講義 関連 SBOs: 1																																							
2	4/16	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	人びとの生活の質を向上するための活動とその意味	小原 由紀	講義 関連 SBOs: 1.2																																							
3	4/23	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	地域保健における歯科保健活動 - 歯科医師・歯科衛生士の役割	遠藤 圭子	講義 関連 SBOs: 1.3																																							
4	4/30	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	入院患者の口腔ケアの実際	白田 千代子	講義 関連 SBOs: 1.4																																							
5	5/7	14:50-15:40	口腔保健学科 第2講義室	高齢者の生活を支える	望月 修	講義 関連 SBOs: 1.5																																							
成績評価の方法 ・レポートによる総括的評価を行う。																																													
準備学習などについての具体的な指示																																													
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
履修上の注意事項 ・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。																																													
連絡先 usagi.pvoh@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 随時																																													

時間割番号	021110						
科目名	選択コース 1-F: 英語で日本を紹介する(1)						
担当教員	森尾 郁子						
開講時期	前期	対象年次	3~5				
主な講義場所 第4講義室							
授業の目的、概要等 外国人が興味を持つ日本のことがらについて知ろうとし、英語で適切な説明をするために求められる知識や英語力について理解する。							
授業の到達目標(SBOs) 1) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について関心を示す。 2) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について日本語で説明することができる。 3) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について英語で適切に説明するために必要な語彙や表現を学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(1)	日本の社会・文化等について 英語で説明する演習	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
2	4/16	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(2)	日本の社会・文化等について 英語で説明する演習	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
3	4/23	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(3)	日本の社会・文化等について 英語で説明する演習	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
4	4/30	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(4)	日本の社会・文化等について 英語で説明する演習	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
5	5/7	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(5)	日本の社会・文化等について 英語で説明する演習と小テスト	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
成績評価の方法 ・第5回目に行う小テストによる。							
準備学習などについての具体的な指示 身近な日本の事象を簡単な英語にしてクラスで発表できるように準備する。							
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。							
構成ユニット 日本に関する質問(1) - (5)							
参考書 英語で日本紹介ハンドブック = An Introductory Handbook to Japan and Its People / 松本美江 著.: アルク, 2014							
連絡先 imorio.edev@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室							

時間割番号	021111					
科目名	選択コース 1-G:診療室・国際学会の英語(初級)					
担当教員	關 奈央子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名:学年混合選択セミナー コマ数:5+0 授業形態:演習 ユニット番号:01						
主な講義場所						
歯学教育開発学分野セミナー室						
授業の目的、概要等						
歯科診療、国際学会発表で使われる表現(初級)を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 診療室での会話で英語が使用できる。 2) 国際学会発表スライドを英語で説明できる。 3) 発音に注意して会話ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	4/9	14:50-15:40	その他(歯学科)	英会話—医療面接	關 奈央子	演習:SBOs1,3 歯学教育開発学分野セミナー室
2	4/16	14:50-15:40	その他(歯学科)	英会話—治療説明一般	關 奈央子	演習:SBOs1,3 歯学教育開発学分野セミナー室
3	4/23	14:50-15:40	その他(歯学科)	英会話—保存・補綴	關 奈央子	演習:SBOs1,3 歯学教育開発学分野セミナー室
4	4/30	14:50-15:40	その他(歯学科)	学会発表の英語1	關 奈央子	演習:SBOs2,3 歯学教育開発学分野セミナー室
5	5/7	14:50-15:40	その他(歯学科)	学会発表の英語2	關 奈央子	演習:SBOs2,3 歯学教育開発学分野セミナー室
成績評価の方法						
・受講態度による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業初日に配布する予定表により、各回で取り上げるテーマを確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で授業に参加すること。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集：治療内容別フレーズ670と基本用語280／川口陽子 監修・著、鶴田潤 [ほか]著、クインテッセンス出版、1997 TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材:56yo Female jaw pain. 他9本／關 奈央子, 須永昌代, 福井雄二, ジャネル・モロス, 榎沢勇司, 木下淳博 著、東京大学出版会、2014						
備考						
内容が一部変わっているので、以前に本ユニットを受講した学生も選択可能である。						

時間割番号	021112						
科目名	選択コース 1-H: Making a presentation in English (1)						
担当教員	森尾 郁子						
開講時期	前期	対象年次	3~5				
主な講義場所							
国際交流センター(1号館西4階)教室							
授業の目的、概要等							
This course is designed to prepare students to give academic presentations. In addition to learning presentation skills, our class will also focus on Q&A readiness.							
授業の到達目標(SBOs)							
1) Be able to establish your identity as a speaker; identify your target audience; hone your presentation message; and deliver the message in a clear and persuasive manner							
2) Be prepared to expertly handle questions and comments in a Q&A session							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	14:50-15:40	その他	Presentation in English (1)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館 4F 国際交流センター
2	4/16	14:50-15:40	その他	Presentation in English (2)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館 4F 国際交流センター
3	4/23	14:50-15:40	その他	Presentation in English (3)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館 4F 国際交流センター
4	4/30	14:50-15:40	その他	Presentation in English (4)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館 4F 国際交流センター
5	5/7	14:50-15:40	その他	Presentation in English (5)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館 4F 国際交流センター
成績評価の方法							
• Final presentation							
準備学習などについての具体的な指示							
講師から提示される課題について準備しておくこと							
試験の受験資格							
<ul style="list-style-type: none"> • 5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 • 受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 							
構成ユニット							
Presentation in English (1)-(5)							
履修上の注意事項							
It is not mandatory but desirable that students have some kind of research materials(book, field or lab research)to take this course. The course will be less lecture and more workshop. 何かについて発表できる材料を持っていれば(つくれば)、「研究実習」前の3年生、4年生でも歓迎です。							
連絡先							
imorio.edev@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室							

時間割番号	021113																																												
科目名	選択コース 1-1: 自分らしいキャリアを創るには～医療者のキャリアデザイン①～																																												
担当教員	有馬 牧子																																												
開講時期	前期	対象年次	3～5																																										
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義及び演習 ユニット番号: 01																																													
授業の目的、概要等 今後の医療従事者としての仕事面、またプライベート面でのキャリアの希望やビジョンを引き出し、将来の実現に近づけるようにするための発想の仕方や方法を学ぶ。 医療従事者として、一人の人間として、今後の具体的なキャリアプランの道筋を立てられるようにする。 男女共に、多様なキャリアの方向性があることを知り、男女共同参画の視点を培う。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) キャリアについて理論的に考えることで、自分らしいキャリアデザインのポイントを学ぶ。 2) 演習やワークを行うことで、自分の価値観や、「現在の自分の人生で優先したいこと」を客観的に理解する。 3) これまでのキャリアと現在のキャリアを考えることで、将来のキャリアをデザインしやすくする。 4) 将来、どのようにしたら仕事と家庭とを両立できるかなど、男女共にキャリアの課題をシミュレーションする。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/9</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>キャリアとは</td> <td>有馬 牧子</td> <td>講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/16</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>自分の価値観を知ろう</td> <td>有馬 牧子</td> <td>講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/23</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>これまでのキャリアを振り返ろう</td> <td>有馬 牧子</td> <td>講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/30</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>今のキャリアを考えよう</td> <td>有馬 牧子</td> <td>講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/7</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>将来のキャリアを考えよう</td> <td>有馬 牧子</td> <td>講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	4/9	14:50-15:40	歯学部演習室	キャリアとは	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4	2	4/16	14:50-15:40	歯学部演習室	自分の価値観を知ろう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4	3	4/23	14:50-15:40	歯学部演習室	これまでのキャリアを振り返ろう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4	4	4/30	14:50-15:40	歯学部演習室	今のキャリアを考えよう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4	5	5/7	14:50-15:40	歯学部演習室	将来のキャリアを考えよう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1	4/9	14:50-15:40	歯学部演習室	キャリアとは	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4																																							
2	4/16	14:50-15:40	歯学部演習室	自分の価値観を知ろう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4																																							
3	4/23	14:50-15:40	歯学部演習室	これまでのキャリアを振り返ろう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4																																							
4	4/30	14:50-15:40	歯学部演習室	今のキャリアを考えよう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4																																							
5	5/7	14:50-15:40	歯学部演習室	将来のキャリアを考えよう	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 歯学科演習室3・4																																							
成績評価の方法 ・授業態度などを基に総合的に評価を行う。																																													
準備学習などについての具体的な指示 将来、医療従事者となった後に、仕事(臨床、研究、教育、留学、独立、etc)とプライベート(趣味、結婚、出産、育児、介護、地域活動、etc)の両方において、どのようなキャリアを歩んで行きたいか、各自が大まかなプランを第一回講義時まで考える。																																													
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
連絡先 arima.ang@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 月～金 16:30 - 18:00 5号館3階 学生・女性支援センター																																													

時間割番号	021124																																												
科目名	選択コース 2-A: ロボットの世界																																												
担当教員	豊福 明																																												
開講時期	前期	対象年次	3~5																																										
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 02																																													
授業の目的、概要等 ロボットに何ができ、またどのように使用されているのか認識する。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 現在のロボットにどのようなことができるか説明できる。 2) ロボットを使用することの意義について意見を述べられる。 3) ロボットが活躍できる場を考え、その有用性について説明できる。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/14</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>次世代ロボットの紹介</td> <td>先川原 正浩</td> <td>講義: SBOs1-3 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/21</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>咀嚼とロボット</td> <td>高信 英明</td> <td>講義: SBOs1-3 工学院大学機械システム工学部</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/28</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>二足歩行ロボットを動かす</td> <td>近藤 博信</td> <td>講義: SBOs1-3 株式会社近藤科学</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/4</td> <td>14:50-15:40</td> <td>5F 示説室</td> <td>介護領域のロボット</td> <td>関口 史郎</td> <td>講義: SBOs1-3 かながわ福祉サービス振興会</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/11</td> <td>14:50-15:40</td> <td>病院演習室</td> <td>コミュニケーションロボット</td> <td>鈴木 純二</td> <td>講義: SBOs1-3 三菱重工機械鉄鋼事業部</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	5/14	14:50-15:40	5F 示説室	次世代ロボットの紹介	先川原 正浩	講義: SBOs1-3 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター	2	5/21	14:50-15:40	5F 示説室	咀嚼とロボット	高信 英明	講義: SBOs1-3 工学院大学機械システム工学部	3	5/28	14:50-15:40	5F 示説室	二足歩行ロボットを動かす	近藤 博信	講義: SBOs1-3 株式会社近藤科学	4	6/4	14:50-15:40	5F 示説室	介護領域のロボット	関口 史郎	講義: SBOs1-3 かながわ福祉サービス振興会	5	6/11	14:50-15:40	病院演習室	コミュニケーションロボット	鈴木 純二	講義: SBOs1-3 三菱重工機械鉄鋼事業部
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1	5/14	14:50-15:40	5F 示説室	次世代ロボットの紹介	先川原 正浩	講義: SBOs1-3 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター																																							
2	5/21	14:50-15:40	5F 示説室	咀嚼とロボット	高信 英明	講義: SBOs1-3 工学院大学機械システム工学部																																							
3	5/28	14:50-15:40	5F 示説室	二足歩行ロボットを動かす	近藤 博信	講義: SBOs1-3 株式会社近藤科学																																							
4	6/4	14:50-15:40	5F 示説室	介護領域のロボット	関口 史郎	講義: SBOs1-3 かながわ福祉サービス振興会																																							
5	6/11	14:50-15:40	病院演習室	コミュニケーションロボット	鈴木 純二	講義: SBOs1-3 三菱重工機械鉄鋼事業部																																							
成績評価の方法 ・レポートによる総括的評価を行う。																																													
準備学習などについての具体的な指示 ロボットに何ができ、またどのように使用されているのかを特に医療応用への可能性を念頭に置きマスメディアや成書を興味のあるままに閲覧しておき、専門家に質問できるように情報の吟味しておく。																																													
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
履修上の注意事項 ・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。																																													
連絡先 toyoompm@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 毎週火曜日 16:30- 18:00 10号館2階 歯科心身医学教授室																																													

時間割番号	021125					
科目名	選択コース 2-B: 歯科医師の進路					
担当教員	倉林 亨					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
<p>モジュール名: 学年混合選択セミナー</p> <p>コマ数: 5+0</p> <p>授業形態: 講義</p> <p>ユニット番号: 02</p>						
授業の目的、概要等						
<p>歯科医師として、将来の活躍の場に多様な選択肢のあることを認識する。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
<p>1) 歯科医師の活動とその社会的意義を説明できる。</p> <p>2) 進路を選択する上で、自らに必要な課題を抽出できる。</p> <p>3) 進路を選択する上で、自らの適性について評価できる。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/14	14:50-15:40	歯学科第3講義室	卒業から開業まで	清水 義一	講義 関連 SBOs: 1-3
2	5/21	14:50-15:40	歯学科第3講義室	開業医として1	中野 由美子	講義 関連 SBOs: 1-3
3	5/28	14:50-15:40	歯学科第3講義室	東大病院に勤める	須佐美 隆史	講義 関連 SBOs: 1-3
4	6/4	14:50-15:40	歯学科第3講義室	開業医として2(インプラント専門医)	菅井 敏郎	講義 関連 SBOs: 1-3
5	6/11	14:50-15:40	歯学科第3講義室	総合病院に勤める	上丸 英	講義 関連 SBOs: 1-3
成績評価の方法						
<p>・レポートによる総括的評価を行う。</p>						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<p>・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。</p> <p>・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。</p>						
履修上の注意事項						
<p>・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。</p>						
連絡先						
kura.oral@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
特に曜日は定めませんが、事前にメールで連絡すること。						

時間割番号	021126				
科目名	選択コース 2-C: 世界の歯科事情				
担当教員	鈴木 聖一				
開講時期	前期	対象年次	3~5		
モジュール名: 学年混合選択セミナー					
コマ数: 5+0					
授業形態: 講義(東京医科歯科大学で学ぶ外国人留学生による平易な英語による講義)					
ユニット番号: 02					
授業の目的、概要等					
英語で行われる授業内容を理解する。 世界各国の文化および歯科事情を学び、国際的な感覚を習得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
1) 英語で行われる授業の内容を理解し把握する。 2) 世界各国の歯科教育制度の違いについて説明できる。 3) 世界各国の社会医療制度の違いについて説明できる。 4) 世界各国の文化的背景の特徴について説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	備考
1	5/14	14:50-15:40	病院演習室	世界の歯科事情1	講義 関連 SBOs: 1-4
2	5/21	14:50-15:40	第4ゼミナール室	世界の歯科事情2	講義 関連 SBOs: 1-4
3	5/28	14:50-15:40	病院演習室	世界の歯科事情3	講義 関連 SBOs: 1-4
4	6/4	14:50-15:40	病院演習室	世界の歯科事情4	講義 関連 SBOs: 1-4
5	6/11	14:50-15:40	5F 示説室	世界の歯科事情5	講義 関連 SBOs: 1-4
成績評価の方法					
・レポートによる総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格					
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
連絡先					
s-suzuki.mort@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
水・木 16:00-17:30					

時間割番号	021127																																												
科目名	選択コース 2-D: 製品開発への途																																												
担当教員	南 一郎																																												
開講時期	前期	対象年次	3~5																																										
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義 ユニット番号: 02																																													
授業の目的、概要等 歯科関連器材が製品開発されるまでの過程を各企業の開発担当社から学び、臨床研究における産学連携の意義を理解する。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) どのようなニーズから製品開発プロジェクトが生まれるのか具体例を説明できる。 2) 機器や材料の製品開発までの過程を説明できる。 3) 産学連携における企業と大学の役割について説明できる。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/14</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>製品開発への途1</td> <td>戸崎 敏</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/21</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>製品開発への途2</td> <td>岡上 吉秀</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/28</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>製品開発への途3</td> <td>常川 勝由</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/4</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>製品開発への途4</td> <td>平田 広一郎</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/11</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>製品開発への途5</td> <td>友江 剛</td> <td>講義 関連 SBOs: 1-3</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	5/14	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途1	戸崎 敏	講義 関連 SBOs: 1-3	2	5/21	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途2	岡上 吉秀	講義 関連 SBOs: 1-3	3	5/28	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途3	常川 勝由	講義 関連 SBOs: 1-3	4	6/4	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途4	平田 広一郎	講義 関連 SBOs: 1-3	5	6/11	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途5	友江 剛	講義 関連 SBOs: 1-3
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1	5/14	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途1	戸崎 敏	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
2	5/21	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途2	岡上 吉秀	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
3	5/28	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途3	常川 勝由	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
4	6/4	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途4	平田 広一郎	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
5	6/11	14:50-15:40	歯学科第2講義室	製品開発への途5	友江 剛	講義 関連 SBOs: 1-3																																							
成績評価の方法 ・レポートによる総括的評価を行う。																																													
準備学習などについての具体的な指示 ・日常、使用している歯科用具(ハブラシなど)や材料(歯磨剤など)の製作会社、仕様書などを読み、製品の種類や相違について調べてみる。 ・歯科関連器材で企業に開発を期待する製品について考えておく。																																													
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
履修上の注意事項 ・以前にこのユニットを受講した学生は選択できません。																																													
連絡先 minami.rpro@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 火・水・金曜日 16:30-17:30																																													

時間割番号	021128						
科目名	選択コース 2-E: TMDU の海外拠点を理解し国際貢献を考える						
担当教員	吉田 丘						
開講時期	前期	対象年次	3~5				
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0(必要自習時間 2 時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02							
主な講義場所							
1 号館西 6 階歯学部演習室1, 2							
授業の目的、概要等							
TMDU が行っている海外拠点を理解すると共に、JICA や市民レベルの技術協力事業を考える。							
授業の到達目標(SBOs)							
1) 本学の海外拠点(タイ、チリ、ガーナ)の活動を理解する。 2) 公的資金を利用して行う市民レベルの技術協力事業(口腔保健分野)について理解する。 3) JICA が行う青年海外協力隊事業(保健医療分野)を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/14	14:50-15:40	歯学部演習室	公的資金を利用して行う市民レベルの技術協力事業(ラオス)	公的資金を利用して行う市民レベルの技術協力事業(ラオス)について解説する。	吉田 丘 宮田 隆	講義: SBOs 2 演習室1・2
2	5/21	14:50-15:40	歯学部演習室	公的資金を利用して行う市民レベルの技術協力事業(カンボジア)	公的資金を利用して行う市民レベルの技術協力事業(カンボジア)について解説する。	吉田 丘 宮田 隆	講義: SBOs 2 演習室1・2
3	5/28	14:50-15:40	歯学部演習室	タイ拠点について	タイ拠点について解説する。	小野田 勝次	演習: SBOs 1 演習室1・2
4	6/4	14:50-15:40	歯学部演習室	チリ・ガーナ拠点について	チリ・ガーナ拠点について解説する。	吉田 丘	演習: SBOs 1 演習室1・2
5	6/11	14:50-15:40	歯学部演習室	JICA が行う青年海外協力隊事業 (保健医療分野)について	JICA が行う青年海外協力隊事業 (保健医療分野)について解説する。	小野田 勝次	演習: SBOs 3 演習室1・2
成績評価の方法							
・授業態度などを基に総合的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
本学の海外拠点に関する情報は本学の広報物等により、またJICA事業については同機関ホームページを参照するなどして事前に情報を収集してから授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。							
構成ユニット							
1)公的資金を利用して行う市民レベルの技術協力事業(ラオス) 2)公的資金を利用して行う市民レベルの技術協力事業(カンボジア) 3)タイ拠点について 4)チリ・ガーナ拠点について 5)JICA が行う青年海外協力隊事業(保健医療分野)について							
連絡先							
qqq.yoshida.isc@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
木 16:00 - 17:00 1号館西4階国際交流センター 教授室							

時間割番号	021129						
科目名	選択コース 2-F: 英語で日本を紹介する(2)						
担当教員	森尾 郁子						
開講時期	前期	対象年次	3~5				
主な講義場所 第4講義室							
授業の目的、概要等 外国人が興味を持つ日本のことがらについて知ろうとし、英語で適切な説明をするために求められる知識や英語力について理解する。							
授業の到達目標(SBOs) 1) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について関心を示す。 2) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について日本語で説明することができる。 3) 外国人が興味を持つ日本の社会、文化等について英語で適切に説明するために必要な語彙や表現を学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/14	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(6)	日本の社会・文化等について英語で説明する演習	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
2	5/21	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(7)	日本の社会・文化等について英語で説明する演習	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
3	5/28	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(8)	日本の社会・文化等について英語で説明する演習	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
4	6/4	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(9)	日本の社会・文化等について英語で説明する演習	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
5	6/11	14:50-15:40	歯学科第4講義室	日本に関する質問(10)	日本の社会・文化等について英語で説明する演習 および小テスト	森尾 郁子	演習:SBOs 1-3
成績評価の方法 ・第5回目に行う小テストによる。							
準備学習などについての具体的な指示 身近な日本の事象について簡単な英語にしてクラスで発表できるように準備する。							
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。							
構成ユニット 日本に関する質問(6) - (7)							
参考書 英語で日本紹介ハンドブック = An Introductory Handbook to Japan and Its People / 松本美江 著.: アルク, 2014							
連絡先 imorio.edev@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室							

時間割番号	021130					
科目名	選択コース 2-G:診療室・国際学会の英語(中級)					
担当教員	關 奈央子					
開講時期	前期	対象年次	3~5			
モジュール名:学年混合選択セミナー コマ数:5+0 授業形態:演習 ユニット番号:02						
主な講義場所						
歯学教育開発学分野セミナー室						
授業の目的、概要等						
歯科診療、国際学会発表で使われる表現(中級)を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 診療室での会話で英語が使用できる。 2) 国際学会発表スライドを英語で説明できる。 3) 発音に注意して会話ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	5/14	14:50-15:40	その他(歯学科)	英会話—医療面接	關 奈央子	演習:SBOs1,3 歯学教育開発学分野セミナー室
2	5/21	14:50-15:40	その他(歯学科)	英会話—治療説明一般	關 奈央子	演習:SBOs1,3 歯学教育開発学分野セミナー室
3	5/28	14:50-15:40	その他(歯学科)	英会話—保存・補綴	關 奈央子	演習:SBOs1,3 歯学教育開発学分野セミナー室
4	6/4	14:50-15:40	その他(歯学科)	学会発表の英語1	關 奈央子	演習:SBOs2,3 歯学教育開発学分野セミナー室
5	6/11	14:50-15:40	その他(歯学科)	学会発表の英語2	關 奈央子	演習:SBOs2,3 歯学教育開発学分野セミナー室
成績評価の方法						
・受講態度による						
準備学習などについての具体的な指示						
授業初日に配布する予定表により、各回で取り上げるテーマを確認し、事前に当該テーマについて十分に予習した上で授業に参加すること。						
試験の受験資格						
・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
参考書						
丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集：治療内容別フレーズ 670 と基本用語 280／川口陽子 監修・著、鶴田潤 [ほか]著、クインテッセンス出版、1997 TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材:56yo Female jaw pain. 他9本／關 奈央子、須永昌代、福井雄二、ジャーナル・モロス、樺沢勇司、木下淳博 著、東京大学出版会、2014						
備考						
選択コース1-G(初級)ユニットを受講した学生も選択可能である。						

時間割番号	021131						
科目名	選択コース 2-H: Making a presentation in English(2)						
担当教員	森尾 郁子						
開講時期	前期	対象年次	3~5				
主な講義場所							
国際交流センター(1号館西4階)教室							
授業の目的、概要等							
This course is designed to prepare students to give academic presentations. In addition to learning presentation skills, our class will also focus on Q&A readiness.							
授業の到達目標(SBOs)							
1) Be able to establish your identity as a speaker; identify your target audience; hone your presentation message; and deliver the message in a clear and persuasive manner							
2) Be prepared to expertly handle questions and comments in a Q&A session							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/14	14:50-15:40	歯学部演習室	Presentation in English (6)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館4F国際交流センター
2	5/21	14:50-15:40	歯学部演習室	Presentation in English (7)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館4F国際交流センター
3	5/28	14:50-15:40	歯学部演習室	Presentation in English (8)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館4F国際交流センター
4	6/4	14:50-15:40	歯学部演習室	Presentation in English (9)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館4F国際交流センター
5	6/11	14:50-15:40	歯学部演習室	Presentation in English (10)	Presentation skills and Q&A readiness	David Cannell	演習: SBOs 1-2 1号館4F国際交流センター
準備学習などについての具体的な指示							
講師から出される課題を事前に準備してくること。							
試験の受験資格							
<ul style="list-style-type: none"> ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 							
構成ユニット							
Presentation in English(6)-(7)							
履修上の注意事項							
It is not mandatory but desirable that students have some kind of research materials(book, field or lab research)to take this course. The course will be less lecture and more workshop. 何かについて発表できる材料を持っていれば(つくれば)、「研究実習」前の3年生、4年生でも歓迎です。							
連絡先							
imorio.edev@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室							

時間割番号	021132																																												
科目名	選択コース 2-1: キャリア up のためのコミュニケーション～医療者のキャリアデザイン②～																																												
担当教員	有馬 牧子																																												
開講時期	前期	対象年次	3～5																																										
モジュール名: 学年混合選択セミナー コマ数: 5+0 授業形態: 講義及び演習 ユニット番号: 02																																													
授業の目的、概要等 キャリアを築いて行く上で必要な「コミュニケーション力」を身につけ、今後のキャリアアップや人間関係に役立てる。 自分のコミュニケーションパターンを知ることで、対人関係力を改善するのに役立てる。 自分の要求や気持ちの伝え方や、人の話を聴くポイントなどを具体的に身につける。それにより、患者さんとのコミュニケーションの取り方についてもヒントを学ぶ。																																													
授業の到達目標(SBOs) 1) 自分の物の見方や価値観、コミュニケーションのパターンを理解する。 2) 職場や家庭など、周囲とより良い人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを学ぶ。 3) 自分のコミュニケーションスキルを上げるためのモチベーションは何かを考える。 4) 患者さんとのコミュニケーションの取り方について考える。																																													
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/14</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>コミュニケーションとは？</td> <td>有馬 牧子</td> <td>講義: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/21</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>自分のコミュニケーションパターンを知ろう</td> <td>有馬 牧子</td> <td>演習: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/28</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>聴く・話す・伝える・要求する①</td> <td>有馬 牧子</td> <td>演習: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/4</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>聴く・話す・伝える・要求する②</td> <td>有馬 牧子</td> <td>演習: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/11</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学部演習室</td> <td>聴く・話す・伝える・要求する③</td> <td>有馬 牧子</td> <td>演習: SBOs1-4: 演習室3・4</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	5/14	14:50-15:40	歯学部演習室	コミュニケーションとは？	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 演習室3・4	2	5/21	14:50-15:40	歯学部演習室	自分のコミュニケーションパターンを知ろう	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4	3	5/28	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する①	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4	4	6/4	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する②	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4	5	6/11	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する③	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																							
1	5/14	14:50-15:40	歯学部演習室	コミュニケーションとは？	有馬 牧子	講義: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
2	5/21	14:50-15:40	歯学部演習室	自分のコミュニケーションパターンを知ろう	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
3	5/28	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する①	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
4	6/4	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する②	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
5	6/11	14:50-15:40	歯学部演習室	聴く・話す・伝える・要求する③	有馬 牧子	演習: SBOs1-4: 演習室3・4																																							
成績評価の方法 ・受講態度などを基に総合的に評価を行う。																																													
準備学習などについての具体的な指示 日常的に人とコミュニケーションを取る上で、改善したいことや課題について、第一回講義時まで各自で考える。 将来医療従事者となった後に、職場のスタッフや患者さんとのようなコミュニケーションを取って行きたいかも併せて考える。																																													
試験の受験資格 ・5回の授業のうち4回以上出席しなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																													
連絡先 arima.ang@tmd.ac.jp																																													
オフィスアワー 月～金 16:30 - 18:00 5号館3階 学生・女性支援センター																																													

時間割番号	021115				
科目名	歯科生体材料				
担当教員	宇尾 基弘, 本郷 敏雄				
開講時期	通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	3
コマ数: 71 (2) (実用自習時間19時間) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 18					
主な講義場所					
第2 講義室(ユニット1)、第3 講義室(ユニット2,3) 基礎実習室、補綴実習室					
授業の目的、概要等					
歯科医療で使用される材料の物理化学的特性および生体や環境への影響, および成型法を理解する。					
授業の到達目標(SB0s)					
歯科医療で使用される金属、有機、無機、複合材料の物理化学的特性および生体や環境への影響, それら材料の使用法および成型法を理解し説明できる。					
成績評価の方法					
ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。					
準備学習などについての具体的な指示					
講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。 実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。					
試験の受験資格					
・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。					
構成ユニット					
01 生体材料の科学 02 歯科生体材料の性質 03 歯科材料の成型技術と臨床					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、当該モジュールの全ユニットにおける講義総数の3分の2、実習総数の4分の3以上の出席が単位取得に必要である。					
教科書					
スタンダード歯科理工学／鈴木一臣, 榎本貢三, 岡崎正之, 中嶋裕, 西山典宏 編集幹事, 荒木吉馬, 石川邦夫, 伊藤充雄, 川島功, 莊村泰治, 高橋英和, 土井豊, 久恒邦博, 平野進, 松家茂樹, 宮崎隆, 米山隆之 編集・執筆, 学建書院, 2013					
参考書					
歯科理工学教育用語集／日本歯科理工学会 編, 医歯薬出版, 2011 コア歯科理工学／小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫 編, 医歯薬出版, 2008					
参照ホームページ					
http://m-uo.com/lecture.html (学内アクセス限定)					
オフィスアワー					
本郷 敏雄 生命科学(生物物理化学): 教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。					

時間割番号	021116					
科目名	生体材料の科学					
担当教員	埴 隆夫					
開講時期	後期	対象年次	3			
モジュール名: 歯科生体材料 コマ数: 15+1 (必要自習時間5時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 01						
主な講義場所						
第2講義室、基礎実習室						
授業の目的、概要等						
歯科材料を含む生体材料を理解するための基礎として、材料科学の基本知識を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 材料の分類と特性について説明できる。 2) 材料の力学的性質および試験法について説明できる。 3) 金属材料の構造と基本的性質を説明できる。 4) セラミック材料の構造と基本的性質を説明できる。 5) 高分子材料の構造と基本的性質を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	2/22	12:50-15:40	歯学科第2講義室	歯科理工学概論	埴 隆夫 宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 1,2
4-6	2/23	09:00-11:50	歯学科第2講義室	材料の性質と物性評価	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	講義:SBOs 1,2
7-9	2/24	12:50-15:40	歯学科第2講義室	金属材料と歯科応用	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広 埴 隆夫	講義:SBOs 3
10-12	2/25	09:00-11:50	歯学科第2講義室	ポリマー・セラミックと歯科応用	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広 山下 仁大 由井 伸彦	講義:SBOs 4,5
13-15	2/26	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	成形修復材料実習	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	実習:SBOs 1,2,3
16	2/29	13:50-14:40	歯学科第2講義室	筆記試験	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	
成績評価の方法						
ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。						
準備学習などについての具体的な指示						
講義に関しては教科書および Web にアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。 実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。						
試験の受験資格						
・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。						
備考						
・当該ユニットの試験に不合格の者は次年度に当該ユニットを履修しなければならない。						
連絡先						
hanawa.met@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・金 16:30-18:00						

時間割番号	021139				
科目名	歯科生体材料の性質				
担当教員	宇尾 基弘				
開講時期	前期	対象年次	4		
モジュール名: 歯科生体材料 コマ数: 22+0. 5(必要自習時間6時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 02					
授業の目的、概要等 各用途に使用される歯科生体材料の性質について、必要とされる特性との関連に基づき理解する。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 成形修復材料と接着について説明でき、適切に準備できる。 2) 合着材、接着材の種類と性質を説明できる。 3) コンポジットと硬質レジンについて説明できる。 4) 印象材と模型材の種類と性質を説明でき、適切に準備できる。 5) 歯科用陶材について説明できる。 6) 歯科用合金について説明できる。 7) インプラント材料、歯周治療用材料、その他の歯科治療用材料について説明できる。 8) 歯質の機械的性質について説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/8	09:00-11:50	歯学科第3講義室	成形修復材料、合着材、接着	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
4-5	4/9	12:50-14:40	歯学科第3講義室	成形修復材料 歯科材料の安全性評価	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
6-8	4/10	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯科材料の安全性評価	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
9-11	4/14	09:00-11:50	歯学科第3講義室	印象材と模型材	高橋 英和
12-13	4/16	12:50-14:40	歯学科第3講義室	歯科用合金と状態図	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
14-16	4/17	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯科用合金	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
17-19	4/20	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	印象採得と模型作成	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
20-22	4/21	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯科用合金	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
23-24	4/23	12:50-14:40	歯学科第3講義室	歯科材料の認証 インプラント材料	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広 原田 直子
25	4/28	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
成績評価の方法 ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。					
準備学習などについての具体的な指示 講義に関しては教科書およびWebにアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。 実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。					
試験の受験資格 ・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。					
備考 ・当該ユニット試験に不合格の者は次年度に当該全ユニットを履修しなければならない。					

時間割番号	021140																																																																																						
科目名	歯科材料の成形技術と臨床																																																																																						
担当教員	宇尾 基弘																																																																																						
開講時期	前期	対象年次	4																																																																																				
<p>モジュール名: 歯科生体材料 コマ数: 34+0. 5(必要自習時間8時間) 授業形態: 講義・実習 ユニット番号: 03</p>																																																																																							
<p>授業の目的、概要等 歯科材料の成型加工技術を理解し、操作できるとともに、種々の臨床場面において適切な歯科材料を選択するために、組成・特性についての基礎知識を修得する。</p>																																																																																							
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科で用いられている成形加工技術を説明でき 2) 歯科鑄造に用いる材料を説明でき、鑄造体を作製できる。 3) 義歯床用材料の性質を説明でき、重合体を作製できる。 4) 切削・研磨用器具について説明でき、研磨ができる。 5) 歯科用陶材・セラミックスの特性と加工法について説明できる。 6) 歯科用合金の熱処理と腐食挙動について説明できる。 7) 歯科器材のクラス分類と認証・承認、生体材料の生体安全性について説明できる。 																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>4/24</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>陶材・セラミックス</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>4-5</td> <td>4/28</td> <td>10:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>義歯床用材料と重合</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>6-7</td> <td>4/30</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>コンポジットレジン</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>8-10</td> <td>5/1</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>成形加工技術</td> <td>本郷 敏雄 宇尾 基弘 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>5/7</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>切削・研削・研磨</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>5/11</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室</td> <td>実習3・レジン重合1</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>5/12</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室</td> <td>実習4・レジンの重合2</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>5/13</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>合金の熱処理・腐食</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>22-23</td> <td>5/13</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>合金の熱処理・腐食</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>24-25</td> <td>5/14</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯科精密鑄造</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>26-28</td> <td>5/18</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学部基礎実習室</td> <td>実習5・歯科鑄造1</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>29-31</td> <td>5/19</td> <td>12:50-15:40</td> <td>補綴実習室</td> <td>実習6・歯科鑄造2</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> <tr> <td>32</td> <td>5/25</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-3	4/24	09:00-11:50	歯学科第3講義室	陶材・セラミックス	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	4-5	4/28	10:00-11:50	歯学科第3講義室	義歯床用材料と重合	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	6-7	4/30	12:50-14:40	歯学科第3講義室	コンポジットレジン	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	8-10	5/1	09:00-11:50	歯学科第3講義室	成形加工技術	本郷 敏雄 宇尾 基弘 和田 敬広	11-12	5/7	12:50-14:40	歯学科第3講義室	切削・研削・研磨	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	13-15	5/11	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実習3・レジン重合1	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	16-18	5/12	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習4・レジンの重合2	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	19-21	5/13	09:00-11:50	歯学科第3講義室	合金の熱処理・腐食	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	22-23	5/13	13:50-15:40	歯学科第3講義室	合金の熱処理・腐食	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	24-25	5/14	12:50-14:40	歯学科第3講義室	歯科精密鑄造	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	26-28	5/18	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習5・歯科鑄造1	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	29-31	5/19	12:50-15:40	補綴実習室	実習6・歯科鑄造2	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広	32	5/25	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																		
1-3	4/24	09:00-11:50	歯学科第3講義室	陶材・セラミックス	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
4-5	4/28	10:00-11:50	歯学科第3講義室	義歯床用材料と重合	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
6-7	4/30	12:50-14:40	歯学科第3講義室	コンポジットレジン	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
8-10	5/1	09:00-11:50	歯学科第3講義室	成形加工技術	本郷 敏雄 宇尾 基弘 和田 敬広																																																																																		
11-12	5/7	12:50-14:40	歯学科第3講義室	切削・研削・研磨	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
13-15	5/11	12:50-15:40	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室	実習3・レジン重合1	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
16-18	5/12	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習4・レジンの重合2	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
19-21	5/13	09:00-11:50	歯学科第3講義室	合金の熱処理・腐食	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
22-23	5/13	13:50-15:40	歯学科第3講義室	合金の熱処理・腐食	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
24-25	5/14	12:50-14:40	歯学科第3講義室	歯科精密鑄造	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
26-28	5/18	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	実習5・歯科鑄造1	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
29-31	5/19	12:50-15:40	補綴実習室	実習6・歯科鑄造2	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
32	5/25	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験	宇尾 基弘 本郷 敏雄 和田 敬広																																																																																		
<p>成績評価の方法 ユニット試験成績に出席状況、小テスト、レポートなどを加味して算出する。</p>																																																																																							
<p>準備学習などについての具体的な指示 講義に関しては教科書およびWebにアップロードされている該当項目の資料を事前に読んでおくこと。 実習に関しては事前に配布する実習書の該当項目を読み、当日の実習内容を理解しておくこと。特に実習については実習開始時の説明が非常に重要なので、開始時間に遅れないこと。</p>																																																																																							
<p>試験の受験資格 ・出席に関係なく履修者全員に受験資格を有する。ただし、当該モジュール全ユニット終了時において、当該モジュール全ユニットの講義総コマ数の3分の2以上、実習総コマ数の4分の3以上出席を満たさなかった場合はモジュール未履修とし、次年度に当該モジュールを再履修しなければならない。</p>																																																																																							
<p>備考 ・当該ユニット試験に不合格の者は次年度に当該全ユニットを履修しなければならない。</p>																																																																																							

時間割番号	021141					
科目名	研究実習					
担当教員	井関 祥子, 小野 卓史, 笹木 賢治					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	4	
コマ数: 251(O) (必要自習時間 70 時間) 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 13 ユニット番号: 01						
授業の目的、概要等						
医療の進歩に不可欠な歯学研究を自主的に実践することで、問題解決の方法を習得するとともに科学的検証の重要性を理解し、歯学研究に貢献できる歯科医師としての技能と意識を涵養する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 自ら関心を持つ問題について、配属先教員と相談し研究課題を設定することができる。 2) 研究課題を科学的研究として遂行するための計画を立て、自ら説明することができる。 3) 研究活動に必要な具体的な知識、技能、適切な態度を習得することができる。 4) 研究結果を科学的に検証して評価することができる。 5) 研究活動について報告書を作成し、発表することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	2/23	09:00-10:50	歯学科第3講義室	イントロダクション	井関 祥子	関連 SBOs: 1
3	2/23	11:00-11:50	歯学科第2講義室	配属について	笹木 賢治	関連 SBOs: 1,2,3
4	4/8	12:50-13:40	歯学科第3講義室	概説	小野 卓史	関連 SBOs: 1,2,3
5-6	4/8	13:50-15:40	歯学科第3講義室	動物実験(資格許可取得/センター使用) 配属手続き	金井 正美	関連 SBOs: 1,2,3
7	5/13	12:50-13:40	歯学科第3講義室	安全な実験について/配属先決定	宇尾 基弘 笹木 賢治	関連 SBOs: 1,2,3
8	5/21	12:50-13:40	歯学科第3講義室	統計の復習1	穂山 雅子	関連 SBOs: 1,2,3
9	5/21	13:50-14:40	歯学科第3講義室	発表準備	犬飼 周佑	関連 SBOs: 1,2,3
10	5/27	12:50-13:40	歯学科第3講義室	研究の実際1	蒔田 敏之	関連 SBOs: 1,2,3
11	5/27	13:50-14:40	歯学科第3講義室	統計の復習2	穂山 雅子	
12	5/27	14:50-15:40	歯学科第3講義室	バイオセーフティー	中川 一路	関連 SBOs: 1,2,3
13	6/9	09:00-09:50	歯学科第3講義室	研究の実際2	武智 正樹	関連 SBOs: 1,2,3
14-15	6/9	10:00-11:50	歯学科第3講義室	配属前注意事項	井関 祥子	関連 SBOs: 1,2,3
16-18	6/9	12:50-15:40		研究実習(初日)		関連 SBOs: 1,2,3,4,5
19-241	6/10	09:00-15:40		6月10日~7月31日(6月11日は、学年混合選択セミナーのため5コマ、それ以外は1日6コマとする)		関連 SBOs: 1,2,3,4,5
	8/3	09:00-15:40		夏期休暇中への延長は、学生が希望し、配属先が承諾した場合のみとする。		
241-246	9/24	09:00-15:40	歯学部演習室	研究実習発表会(ポスター発表)	小野 卓史 井関 祥子 笹木 賢治	関連 SBOs: 4,5
246-251	10/20	09:00-15:40	特別講堂	研究実習発表会(口演発表・ポスタービューイング)	小野 卓史 井関 祥子 笹木 賢治	関連 SBOs: 4,5/1 号館9階特別講堂、ファカルティラウンジ
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・学生は自ら活動記録を付け、活動記録を定期的に配属先教員に提出し、形成的評価を受ける。 ・学生は、研究実習発表会(全員必須)において研究活動を発表し、形成的評価を受ける。 ・モジュール終了時には、配属先教員による評価シート、研究活動報告書の評価を合わせ、総括的評価を行う。 						

<p>準備学習などについての具体的な指示</p>
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数の3/4以上活動(出席)。 ・活動(出席)状況については、アドバイザーが記録する。
<p>構成ユニット 01 研究実習</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義時間数の2/3以上出席(ただし、配属先の実習の内容によっては、欠席するとその実習ができなくなる講義があることを承知すること) ・ 全実習時間数の3/4以上活動(活動状況については、配属先教員が記録する。) ・ 9月24日と10月20日の発表会への出席は必須(審査も行なう) ・研究活動報告書の提出 以上の要件を満たしたものをユニット合格とし、これらの内容によって成績判定が行われる。
<p>備考</p> <p><備考>: 詳細については、講義の中で説明する。</p> <p>コース設定:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Aコース: 大学内研究室(医/歯/難治研/生材研他)へ配属するコース 2. Bコース: 学外研究機関へ配属するコース <p>Bコースについては、基本的には1) 希望者自身で先方との交渉一切を行うこと、2) 関連する交通費、滞在費、保険料(保険に加入することが義務づけられるため)などは、基本的には個人負担となることを承知すること。</p> <p>[上記A、Bコースとも1分野(研究室)1人制。希望者が複数の場合は1分野1名になるように希望者間で調整すること。例外は認めない]</p> <p>8月3日～9月4日までの夏季休暇における実習の延長については、学生本人が希望した上で、配属先分野が了承した場合のみ可とする。</p> <p>学生発表会事前抄録について: 9月4日(金)17:00までに、PDF形式とした上で、メールに添付し教務掛まで提出すること。期限を守らなかった場合は、履修しなかったこととする。(件名は、『事前抄録 2015(事務処理番号/氏名)』とすること。) Times New Roman12ポイントにて、目的、研究方法、結果、考察について、A4紙1枚に収める事。図表の使用も可。印刷については、白黒となることを承知のこと。</p> <p>学生発表会(発表方法)について: 9月24日に全員を対象としてポスター発表[発表と質疑応答]を実施する予定としている。審査委員による審査結果、上位6名の学生を10月20日の口演発表者(英語)として選出する。ポスター作成様式については、講義中に説明する。 10月20日の発表会では、口演発表(D4の中から6名と外国人学生6名、英語)、口演発表しないD4学生はポスタービューイングの時間でポスター説明をするとともに、発表の審査をする。</p> <p>研究活動報告書について: 10月30日(金)17:00までに、PDF形式とした上で、メールに添付し教務掛まで提出すること。(件名は、『研究活動報告書 2014(事務処理番号/氏名)』とすること。)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① タイトル、配属分野、配属分野分野長、指導担当教員、学籍番号および氏名を明記する。 ② タイトルページを除いた上で、要旨、背景、目的、方法、結果、考察、結論、参考文献、および図や表を含めてA4で8ページ以内に収めること。 ③ 「研究背景」、「目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「展望」、「感想」の項目を独立させる。すなわち、報告書の形式を有していること。事前に担当分野の教員と十分に議論して、様式を整えること。報告書として体裁をなしていないものは再提出となることに留意すること。 <p>注意: パワーポイントファイルの集合体での形式は不可</p>

その他:

期間中は、各分野へ配属するため、情報伝達についてはe-learning学習管理システムへの掲載情報を随時、各人が確認すること。研究室配属が基本となるので、通常の講義、実習とは異なり、仕事場の一員となることを強く自覚し、社会人としてふさわしい行動をとるようにすること。

研究実習については、配属先研究室で、「教えてもらう」時間ではなく、「学ぶ」時間を得ていることを、きちんと認識し、能動的に実習を行うこと。

配属期間中、相談等がある場合は、下記、Office Hour に研究室訪問(要事前連絡)あるいは、e-mail を用いて早めに連絡をとるようにすること。

参照ホームページ

- ・ 日本学術会議 HP: <http://www.scj.go.jp/index.html>
- ・ 日本学術会議 科学者の行動規範について
HP: <http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-s3.pdf>
- ・ 日本学術振興会 HP: <http://www.jsps.go.jp/>

連絡先

井関 祥子:s.iseki.emb@tmd.ac.jp

小野 卓史:t.ono.orts@tmd.ac.jp

笛木 賢治:kunfu.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

井関 祥子:随時 (必ず事前に連絡すること)

小野 卓史:月・水 16:00-17:30 歯科棟北12階 教授室

笛木 賢治:毎週月、火、水、金曜日 PM17:00-18:00 歯科棟北11階部分床義歯補綴学分野第1研究室

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	021142				
科目名	歯と根尖歯周組織の疾患				
担当教員	興地 隆史, 大槻 昌幸, 池田 英治				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	5
コマ数: 174+15 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 20					
授業の目的、概要等					
歯と根尖歯周組織に生ずる疾患の病因・病態を理解し、その予防・診断および治療に関する知識と基本的技能を修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 歯の硬組織疾患とその対応 概論					
02 歯の硬組織疾患					
03 保存修復治療の基礎					
04 保存修復治療の最新の臨床					
05 保存修復治療の展開					
06 歯髄/根尖歯周組織疾患を治す					
07 歯髄/根尖歯周組織を考える					
08 歯内治療の展開					
09 歯内治療実習					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
興地 隆史: t.okiji.endo@tmd.ac.jp					
大槻 昌幸: otsuki.ope@tmd.ac.jp					
池田 英治: hms-ikeda.endo@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
興地 隆史: 月、水、金 PM4:30-6:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野教授室					
大槻 昌幸: 月・火・木・金 17:00 以降 水 18:00 以降					
池田 英治: 月、水、金 PM4:30-6:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野講師室					

時間割番号	021143						
科目名	歯の硬組織疾患とその対応 概論						
担当教員	大槻 昌幸						
開講時期	前期	対象年次	4				
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 ユニット名: 歯の硬組織疾患とその対応 概論 コマ数: 5+0(第2ユニットで実施) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01							
主な講義場所							
第3講義室							
授業の目的、概要等							
歯の硬組織疾患とその治療の概要を理解し、臨床に必要な基礎知識を身につける。							
授業の到達目標(SBOs)							
1) 保存修復治療の概要を説明できる。 2) 歯内治療の概要を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/7	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯と根尖歯周組織の疾患 概論1	保存修復学概要	田上 順次	講義: SBOs 1
4-5	4/7	12:50-14:40	歯学科第3講義室	歯と根尖歯周組織の疾患 概論2	歯内療法学概要	興地 隆史	講義: SBOs 2
成績評価の方法							
・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成27年5月20日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格							
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。							
参考書							
・保存修復学21、永末書店 ・う蝕学、永末書店 ・う蝕治療ガイドライン、日本歯科保存学会編、永末書店 ・Art and science of operative dentistry, Mosby. ・改訂版エンドドンティックス21、永末書店 ・Pathway of the Pulp 8th ed, Mosby ・Seltzer and Bender's The Dental Pulp, 2nd ed, Quintessence ・失敗しない歯髄保存療法、初版、クインテッセンス出版 ・バイオロジーに基づいた実践歯内療法学、クインテッセンス出版 ・Essential Endodontology, 2nd ed, Blackwell Publishing							
連絡先							
otsuki.ope@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
月・火・木・金 17:00以降 水 18:00以降							

時間割番号	021144																																																																															
科目名	歯の硬組織疾患																																																																															
担当教員	大槻 昌幸																																																																															
開講時期	前期	対象年次	4																																																																													
<p>モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患</p> <p>ユニット名: 歯の硬組織疾患</p> <p>コマ数: 23+0(第4ユニットで実施)</p> <p>授業形態: 講義</p> <p>ユニット番号: 02</p>																																																																																
<p>主な講義場所</p> <p>第3講義室</p>																																																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>歯の常態を理解し、う蝕ならびにその他の歯質欠損の病態と治療の進め方を理解する。</p> <p>歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義と方法を理解する。</p> <p>修復材料の特性、成分及び構造を把握し、適切な材料の選択ならびに取り扱い方を理解する。</p>																																																																																
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 歯の硬組織の構造と機能を説明できる。 2) う蝕の病因と病態を説明できる。 3) う蝕の症状・診断・治療法を説明できる。 4) 歯冠欠損に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 5) 窩洞の意義と窩洞形成の方法を説明できる。 6) 切削・研磨用材料と使用機器の特徴と使い方を説明できる。 7) 歯冠修復に用いる材料の構造と物性を理解する。 8) 歯冠修復法の種類と特徴及びその適応を説明できる。 9) 接着性修復材料をもちいた修復の概要と特性を説明できる。 10) 修復に必要な前処理の目的と意義を説明できる。 11) 歯髄保護の種類を述べ、その重要性を説明できる。 12) う蝕の予防法を理解し、う蝕リスクの診断法を説明できる。 13) 間接法修復の進め方と使用する材料の種類と性質を説明できる。 14) 仮封ならびに暫間装置の意義、種類及び特徴を説明できる。 																																																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/7</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯の硬組織の正常と異常</td> <td>大槻 昌幸</td> <td>講義: SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>2-4</td> <td>4/14</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>う蝕の処置と窩洞</td> <td>中島 正俊</td> <td>講義: SBOs 1,2</td> </tr> <tr> <td>5-7</td> <td>4/15</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>う蝕のリスク検査、う蝕の治療</td> <td>北迫 勇一, 高橋 礼奈</td> <td>講義: SBOs 3,4,5,6,12</td> </tr> <tr> <td>8-10</td> <td>4/22</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>コンポジットレジン修復1</td> <td>西村 耕三, 稲井 紀通 高垣 智博</td> <td>講義: SBOs 4,5,6,7,8,9,10</td> </tr> <tr> <td>11-13</td> <td>5/12</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯質への接着</td> <td>二階堂 徹, 島田 康史</td> <td>講義: SBOs 4,5,6,7,8,9,10</td> </tr> <tr> <td>14-16</td> <td>5/20</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>TBL、形成的テスト</td> <td>島田 康史</td> <td>講義: SBOs 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>5/22</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯科用レーザー</td> <td>加藤 純二</td> <td>講義: SBOs 5,6</td> </tr> <tr> <td>18-19</td> <td>5/22</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯科用セメントとアマルガム</td> <td>島田 康史</td> <td>講義: SBOs 7,8,9,11,14</td> </tr> <tr> <td>20-22</td> <td>5/26</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>間接法修復</td> <td>二階堂 徹</td> <td>講義: SBOs 10,13,14</td> </tr> <tr> <td>23-25</td> <td>6/2</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>カリオロジー最前線</td> <td>花田信弘</td> <td>講義: SBOs 2,3,12</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1	4/7	14:50-15:40	歯学科第3講義室	歯の硬組織の正常と異常	大槻 昌幸	講義: SBOs 1,2	2-4	4/14	12:50-15:40	歯学科第3講義室	う蝕の処置と窩洞	中島 正俊	講義: SBOs 1,2	5-7	4/15	09:00-11:50	歯学科第3講義室	う蝕のリスク検査、う蝕の治療	北迫 勇一, 高橋 礼奈	講義: SBOs 3,4,5,6,12	8-10	4/22	09:00-11:50	歯学科第3講義室	コンポジットレジン修復1	西村 耕三, 稲井 紀通 高垣 智博	講義: SBOs 4,5,6,7,8,9,10	11-13	5/12	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯質への接着	二階堂 徹, 島田 康史	講義: SBOs 4,5,6,7,8,9,10	14-16	5/20	09:00-11:50	歯学科第3講義室	TBL、形成的テスト	島田 康史	講義: SBOs 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10	17	5/22	12:50-13:40	歯学科第3講義室	歯科用レーザー	加藤 純二	講義: SBOs 5,6	18-19	5/22	13:50-15:40	歯学科第3講義室	歯科用セメントとアマルガム	島田 康史	講義: SBOs 7,8,9,11,14	20-22	5/26	09:00-11:50	歯学科第3講義室	間接法修復	二階堂 徹	講義: SBOs 10,13,14	23-25	6/2	09:00-11:50	歯学科第3講義室	カリオロジー最前線	花田信弘	講義: SBOs 2,3,12
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																																										
1	4/7	14:50-15:40	歯学科第3講義室	歯の硬組織の正常と異常	大槻 昌幸	講義: SBOs 1,2																																																																										
2-4	4/14	12:50-15:40	歯学科第3講義室	う蝕の処置と窩洞	中島 正俊	講義: SBOs 1,2																																																																										
5-7	4/15	09:00-11:50	歯学科第3講義室	う蝕のリスク検査、う蝕の治療	北迫 勇一, 高橋 礼奈	講義: SBOs 3,4,5,6,12																																																																										
8-10	4/22	09:00-11:50	歯学科第3講義室	コンポジットレジン修復1	西村 耕三, 稲井 紀通 高垣 智博	講義: SBOs 4,5,6,7,8,9,10																																																																										
11-13	5/12	09:00-11:50	歯学科第3講義室	歯質への接着	二階堂 徹, 島田 康史	講義: SBOs 4,5,6,7,8,9,10																																																																										
14-16	5/20	09:00-11:50	歯学科第3講義室	TBL、形成的テスト	島田 康史	講義: SBOs 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10																																																																										
17	5/22	12:50-13:40	歯学科第3講義室	歯科用レーザー	加藤 純二	講義: SBOs 5,6																																																																										
18-19	5/22	13:50-15:40	歯学科第3講義室	歯科用セメントとアマルガム	島田 康史	講義: SBOs 7,8,9,11,14																																																																										
20-22	5/26	09:00-11:50	歯学科第3講義室	間接法修復	二階堂 徹	講義: SBOs 10,13,14																																																																										
23-25	6/2	09:00-11:50	歯学科第3講義室	カリオロジー最前線	花田信弘	講義: SBOs 2,3,12																																																																										
<p>成績評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成27年5月20日および10月19日に筆記試験を行い、総合的評価を行う。 																																																																																

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全 授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

- ・保存修復学21、永末書店
- ・う蝕学、永末書店
- ・う蝕治療ガイドライン、日本歯科保存学会編、永末書店
- ・Art and science of operative dentistry, Mosby.

連絡先

otsuki.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木・金 17:00 以降 水 18:00 以降

時間割番号	021145						
科目名	保存修復治療の基礎						
担当教員	大槻 昌幸						
開講時期	前期	対象年次	4				
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 ユニット名: 保存修復治療の基礎 コマ数: 35+0(第5ユニットで実施) 授業形態: 実習 ユニット番号: 03							
主な講義場所 保存矯正実習室							
授業の目的、概要等 う蝕の診察、検査、診断、治療及び予防を行うために必要な、基本的な技能及び態度を身につける。 う蝕ならびにその他の歯質欠損に対する歯冠修復の進め方を習得する。							
授業の到達目標(SBOs) 1) 診察、検査、診断及び治療に必要な器材を準備できる。 2) 切削・研磨用材料と機器を使用できる。 3) う蝕の除去ならびに窩洞形成ができる。 4) 歯の欠損の病態に対応した処置方針を選択し、説明できる。 5) 直接法接着修復の基本操作を行うことができる。 6) 修復に必要な前処理の基本的操作ができる。 7) 間接法修復に関する模型上での基本的操作を理解し、行うことができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/15	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	健全歯とう蝕歯	抜去歯の確認	島田 康史 北迫 勇一、 半場 秀典	実習: SBOs 1
4-6	4/21	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	歯科用機器とその使い方	実習器材準備	井上 剛 島田 康史 荒牧 音、半場 秀典 中沖 靖子	実習: SBOs 1
7-9	4/22	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	う蝕の除去	抜去歯を使ってう蝕を除去	吉川 孝子、島田 康史 高橋 真広 森 文彦	実習: SBOs 1,2,3
10-12	4/28	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	う蝕の除去、I 級レジン修復		中島 正俊 島田 康史 高橋 真広 半場 秀典 浦部 功	実習: SBOs 1,2,3,4
13-15	5/19	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正実習室	V 級レジン修復、歯根面齲蝕窩洞		二階堂 徹 島田 康史 東 高土 荒牧 音	実習: SBOs 1,2,3,4,5
16-18	5/20	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	II 級レジン修復		島田 康史 井上 剛 荒牧 音 新田 義人	実習: SBOs 1,2,3,4,5
19-21	5/27	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正実習室	III、IV 級レジン修復		島田 康史 保坂 啓一、 高橋 真広 池田 一郎 來山 修三	実習: SBOs 1,2,3,4,5
22-24	6/2	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	レジンインレー修復①		島田 康史 北迫 勇一、 池田 正臣 大野 康博、 中沖 靖子 濱田 具之、 荒牧 音、半場 秀典	実習: SBOs 2,3,4,6,7
25-27	6/3	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正実習室	レジンインレー修復②		島田 康史 井上 剛 池田 正臣 石川 芽生	実習: SBOs 2,3,4,5,6,7

						中沖 靖子, 高橋 真広, 荒牧 音	
28-30	6/3	12:50-15:40	5F 示説室 保 存矯正実習室	レジンインレー修復③		池田 正臣 井上 剛 島田 康史 中沖 靖子, 石川 芽生 荒牧 音, 高橋 真広	実習:SBOs 2,3,4,6,7
31-33	6/8	09:00-11:50	5F 示説室 保 存矯正実習室	レジンインレー修復④		池田 正臣 高橋 礼奈, 井上 剛 島田 康史 高田 恒彦 高橋 真広	実習:SBOs 2,3,4,6,7
34-36	6/8	12:50-15:40	5F 示説室 保 存矯正実習室	メタルインレー修復		島田 康史 高田 恒彦, 井上 剛 高橋 礼奈 高橋 真広	実習:SBOs 2,3,4,6,7

成績評価の方法

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・平成 27 年 10 月 19 日に筆記ならびに実習試験を行い、総括的評価を行う。
- ・適宜、実習態度の評価、作品の評価および実習試験を行い、総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

- ・保存修復学21、永末書店
- ・う蝕学、永末書店
- ・う蝕治療ガイドライン、日本歯科保存学会編、永末書店
- ・Art and science of operative dentistry, Mosby.

連絡先

otsuki.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木・金 17:00 以降 水 18:00 以降

時間割番号	021146					
科目名	保存修復治療の最新の臨床					
担当教員	大槻 昌幸					
開講時期	通年	対象年次	4			
<p>モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患</p> <p>ユニット名: 保存修復治療の最新の臨床</p> <p>コマ数: 18+3</p> <p>授業形態: 講義</p> <p>ユニット番号: 04</p>						
主な講義場所						
第3講義室						
授業の目的、概要等						
<p>審美的な歯科治療に関する知識を習得し、その治療方法を理解する。</p> <p>歯質保存的な歯冠修復の意義を理解する。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
<p>1) 歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。</p> <p>2) 審美的な歯科治療の意義を説明できる。</p> <p>3) 審美的な歯科治療法を列挙し、その基本的な術式と特徴を説明できる。</p> <p>4) MIの意義を説明できる。</p> <p>5) 修復後の術後管理の目的と方法を説明できる。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	9/8	09:00-09:50	歯学科第3講義室	窩洞形態とレジンの重合収縮	島田 康史	講義: SBOs 2,3,4
2	9/8	10:00-10:50	歯学科第3講義室	MI治療	井上 剛	講義: SBOs 2,3,4
3	9/8	11:00-11:50	歯学科第3講義室	医科との連携	杉崎 順平	講義: SBOs 5
4-6	9/9	09:00-11:50	歯学科第3講義室	ライブ講義 保存修復治療の実際	島田 康史 保坂 啓一, 半場 秀典 高橋 真広	講義: SBOs 3,4,5
7-8	9/15	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯の色調回復 ホワイトニング	大槻 昌幸	講義: SBOs 1,2
9	9/15	11:00-11:50	歯学科第3講義室	審美的な保存修復治療1	田代浩史	講義: SBOs 1,2,3,4,5
10	9/29	09:00-09:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究1	中島 正俊	講義: SBOs 3
11	9/29	10:00-10:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究2	高垣 智博	講義: SBOs 3
12	9/29	11:00-11:50	歯学科第3講義室	最新の保存修復学の研究3	島田 康史	講義: SBOs 3
13	10/6	09:00-09:50	歯学科第3講義室	失活歯のコンポジットレジン修復	島田 康史	講義: SBOs 2,3,4
14-15	10/6	10:00-11:50	歯学科第3講義室	審美的な保存修復治療2	岸川 隆蔵	講義: SBOs 1,2,3,4,5
16-18	10/19	09:00-11:50	保存矯正実習室	試験	大槻 昌幸 島田 康史	試験
成績評価の方法						
<p>・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。</p> <p>・平成27年10月19日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。</p>						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
<p>・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。</p> <p>・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。</p>						
参考書						
・保存修復学21、永末書店						

・Art and science of operative dentistry, Mosby.

連絡先

otsuki.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木・金 17:00以降 水 18:00以降

時間割番号	021147					
科目名	保存修復治療の展開					
担当教員	大槻 昌幸					
開講時期	後期	対象年次	4			
<p>モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患</p> <p>ユニット名: 保存修復治療の展開</p> <p>コマ数: 30+3</p> <p>授業形態: 実習</p> <p>ユニット番号: 05</p>						
主な講義場所						
保存矯正実習室						
授業の目的、概要等						
歯の硬組織疾患に対する審美的治療の基本的術式を習得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
<p>1) 前歯の審美的接着修復の基本操作を行うことができる。</p> <p>2) 臼歯の審美的接着修復の基本操作を行うことができる。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	9/8	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	天然歯の形態と咬合	北迫 勇一, 島田 康史, 半場 秀典, 荒牧 音, 二階堂 徹 井上 剛	実習: SBOs 1,2
4-6	9/9	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	I級レジン修復 深い窩洞への対応	北迫 勇一, 島田 康史, 荒牧 音, 高橋 真広, 日下 輝雄	実習: SBO 2
7-9	9/11	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	Ⅲ、Ⅳ級レジン修復	中島 正俊, 高橋 礼奈, 井上 剛, 島田 康史, 趙 永哲, 荒牧 音, 高橋 真広	実習: SBO 1
10-12	9/15	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	Ⅱ級レジン修復 MI治療	高垣 智博, 島田 康史, 半場 秀典, 荒牧 音, 井上 剛	実習: SBO 2
13-15	9/16	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正実習室	MODレジン修復	北迫 勇一, 島田 康史, 日下 輝雄, 荒牧 音, 高橋 真広, 井上 剛	実習: SBO 2
16-18	9/16	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	Ⅱ級修復 咬頭被覆	北迫 勇一, 島田 康史, 日下 輝雄, 荒牧 音, 高橋 真広, 井上 剛	実習: SBO 2
19-21	9/29	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	破折歯の修復	高垣 智博, 島田 康史, 堀口 尚司, 半場 秀典, 荒牧 音, 井上 剛	実習: SBO 1
22-24	10/6	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	ベニア修復	島田 康史, 池田 一郎, 荒牧 音, 半場 秀典, 岸川 隆蔵, 二階堂 徹, 井上 剛	実習: SBO 1
25-27	10/13	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正実習室	失活歯のコンポジットレジン修復①	島田 康史, 池田 一郎, 半場 秀典, 荒牧 音, 二階堂 徹 井上 剛	実習: SBOs 1,2
28-30	10/13	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	失活歯のレジン修復②、作品提出	島田 康史, 池田 一郎, 半場 秀典, 荒牧 音, 二階堂 徹 井上 剛	実習: SBOs 1,2
31-33	10/19	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	実習試験	大槻 昌幸, 高橋 礼奈, 島田 康史, 荒牧 音, 高橋 真広, 井上 剛	
成績評価の方法						
<p>・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。</p> <p>・平成 27 年 10 月 19 日に筆記試験ならびに実習試験を行い、総合的評価を行う。</p>						
準備学習などについての具体的な指示						

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

- ・保存修復学21、永末書店
- ・Art and science of operative dentistry, Mosby.

連絡先

otsuki.ope@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月・火・木・金 17:00 以降 水 18:00 以降

時間割番号	021148						
科目名	歯髄/根尖歯周組織疾患を治療する						
担当教員	興地 隆史, 池田 英治						
開講時期	後期	対象年次	4				
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 7+0(08ユニットで実施) 授業形態: 講義 ユニット番号: 06							
主な講義場所 第3講義室							
授業の目的、概要等 歯髄疾患と根尖歯周組織疾患に適切に対処するために、これらの疾患の診断と治療の進め方に関する基礎的知識を修得する。							
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断法をフローチャートを用いて説明できる。 2) 歯髄保存療法を分類し、説明できる。 3) 歯髄除去療法を分類し、説明できる。 4) 歯髄疾患の治療に必要な無菌的処置法を説明できる。 5) 感染根管治療を説明できる。 6) 感染根管治療の補助療法を列挙し、説明できる。 7) 根管の機械的拡大・形成と化学的清掃を説明できる。 8) 根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 9) 歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/28	09:00-09:50	歯学科第3講義室	総論、Infection control	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断と治療の進め方を概説する。加えて、歯内療法学における感染をコントロールすることの重要性を学ぶ。	興地 隆史	SBOs: 1-8
2	9/28	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断	歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断法を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 1
3	9/28	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄保護、歯髄保存療法	歯髄保存療法の分類と術式、治療後の治癒機転と予後を学ぶ。	興地 隆史	SBOs: 2, 4, 9
4	10/5	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯髄除去療法	歯髄除去療法の分類と術式、治療後の治癒機転と予後を学ぶ。	興地 隆史	SBOs: 3, 4, 9
5	10/5	10:00-10:50	歯学科第3講義室	感染根管治療	感染根管治療とその補助療法、治療後の治癒機転と予後を学ぶ。	興地 隆史	SBOs: 5, 6, 9
6	10/5	11:00-11:50	歯学科第3講義室	根管拡大・形成、根管洗浄	根管の機械的拡大・形成と化学的清掃の目的と術式を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 7
7	10/26	09:00-09:50	歯学科第3講義室	根管充填	根管充填の目的、時期及び方法を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 8
授業方法 講義							
授業内容 歯髄疾患と根尖歯周組織疾患の診断とその治療法を学ぶ							
成績評価の方法 ・各講義終了後に小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成27年12月14日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。							

<p>成績評価の基準</p> <p>筆記試験の結果に、出席日数、提出レポート内容、小テスト、平常学習態度等が評価に加味される。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定された教科書、参考書を用いて予習を行う。 ・Web 教材の予習が指示された場合は、その指示に従う。
<p>試験の受験資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
<p>構成ユニット</p> <p>歯髄/根尖歯周組織疾患を治療する</p>
<p>モジュールの単位判定</p> <p>モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。</p>
<p>教科書</p> <p>第3版エンドドンティクス／須田英明, 中村洋 編集主幹, 恵比須繁之, 興地隆史, 勝海一郎, 斎藤隆史, 中川寛一, 中村幸生, 林善彦 編:永末書店, 2010</p>
<p>参考書</p> <p>歯内治療学／中村洋, 須田英明, 勝海一郎, 興地隆史 編:医歯薬出版, 2012</p> <p>失敗しない歯髄保存療法: 抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう／須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著,:クインテッセンス出版, 2006</p> <p>歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著,:医歯薬出版, 2013</p> <p>Pathways of the Pulp, 10th ed／eds. KM Hargreaves, S Cohen:Elsevier, 2010</p> <p>Seltzer and Bender's Dental Pulp, 2nd ed／eds. KM Hargreaves, HE Goodis, F Tay:Quintessence Int, 2012</p> <p>Essential Endodontology: Prevention and Treatment of Apical Periodontitis／Orstavik D, Ford TP:Wiley-Blackwell, 2007</p>
<p>連絡先</p> <p>興地 隆史:t.okiji.endo@tmd.ac.jp</p> <p>池田 英治:hms-ikedada.endo@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>興地 隆史:月、水、金 PM4:30-6:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野教授室</p> <p>池田 英治:月、水、金 PM4:30-6:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野講師室</p>

時間割番号	021149																																						
科目名	歯髄/根尖歯周組織の成り立ちを考える																																						
担当教員	興地 隆史, 池田 英治																																						
開講時期	後期	対象年次	4																																				
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 3+0(08ユニットで実施) 授業形態: 講義 ユニット番号: 07																																							
主な講義場所 第3講義室																																							
授業の目的、概要等 生物学的根拠に基づき歯髄疾患と根尖歯周組織疾患に対応するために、歯髄・根尖歯周組織の常態から疾患への移行についての基礎的知識を修得する。																																							
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患において細菌の果たす役割を説明できる。 2) 歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病態を病理組織学的に説明できる。 3) 外来刺激に対する歯髄・根尖歯周組織の免疫防御反応を概説できる。																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/26</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯髄/根尖歯周組織の細菌学</td> <td>歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患において細菌の果たす役割を説明できる。</td> <td>興地 隆史</td> <td>SBO: 1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/26</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯髄/根尖歯周組織の病理学</td> <td>歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病態を病理組織学的に説明できる</td> <td>興地 隆史</td> <td>SBO: 2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11/2</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯髄/根尖歯周組織の免疫学</td> <td>外来刺激に対する歯髄・根尖歯周組織の免疫防御反応を概説できる。</td> <td>興地 隆史</td> <td>SBO: 3</td> </tr> </tbody> </table>								回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	10/26	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の細菌学	歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患において細菌の果たす役割を説明できる。	興地 隆史	SBO: 1	2	10/26	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の病理学	歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病態を病理組織学的に説明できる	興地 隆史	SBO: 2	3	11/2	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の免疫学	外来刺激に対する歯髄・根尖歯周組織の免疫防御反応を概説できる。	興地 隆史	SBO: 3
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																
1	10/26	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の細菌学	歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患において細菌の果たす役割を説明できる。	興地 隆史	SBO: 1																																
2	10/26	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の病理学	歯髄疾患及び根尖歯周組織疾患の病態を病理組織学的に説明できる	興地 隆史	SBO: 2																																
3	11/2	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄/根尖歯周組織の免疫学	外来刺激に対する歯髄・根尖歯周組織の免疫防御反応を概説できる。	興地 隆史	SBO: 3																																
授業方法 講義																																							
成績評価の方法 ・各講義終了後に小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成27年12月14日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。																																							
成績評価の基準 筆記試験の結果に、出席日数、提出レポート内容、小テスト、平常学習態度等が評価に加味される。																																							
準備学習などについての具体的な指示 ・指定された教科書、参考書を用いて予習を行う。 ・Web教材の予習が指示された場合は、その指示に従う。																																							
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																							
構成ユニット 歯髄/根尖歯周組織の成り立ちを考える																																							
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。																																							
教科書																																							

第3版エンドドンティクス／須田英明, 中村洋 編集主幹, 恵比須繁之, 興地隆史, 勝海一郎, 斎藤隆史, 中川寛一, 中村幸生, 林善彦 編:永末書店, 2010

参考書

歯内治療学／中村洋, 須田英明, 勝海一郎, 興地隆史 編:医歯薬出版, 2012

失敗しない歯髄保存療法: 抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう／須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著.:クインテッセンス出版, 2006

歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著.:医歯薬出版, 2013

Pathways of the Pulp, 10th ed／eds. KM Hargreaves, S Cohen:Elsevier, 2010

Seltzer and Bender's Dental Pulp, 2nd ed／eds. KM Hargreaves, HE Goodis, F Tay:Quintessence Int, 2012

Essential Endodontology: Prevention and Treatment of Apical Periodontitis／Orstavik D, Ford TP:Wiley-Blackwell, 2007

歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著.:医歯薬出版, 2013

連絡先

興地 隆史:t.okiji.endo@tmd.ac.jp

池田 英治:hms-ikeda.endo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

興地 隆史:月、水、金 PM4:30-6:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野教授室

池田 英治:月、水、金 PM4:30-6:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野講師室

時間割番号	021150						
科目名	歯内治療の展開						
担当教員	興地 隆史, 池田 英治						
開講時期	後期	対象年次	4				
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患 コマ数: 11+3 授業形態: 講義及び少人数教育 ユニット番号: 08							
主な講義場所 講義: 第3講義室 少人数教育: 演習室							
授業の目的、概要等 ささまざまな歯内治療の症例に適切に対処するために、患者や患歯の状態に応じた治療の進め方を理解する。							
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯内治療に関する知識を総合的に結びつけ、診査、診断、治療法を説明できる。 2) 歯内治療における救急処置の種類と方法を説明できる。 3) 再根管治療の基準と方法を説明できる。 4) 歯内治療時における偶発症について、種類、処置及び予防を説明できる。 5) 外科的歯内治療を列挙し、概説できる。 6) 歯内-歯周疾患を分類し、診断と治療法を説明できる。 7) 歯の外傷の種類と治療法を説明できる。 8) 歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。 9) 高齢者の歯内治療を説明できる。 10) 歯内治療における先端的な器材・術式を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	11/2	09:00-10:50	歯学部演習室	歯内治療実践 チュートリアル	歯内治療に関する知識を総合的に結びつけた診査・診断・治療法、歯内治療における救急処置の種類と方法、再根管治療の基準と方法について学ぶ。	川島 伸之 和達 礼子 竹田 淳志 澤田 則宏 寺内 吉継 小澤 雅彦 河西 裕美	SBOs: 1-3
3-4	11/9	09:00-10:50	歯学部演習室	歯内治療実践 チュートリアル	歯内治療に関する知識を総合的に結びつけた診査・診断・治療法、歯内治療における救急処置の種類と方法、再根管治療の基準と方法について学ぶ。	池田 英治 鈴木 規元 松本 宏之 鷺見 生和子 萩谷 洋子 吉川 剛正	SBOs: 1-3
5	11/9	11:00-11:50	歯学科第3講義室	偶発症の原因と対処法	歯内治療時における偶発症について、種類、処置及び予防を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 4
6	11/16	09:00-09:50	歯学科第3講義室	外科的歯内治療	外科的歯内治療を分類し、それぞれの治療法を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 5
7	11/16	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯内-歯周疾患	歯内-歯周疾患を分類し、診断と治療法を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 6
8	11/16	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯の外傷	歯の外傷の種類と治療法を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 7
9	11/30	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯根吸収	歯根吸収の原因、症状、診断及び処置法を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 8

10	11/30	10:00-10:50	歯学科第3講義室	高齢者の歯内治療	高齢者の歯内治療の特徴を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 9
11	11/30	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯髄疾患/根尖歯周組織疾患への先端的対応	歯内治療における先端的な器材・術式を学ぶ。	興地 隆史	SBO: 10
12-14	12/14	09:00-11:50	歯学科第3講義室	試験		興地 隆史	講義内容全てを範囲とする。
授業方法							
講義及び少人数教育							
授業内容							
歯内治療に関する踏み込んだ各論							
成績評価の方法							
<ul style="list-style-type: none"> ・歯内治療実践チュートリアルは2コマ終了毎に形成的評価を行う。 ・各講義終了後に小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成27年12月14日に、筆記試験を行い、総括的評価を行う。 							
成績評価の基準							
・筆記試験の結果に、出席日数、提出レポート内容、小テスト、平常学習態度等が評価に加味される。							
準備学習などについての具体的な指示							
<ul style="list-style-type: none"> ・指定された教科書、参考書を用いて予習を行う。 ・Web教材の予習が指示された場合は、その指示に従う。 							
試験の受験資格							
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 							
構成ユニット							
歯内治療の展開							
モジュールの単位判定							
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、小テスト及び平常学習態度等が評価に加味される。							
教科書							
改訂版エンドドンティクス、第3版/須田英明, 中村洋 編集主幹, 惠比須繁之, 興地隆史, 勝海一郎, 斎藤隆史, 中川寛一, 中村幸生, 林善彦 編: 永末書店, 2010							
参考書							
歯内治療学/中村洋, 須田英明, 勝海一郎, 興地隆史 編: 医歯薬出版, 2012							
失敗しない歯髄保存療法: 抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう/須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著: クインテッセンス出版, 2006							
歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ/興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013							
Pathways of the Pulp, 10th ed/ eds. KM Hargreaves, S Cohen: Elsevier, 2010							
Seltzer and Bender's Dental Pulp, 2nd ed/ eds. KM Hargreaves, HE Goodis, F Tay: Quintessence Int, 2012							
Essential Endodontology: Prevention and Treatment of Apical Periodontitis/Orstavik D, Ford TP: Wiley-Blackwell, 2007							
歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ/興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013							
歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ/興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013							
連絡先							
興地 隆史: tokiji.endo@tmd.ac.jp							
池田 英治: hms-ikedada.endo@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
興地 隆史: 月、水、金 PM4:30-6:00 歯科棟 10階歯髄生物学分野教授室							
池田 英治: 月、水、金 PM4:30-6:00 歯科棟 10階歯髄生物学分野講師室							

時間割番号	021151					
科目名	歯内治療実習					
担当教員	海老原 新, 池田 英治					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 歯と根尖歯周組織の疾患						
コマ数: 48+6						
授業形態: 実習						
ユニット番号: 09						
主な講義場所 保存矯正実習室						
授業の目的、概要等 歯髄疾患および根尖歯周組織疾患の基本的治療術式を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) エックス線写真で歯髄腔の形態, 位置を読影できる。						
2) 髄腔開拡が正しくできる。						
3) 根管拡大形成が正しくできる。						
4) 作業長を正しく測定できる。						
5) 到達度, 緊密度の適切な側方加圧充填法が行える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/28	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	器械検査、抜去歯検査、貸与器具配布、アクリル植立模型作製	抜去歯検査後、アクリル植立模型作製法を学ぶ	池田 英治, 海老原 新, 川島 伸之, 松本 宏之, 和達 礼子
4-6	10/5	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	エックス線写真読影, 軟化象牙質の除去, 髄腔開拡	抜去歯を用いてエックス線写真上で注意点を予め考え、アクリル植立模型を手に持った状態で髄腔開拡を行う	池田 英治, 海老原 新, 川島 伸之, 松本 宏之, 和達 礼子
7-9	10/9	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	エックス線写真読影, 髄腔開拡, EMR, 根管形成	抜去歯を用いてエックス線写真上で注意点を予め考え、アクリル植立模型を手に持った状態と顎模型で髄腔開拡、電氣的根管長測定、根管形成を行う	池田 英治, 海老原 新, 川島 伸之, 松本 宏之, 和達 礼子
10-12	10/14	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	根管充填	抜去歯を用いて、アクリル植立模型を手に持った状態と顎模型で根管充填を行う	池田 英治, 海老原 新, 川島 伸之, 松本 宏之, 和達 礼子
13-15	10/26	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	エックス線写真読影, 髄腔開拡, EMR, 根管形成	抜去歯を用いてエックス線写真上で注意点を予め考え、アクリル植立模型を手に持った状態と顎模型で髄腔開拡、電氣的根管長測定、根管形成を行う 外来でラバーダムの相互実習を行う	池田 英治, 海老原 新, 川島 伸之, 松本 宏之, 和達 礼子
16-18	11/2	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髄腔開拡, EMR, 根管形成, 根管充填	規格化された人工歯を用いて髄腔開拡のイメージをつかむ 髄腔開拡、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填を行う 外来でラバーダムの相互実習を行う	池田 英治, 海老原 新, 川島 伸之, 松本 宏之, 和達 礼子
19-21	11/6	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髄腔開拡, EMR, 根管形成	髄腔開拡を行い、電氣的に作業長を計測した後、根管形成を行う 外来でラバーダムの相互実習を行う	池田 英治, 海老原 新, 川島 伸之, 松本 宏之, 和達 礼子
22-24	11/9	12:50-15:40	5F 示説室 保	髄腔開拡, EMR, 根管形	髄腔開拡を行い、電氣的に作業長を計測	池田 英治, 海老原 新,

			存矯正実習室	成、根管充填	した後、根管形成、根管充填を行う	川島 伸之、松本 宏之、和達 礼子
25-27	11/16	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	実習試験1	前回までのステップが習得できているかを確認するための試験を受ける	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
28-30	11/20	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成を行う	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
31-33	11/27	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填を行う	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
34-36	11/30	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成を行う	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
37-39	12/4	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填を行う	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
40-42	12/7	09:00-11:50	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成(顎模型)	規格化された人工歯を用いて髓腔開拓のイメージをつかむ マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成を行う	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
43-45	12/7	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填を行う	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
46-48	12/11	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填を行う	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
49-51	12/14	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填(顎模型)	マネキンに固定した顎模型に植立したアクリル模型で、髓腔開拓、ラバーダム防湿、EMR、根管形成、根管充填を行う 根管充填材の除去を行う	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元
52-54	12/18	12:50-15:40	5F 示説室 保存矯正実習室	実習試験2、貸与器具返却	試験を受験する	池田 英治、海老原 新、川島 伸之、和達 礼子、鈴木 規元

授業方法

模型実習(WebClass を利用した予習、復習を併用)

授業内容

臨床実習における歯の保存することの重要性を理解した上で、髓腔開拓、根管拡大、作業長の測定、側方加圧根管充填法の基本的治療術式を修得する。

成績評価の方法

- ・実習態度の評価、作品の評価を毎回行う。
- ・実習試験 1(平成 27 年 11 月 16 日)および実習試験 2(平成 27 年 12 月 18 日)を行い、総括的評価を行う。

成績評価の基準

2回の実習試験の結果に、出席日数、小テスト、平常学習態度等が評価に加味される。

準備学習などについての具体的な指示

WebClass 教材の予習を行ったことを前提として実習を進める。予習を行っていない学生の参加は認めない。

試験の受験資格

<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。 ・試験前までの課題を全て終了し、インストラクターの検印を受けなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
構成ユニット 歯内治療実習
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、試験及び平常学習態度等が評価に加味される。
教科書 改訂版エンドドンティクス、第3版／須田英明, 中村洋 編集主幹, 恵比須繁之, 興地隆史, 勝海一郎, 斎藤隆史, 中川寛一, 中村幸生, 林善彦 編: 永末書店, 2010
参考書 歯内治療学／中村洋, 須田英明, 勝海一郎, 興地隆史 編: 医歯薬出版, 2012 失敗しない歯髄保存療法: 抜髄する前にもう一度歯髄診断をしよう／須田英明, 興地隆史, 中村洋, 吉山昌宏 編著: クインテッセンス出版, 2006 歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013 Pathways of the Pulp, 10th ed／eds. KM Hargreaves, S Cohen: Elsevier, 2010 Seltzer and Bender's Dental Pulp, 2nd ed／eds. KM Hargreaves, HE Goodis, F Tay: Quintessence Int, 2012 Essential Endodontology: Prevention and Treatment of Apical Periodontitis／Orstavik D, Ford TP: Wiley-Blackwell, 2007 歯内療法のケースアセスメントと臨床: 根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著: 医歯薬出版, 2013
履修上の注意事項 ・感染防護のため、ゴーグル(眼鏡)、マスク、手袋を用意すること。 ・歯を保存する目的の治療を念頭に置くわけであるから、穿孔、著しい過剰切削で歯を保存不能にした場合は課題をやり直すこと。 ・臨床を見据えて、清潔域、不潔域への注意を怠らないこと。
連絡先 海老原 新 a.ebihara.endo@tmd.ac.jp 池田 英治 hms-ikedamendo@tmd.ac.jp
オフィスアワー 海老原 新月～金 16:00～18:00 池田 英治: 月、水、金 PM4:30～6:00 歯科棟 10 階歯髄生物学分野講師室

時間割番号	021117				
科目名	咬合回復				
担当教員	水口 俊介, 三浦 宏之				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3~4	単位数	12
コマ数: 授業形態: 講義・実習 モジュール番号: 21					
授業の目的、概要等					
歯の欠損による顎口腔系の形態および機能の異常を理解し、その診断・治療に必要な基本的知識と技能を修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 咬合回復基礎 (3年 後期)					
02 全部床義歯補綴(4年 前期)					
03 部分床義歯補綴(4年 後期)					
04 クラウン&ブリッジ(4年 後期)					
05 インプラント補綴(4年 後期)					
06 咬合回復統合(4年 後期)					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp					
三浦 宏之:h.miura.fpro@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
水口 俊介:随時					
三浦 宏之:水 10:30 ~ 12:00					

時間割番号	021118																																																								
科目名	咬合回復基礎																																																								
担当教員	水口 俊介																																																								
開講時期	後期	対象年次	3																																																						
モジュール名:咬合回復 コマ数:12+1(必要自習時間4時間) 授業形態:講義 ユニット番号:01																																																									
授業の目的、概要等 咬合回復治療に関連する基礎的な知識を修得する。																																																									
授業の到達目標(SBOs) 1) 咬合回復の臨床的意義を説明できる。 2) 咬合に関連する形態および機能の常態を説明できる。 3) 咬合に関連する形態および機能の異常を説明できる。 4) 咬合に関連する形態および機能の回復を説明できる。 5) 顎機能異常について説明できる。																																																									
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>2/23</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>咬合回復の臨床的な意義</td> <td>若林 則幸</td> </tr> <tr> <td>2-3</td> <td>2/23</td> <td>13:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>咬合に関連する形態および機能の常態</td> <td>柴田 俊一</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>2/24</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>咬合に関連する形態および機能の常態</td> <td>三浦 宏之</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>2/25</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復</td> <td>笛木 賢治</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>2/25</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復</td> <td>水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>2/26</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復</td> <td>水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>2/26</td> <td>10:00-11:50</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>顎機能障害</td> <td>木野 孔司</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>2/29</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第2講義室</td> <td>試験</td> <td>水口 俊介</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	2/23	12:50-13:40	歯学科第2講義室	咬合回復の臨床的な意義	若林 則幸	2-3	2/23	13:50-15:40	歯学科第2講義室	咬合に関連する形態および機能の常態	柴田 俊一	4-6	2/24	09:00-11:50	歯学科第2講義室	咬合に関連する形態および機能の常態	三浦 宏之	7-8	2/25	12:50-14:40	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	笛木 賢治	9	2/25	14:50-15:40	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	水口 俊介	10	2/26	09:00-09:50	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	水口 俊介	11-12	2/26	10:00-11:50	歯学科第2講義室	顎機能障害	木野 孔司	13	2/29	12:50-13:40	歯学科第2講義室	試験	水口 俊介
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1	2/23	12:50-13:40	歯学科第2講義室	咬合回復の臨床的な意義	若林 則幸																																																				
2-3	2/23	13:50-15:40	歯学科第2講義室	咬合に関連する形態および機能の常態	柴田 俊一																																																				
4-6	2/24	09:00-11:50	歯学科第2講義室	咬合に関連する形態および機能の常態	三浦 宏之																																																				
7-8	2/25	12:50-14:40	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	笛木 賢治																																																				
9	2/25	14:50-15:40	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	水口 俊介																																																				
10	2/26	09:00-09:50	歯学科第2講義室	歯の欠損に起因する形態および機能の異常および回復	水口 俊介																																																				
11-12	2/26	10:00-11:50	歯学科第2講義室	顎機能障害	木野 孔司																																																				
13	2/29	12:50-13:40	歯学科第2講義室	試験	水口 俊介																																																				
成績評価の方法 ・客観試験(平成28年2月29日)により総合的に評価する。																																																									
準備学習などについての具体的な指示																																																									
試験の受験資格 ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																									
参考書 ・「咀嚼運動の生理学」 中村嘉男著、医歯薬出版、東京、1998 ・「テキストブック オクルージョン」 Norman D Mohl, George A Zarb, Gunnar E Carlsson, John D Rugh 著/藍 稔訳、クインテッセンス、東京、1993 ・「Management of Temporomandibular Disorders and Occlusion」 3rd Edition. Jeffrey P Okeson 著、Mosby, St Louis, 1992 ・「Illustrated Anatomy of the Head and Neck」Margaret J Fehrenback, Susan W Herring 著、W.B.Saunders Company, 1996 ・「ケルバーの補綴学Ⅰ、Ⅱ」 Korber.K.H 著、田端、河野、福島訳、クインテッセンス、東京、1986																																																									
連絡先 s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp																																																									
オフィスアワー 随時																																																									

時間割番号	021152		
科目名	全部床義歯補綴		
担当教員	水口 俊介		
開講時期	前期	対象年次	4

授業の目的、概要等

可撤性義歯を用いた咬合回復治療に必要な知識と基本的技能を修得する。

授業の到達目標(SBOs)

- 1) 全部床義歯の目的と意義を説明できる。
- 2) 全部床義歯の種類と適応症を説明できる。
- 3) 無歯顎患者の診査および診断を説明できる。
- 4) 全部床義歯の構成要素を説明できる。
- 5) 全部床義歯の設計原則を説明できる。
- 6) 全部床義歯の前処置の意義と方法を説明できる。
- 7) 全部床義歯の印象採得法を説明できる。
- 8) 全部床義歯の顎間関係記録法を説明できる。
- 9) 全部床義歯の咬合を説明できる。
- 10) 全部床義歯の人工歯の種類および排列法を説明できる。
- 11) 全部床義歯の研磨面形態を説明できる。
- 12) 蠟義歯の埋没および重合操作を説明できる。
- 13) 全部床義歯の装着時に必要な基本的事項を説明できる。
- 14) 全部床義歯のメンテナンスを説明できる。
- 15) 即時義歯および治療義歯の目的と意義を説明できる。
- 16) 全部床義歯製作のための技工操作を修得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	4/6	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 序論 予備印象	水口 俊介
4-6	4/6	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 飼馬 祥頼
7-9	4/10	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
10-12	4/13	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 精密印象	水口 俊介
13-15	4/13	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 飼馬 祥頼
16-18	4/17	12:50-15:40	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 咬合彩得 咬合器	水口 俊介, 平島 祐生
19-21	4/20	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 内田 達郎
22-24	4/24	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 講義 咬合彩得 咬合器	水口 俊介
25-27	4/27	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 内田 達郎
28-30	4/27	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 平島 祐生, 関 威夫
31-33	5/1	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 羽田 周平
34-36	5/8	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 講義 人工歯配列	水口 俊介
37-39	5/8	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 内田 達郎
40-42	5/11	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 関 威夫
43-45	5/15	09:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 実習	水口 俊介
46-48	5/15	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 講義 試適・埋没・重合	水口 俊介
49-51	5/18	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
52-54	5/22	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 講義 中継講義	水口 俊介
55-56	5/25	10:00-11:50	歯学科第3講義室	全部床義歯 実習	水口 俊介
57-59	5/25	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 安藤 一夫
60-62	5/26	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 講義 装着・修理・軟質裏装材	水口 俊介
63-64	5/28	12:50-14:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
65-67	5/29	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習試験	水口 俊介
68-70	5/29	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介

71-73	6/1	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 長田 英治
74-76	6/1	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 安藤 一夫
77-79	6/4	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習/PBL	水口 俊介, 平野 滋三, 渡辺 一騎
80-81	6/4	12:50-14:40	補綴実習室	全部床義歯 実習/PBL	水口 俊介, 平野 滋三, 安藤 一夫
82-84	6/5	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習/PBL	水口 俊介, 平野 滋三, 安藤 一夫, 竹内 智
85-87	6/5	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
88-90	9/7	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 田中 慎二, 安藤 一夫
91-93	9/7	12:50-15:40	補綴実習室	全部床義歯 筆記試験 PBL 発表会	水口 俊介, 田中 慎二, 安藤 一夫
94-96	9/10	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介
97-99	9/10	12:50-15:40	補綴実習室		水口 俊介
100-102	9/11	09:00-11:50	補綴実習室		水口 俊介
103-108	9/14	09:00-15:40	補綴実習室	全部床義歯 実習	水口 俊介, 田中 慎二, 安藤 一夫
109-111	9/17	09:00-11:50	補綴実習室	全部床義歯 筆記試験 PBL 発表会	水口 俊介, 田中 慎二, 安藤 一夫
112-114	9/17	12:50-15:40	歯学部演習室		水口 俊介
115-117	9/18	12:50-15:40	歯学科第3講義室		水口 俊介
118-120	9/25	12:50-15:40	歯学科第3講義室		水口 俊介

成績評価の方法

・製作物の客観評価, インストラクターによる評価, 実習試験(平成 26 年 6 月 2 日), 筆記客観試験(平成 26 年 9 月 25 日)により総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・ユニットコマ数のうち, 4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし, 次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

無歯顎補綴治療学／細井紀雄, 平井敏博, 大川周治, 市川哲雄 編:医歯薬出版, 2009

コンプリートデンチャーテクニック／細井紀雄 ほか編:医歯薬出版, 2011

バウチャー無歯顎患者の補綴治療／バウチャー [原著], Zarb, Bolender, Eckert, Jacob, Fenton, Mericske-Stern 編著, 田中久敏, 古谷野潔, 市川哲雄 監訳:医歯薬出版, 2008

参考書

写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の印象／水口俊介, 飼馬祥頼 著:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2011

写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の咬合採得／水口俊介, 飼馬祥頼 著:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2013

写真でマスターするきちんと確実にできる全部床義歯の試適・装着／水口俊介, 飼馬祥頼, 菊池圭介 著:ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2014

総義歯臨床の押さえどころ／小林賢一 著:医歯薬出版, 2001

よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17のルール／鈴木哲也 著:クインテッセンス出版, 2011

コンプリートデンチャーの理論と臨床／早川 巖:クインテッセンス出版, 1995

連絡先

s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時

時間割番号	021153																																												
科目名	部分床義歯補綴																																												
担当教員	若林 則幸, 笛木 賢治																																												
開講時期	後期	対象年次	4																																										
<p>タイトル: 部分床義歯補綴</p> <p>モジュール: 咬合回復 I</p> <p>英語科目名: Removable Partial Prosthodontics</p> <p>モジュールコマ数</p> <p>ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数):126</p> <p>授業形態: 講義, 実習</p> <p>モジュール番号: 17</p> <p>ユニット番号: 03</p>																																													
<p>主な講義場所</p> <p>第3講義室, 補綴示説室, 補綴実習室</p>																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>部分床義歯を用いた咬合回復の治療に必要な知識と基本的技能を修得する。</p>																																													
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 部分床義歯の目的と意義を説明できる。 2) 部分床義歯の種類と適応症を説明できる。 3) 歯の欠損の診査および診断を説明できる。 4) 部分床義歯の構成要素を説明できる。 5) 部分床義歯の設計原則を説明できる。 6) 部分床義歯の前処置の意義と方法を説明できる。 7) 部分床義歯の印象採得法を説明できる。 8) 部分床義歯の顎間関係記録法を説明できる。 9) 部分床義歯の咬合を説明できる。 10) 部分床義歯の人工歯の種類および排列法を説明できる。 11) 部分床義歯の研磨面形態を説明できる。 12) 蝸義歯の埋没および重合操作を説明できる。 13) 部分床義歯の装着時に必要な基本的事項を説明できる。 14) 部分床義歯のメンテナンスを説明できる。 15) 即時義歯および治療義歯の目的と意義を説明できる。 16) 部分床義歯製作の材料について説明できる。 17) 部分床義歯製作のための技工操作を修得する。 																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>10/1</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>部分床義歯補綴学1</td> <td>歯の欠損と治療の意義, 欠損の種類, 支持</td> <td>若林 則幸</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/1</td> <td>12:50-15:40</td> <td>補綴実習室</td> <td>部分床義歯補綴学実習1</td> <td>個人トレー製作</td> <td>笛木 賢治, 岩城 有希, 永田 浩司</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>10/8</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>部分床義歯補綴学2</td> <td>把持と維持, サベイング, 隣接面 板, クラスプ</td> <td>若林 則幸</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>10/8</td> <td>12:50-15:40</td> <td>補綴実習室</td> <td>部分床義歯補綴学実習2</td> <td>個人トレー製作</td> <td>笛木 賢治, 永田 浩司, 岩城 有希</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>10/15</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>部分床義歯補綴学3</td> <td>クラスプ以外の維持, オーバー デンチャー, 人工歯, 義歯床, 大</td> <td>若林 則幸</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	10/1	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学1	歯の欠損と治療の意義, 欠損の種類, 支持	若林 則幸	4-6	10/1	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習1	個人トレー製作	笛木 賢治, 岩城 有希, 永田 浩司	7-9	10/8	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学2	把持と維持, サベイング, 隣接面 板, クラスプ	若林 則幸	10-12	10/8	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習2	個人トレー製作	笛木 賢治, 永田 浩司, 岩城 有希	13-15	10/15	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学3	クラスプ以外の維持, オーバー デンチャー, 人工歯, 義歯床, 大	若林 則幸
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																							
1-3	10/1	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学1	歯の欠損と治療の意義, 欠損の種類, 支持	若林 則幸																																							
4-6	10/1	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習1	個人トレー製作	笛木 賢治, 岩城 有希, 永田 浩司																																							
7-9	10/8	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学2	把持と維持, サベイング, 隣接面 板, クラスプ	若林 則幸																																							
10-12	10/8	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習2	個人トレー製作	笛木 賢治, 永田 浩司, 岩城 有希																																							
13-15	10/15	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学3	クラスプ以外の維持, オーバー デンチャー, 人工歯, 義歯床, 大	若林 則幸																																							

					連結子	
16-18	10/15	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習3	咬合床製作	笛木 賢治, 岩城 有希, 永田 浩司
19-21	10/22	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学4	初診時の診査, 概形印象, 診断, 支持組織の解剖	若林 則幸
22-24	10/22	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習4	咬合床製作	笛木 賢治, 岩城 有希, 永田 浩司
25-27	10/29	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学5	印象, 設計, フレームワーク	若林 則幸
28-30	10/29	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習5	咬合採得, 咬合器装着	笛木 賢治, 石岡 美香, 加賀谷 健介
31-33	11/5	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学6	咬合採得, 咬合診査, 咬合器装 着, 人工歯排列	若林 則幸
34-36	11/5	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習6	サベイング, 設計線記入, フレー ム前処置	笛木 賢治, 石岡 美香, 加賀谷 健介
37-39	11/12	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学7	重合完成, 床用材料, レジン床義 歯(補強線), 装着	若林 則幸
40-42	11/12	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習7	フレームワックスアップ	笛木 賢治, 石岡 美香, 加賀谷 健介
43-45	11/19	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学8	装着後の変化, 義歯に関連する粘 膜病変, 即時義歯	若林 則幸
46-48	11/19	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習8	フレーム試適・調整, 人工歯排列	笛木 賢治, 加賀谷 健介, 石岡 美香
49-51	11/26	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学9	設計の実例, 有病者への配慮	若林 則幸
52-54	11/26	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習9	人工歯排列	笛木 賢治, 風間 龍之輔, 小竹 雅人
55-57	12/3	09:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯補綴学10	修理とリライン, 治療用義歯, 機能 の評価, 熱可塑性樹脂	笛木 賢治, 風間 龍之輔, 小竹 雅人
58-60	12/3	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習10	歯肉形成	笛木 賢治, 風間 龍之輔, 小竹 雅人
61-63	12/10	09:00-11:50	歯学科第3講義室, 補綴実習室	部分床義歯補綴学11	部分床義歯 TBL	若林 則幸
64-66	12/10	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習11	埋没	笛木 賢治, 風間 龍之輔, 小竹 雅人
67-72	12/17	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習12/13	流蝕, レジン填入	上野 剛史, 佐藤 浩史
73-78	1/7	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習14/15	レジン填入	上野 剛史, 佐藤 浩史
79-81	1/8	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習16	割り出し, 研磨	笛木 賢治
82-87	1/14	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習17/18	研磨	上野 剛史

88-90	1/15	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習19	鑄造クラスプ製作(耐火模型製作, ワックスアップ)	笛木 賢治
91-96	1/21	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習20/21	鑄造クラスプ製作(埋没, 鑄造研磨)	上野 剛史
97-99	1/22	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習22	ワイヤークラスプ製作	笛木 賢治
100-105	1/28	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習23/24	ワイヤークラスプ製作, 支台歯前処置実習	上野 剛史
106-108	1/29	12:50-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習25	作品完成・提出	笛木 賢治
109-114	2/4	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習26/27	義歯メンテナンス(リライン, 増歯修理)実習	上野 剛史
115-120	2/18	09:00-15:40	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習28/29	設計実習(PBL)	上野 剛史
121-123	2/25	09:00-11:50	補綴実習室	部分床義歯補綴学実習30	設計実習(発表会)	上野 剛史
124-126	2/25	12:50-15:40	補綴実習室, 歯学科 第3講義室	筆記試験・実習試験		若林 則幸, 上野 剛史

成績評価の方法

筆記試験の成績, グループ学習(TBL)の成績,

実習における製作物の客観評価, インストラクターによる評価, 実習試験により総合的に評価する。

準備学習などについての具体的な指示

すべての講義, 実習では, 学習内容を網羅したテキストと教材ビデオを授業3日前までにWeb Class上に配信するので, 事前に必ず閲覧すること。

とくに講義では, ビデオと重複する内容の説明は行わず, 問題演習と授業テーマに関する討議を行う。

試験の受験資格

・ユニットコマ数のうち, 4分の3以上出席していなければならない。

・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし, 次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには, 当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお, ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては, 出席日数, 提出レポート内容, 及び平常学習態度等が評価に加味される。また, 複数学年にまたがるモジュールについては, 歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

パーシャルデンチャー・クリニシャンズガイド：実践的なプランニングとプラクティス／John D.Jones, Lily T.Garcia 編若林則幸 訳：医歯薬出版, 2010

小部分床義歯学／藍稔 著：学建書院, 1994

パーシャルデンチャーテクニク = Partial Denture Technique／五十嵐順正, 石上友彦, 大久保力廣, 岡崎定司, 馬場一美, 横山敦郎 編：医歯薬出版, 2012

スタンダード部分床義歯補綴学／藍稔, 五十嵐順正 編集・執筆：学建書院, 2010

参考書

パーシャルデンチャーを得意になろう！：設計原則からトラブル対応までの臨床ガイド／五十嵐順正, 若林則幸 編著：ヒョーロン・パブリックシャーズ, 2013

パーシャルデンチャーアトラス：デザイン理論と臨床/遊離端義歯を中心に／大山喬史 編著：医歯薬出版, 2005

・Stewart's Clinical Removable Partial Prosthodontics 4th Edition (Rodney D. Phoenix)

・McCracken's Removable Partial Prosthodontics (Alan Carr, David Brown)

履修上の注意事項

部分床義歯のユニットの合格判定は, 筆記試験, 実技試験, TBLの成績, 授業中の発言回数を元に判定される。

備考

非常勤講師の教員情報:

・谷田部 優(臨床教授): aoba_dent@yahoo.co.jp

・風間 龍之介: ryukzm@gmail.com

- ・小竹 雅人:gomasato@mb4.suisui.ne.jp
- ・加賀谷 健介:knskkg@yahoo.co.jp
- ・石岡 美香:mika.ny6@gmail.com
- ・岩城 有希:yuki.iwaki@uniklinik-freiburg.de
- ・永田 浩司:kohji.nagata@utu.fi

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/pro/education/dental-student/dental-student.html>

連絡先

若林 則幸:wakabayashi.rpyo@tmd.ac.jp

笛木 賢治:kunfu.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

若林 則幸随時(メールにて面談の日程を調整すること) 歯科棟 11 階 部分床義歯補綴学分野教授室

笛木 賢治:毎週月、火、水、金曜日 PM17:00-18:00 歯科棟北11階部分床義歯補綴学分野第1研究室

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	021154					
科目名	クラウンブリッジ					
担当教員	三浦 宏之, 吉田 恵一					
開講時期	後期	対象年次	4			
主な講義場所						
歯学部第4講義室(7号館4階) 補綴実習室(7号館3階)						
授業の目的、概要等						
クラウンによる修復について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) クラウンによる修復の特徴を説明できる。 2) クラウンによる修復の種類を列挙できる。 3) 支台歯形成の目的と意義が説明できる。 4) 支台築造の意義を説明できる。 5) 支台築造の術式を説明できる。 6) 支台築造を模型歯で行うことができる。 7) 模型歯で支台形成を行うことができる。 8) 全部鑄造冠修復の意義と特徴を説明できる。 9) 全部鑄造冠修復の術式を説明できる。 10) 模型歯で全部鑄造冠修復を行うことができる。 11) 審美的なクラウン修復を列挙し、その特徴を説明できる。 12) 模型歯でレジン前装冠修復を行うことができる。 13) 高速切削の意義と方法を説明できる。 14) 高速切削器具を用いて模型歯で支台形成を行うことができる。 15) 固定性義歯の目的と意義を説明できる。 16) 固定性義歯の種類と適応症を説明できる。 17) 歯の欠損の診査および診断を説明できる。 18) 模型歯で全部鑄造冠修復を行うことができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-4	9/30	09:00-13:40	歯学科第3講義室	クラウン総論(クラウン修復の種類, 要件, 治療計画) クラウン各論Ⅰ(支台歯形成, 仮封冠)	三浦 宏之	講義SBOs 1,2 講義SBOs 3
5-6	9/30	13:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠支台歯形成Ⅰ	三浦 宏之, 吉田 恵一, 古木 譲, 武井 秀典	実習SBOs 3
7-9	10/2	12:50-15:40	歯学科第3講義室	クラウン各論Ⅱ(支台築造, 印象採得, 咬合採得)	三浦 宏之	講義SBOs 4,5
10-12	10/7	09:00-11:50	補綴実習室	メタルコア窩洞形成	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 古木 紀子	実習SBOs 4-6
13-15	10/7	12:50-15:40	補綴実習室	メタルコア印象 メタルコア模型作製	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 古木 紀子	実習SBOs 4-6
16-18	10/14	09:00-11:50	補綴実習室	メタルコア模型作製 メタルコア wax up	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 古木 紀子	実習SBOs 4-6

19-21	10/21	09:00-11:50	補綴実習室	メタルコア埋没, 鑄造, 調整	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 4-6
22-24	10/21	12:50-15:40	補綴実習室	レジン築造(直接法) 全部鑄造冠支台歯形成 II	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 3-7
25-27	10/28	09:00-11:50	歯学科第3講義室	クラウン各論Ⅲ(模型作製, ワックスアップ, 埋没, 鑄造, 調整, 研磨, 仮着, 合着)	三浦 宏之	講義:SBOs 8,9
28-30	10/28	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠支台歯形成 II	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 3,7
31-33	10/30	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠印象採得(含 個歯トレ)	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 武井 秀典, 古木 讓, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 8-10
34-36	11/4	09:00-11:50	補綴実習室	全部鑄造冠印象採得(含 個歯トレ) 模型作製	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 8-10
37-39	11/4	12:50-15:40	補綴実習室	咬合器装着 全部鑄造冠 wax up	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 8-10
40-42	11/11	09:00-11:50	補綴実習室	全部鑄造冠 wax up	三浦 宏之, 鶴田 潤, 吉田 恵一, 山崎 有子, 山本 将弘, 岡安 晴生, 福井 雄二, 武井 規子, 阿部 晴臣	実習:SBOs 8-10
43-45	11/11	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠 wax up	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 8-10
46-48	11/13	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠(埋没, 鑄造, 研磨)	三浦 宏之, 吉田 恵一, 古木 讓, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 8-10
49-51	11/18	09:00-11:50	歯学科第3講義室	クラウン各論Ⅳ(前装冠, ジャケット冠, オールセラミッククラウン, 部分被覆冠)	三浦 宏之	講義:SBOs 11
52-54	11/18	12:50-15:40	補綴実習室	全部鑄造冠(埋没, 鑄造, 研磨) 前装冠 支台歯形成, 築造窩洞形成	三浦 宏之, 吉田 恵一, 古木 讓, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 福井 雄二	実習:SBOs 8-12
55	11/25	09:00-09:50	歯学科第3講義室	クラウン各論Ⅳ(前装冠, ジャケット冠, オールセラミッククラウン, 部分被覆冠)	三浦 宏之	講義:SBOs 11
56-57	11/25	10:00-11:50	補綴実習室	前装冠支台歯形成, 築造窩洞形成	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 11,12
58-60	11/25	12:50-15:40	補綴実習室	前装冠支台歯形成, 築造窩洞形成 仮封冠	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 11,12
61-63	12/2	09:00-11:50	補綴実習室	仮封冠 前装冠 レジン築造(直	三浦 宏之, 吉田 恵一, 武井 規子,	実習:SBOs

				接法)	鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 福井 雄二	11,12
64-66	12/2	12:50-15:40	補綴実習室	前装冠 レジン築造(直接法)	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 11,12
67-69	12/9	09:00-11:50	補綴実習室	前装冠 印象採得 前装冠 模型作製	三浦 宏之, 吉田 惠一, 鶴田 潤, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 山崎 有子, 井上 実, 星野 義人, 武井 規子, 岡安 晴生, 福井 雄二	実習:SBOs 11,12
70-72	12/9	12:50-15:40	補綴実習室	前装冠 模型作製 前装冠 wax up	三浦 宏之, 吉田 惠一, 鶴田 潤, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永, 山崎 有子, 井上 実, 星野 義人, 武井 規子, 岡安 晴生, 福井 雄二	実習:SBOs 11,12
73-75	12/16	09:00-11:50	補綴実習室	前装冠 wax up 前装冠 埋没, 鑄造, 研磨	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永	実習:SBOs 11,12
76-78	12/16	12:50-15:40	補綴実習室	前装冠 埋没, 鑄造, 研磨 前装冠 レジン前装	三浦 宏之, 吉田 惠一, 鶴田 潤, 武井 規子, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永	実習:SBOs 11,12
79-81	1/6	09:00-11:50	補綴実習室	前装冠 レジン前装	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永	実習:SBOs 11,12
82-84	1/6	12:50-15:40	補綴実習室	前装冠 レジン前装 前装冠 調整, 研磨 高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 森川 理, 宮坂 宗永, 武井 秀典, 古木 讓, 木津喜 裕子	実習:SBOs 11-14
85-87	1/8	09:00-11:50	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 讓, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	実習:SBOs 13,14
88-90	1/13	09:00-11:50	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 讓, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	実習:SBOs 13,14
91-93	1/13	12:50-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 讓, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	実習:SBOs 13,14
94-96	1/20	09:00-11:50	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 讓, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	実習:SBOs 13,14
97-99	1/20	12:50-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 讓, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎	実習:SBOs 13,14

					有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	
100-1 02	1/27	09:00-11:50	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 譲, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	実習:SBOs 13,14
103-1 05	1/27	12:50-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 譲, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	実習:SBOs 13,14
106-1 08	2/3	09:00-11:50	歯学科第3講義室	ブリッジ(含 接着ブリッジ)	三浦 宏之	講義:SBOs 15-17
109-1 11	2/3	12:50-15:40	補綴実習室	高速切削	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 譲, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	実習:SBOs 13,14
112-1 14	2/5	12:50-15:40	補綴実習室	高速切削 ブリッジ 作業用模型 作製	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 譲, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 木津喜 裕子	実習:SBOs 13,14,18
115-1 17	2/10	09:00-11:50	補綴実習室	ブリッジ 作業用模型作製	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 譲, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	実習:SBOs 18
118-1 20	2/10	12:50-15:40	補綴実習室	ブリッジ 作業用模型作製 プリッジ ワックスアップ	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子, 武井 秀典, 古木 譲, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 川和 篤史, 新木 敏之	実習:SBOs 18
121-1 23	2/12	12:50-15:40	補綴実習室	ブリッジ ワックスアップ	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 譲, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 川和 篤史, 新木 敏之	実習:SBOs 18
124-1 26	2/17	09:00-11:50	補綴実習室	ブリッジ ワックスアップ	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子, 武井 秀典, 古木 譲, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 川和 篤史, 新木 敏之	実習:SBOs 18
127-1 29	2/17	12:50-15:40	補綴実習室	ブリッジ 埋没, 鑄造, 調整, 研磨	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子, 武井 秀典, 古木 譲, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 川和 篤史, 新木 敏之	実習:SBOs 18
130-1 32	2/19	12:50-15:40	補綴実習室	ブリッジ 埋没, 鑄造, 調整, 研磨	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子, 武井 秀典, 古木 譲, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 川和 篤史, 新木 敏之	実習:SBOs 18
133-1 35	2/24	09:00-11:50	補綴実習室	ブリッジ 埋没, 鑄造, 調整, 研磨	三浦 宏之, 吉田 惠一, 古木 譲, 武井 秀典, 武井 規子, 鶴田 潤, 山崎 有子, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣, 川和 篤史, 新木 敏之	実習:SBOs 18
136-1	2/24	12:50-15:40	補綴実習室	咬合面コア	三浦 宏之, 吉田 惠一, 武井 規子,	実習:SBOs 18

38					鶴田 潤, 山崎 有子, 福井 雄二, 岡安 晴生, 山本 将弘, 阿部 晴臣	
139-1 40	2/29	09:00-10:50	補綴実習室	実習試験 筆記試験	三浦 宏之, 吉田 恵一	
成績評価の方法 ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・平成 28 年 2 月 29 日に、筆記、実習試験を行い、総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 講義は指定された参考書、実習書を熟読の上、臨むこと。また実習は、当日までに実習内容に該当するデモビデオを閲覧、理解をしておくとともに、実習内容に対応する講義も十分復習して臨むこと。						
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
構成ユニット 10 クラウン修復 11 支台築造 12 全部鑄造冠修復 13 前装冠修復 14 高速切削						
教科書 クラウンブリッジの臨床／Stephen F.Rosenstiel, Martin F.Land, Junhei Fujimoto [著], 藤本順平 監訳, 岡野昌治, 菅野英也, 千ヶ崎乙文 訳: 医歯薬出版, 2010						
参考書 クラウンブリッジ補綴学 第4版: 医歯薬出版, 2009 クラウンブリッジテクニック: 医歯薬出版, 2008 Contemporary Fixed Prosthodontics 4th Edition: Mosby, 2006						
連絡先 三浦 宏之: h.miura.fpro@tmd.ac.jp 吉田 恵一: k.yoshida.fpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 三浦 宏之: 水 10:30 ~ 12:00 吉田 恵一: 月・水 16:30-17:30						

時間割番号	021155																																																																																																																																
科目名	インプラント補綴																																																																																																																																
担当教員	春日井 昇平, 黒田 真司																																																																																																																																
開講時期	後期	対象年次	4																																																																																																																														
モジュール名:咬合回復 コマ数:18+1(必要自習時間4時間) 授業形態:講義 ユニット番号:05																																																																																																																																	
授業の目的、概要等 インプラント義歯を用いた咬合回復治療に必要な基礎的知識を修得する。																																																																																																																																	
授業の到達目標(SBOs) 1) インプラント治療の利点と欠点を説明できる。 2) インプラント治療に必要な診査および診断を説明できる。 3) インプラント治療の外科術式を説明できる。 4) インプラント治療の補綴術式を説明できる。 6) インプラント治療におけるメンテナンスを説明できる。 5) インプラント治療における問題点を説明できる。																																																																																																																																	
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>1/18</td><td>12:50-13:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>インプラント治療の特徴</td><td>春日井 昇平</td></tr> <tr><td>2</td><td>1/18</td><td>13:50-14:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>検査、診断、治療計画</td><td>塩田 真</td></tr> <tr><td>3</td><td>1/18</td><td>14:50-15:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>検査、診断、治療計画</td><td>塩田 真</td></tr> <tr><td>4</td><td>1/25</td><td>12:50-13:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>インプラント埋入手術</td><td>立川 敬子</td></tr> <tr><td>5</td><td>1/25</td><td>13:50-14:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>実習</td><td>立川 敬子</td></tr> <tr><td>6</td><td>1/25</td><td>14:50-15:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>実習</td><td>立川 敬子</td></tr> <tr><td>7</td><td>2/1</td><td>12:50-13:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>補綴治療(アバットメント、印象採得)</td><td>黒田 真司</td></tr> <tr><td>8</td><td>2/1</td><td>13:50-14:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>実習</td><td>黒田 真司</td></tr> <tr><td>9</td><td>2/1</td><td>14:50-15:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>実習</td><td>黒田 真司</td></tr> <tr><td>10</td><td>2/8</td><td>12:50-13:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>補綴治療(上部構造)</td><td>黒田 真司</td></tr> <tr><td>11-12</td><td>2/8</td><td>13:50-15:40</td><td>歯学科第3講義室</td><td>実習</td><td>春日井 昇平</td></tr> <tr><td>13</td><td>2/15</td><td>12:50-13:40</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>実習</td><td>春日井 昇平</td></tr> <tr><td>14</td><td>2/15</td><td>13:50-14:40</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>実習</td><td>黒田 真司</td></tr> <tr><td>15</td><td>2/15</td><td>14:50-15:40</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>実習</td><td>黒田 真司</td></tr> <tr><td>16</td><td>2/22</td><td>09:00-09:50</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>インプラント治療に必要な骨と軟組織の造成</td><td>立川 敬子</td></tr> <tr><td>17</td><td>2/22</td><td>10:00-10:50</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>メンテナンスと治療後の問題</td><td>塩田 真</td></tr> <tr><td>18</td><td>2/22</td><td>11:00-11:50</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>インプラント周囲炎の診断と治療</td><td>春日井 昇平</td></tr> <tr><td>19</td><td>2/22</td><td>12:50-13:40</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>実習</td><td>黒田 真司</td></tr> <tr><td>20</td><td>2/22</td><td>13:50-14:40</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>実習</td><td>黒田 真司</td></tr> <tr><td>21</td><td>2/22</td><td>14:50-15:40</td><td>補綴実習室 3F 示説室</td><td>実習</td><td>黒田 真司</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	1/18	12:50-13:40	歯学科第3講義室	インプラント治療の特徴	春日井 昇平	2	1/18	13:50-14:40	歯学科第3講義室	検査、診断、治療計画	塩田 真	3	1/18	14:50-15:40	歯学科第3講義室	検査、診断、治療計画	塩田 真	4	1/25	12:50-13:40	歯学科第3講義室	インプラント埋入手術	立川 敬子	5	1/25	13:50-14:40	歯学科第3講義室	実習	立川 敬子	6	1/25	14:50-15:40	歯学科第3講義室	実習	立川 敬子	7	2/1	12:50-13:40	歯学科第3講義室	補綴治療(アバットメント、印象採得)	黒田 真司	8	2/1	13:50-14:40	歯学科第3講義室	実習	黒田 真司	9	2/1	14:50-15:40	歯学科第3講義室	実習	黒田 真司	10	2/8	12:50-13:40	歯学科第3講義室	補綴治療(上部構造)	黒田 真司	11-12	2/8	13:50-15:40	歯学科第3講義室	実習	春日井 昇平	13	2/15	12:50-13:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	春日井 昇平	14	2/15	13:50-14:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司	15	2/15	14:50-15:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司	16	2/22	09:00-09:50	補綴実習室 3F 示説室	インプラント治療に必要な骨と軟組織の造成	立川 敬子	17	2/22	10:00-10:50	補綴実習室 3F 示説室	メンテナンスと治療後の問題	塩田 真	18	2/22	11:00-11:50	補綴実習室 3F 示説室	インプラント周囲炎の診断と治療	春日井 昇平	19	2/22	12:50-13:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司	20	2/22	13:50-14:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司	21	2/22	14:50-15:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																																												
1	1/18	12:50-13:40	歯学科第3講義室	インプラント治療の特徴	春日井 昇平																																																																																																																												
2	1/18	13:50-14:40	歯学科第3講義室	検査、診断、治療計画	塩田 真																																																																																																																												
3	1/18	14:50-15:40	歯学科第3講義室	検査、診断、治療計画	塩田 真																																																																																																																												
4	1/25	12:50-13:40	歯学科第3講義室	インプラント埋入手術	立川 敬子																																																																																																																												
5	1/25	13:50-14:40	歯学科第3講義室	実習	立川 敬子																																																																																																																												
6	1/25	14:50-15:40	歯学科第3講義室	実習	立川 敬子																																																																																																																												
7	2/1	12:50-13:40	歯学科第3講義室	補綴治療(アバットメント、印象採得)	黒田 真司																																																																																																																												
8	2/1	13:50-14:40	歯学科第3講義室	実習	黒田 真司																																																																																																																												
9	2/1	14:50-15:40	歯学科第3講義室	実習	黒田 真司																																																																																																																												
10	2/8	12:50-13:40	歯学科第3講義室	補綴治療(上部構造)	黒田 真司																																																																																																																												
11-12	2/8	13:50-15:40	歯学科第3講義室	実習	春日井 昇平																																																																																																																												
13	2/15	12:50-13:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	春日井 昇平																																																																																																																												
14	2/15	13:50-14:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司																																																																																																																												
15	2/15	14:50-15:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司																																																																																																																												
16	2/22	09:00-09:50	補綴実習室 3F 示説室	インプラント治療に必要な骨と軟組織の造成	立川 敬子																																																																																																																												
17	2/22	10:00-10:50	補綴実習室 3F 示説室	メンテナンスと治療後の問題	塩田 真																																																																																																																												
18	2/22	11:00-11:50	補綴実習室 3F 示説室	インプラント周囲炎の診断と治療	春日井 昇平																																																																																																																												
19	2/22	12:50-13:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司																																																																																																																												
20	2/22	13:50-14:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司																																																																																																																												
21	2/22	14:50-15:40	補綴実習室 3F 示説室	実習	黒田 真司																																																																																																																												
成績評価の方法 ・ユニット最後の筆記試験により総合的に評価する。																																																																																																																																	
準備学習などについての具体的な指示 歯を失った場合日々の生活においてどのような点で困るか、歯を失った患者さんに対して、どのような歯科治療が可能であるかについて調べる。 自宅から大学までの通学路(交通機関を使用する区間は含まない)に何件歯科医院が存在し、その歯科医院の中でインプラント治療をおこなうことを標榜している歯科医院が何件あるかについて調べる。																																																																																																																																	
試験の受験資格																																																																																																																																	

<p>・全ユニットコマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。</p>
<p>モジュールの単位判定 講義終了後におこなう筆記試験によって判定する。</p>
<p>教科書 よくわかる口腔インプラント学 赤川安正・松浦正朗・矢谷博文・渡邊文彦 編 医歯薬出版</p>
<p>参考書 ・Clinical Periodontology and Implant Dentistry. Lindhe Jan /Wiley-Blackwell ・Dental Implant Prosthetics. Misch Carl E. /Publisher:Elsevier MOSBY</p>
<p>連絡先 春日井 昇平:kas.mfc@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 春日井 昇平:AM.9:00-PM.19:00 1号館東棟5階教授室、歯学部附属病院7階 インプラント外来</p>

時間割番号	021156					
科目名	咬合回復統合					
担当教員	岡田 大蔵, 三浦 宏之					
開講時期	後期	対象年次	4			
ユニット名:咬合回復統合 コマ数:24+0(必要自習時間3時間) 授業形態:講義・実習						
主な講義場所 歯学部補綴示説室、実習室(7号館3階)						
授業の目的、概要等 咬合回復治療に関連する知識を統合的に修得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 補綴装置に付与する咬合様式について説明できる。 2) 回復した咬合を維持するために必要な知識を身につける。 3) 各種咬合器の特徴が説明できる。 4) フェースボウトランスファーとチェックバイト法を説明することができる。 5) 調節性咬合器の基本操作ができる。 6) 咬合回復に必要な器具および材料について説明できる。 7) 補綴後の咀嚼回復状態のための必要な知識を身につける。 8) 特殊義歯の特徴が説明できる。 9) 咬合回復後のメンテナンスの方法が説明できる。 10) 新しい歯冠補綴物製作法を理解するための必要な知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	1/18	09:00-09:50	歯学科第3講義室	天然歯列の咬合、歯冠補綴物に付与する咬合	岡田 大蔵	講義SBOs 1,2
2	1/18	10:00-10:50	歯学科第3講義室	総義歯に付与する咬合	水口 俊介	講義SBOs 1,2
3	1/18	11:00-11:50	歯学科第3講義室	部分床義歯に付与する咬合	上野 剛史	講義SBOs 1,2
4-5	1/25	09:00-10:50	歯学科第3講義室	各種咬合器の特徴と臨床応用	三浦 宏之	講義SBOs 3
6	1/25	11:00-11:50	歯学科第3講義室	顎機能異常	吉田 恵一	講義SBOs 9
7-9	2/1	09:00-11:50	歯学科第3講義室	特殊な義歯(即時義歯, 治療用義歯, 顎義歯)	隅田 由香	講義SBOs 8
10	2/8	09:00-09:50	歯学科第3講義室	Digital Dentistry	三浦 宏之	講義SBOs 10
11	2/8	10:00-10:50	歯学科第3講義室	CAD/CAMの補綴物への応用	野崎 浩佑	講義SBOs 10
12	2/8	11:00-11:50	歯学科第3講義室	咬合回復に関連する歯科材料	宇尾 基弘	講義SBOs 6
13	2/15	09:00-09:50	歯学科第3講義室	咬合回復治療後のメンテナンス1	和泉 雄一	講義SBOs 9
14	2/15	10:00-10:50	歯学科第3講義室	咬合回復治療後のメンテナンス2	三浦 宏之	講義SBOs 9
15	2/15	11:00-11:50	歯学科第3講義室	咬合回復に関連する歯科材料	駒田 亘	講義SBOs 6
16-18	2/19	09:00-11:50	補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェースボウトランスファーとチェックバイト法	三浦 宏之, 真柳 昭 紘, 吉田 隆義, 岡田 大蔵, 進 千春, 古木 譲, 武井 秀典, 田中 義浩, 山崎 有子	実習SBOs 4,5
19	2/26	09:00-09:50	歯学科第3講義室	補綴後の咀嚼様相	加藤 均	講義SBOs 7
20-21	2/26	10:00-11:50	補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェースボウトランスファーとチェックバイト法	三浦 宏之, 真柳 昭 紘, 吉田 隆義, 岡田 大蔵, 進 千春, 古木 譲, 武井 秀典, 田中	実習SBOs 4,5

					義浩, 山崎 有子	
22-24	2/26	12:50-15:40	補綴実習室	調節性咬合器の調整、フェースボウトランスフ ァーとチェックバイト法	三浦 宏之, 真柳 昭 紘, 吉田 隆義, 岡田 大蔵, 進 千春, 古木 譲, 武井 秀典, 田中 義浩, 山崎 有子	実習:SBOs 4,5
成績評価の方法						
・レポート内容により総括的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
事前に配布される資料などを熟読の上、臨むこと。また調節性咬合器実習は、当日までに各種咬合器の特徴と臨床応用の講義を復習し ておくとともに、事前に配布される実習書を熟読して臨むこと。						
試験の受験資格						
・講義はユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。また、実習は全ユニット実習コマ数のうち、4分の3以上出 席していなければならない。						
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
構成ユニット						
ユニット名:咬合回復統合						
モジュールの単位判定						
・レポート内容により総括的に評価する。						
連絡先						
岡田 大蔵:d.okada.fpro@tmd.ac.jp						
三浦 宏之:h.miura.fpro@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
岡田 大蔵:随時						
三浦 宏之:水 10:30 ~ 12:00						

時間割番号	021157				
科目名	臨床体験実習				
担当教員	木下 淳博, 秀島 雅之				
開講時期	後期	対象年次	4	単位数	1
コマ数: 54 (0) 授業形態: 実習 モジュール番号: 22					
授業の目的、概要等 医療現場を体験することにより、将来の歯科医師としての自覚を高め、歯科臨床に必要な基本的態度と知識を身につける。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	9/18	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	オリエンテーション(全体) D6 体験実習(グルー プ2) シミュレーション実習(グループ1)	竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秀 島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻衣 子, 松村 朋香, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
4-6	9/25	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習 (グループ2)	秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 大槻 昌幸, 島田 康史, 山口 聡, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
7-9	10/2	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習 (グループ1)	竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秀 島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻衣 子, 松村 朋香, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
10-12	10/9	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習 (グループ2)	秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 大槻 昌幸, 島田 康史, 山口 聡, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
13-15	10/23	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習 (グループ1)	竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秀 島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻衣 子, 松村 朋香, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
16-18	10/30	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習 (グループ2)	秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 大槻 昌幸, 島田 康史, 山口 聡, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
19-21	11/6	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	シミュレーション実習(グループ1, 2)	秀島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻 衣子, 松村 朋香, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
22-24	11/13	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習 (グループ2)	秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 大槻 昌幸, 島田 康史, 山口 聡, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
25-27	11/20	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習 (グループ1)	竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秀 島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻衣 子, 濱 洋平, 須永 昌代, 吉岡 隆 知, 木下 淳博
28-30	11/27	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習 (グループ2)	秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 大槻 昌幸, 島田 康史, 秀島 雅之, 濱 洋平, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
31-33	12/4	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室, 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習 (グループ1)	竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秀 島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻衣 子, 濱 洋平, 松村 朋香, 須永 昌

					代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
34-36	12/11	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習 (グループ2)	秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 大槻 昌幸, 島田 康史, 秀島 雅之, 濱 洋平, 山口 聡, 須永 昌代, 吉 岡 隆知, 木下 淳博
37-39	12/18	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習 (グループ1) ケース票提出(中間評価)	竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秀 島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻衣 子, 濱 洋平, 松村 朋香, 須永 昌 代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
40-42	1/15	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習 (グループ2)	秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 大槻 昌幸, 島田 康史, 秀島 雅之, 濱 洋平, 山口 聡, 須永 昌代, 吉 岡 隆知, 木下 淳博
43-45	1/22	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習 (グループ1)	竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秀 島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻衣 子, 濱 洋平, 松村 朋香, 須永 昌 代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
46-48	1/29	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ1) シミュレーション実習 (グループ2)	秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 大槻 昌幸, 島田 康史, 秀島 雅之, 濱 洋平, 山口 聡, 須永 昌代, 吉 岡 隆知, 木下 淳博
49-51	2/5	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室 5F 示 説室, 保存矯正実習室	D6 体験実習(グループ2) シミュレーション実習 (グループ1)	竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秀 島 雅之, 則武 加奈子, 岩城 麻衣 子, 松村 朋香, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博
52-54	2/12	09:00-09:50	シミュレーション実習室 歯学科第4講義室 5F 示 説室, 保存矯正実習室	シミュレーション実習(グループ1, 2) ケース票 提出, 授業評価	大槻 昌幸, 島田 康史, 山口 聡, 須永 昌代, 吉岡 隆知, 木下 淳博

準備学習などについての具体的な指示

eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。

試験の受験資格

モジュール全体として、4分の3以上出席していること。

構成ユニット

01 D6体験実習

02 コンピュータシミュレーション実習

モジュールの単位判定

モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

連絡先

木下 淳博 kinoshita.emdv@tmd.ac.jp

秀島 雅之 m.hideshima.pro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木下 淳博: 毎週金曜日 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部

秀島 雅之: 水 17:00-18:00

時間割番号	021158		
科目名	D6体験実習		
担当教員	木下 淳博, 竹内 康雄, 南 一郎, 河村 隼, 秋葉 徳寿, 樺沢 勇司, 大森 哲, 中村 輝保, 須永 昌代, 吉岡 隆知		
開講時期	後期	対象年次	4
モジュール名:臨床体験実習 コマ数:24+0 授業形態:実習 ユニット番号:01			
授業の目的、概要等 包括臨床実習現場を体験することにより、将来の歯科医師としての自覚を高め、歯科臨床に必要な基本的態度と知識を身につける。 歯科における治療計画立案の重要性を理解し、症例分析能力・治療計画立案能力を修得する。 包括臨床実習現場において、実際の患者さんに医療面接を行い、将来の歯科医師としての自覚を高め、医療面接に必要な基本的態度と知識を身につける。			
授業の到達目標(SB0s) 1) 感染予防の概念を理解し、適切に実践できる。 2) 歯科臨床に必要な基本的態度(守秘義務、言動、服装等)を実践できる。 3) 診療室への患者の誘導を適切にできる。 4) 歯科診療の診査・検査結果を記録できる。 5) 歯科治療のアシストができる。 6) 歯科治療の準備ができる。 7) 口腔内状態の記録ができる。 8) 一口腔内で保存治療および 補綴治療を行った(行う必要のある)ひとりの患者について、過去の治療経過および今後の治療方針を理解し、その内容をプレゼンテーションできる。 9) 他の学生による上記プレゼンテーションの内容を理解し、討論ができる。 10) 患者に挨拶して自己紹介できる。 11) 診療室における患者の心理と行動を理解し配慮できる。 12) 患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 13) 初診時の主訴、初診時の現症、初診時までの病歴(初診時の現病歴)、既往歴、現在の状態に関する医療面接が実施でき、適切に記録できる。 14) 主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 15) 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 16) 的確な病歴聴取(現病歴、既往歴、家族歴、薬歴等)を行い、必要な部分を抽出できる。			
成績評価の方法 ・適宜実習記録、ケース履修票等を確認し、形成的評価を行う。 ・各回の討論において、形成的評価を行う。 ・実習記録、ケース票による総括的評価を行う。			
準備学習などについての具体的な指示 eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。			
試験の受験資格 ・モジュール全体として、4分の3以上出席していること。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。			
参考書 医療面接法：よりよい医師-患者関係のために／C.Knight Aldrich [著],田口博國 訳:医学書院, 2000			
備考			

- ・第4学年学生を、グループ1、2に分け、基本的に隔週で交代しながら、本ユニットとコンピュータシミュレーション実習ユニットを交互に履修する。
- ・本ユニット内では、各グループを10名程度の3班に分け、各班学生を臨床系分野教員1名が担当する。

連絡先

木下 淳博:kinoshita.emdv@tmd.ac.jp

南 一郎:minami.rpro@tmd.ac.jp

須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp

竹内 康雄:takeuchi.peri@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木下 淳博:毎週金曜日 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部

南 一郎:火・水・金曜日 16:30-17:30

須永 昌代:随時

竹内 康雄:月～金 17:00-19:00

時間割番号	021159		
科目名	コンピュータシミュレーション実習		
担当教員	秀島 雅之, 木下 淳博, 岩城 麻衣子, 大槻 昌幸, 則武 加奈子, 濱 洋平, 山口 聡, 須永 昌代, 松村 朋香		
開講時期	後期	対象年次	4
モジュール名: 臨床体験実習 コマ数: 30+0 授業形態: 実習 ユニット番号: 02			
授業の目的、概要等 コンピュータを用いて歯科臨床のシミュレーションを行うことにより、歯科臨床の知識、技能を自己学習する能力を身につける。			
授業の到達目標(SBOs) 1) シミュレーション実習室の学生用システムを適切に操作できる。 2) マネキンを患者さんとして扱い、歯科の処置を繰り返し練習して、手本を模倣することができる。(支台歯形成、レジン充填、スケーリング、ルートプレーニング、歯肉切除、歯肉整形、髓腔開拓、根管形成等) 3) コンピュータ画面上で、医療面接、診査、検査、処置、準備、診断、治療方針立案等を繰り返し行い、歯科における典型的な症例、および稀にしか遭遇できない症例をひと通り体験する。 4) マネキンまたは学生相互で概形印象採得ができる。			
成績評価の方法 ・適宜実習記録、ケース履修票等を確認し、形成的評価を行う。 ・実習記録、ケース票による総括的評価を行う。			
準備学習などについての具体的な指示 eラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。			
試験の受験資格 ・モジュール全体として、4分の3以上出席していること。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。			
備考 ・第4学年学生を、グループ1、2に分け、基本的に隔週で交代しながら、本ユニットとD6体験実習ユニットを交互に履修する。 ・本ユニット内では、各グループを約15名の2班に分け、シミュレーション実習室(ハードシム実習)と保存矯正実習室(ソフトシム実習)に交替で分かれて実習を行う。 ・包括臨床実習の日程により、グループ1、グループ2の合同実習とする日がある。			
連絡先 秀島 雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp 大槻 昌幸:otsuki.ope@tmd.ac.jp 木下 淳博:kinoshita.emdv@tmd.ac.jp 山口 聡:yamachan.mfs@tmd.ac.jp 須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp 松村 朋香:tomoanph@tmd.ac.jp			
オフィスアワー 秀島 雅之:水 17:00-18:00 大槻 昌幸:月・火・木・金 17:00以降 水 18:00以降 木下 淳博:毎週金曜日 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発部 山口 聡:月・水 17:00-18:00 須永 昌代:随時 松村 朋香:月 17:00-18:00			

時間割番号	021160		
科目名	歯周病		
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久		
開講時期	後期	対象年次	4
		単位数	3
モジュール名: 歯周病 コマ数: 78(6)必要自習時間 27 時間 授業形態: 講義、実習、演習			
主な講義場所			
第3講義室			
授業の目的、概要等			
歯周病の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識と基本的技能を習得する。			
授業の到達目標(SBOs)			
1) 歯周病の病因・病態について説明できる。 2) 歯周病の予防について説明できる。 3) 歯周病の診断について説明できる。 4) 歯周治療の意義について説明できる。 5) 歯周治療の流れについて説明できる。 6) 歯周治療に必要な器具操作ができる。			
成績評価の方法			
適宜、形成的評価(小テスト)を行う。			
準備学習などについての具体的な指示			
小テストを毎回行う予定なので、予習をしたうえでの受講が望ましい。			
試験の受験資格			
・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。			
構成ユニット			
01 歯周病基礎編 02 歯周病臨床編 03 歯周病・歯周治療実習 04 歯周病のトピックス			
モジュールの単位判定			
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。			
参考書			
ザ・ペリオドントロジー／和泉雄一ら：永末書店，2014 臨床歯周病学／吉江弘正ら：医歯薬出版，2013 Lindhe 臨床歯周病学とインプラント／Jan Lindhe ら：クインテッセンス出版，2005 CARRANZA'S クリニカルペリオドントロジー／M.G.Newman：クインテッセンス出版，2005 Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 2 Volumes／Jan Lindhe ら：Wiley-Blackwell，2008 Carranza's Clinical Periodontology, 12 HAR/PSC Edition／Newman ら：W B Saunders，2014 ライチャーケ カラーアトラス歯周病学 第3版／Herbert F.Wolf ら：永末書店，2008 Peri-implantitis／Stefan Renvert：クインテッセンス出版，2013 Periodontology／Herbert F.Wolf, Edith M Klaus H.Rateitschak：Thieme，2004 Peri-Implantitis／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli：Quintessence publishing，2012			
備考			

連絡先

和泉 雄一:y-izumi.peri@tmd.ac.jp

渡邊 久:watanabe.peri@tmd.ac.jp

オフィスアワー

和泉 雄一:メールにて面談の日程を調整すること

渡邊 久:月～金 17:00～19:00

時間割番号	021161																																																										
科目名	歯周病基礎編																																																										
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久, 竹内 康雄																																																										
開講時期	後期	対象年次	4																																																								
モジュール名: 歯周病 コマ数: 15+1 (必要自習時間4時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01																																																											
授業の目的、概要等 生涯にわたって健全な歯列と咬合を維持することの重要性を理解し、歯周組織の常態および歯周病の成因を理解する。																																																											
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯周病・歯周治療について説明できる。 2) 歯周組織の機能および構造について説明できる。 3) 歯周病の病態・症状・分類について説明できる。 4) 歯周病の病因(細菌、宿主(免疫、炎症)、環境)について説明できる。 5) 歯周病の疫学について説明できる。 6) ペリオドンタルメディシンの概念とそれを裏づける機序が説明できる。 7) 歯周組織の再生について説明できる。																																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/27</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯周病・歯周治療とは</td> <td>歯周病の種類とその症状、歯周病の原因因子・リスクファクター、歯周治療の流れを概説する。</td> <td>和泉 雄一</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/27</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯周組織の病理変化</td> <td>正常歯周組織の構造と、炎症に伴う歯周組織の病理変化を学ぶ。</td> <td>和泉 雄一</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/27</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯周病の病因: プラークとバイオフィルム</td> <td>歯周病の初発因子であるプラークとその病原性について学ぶ。</td> <td>荒川 真一</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>10/27</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯周病の病因: 宿主(炎症・免疫応答)、環境</td> <td>歯周病の発症に関わりの深い細菌感染に対する生防衛と免疫応答について学ぶ。</td> <td>西原 達次</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>11/10</td> <td>09:00-10:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯周病の病態・症状・分類</td> <td>歯肉炎と歯周炎の病態と症状の違いについて理解し、歯周病の分類の変遷について学ぶ。</td> <td>和泉 雄一</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/10</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>歯周組織再生: ティッシュエンジニアリング</td> <td>最近の歯周研究の進歩、特に歯周組織の再生について概説する。</td> <td>小牧 基浩</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11/17</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第3講義室</td> <td>筆記試験</td> <td>講義内容について総括的評価を行う。</td> <td>竹内 康雄</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	10/27	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯周病・歯周治療とは	歯周病の種類とその症状、歯周病の原因因子・リスクファクター、歯周治療の流れを概説する。	和泉 雄一	2	10/27	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周組織の病理変化	正常歯周組織の構造と、炎症に伴う歯周組織の病理変化を学ぶ。	和泉 雄一	3	10/27	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周病の病因: プラークとバイオフィルム	歯周病の初発因子であるプラークとその病原性について学ぶ。	荒川 真一	4-6	10/27	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯周病の病因: 宿主(炎症・免疫応答)、環境	歯周病の発症に関わりの深い細菌感染に対する生防衛と免疫応答について学ぶ。	西原 達次	7-8	11/10	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周病の病態・症状・分類	歯肉炎と歯周炎の病態と症状の違いについて理解し、歯周病の分類の変遷について学ぶ。	和泉 雄一	9	11/10	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周組織再生: ティッシュエンジニアリング	最近の歯周研究の進歩、特に歯周組織の再生について概説する。	小牧 基浩	10	11/17	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験	講義内容について総括的評価を行う。	竹内 康雄
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	10/27	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯周病・歯周治療とは	歯周病の種類とその症状、歯周病の原因因子・リスクファクター、歯周治療の流れを概説する。	和泉 雄一																																																					
2	10/27	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周組織の病理変化	正常歯周組織の構造と、炎症に伴う歯周組織の病理変化を学ぶ。	和泉 雄一																																																					
3	10/27	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周病の病因: プラークとバイオフィルム	歯周病の初発因子であるプラークとその病原性について学ぶ。	荒川 真一																																																					
4-6	10/27	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯周病の病因: 宿主(炎症・免疫応答)、環境	歯周病の発症に関わりの深い細菌感染に対する生防衛と免疫応答について学ぶ。	西原 達次																																																					
7-8	11/10	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周病の病態・症状・分類	歯肉炎と歯周炎の病態と症状の違いについて理解し、歯周病の分類の変遷について学ぶ。	和泉 雄一																																																					
9	11/10	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周組織再生: ティッシュエンジニアリング	最近の歯周研究の進歩、特に歯周組織の再生について概説する。	小牧 基浩																																																					
10	11/17	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験	講義内容について総括的評価を行う。	竹内 康雄																																																					
成績評価の方法 ・小テストにより形成的評価を行う。 ・ユニットの最終講義時間に筆記試験を行い、総括的評価を行う。																																																											
準備学習などについての具体的な指示 基礎科目(組織学、病理学、生理学、細菌学等)を復習し、①正常歯周組織の構造と機能、②炎症の機序、③炎症に伴う歯周組織の病理的变化、④細菌の分類とその病原因子、⑤免疫担当細胞とその機能、⑥骨の代謝、について理解しておくこと。																																																											
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																											
参考書																																																											

ザ・ペリオドントロジー／和泉雄一 編:永末書店, 2014

臨床歯周病学／吉江弘正, 伊藤公一, 村上伸也, 申基詰 編:医歯薬出版, 2013

Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 5th Edition／Jan Lindhe, Niklaus P. Lang, Thorkild Karring: Wiley-Blackwell, 2008

Lindhe 臨床歯周病学とインプラント 第4版[基礎編]／Jan Lindhe, Thorkild Karring, Niklaus P.Lang 編著,岡本浩 監訳:クインテッセンス出版, 2005

Carranza's Clinical Periodontology, 12th Edition／Michael G. Newman, Henry Takei, Perry R. Klokkevold, Fermin A. Carranza: Saunders, 2014

Carranza's クリニカルペリオドントロジー／M.G.Newman, H.H.Takei, F.A.Carranza 編著,申基哲, 河津寛, 嶋田淳, 安井利一, 上村恭弘 監訳:クインテッセンス出版, 2005

Color Atlas of Dental Medicine: Periodontology／Herbert F.Wolf, Edith M Klaus H.Rateitschak: Thieme, 2004

カラーアトラス歯周病学／Herbert F.Wolf, Edith M Klaus H.Rateitschak 著:永末書店, 0200

Peri-Implantitis／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli: Quintessence publishing, 2012

インプラント周囲炎／Stefan Renvert, Jean-Louis Giovannoli 著, 山本松男, 弘岡秀明, 和泉雄一 監訳:クインテッセンス出版, 2013

備考

担当教員:

竹内 康雄 助教

連絡先

和泉 雄一:y-izumi.peri@tmd.ac.jp

渡邊 久:watanabe.peri@tmd.ac.jp

竹内 康雄:takeuchi.peri@tmd.ac.jp

オフィスアワー

和泉 雄一:メールにて面談の日程を調整すること

渡邊 久:月～金 17:00～19:00

竹内 康雄:月～金 17:00～19:00

時間割番号	021162					
科目名	歯周病臨床編					
担当教員	和泉 雄一, 渡邊 久, 須田 智也					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 歯周病 コマ数: 23+1 (必要実習時間7時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 02						
授業の目的、概要等 歯周病の検査・診断、その予防、ならびに歯周治療に必要な基本的な知識を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯周病の検査・診断を説明できる。 2) 歯周病の治療計画を説明できる。 3) 歯周基本治療を説明できる。 4) プラークコントロールの意義を説明できる。 5) スケーリングの意義を説明できる。 6) 咬合性外傷について説明できる。 7) 歯周外科手術の種類と適応症、ならびに再生治療を説明できる。 8) 分岐部病変の治療を説明できる。 9) 歯周治療における薬物療法を説明できる。 10) 歯周治療のメンテナンスを説明できる。 11) 歯周病と全身疾患との関係について説明できる。 12) 歯周治療における矯正治療の意義を説明できる。 13) 歯周治療における咬合補綴治療の意義を説明できる。 14) 歯周治療におけるインプラント治療の意義を説明できる。 15) 症例を通じた包括的な歯周治療の意義を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/10	12:50-15:40	歯学科第3講義室	歯周病の検査・診断・治療計画	歯周疾患の症状、診断、治療方針の立案、歯周治療の進め方	和泉 雄一
4-5	11/17	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周基本治療 I	歯周基本治療について、プラークコントロール、習癖、スケーリング・ルートプレーニング	須田 智也 水谷 幸嗣
6-7	11/24	09:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周基本治療 II	スケーラーの種類、シャープニング、局所薬物送達療法、固定	須田 智也 水谷 幸嗣
8	11/24	11:00-11:50	歯学科第3講義室	咬合性外傷と咬合調整	咬合性外傷の原因と臨床症状、診査、咬合調整、ブラキシズムに対する対応	水谷 幸嗣
9	12/1	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯周外科手術 I	歯周外科の目的、種類、歯周外科に使用する器具、歯周外科の手順	和泉 雄一
10-11	12/1	10:00-11:50	歯学科第3講義室	海外における歯周外科の話題	海外における歯周組織再生療法	Diego A. Borgese
12	12/8	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯周外科手術 II	歯周外科の種類、外科的療法と非外科的療法との比較	須田 智也
13	12/8	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周組織再生療法	修復と再生、GTR 法、エムドゲイン	須田 智也
14	12/8	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周形成外科	歯周形成外科の適応症、歯周形成	須田 智也

					外科の術式	
15	12/15	09:00-09:50	歯学科第3講義室	分岐部病変の治療	根分岐部病変の分類と治療法	和泉 雄一
16	12/15	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周治療と薬物療法	薬物療法の目的とその効果	和泉 雄一
17	12/15	11:00-11:50	歯学科第3講義室	メンテナンスとペリオ ドンタルメディスン	メンテナンスとSPT、病状安定と 治療、歯周病と全身疾患との関わり	和泉 雄一
18	1/12	09:00-09:50	歯学科第3講義室	歯周治療と矯正治療	矯正治療との関わり	森山 啓司
19	1/12	10:00-10:50	歯学科第3講義室	歯周治療と咬合回復治療	咬合機能回復治療との関わり	三浦 宏之
20	1/12	11:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周治療とインプラント 治療	インプラント治療との関わり	塩田 真
21-23	1/19	09:00-11:50	歯学科第3講義室	症例供覧	歯周治療の実際	二階堂 雅彦
24	2/9	09:00-09:50	歯学科第3講義室	筆記試験		須田 智也

成績評価の方法

- ・適宜、形成的評価(小テスト)を行う。
- ・授業の最後に総括的評価(筆記試験)を行う。

準備学習などについての具体的な指示

毎回授業終了後に形成的評価(小テスト)を行うので、予め授業内容に関する予習が必要である。

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。

参考書

ザ・ペリオドントロジー／和泉雄一ら：永末書店，2014
 臨床歯周病学／吉江弘正ら：医歯薬出版，2013
 Lindhe 臨床歯周病学とインプラント 第4版 臨床編／Jan Lindhe ら：クインテッセンス出版，2005
 CARRANZA'S クリニカルペリオドントロジー〈下巻〉／M.G.Newman ら：クインテッセンス出版，2005
 Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 2 Volumes／Jan Lindhe ら：Wiley-Blackwell, 2008
 Carranza's Clinical Periodontology, 12 HAR/PSC Edition／Newman ら：W B Saunders, 2014
 ラタイチャーク カラーアトラス歯周病学 第3版／Herbert F.Wolf ら：永末書店，2008
 Peri-implantitis／Stefan Renvert：クインテッセンス出版，2013

備考

担当教員：
 須田 智也 助教

連絡先

和泉 雄一:y-izumi.peri@tmd.ac.jp
 渡邊 久:watanabe.peri@tmd.ac.jp
 須田 智也:sudaperi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

和泉 雄一:メールにて面談の日程を調整すること
 渡邊 久:月～金 17:00-19:00
 須田 智也:月・火・水・木 16:00-17:00

時間割番号	021163					
科目名	歯周病・歯周治療実習					
担当教員	渡邊 久					
開講時期	後期	対象年次	4			
モジュール名: 歯周病 コマ数: 36+3 (必要自習時間 12 時間) 授業形態: 実習 ユニット番号: 03						
授業の目的、概要等 歯周治療に必要な基本的な知識を理解し、その技能および態度を習得する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯周組織の構造・機能を説明できる。 2) 歯周病の各種検査を行うことができる。 3) 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。 4) プラークコントロールの重要性を説明でき、必要な器具操作ができる。 5) スケーリングに必要な器具操作ができる。 6) 歯周外科手術に必要な器具操作ができる。 7) 咬合調整に必要な器具操作ができる。 8) 固定法に必要な器具操作ができる。 9) ナイトガード製作に必要な器具操作ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/17	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周病の観察・検査	歯周組織の構造・機能が説明出来、また、歯周病の各種検査が出来るように実習を行う	渡邊 久、青木 章、萩原 さつき、須田 智也、水谷 幸嗣、片桐 さやか、竹内 康雄、青山 典生、小島 丈尚、弘岡 秀明、富岡 栄二、矢澤 浩史、矢野 章、児玉 利朗、山本 敦彦
4-6	11/24	12:50-15:40	保存矯正実習室	プラークコントロール	プラークコントロールの重要性が説明出来、必要な器具操作が出来るように実習を行う	渡邊 久、青木 章、萩原 さつき、須田 智也、水谷 幸嗣、片桐 さやか、竹内 康雄、青山 典生、小島 丈尚、弘岡 秀明、富岡 栄二、矢澤 浩史、矢野 章、児玉 利朗、山本 敦彦
7-9	12/1	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	スケーリング・ルーフトレーニングに必要な器具操作が出来るように実習を行う	渡邊 久、青木 章、萩原 さつき、須田 智也、水谷 幸嗣、片桐 さやか、竹内 康雄、青山 典生、小島 丈尚、弘岡 秀明、富岡 栄二、矢澤 浩史、矢野 章、児玉 利朗、山本 敦彦
10-12	12/8	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	スケーリング・ルーフトレーニングに必要な器具操作が出来るように実習を行う	渡邊 久、青木 章、萩原 さつき、須田 智也、水谷 幸嗣、片桐 さやか、竹内 康雄、青山 典生、小島 丈尚、弘岡 秀明、富岡 栄二、矢澤 浩史、矢野 章、児玉 利朗、山本 敦彦
13-15	12/15	12:50-15:40	保存矯正実習室	スケーリング	スケーリング・ルーフトレーニングに必要な器具操作が出来るように実習を行う	渡邊 久、青木 章、萩原 さつき、須田 智也、水谷 幸嗣、片桐 さやか、竹内 康雄、青山 典生、小島 丈尚、弘岡 秀明、富岡 栄二、矢澤 浩史、矢野 章、児玉 利朗、山本 敦彦
16-18	1/12	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周外科	歯肉切除術について	渡邊 久、青木 章、萩原 さつき、須田 智

					てその器具操作を学ぶ	也, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 青山 典生, 小島 丈尚, 弘岡 秀明, 富岡 栄二, 矢澤 浩史, 矢野 章, 児玉 利朗, 山本 敦彦
19-21	1/19	12:50-15:40	保存矯正実習室	歯周外科	歯肉剥離掻爬術についてその器具操作を学ぶ	渡邊 久, 青木 章, 萩原 さつき, 須田 智也, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 青山 典生, 小島 丈尚, 弘岡 秀明, 富岡 栄二, 矢澤 浩史, 矢野 章, 児玉 利朗, 山本 敦彦
22-24	1/26	12:50-15:40	補綴実習室	咬合調整	咬合調整の意義と原則を学ぶ	渡邊 久, 青木 章, 萩原 さつき, 須田 智也, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 青山 典生, 小島 丈尚, 弘岡 秀明, 富岡 栄二, 矢澤 浩史, 矢野 章, 児玉 利朗, 山本 敦彦
25-27	2/2	09:00-11:50	保存矯正実習室	咬合調整	咬合調整に必要な器具操作が出来るように実習を行う	渡邊 久, 青木 章, 萩原 さつき, 須田 智也, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 青山 典生, 小島 丈尚, 弘岡 秀明, 富岡 栄二, 矢澤 浩史, 矢野 章, 児玉 利朗, 山本 敦彦
28-30	2/2	12:50-15:40	保存矯正実習室	咬合調整	咬合調整に必要な器具操作が出来るように実習を行う	渡邊 久, 青木 章, 萩原 さつき, 須田 智也, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 青山 典生, 小島 丈尚, 弘岡 秀明, 富岡 栄二, 矢澤 浩史, 矢野 章, 児玉 利朗, 山本 敦彦
31-33	2/9	12:50-15:40	保存矯正実習室	固定	固定法に必要な器具操作が出来るように実習を行う	渡邊 久, 青木 章, 萩原 さつき, 須田 智也, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 青山 典生, 小島 丈尚, 弘岡 秀明, 富岡 栄二, 矢澤 浩史, 矢野 章, 児玉 利朗, 山本 敦彦
34-36	2/16	12:50-15:40	補綴実習室	ナイトガード	ナイトガードに必要な器具操作が出来るように実習を行う	渡邊 久, 青木 章, 萩原 さつき, 須田 智也, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 青山 典生, 小島 丈尚, 弘岡 秀明, 富岡 栄二, 矢澤 浩史, 矢野 章, 児玉 利朗, 山本 敦彦
37-39	2/23	12:50-15:40	保存矯正実習室 歯学科第3講義室	実習試験	OSCE形式で、実習試験を行う	渡邊 久, 青木 章, 萩原 さつき, 須田 智也, 水谷 幸嗣, 片桐 さやか, 竹内 康雄, 青山 典生, 小島 丈尚, 弘岡 秀明, 富岡 栄二, 矢澤 浩史, 矢野 章, 児玉 利朗, 山本 敦彦

成績評価の方法

- ・各回、形成的評価(小テストおよび製作物提出)を行う。
- ・平成28年2月23日に、総括的評価(実習試験:実技試験(50%)ならびに口頭試問(50%))を行う。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。

参考書

ザ・ペリオドントロジー／和泉雄一ら:永末書店, 2014

臨床歯周病学／吉江弘正ら：医歯薬出版，2013

Lindhe 臨床歯周病学とインプラント 第4版 臨床編／Jan Lindhe ら：クインテッセンス出版，2005

CARRANZA'S クリニカルペリオドントロジー／M.G.Newman ら：クインテッセンス出版，2005

Clinical Periodontology and Implant Dentistry, 2 Volumes ／Jan Lindhe ら：Wiley-Blackwell, 2008

Carranza's Clinical Periodontology, 12 HAR/PSC Edition／Newman ら：W B Saunders, 2014

ラタイチャーク カラーアトラス歯周病学 第3版／Herbert F. Wolf ら：永末書店，2008

Peri-implantitis／Stefan Renvert：クインテッセンス出版，2013

備考

担当教員：

渡邊 久 准教授

連絡先

watanabe.peri@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 17:00－19:00

時間割番号	021164						
科目名	歯周病のトピックス						
担当教員	青木 章						
開講時期	後期	対象年次	4				
モジュール名: 歯周病 コマ数: 11 (必要自習時間 4 時間) 授業形態: 講義・演習 ユニット番号: 04							
主な講義場所 歯学科講義室 3・4							
授業の目的、概要等 歯周病研究・治療の最近の動向および今後の方向性を理解する。							
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯周治療の科学的根拠を説明できる。 2) 歯周治療の最近の動向を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	1/26	09:00-09:50	歯学科第3講義室	PBL 実習の説明・準備、シナリオの提示	歯周病および歯周治療に関するトピックスを提示し、調査学習する内容を解説する。各グループ毎に担当するトピックを決定し、次回の PBL 実習のための事前の相談を行なう。	青木 章	
2-3	1/26	10:00-11:50	歯学科第3講義室	歯周治療って面白い! (講義)	医療人としての心構え、歯周治療の基本と考え方、基本治療と歯周外科治療について解説する	松井 徳雄	講義の最後に感想文を提出する
4-5	2/9	10:00-11:50	歯学科第4講義室	PBL 実習と発表準備	グループ毎に担当するトピックの内容を調査学習し、発表スライドを作成する	青木 章	各グループで複数台の PC を準備する
6-7	2/16	09:00-10:50	歯学科第4講義室	PBL 実習と発表準備	グループ毎に担当するトピックの内容を調査学習し、発表スライドを作成する	青木 章	各グループで複数台の PC を準備する
8	2/16	11:00-11:50	歯学科第4講義室	レーザー/LED の歯周治療への応用 (講義)	レーザーの種類と分類、各種の歯周治療およびインプラント周囲治療への最近の応用について解説する	青木 章	
9-11	2/23	09:00-11:50	歯学科第3講義室	グループ毎発表	グループ毎に学習しまとめたトピックの内容について代表者が発表を行なう	青木 章	発表内容について学生およびチューターが評価を行なう
成績評価の方法 ・最終日に総括的評価(グループ毎発表(100%))を行う。							
準備学習などについての具体的な指示 ・PBL 実習の前には、それぞれのグループで、発表を行なうトピックに関して、必要な文献や成書、論文などの資料を収集し、事前に目を通しておく。 ・グループ内で役割分担を決め、自身の担当箇所の内容をまとめ、発表スライドを作成する。 ・発表前には、発表者は、事前に発表の内容を理解し、練習を十分に行なっておく。							
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。							
教科書 ザ・ペリオドントロジー = The Periodontology / 和泉雄一, 木下淳博, 沼部幸博, 山本松男 編: 永末書店, 2014 臨床歯周病学 / 吉江弘正, 伊藤公一, 村上伸也, 申基詰 編: 医歯薬出版, 2013 Clinical Periodontology and Implant Dentistry 5th ed. / Lindhe J, Lang P, Karring T: Blackwell Munksgaard, 2008 Carranza's Clinical Periodontology 12th ed. / Newman MG, Takei HH, Klokkevold PR, Carranza FA: Elsevier, 2014							

参考書

コンセプトをもった予知性の高い歯周外科処置／小野 善弘, 宮本 泰和, 畠山 善行, 松井 徳雄 著, :クインテッセンス出版, 2001

歯周治療って面白い! : マンガでわかる考え方とテクニック／松井徳雄, 浦野智, 佐々木猛, 山内忍, 水野秀治, 佐々生康宏, 小野善弘 著, :医歯薬出版, 2008

歯周治療・インプラント治療におけるEr:YAGレーザーの使い方／和泉雄一, 青木 章, 石川 烈 編, :医学情報社, 2011

歯科用レーザー120%活用術／青木 章, 和泉雄一 編著, :デンタルダイヤモンド社, 2012

履修上の注意事項

講義とPBL 実習が行なわれる。

備考

担当教員:

青木 章 講師

連絡先

aoperi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 17:00-18:00

時間割番号	021176				
科目名	咬合育成・発達				
担当教員	森山 啓司, 宮新 美智世, 小野 卓史				
開講時期	前期	対象年次	5	単位数	4
コマ数: 114+3 (必要自習時間 22時間) 授業形態: 講義・実習・演習					
授業の目的、概要等					
口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長発育を理解し、咬合異常の予防、診断および治療に必要な知識と基本技能を習得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット					
01 歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断					
02 小児の成長発育と咬合育成					
03 歯科矯正・顎顔面矯正の治療					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数ならびに平常学習態度等が評価に加味される。					
連絡先					
森山 啓司:k-moriyama.mort@tmd.ac.jp					
宮新 美智世:miyashin.dohs@tmd.ac.jp					
小野 卓史:t.ono.orts@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
森山 啓司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。					
宮新 美智世:随時(かならず事前に連絡をすること)					
小野 卓史:月・水 16:00-17:30 歯科棟北12階 教授室					

時間割番号	021177				
科目名	歯科矯正・顎顔面矯正の基礎・診断				
担当教員	森山 啓司				
開講時期	前期	対象年次	5		
モジュール名:咬合育成・発達 コマ数:36+1 (必修自習時間 7時間) 授業形態:講義・実習・演習 ユニット番号:01					
主な講義場所 歯学科第4講義室(7号館4階) 保存・矯正実習室(7号館5階)					
授業の目的、概要等 顎顔面頭蓋の成長発育構造とその異常、正常咬合の成立に必要な要件と不正咬合の原因および矯正力や顎整形力に対する歯、骨、軟組織の生体応答性など、矯正治療のメカニズムを習得する上で必要な生体の構造と機能について理解を深める。					
授業の到達目標(SBOs) 1)顎顔面頭蓋の正常な成長発育様相について説明できる。 2)矯正治療の目的と意義を説明できる。 3)正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 4)不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 5)不正咬合の分類・原因を列挙しそれに起因する障害と予防法を説明できる。 6)不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 7)矯正力、顎整形力(矯正治療)によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/7	09:00-09:50	歯学科第4講義室	イントロダクション	森山 啓司
2	4/7	10:00-10:50	歯学科第4講義室	成長発育概論	鈴木 聖一
3	4/7	11:00-11:50	歯学科第4講義室	頭蓋の発生および成長発育	鈴木 聖一
4	4/10	09:00-09:50	歯学科第4講義室	顎顔面の発生および成長発育	小川 卓也
5	4/10	10:00-10:50	歯学科第4講義室	咬合概論	小川 卓也
6	4/10	11:00-11:50	歯学科第4講義室	顎運動と生理機能	宮本 順
7-9	4/10	12:50-15:40	保存矯正実習室	基礎実習(矯正線屈曲1)	森山 啓司, 小野 卓史, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 辻美千子, 東堀 紀尚, 小林 起穂, 宮本 順, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 宝義, 石田 雄之
10	4/14	09:00-09:50	歯学科第4講義室	不正咬合とその分類	森山 啓司
11	4/14	10:00-10:50	歯学科第4講義室	不正咬合の原因(先天的・後天的)	森山 啓司
12	4/14	11:00-11:50	歯学科第4講義室	基礎演習	鈴木 聖一
13-15	4/17	09:00-11:50	保存矯正実習室	基礎実習(矯正線屈曲2・自在鑑着)	森山 啓司, 小野 卓史, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 辻美千子, 東堀 紀尚, 小林 起穂, 宮本 順, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 宝義, 石田 雄之
16	4/17	12:50-13:40	歯学科第4講義室	診断の基本	小野 卓史
17	4/17	13:50-14:40	歯学科第4講義室	診断学(検査1)	島崎 一夫
18	4/17	14:50-15:40	歯学科第4講義室	診断学(検査2)	石田 宝義
19-21	4/21	09:00-11:50	保存矯正実習室	診断学実習(模型分析・セファロ分析)	森山 啓司, 小野 卓史, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 辻美千子, 東堀 紀尚, 小林 起穂, 宮本 順, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 宝義, 石田 雄之
22	4/24	09:00-09:50	歯学科第4講義室	診断学(治療方針の立案1)	松本 芳郎

23	4/24	10:00-10:50	歯学科第4講義室	診断学(治療方針の立案2)	細道 純
24	4/24	11:00-11:50	歯学科第4講義室	矯正装置	米満 郁男
25-27	4/24	12:50-15:40	保存矯正実習室	診断学実習(矯正装置)	森山 啓司, 小野 卓史, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 辻美千子, 東堀 紀尚, 小林 起穂, 宮本 順, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 宝義, 石田 雄之
28-30	4/28	09:00-11:50	保存矯正実習室	基礎実習(舌側弧線装置1)	森山 啓司, 小野 卓史, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 辻美千子, 東堀 紀尚, 小林 起穂, 宮本 順, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 宝義, 石田 雄之
31-33	5/1	09:00-11:50	保存矯正実習室	基礎実習(舌側弧線装置2)	森山 啓司, 小野 卓史, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 辻美千子, 東堀 紀尚, 小林 起穂, 宮本 順, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 宝義, 石田 雄之
34	5/1	12:50-13:40	歯学科第4講義室	矯正歯科治療に伴う生体反応(1)	松本 芳郎
35	5/1	13:50-14:40	歯学科第4講義室	矯正歯科治療に伴う生体反応(2)	渡 一平
36	5/1	14:50-15:40	歯学科第4講義室	診断学演習、まとめ	小野 卓史
37	6/15	09:00-09:50	歯学科第4講義室	筆記試験	森山 啓司

成績評価の方法

授業題目ごとに、講義においては観察記録および演習により、実習においては実地試験、観察記録および口頭試験、ならびにレポートにより形式的評価を行う。さらに、モジュールの最終回の客観的試験、論述試験(平成27年6月15日)により総合的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

事前に教科書ならびに参考図書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習内容に対応する講義を復習して臨むこと。

試験の受験資格

ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。
受験資格を得られなかった学生は、ユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

Orthodontics Current Principles & Techniques 4th Ed./T. M. Graber 他: ELSEVIER/MOSBY, 2012
Handbook of Orthodontics 4th Ed./R. E. Moyers: YEAR BOOK MEDICAL PUBLISHERS, 1988
Gorlin's Syndromes of the Head and Neck, 5th edition/Hennekam/Krantz/Allanson: Oxford University Press, 2010
歯科矯正学/相馬 邦道/編集, 飯田 順一郎/編集, 山本 照子/編集, 葛西 一貴/編集, 後藤 滋巳/編集, 相馬 邦道/[ほか]執筆: 医歯薬出版, 2011
Contemporary Orthodontics 5th Ed./W.R.Proffit: ELSEVIER/MOSBY, 2013

参考書

アトラス顎顔面矯正: 顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療/黒田敬之 監修, 大山紀美栄, 本橋信義, 鈴木聖一 編, 医歯薬出版, 2002
Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects/Takayuki Kuroda, Kimie Ohyama, Nobuyoshi Motohashi, Keiji Moriyama: Needham Press, Inc., 2012
プロフィットの現代歯科矯正学/William R.Proffit 著, 高田健治 訳: クインテッセンス出版, 2004
歯科矯正治療と顎顔面矯正治療/McNamara JA Jr., Brudon WL, 黒田敬之(監訳): 東京臨床出版, 2006
Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity/Proffit WR, White RP, Sarver DM: Mosby, 2002
Ten Cate 口腔組織学/Ten Cate [原著], Antonio Nanci 編著, 川崎堅三 監訳: 医歯薬出版, 2006
ムーア人体発生学/Moore and Persaud 著, 瀬口春道 監訳: 医歯薬出版, 2001

連絡先

k-moriyama.mort@tmd.ac.jp

オフィスアワー

オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	021178																																																																																																														
科目名	小児の成長発育と咬合育成																																																																																																														
担当教員	宮新 美智世																																																																																																														
開講時期	前期	対象年次	5																																																																																																												
<p>モジュール名:咬合育成・発達 ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数):42+1(必要自習時間 8時間) 授業形態:講義・実習 ユニット番号:02</p>																																																																																																															
<p>授業の目的、概要等 小児の成長発育に伴う口腔領域の健康を維持・増進させるために、疾患や異常を予防・治療し、健全な顎口腔の形態と機能を育成するための理論と方法を修得する。</p>																																																																																																															
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)小児の精神発達と身体発育の特徴を述べ、発育の評価法を説明できる。 2)小児の口腔・頭蓋・顎顔面領域の形態的・機能的特徴を説明できる。 3)小児の歯、歯列および咬合の発育と異常を説明できる。 4)乳歯と幼若永久歯の特徴を説明できる。 5)小児のう蝕と歯髄・歯周疾患の特徴を列挙し、それらの予防・診断・治療の方法を説明し実践できる。 6)小児の歯の外傷・粘膜疾患の診査・検査と診断および処置と術後経過を説明できる。 7)小児の口腔外科的処置を説明できる。 8)咬合誘導の概念を説明し、保険装置を製作できる。 9)小児患者の対応法を説明できる。 10)小児の歯科疾患の簡単な症例を処置できる。 11)小児の虐待の兆候と対応について説明できる 12)小児の継続的口腔健康管理の意義を説明しそのための計画を立案できる。 13)心身障害児の口腔健康管理の問題点を指摘し、歯科診療の方法を説明できる。 14)フッ化物の歯面塗布を実践できる。 15)予防填塞を実施できる。 16)適切な口腔清掃法を指導できる。 17)適切な食事指導(間食指導)を実施できる。 18)適切な生活習慣を指導できる。 																																																																																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/6</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の歯科診療の目的と意義</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/6</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の心身の発育の特徴</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/6</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の心身の発育の特徴</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/6</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の口腔・頭蓋・顎顔面領域の形態および機能の発育</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4/6</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の口腔・頭蓋・顎顔面領域の形態および機能の発育</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>4/6</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の歯・歯列・咬合の発育と評価(1)</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4/13</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の歯・歯列・咬合の発育と評価(2)</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>4/13</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>乳歯・幼若永久歯の特徴</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>4/13</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>乳歯・幼若永久歯の特徴</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>4/13</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児のう蝕とう蝕予防</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>4/13</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児のう蝕とう蝕予防</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>4/13</td> <td>14:50-15:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児のう蝕とう蝕予防</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>4/20</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の歯冠修復</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>4/20</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の歯髄疾患と歯内治療</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>4/20</td> <td>11:00-11:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の歯髄疾患と歯内治療</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>4/20</td> <td>12:50-13:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の歯周・口腔軟組織疾患</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>4/20</td> <td>13:50-14:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>小児の歯の外傷と口腔外科的処置</td> <td>宮新 美智世</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/6	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小児の歯科診療の目的と意義	宮新 美智世	2	4/6	10:00-10:50	歯学科第4講義室	小児の心身の発育の特徴	宮新 美智世	3	4/6	11:00-11:50	歯学科第4講義室	小児の心身の発育の特徴	宮新 美智世	4	4/6	12:50-13:40	歯学科第4講義室	小児の口腔・頭蓋・顎顔面領域の形態および機能の発育	宮新 美智世	5	4/6	13:50-14:40	歯学科第4講義室	小児の口腔・頭蓋・顎顔面領域の形態および機能の発育	宮新 美智世	6	4/6	14:50-15:40	歯学科第4講義室	小児の歯・歯列・咬合の発育と評価(1)	宮新 美智世	7	4/13	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小児の歯・歯列・咬合の発育と評価(2)	宮新 美智世	8	4/13	10:00-10:50	歯学科第4講義室	乳歯・幼若永久歯の特徴	宮新 美智世	9	4/13	11:00-11:50	歯学科第4講義室	乳歯・幼若永久歯の特徴	宮新 美智世	10	4/13	12:50-13:40	歯学科第4講義室	小児のう蝕とう蝕予防	宮新 美智世	11	4/13	13:50-14:40	歯学科第4講義室	小児のう蝕とう蝕予防	宮新 美智世	12	4/13	14:50-15:40	歯学科第4講義室	小児のう蝕とう蝕予防	宮新 美智世	13	4/20	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小児の歯冠修復	宮新 美智世	14	4/20	10:00-10:50	歯学科第4講義室	小児の歯髄疾患と歯内治療	宮新 美智世	15	4/20	11:00-11:50	歯学科第4講義室	小児の歯髄疾患と歯内治療	宮新 美智世	16	4/20	12:50-13:40	歯学科第4講義室	小児の歯周・口腔軟組織疾患	宮新 美智世	17	4/20	13:50-14:40	歯学科第4講義室	小児の歯の外傷と口腔外科的処置	宮新 美智世
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																										
1	4/6	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小児の歯科診療の目的と意義	宮新 美智世																																																																																																										
2	4/6	10:00-10:50	歯学科第4講義室	小児の心身の発育の特徴	宮新 美智世																																																																																																										
3	4/6	11:00-11:50	歯学科第4講義室	小児の心身の発育の特徴	宮新 美智世																																																																																																										
4	4/6	12:50-13:40	歯学科第4講義室	小児の口腔・頭蓋・顎顔面領域の形態および機能の発育	宮新 美智世																																																																																																										
5	4/6	13:50-14:40	歯学科第4講義室	小児の口腔・頭蓋・顎顔面領域の形態および機能の発育	宮新 美智世																																																																																																										
6	4/6	14:50-15:40	歯学科第4講義室	小児の歯・歯列・咬合の発育と評価(1)	宮新 美智世																																																																																																										
7	4/13	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小児の歯・歯列・咬合の発育と評価(2)	宮新 美智世																																																																																																										
8	4/13	10:00-10:50	歯学科第4講義室	乳歯・幼若永久歯の特徴	宮新 美智世																																																																																																										
9	4/13	11:00-11:50	歯学科第4講義室	乳歯・幼若永久歯の特徴	宮新 美智世																																																																																																										
10	4/13	12:50-13:40	歯学科第4講義室	小児のう蝕とう蝕予防	宮新 美智世																																																																																																										
11	4/13	13:50-14:40	歯学科第4講義室	小児のう蝕とう蝕予防	宮新 美智世																																																																																																										
12	4/13	14:50-15:40	歯学科第4講義室	小児のう蝕とう蝕予防	宮新 美智世																																																																																																										
13	4/20	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小児の歯冠修復	宮新 美智世																																																																																																										
14	4/20	10:00-10:50	歯学科第4講義室	小児の歯髄疾患と歯内治療	宮新 美智世																																																																																																										
15	4/20	11:00-11:50	歯学科第4講義室	小児の歯髄疾患と歯内治療	宮新 美智世																																																																																																										
16	4/20	12:50-13:40	歯学科第4講義室	小児の歯周・口腔軟組織疾患	宮新 美智世																																																																																																										
17	4/20	13:50-14:40	歯学科第4講義室	小児の歯の外傷と口腔外科的処置	宮新 美智世																																																																																																										

18	4/20	14:50-15:40	歯学科第4講義室	小児の歯の外傷と口腔外科的処置	宮新 美智世
19	4/27	09:00-09:50	歯学科第4講義室	咬合誘導の概念	宮新 美智世
20	4/27	10:00-10:50	歯学科第4講義室	咬合誘導の実際	宮新 美智世
21	4/27	11:00-11:50	歯学科第4講義室	咬合誘導の実際	宮新 美智世
22	4/27	12:50-13:40	歯学科第4講義室	小児の口腔健康管理	宮新 美智世
23	4/27	13:50-14:40	歯学科第4講義室	小児の口腔健康管理	宮新 美智世
24	4/27	14:50-15:40	歯学科第4講義室	小児の口腔健康管理	宮新 美智世
25	5/11	09:00-09:50	歯学科第4講義室	小児患者の対応法・心身障害児の口腔保健と歯科治療	宮新 美智世
26	5/11	10:00-10:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 橋本 吉明 藤田 晴子 茂木 瑞穂 武井 啓一
27	5/11	11:00-11:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
28	5/11	12:50-13:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
29	5/11	13:50-14:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
30	5/11	14:50-15:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
31	5/15	09:00-09:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
32	5/15	10:00-10:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
33	5/15	11:00-11:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
34	5/18	12:50-13:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
35	5/18	13:50-14:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
36	5/18	14:50-15:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
37	5/20	09:00-09:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
38	5/20	10:00-10:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂 橋本 吉明
39	5/20	11:00-11:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一 藤田 晴子 茂木 瑞穂

					橋本 吉明
40	5/25	12:50-13:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
41	5/25	13:50-14:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
42	5/25	14:50-15:40	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
43	6/1	09:00-09:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
44	6/1	10:00-10:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
45	6/1	11:00-11:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
46	6/5	09:00-09:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
47	6/5	10:00-10:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
48	6/5	11:00-11:50	保存矯正実習室	模型実習(ラバーダム装着、フッ化物歯面塗布、予防填塞、生活歯髄切断脱臼歯の固定、乳歯冠修復、可撤保隙装置)	宮新 美智世 武井 啓一、 藤田 晴子、茂木 瑞穂 橋本 吉明
49	6/15	10:00-10:50	歯学科第4講義室	筆記試験	宮新 美智世

成績評価の方法

・授業題目ごとに、講義においては観察記録および適宜小テスト等により、また実習においては観察記録 および口頭試験、ならびにレポートにより形成的評価を行う。さらに、モジュール最終回の客観試験、論述試験により総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

教科書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習書をよみ、Web 上にアップロードされた内容をあらかじめ学習し、実習内容に対応する講義も復習して臨むこと。

試験の受験資格

- ・ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

小児歯科学／高木裕三、田村康夫、井上美津子、白川哲夫 編、医歯薬出版、2011

参考書

小児歯科マニュアル／前田隆秀 編、南山堂、2005
Pediatric Dentistry／G. Koch, S. Poulsen: Munksgaard

連絡先

miyashin.dohs@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(かならず事前に連絡をすること)

時間割番号	021179					
科目名	歯科矯正・顎顔面矯正の治療					
担当教員	小野 卓史					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:咬合育成・発達 コマ数:36+1 (必修自習時間 7時間) 授業形態:講義・実習・演習 ユニット番号:03						
主な講義場所 歯学科第4講義室(7号館4階) 保存・矯正実習室(7号館5階)						
授業の目的、概要等 不正咬合の病因と随伴する顎口腔領域の形態・機能異常を理解し、予防と治療の意義を踏まえた上で歯科矯正・外科的矯正治療の理論と方法を修得する。						
授業の到達目標(SB0s) 1) 歯科矯正治療・外科的矯正治療の目的と意義を説明できる。 2) 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 3) 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 4) 矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。 5) 矯正治療に必要な力学を説明できる。 6) 後戻りと保定について説明できる。 7) 先天異常および顎変形症患者における外科的矯正治療の診断・治療法を説明できる。 8) 歯科矯正治療・外科的矯正治療の治療計画を立案できる。 9) 顎変形症、口唇口蓋裂患者を含む先天異常患者に対する咬合改善のための包括治療の流れを説明できる。 10) 矯正治療によって生じる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/8	09:00-09:50	歯学科第4講義室	イントロダクション	治療学概論・矯正力・固定	細道 純
2	5/8	10:00-10:50	歯学科第4講義室	乳歯列期・混合歯列期の治療	下顎前突	細道 純
3	5/8	11:00-11:50	歯学科第4講義室	混合歯列期の治療	上顎前突	石田 雄之
4	5/8	12:50-13:40	歯学科第4講義室	混合歯列期の治療	習癖・歯根吸収・その他	簡野 瑞誠
5	5/8	13:50-14:40	歯学科第4講義室	永久歯列期の治療	上顎前突・下顎前突	小海 暁
6	5/8	14:50-15:40	歯学科第4講義室	永久歯列期の治療	開咬・過蓋咬合	簡野 瑞誠
7-9	5/12	09:00-11:50	保存矯正実習室	治療シミュレーション実習	タイポドント1	小野 卓史, 森山 啓司, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 東堀 紀尚, 辻 美千子, 宮本 順
10-12	5/15	12:50-15:40	保存矯正実習室	治療シミュレーション実習	タイポドント2	小野 卓史, 森山 啓司, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 東堀 紀尚, 辻 美千子, 宮本 順
13-15	5/18	09:00-11:50	保存矯正実習室	治療シミュレーション実習	タイポドント3	小野 卓史, 森山 啓司, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田

						雄之, 石田 宝義, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 東堀 紀尚, 辻 美千子, 宮本 順
16	5/22	12:50-13:40	歯学科第4講義室	矯正用材料の特性		小野 卓史, 島 芳夫
17	5/22	13:50-14:40	歯学科第4講義室	永久歯列期の治療	叢生・上下顎前突・空隙・埋伏他	簡野 瑞誠
18	5/22	14:50-15:40	歯学科第4講義室	治療学演習1	前半の演習	小野 卓史
19-21	5/25	09:00-11:50	保存矯正実習室	矯正治療統合実習1	医療面接実習の前準備	小野 卓史, 森山 啓司, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 東堀 紀尚, 辻 美千子, 宮本 順
22-24	5/29	09:00-11:50	保存矯正実習室	矯正治療統合実習2	医療面接実習の前準備	小野 卓史, 森山 啓司, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 東堀 紀尚, 辻 美千子, 宮本 順
25	5/29	12:50-13:40	歯学科第4講義室	口唇口蓋裂患者の矯正治療	口唇口蓋裂患者の矯正治療の臨床例	小川 卓也
26	5/29	13:50-14:40	歯学科第4講義室	顎変形症総論		東堀 紀尚
27	5/29	14:50-15:40	歯学科第4講義室	顎変形症の外科的矯正治療	顎変形症の外科的矯正治療の臨床例	東堀 紀尚
28-30	6/2	09:00-11:50	保存矯正実習室	医療面接実習	ロールプレイ実習他	小野 卓史, 森山 啓司, 松本 芳郎, 簡野 瑞誠, 細道 純, 島崎 一夫, 渡 一平, 小海 暁, 米満 郁男, 石田 雄之, 石田 宝義, 鈴木 聖一, 小川 卓也, 東堀 紀尚, 辻 美千子, 宮本 順 非常勤講師 1. 福山英治, 村本健, 金香佐和, 松原望, 桐本博章, 尾崎周作, 堀内洋輔, 藪下忠親, 水町真理子 2. 寺島多美子, 加藤嘉之, 石渡靖夫, 馬場祥行, 天願俊泉, 横関雅彦, 檜山成寿, 高橋滋樹, 丸岡亮
31	6/5	12:50-13:40	歯学科第4講義室	最新の矯正治療	アンカースクリューを用いた矯正歯科治療など	東堀 紀尚
32	6/5	13:50-14:40	歯学科第4講義室	口腔衛生管理、矯正歯科治療に伴う偶発症		小川 卓也
33	6/5	14:50-15:40	歯学科第4講義室	保定	保定の意義、定義、保定装置	宮本 順
34	6/12	12:50-13:40	歯学科第4講義室	先天異常総論		辻 美千子
35	6/12	13:50-14:40	歯学科第4講義室	先天異常患者の矯正治療	先天異常患者の矯正治療の臨床例	辻 美千子
36	6/12	14:50-15:40	歯学科第4講義室	治療学演習2、まとめ	後半の演習	森山 啓司
37	6/15	11:00-11:50	歯学科第4講義室	筆記試験	総括的評価のための客観試験、論述試験(英語)	簡野 瑞誠, 小野 卓史

					問題を含む)	
成績評価の方法						
授業題目ごとに、講義においては観察記録および演習により、実習においては実地試験、観察記録および口頭試験、ならびにレポートにより形式的評価を行う。さらに、モジュールの最終回の客観的試験、論述試験(平成27年6月15日)により総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
事前に教科書ならびに参考図書を熟読の上、授業に臨むこと。実習に際しては、実習内容に対応する講義を復習して臨むこと。						
試験の受験資格						
ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席し、かつ実習部分の全コマ数の4分の3以上に出席していなければならない。 受験資格を得られなかった学生は、ユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
教科書						
Contemporary Orthodontics 5th Ed./W.R.Proffit: ELSEVIER/MOSBY, 2013						
Orthodontics Current Principles & Techniques 4th Ed./T. M. Graber 他: ELSEVER/MOSBY, 2012						
Handbook of Orthodontics 4th Ed./R. E. Moyers: YEAR BOOK MEDICAL PUBLISHERS, 1988						
歯科矯正学/相馬 邦道/編集,飯田 順一郎/編集,山本 照子/編集,葛西 一貴/編集,後藤 滋巳/編集,相馬 邦道/[ほか]執筆.: 医歯薬出版, 2008						
Gorlin's Syndromes of the Head and Neck, 5th edition/Hennekam/Krantz/Allanson: Oxford University Press, 2010						
参考書						
アトラス顎顔面矯正 -顎変形症と口唇口蓋裂の矯正治療-/黒田敬之監修: 医歯薬出版, 2002						
Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects/Takayuki Kuroda, Kimie Ohyama, Nobuyoshi Motohashi, Keiji Moriyama: Needham Press, Inc., 2012						
Contemporary Treatment of Dentofacial Deformity/Proffit WR, White RP, Sarver DM: Mosby, 2002						
矯正歯科治療: この症例にこの装置/後藤滋巳, 清水典佳, 榎宏太郎, 森山啓司, 石川博之 編著.: 医歯薬出版, 2010						
プロフィットの現代歯科矯正学/William R.Proffit 著,高田健治 訳.: クインテッセンス出版, 2004						
安心・安全歯科矯正用アンカースクリューこの症例にこの方法/後藤滋巳, 清水典佳, 森山啓司, 宮澤健, 榎宏太郎, 石川博之 編著,後藤滋巳 編集代表.: 医歯薬出版, 2013						
歯科矯正治療と顎顔面矯正治療/McNamara JA Jr., Brudon WL, 黒田敬之(監訳): 東京臨床出版, 2006						
口唇裂・口蓋裂の基礎と臨床/高橋庄二郎 著.: 日本歯科評論社, 1996						
Dentofacial Deformities/Epker BN, Wolford LM: Mosby, 1981						
連絡先						
t.ono.orts@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月・水 16:00-17:30 歯科棟北 12 階 教授室						

時間割番号	021180				
科目名	顎口腔医療				
担当教員	原田 清, 鶴澤 成一				
開講時期	前期	対象年次	5	単位数	3
コマ数: 70+4(必要自習時間31時間) 授業形態: 講義 モジュール番号: 25					
授業の目的、概要等 外科的治療を要する口腔・頭蓋・顎顔面領域における疾患の病因・病態を理解し、その予防、診断および治療のための知識と基本的技能を修得する。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 顔面・顎・口腔・口唇の構造と機能を説明できる。 2) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する先天異常および後天性異常の病態、診断、治療と予後を説明できる。 3) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する変形症の病態、診断、治療と予後を説明できる。 4) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する炎症の病態、診断、治療と予後を説明できる。 5) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する外傷の病態、診断、治療と予後を説明できる。 6) 口腔領域に発生する粘膜疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 7) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する血液疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 8) 顔面・顎・口腔領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。 9) ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を列挙できる。 10) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する神経疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 11) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の種類と特徴を列挙できる。 12) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の診断、治療、予後を説明できる。 13) 顎関節疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 14) 前癌病変の特徴、症状、治療法を説明できる。 15) 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 16) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する良性腫瘍の病態、診断(組織診、画像診断)、治療と予後を概説できる。 17) エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。 18) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する悪性腫瘍の病態、診断(組織診、画像診断)、治療と予後を概説できる。 19) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する肉腫を列挙できる。 20) 唾液腺疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 21) 顔面・顎・口腔領域に発生する疾患に対して、基本的検査とカルテ記載ができる。 22) 顔面・顎・口腔領域に発生する主な疾患に対して、基本的な外科処置ができる。					
成績評価の方法 ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。					
準備学習などについての具体的な指示 各講義・演習の日時・場所・内容を事前に確認の上、準備学習をし、積極的に討論に参加する。					
試験の受験資格 ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席してなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。					
構成ユニット 01 顔面・顎・口腔疾患					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、ユニットの試験に合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。					
教科書 「外科研修マニュアル」京大医学研究科外科学教室編集、南江堂、2002					

塩田重利:「最新口腔外科学」第4版、医歯薬出版、東京、1999

野間弘康、瀬戸皖一:「標準口腔外科学」第3版、医学書院、東京、2004

角 保徳、樋口勝規、梅村長生:「一からわかる口腔外科疾患の診断と治療」、医歯薬出版、東京、2006.

Fonseca Raymond J.: Oral and Maxillofacial Surgery.SAUNDERS W B CO, 2000. (ISBN: 0721696325)

日本口腔外科学会編:「口腔外科ハンドマニュアル'06」、クインテッセンス出版株式会社、東京、2006

連絡先

鶴澤 成一:n-uzawa.mfs@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鶴澤 成一:月・水

17:00- 18:00

時間割番号	021181						
科目名	顔面・顎・口腔疾患						
担当教員	鶴澤 成一						
開講時期	前期	対象年次	5				
モジュール名:顎口腔医療							
コマ数:70+4(必要自習時間31時間)							
授業形態:講義							
ユニット番号:01							
授業の目的、概要等							
顔面・顎・口腔の構造と機能を理解し、顔面・顎口腔疾患の原因、症候、病態、診断と治療を学ぶとともに、基本的な技能を修得する。							
授業の到達目標(SBOs)							
<ol style="list-style-type: none"> 1) 顔面・顎・口腔・口唇の構造と機能を説明できる。 2) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する先天異常および後天性異常の病態、診断、治療と予後を説明できる。 3) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する変形症の病態、診断、治療と予後を説明できる。 4) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する炎症の病態、診断、治療と予後を説明できる。 5) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する外傷の病態、診断、治療と予後を説明できる。 6) 口腔領域に発生する粘膜疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 7) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する血液疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 8) 顔面・顎・口腔領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。 9) ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査法とその口腔症状と検査法を列挙できる。 10) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する神経疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 11) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の種類と特徴を列挙できる。 12) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する嚢胞性疾患の診断、治療、予後を説明できる。 13) 顎関節疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 14) 前癌病変の特徴、症状、治療法を説明できる。 15) 前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 16) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する良性腫瘍の病態、診断(組織診、画像診断)、治療と予後を概説できる。 17) エナメル上皮腫の特徴、症状および治療法を概説できる。 18) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する悪性腫瘍の病態、診断(組織診、画像診断)、治療と予後を概説できる。 19) 顔面・顎・口腔・口唇に発生する肉腫を列挙できる。 20) 唾液腺疾患の病態、診断、治療と予後を説明できる。 21) 顔面・顎・口腔領域に発生する疾患に対して、基本的検査とカルテ記載ができる。 22) 顔面・顎・口腔領域に発生する主な疾患に対して、基本的な外科処置ができる。 							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/7	12:50-15:40	歯学科第4講義室	口腔外科学総論		原田 清	SBOs 1, 21, 22
4-6	4/8	09:00-11:50	歯学科第4講義室	炎症		樺沢 勇司	SBOs 4
7-9	4/14	12:50-15:40	歯学科第4講義室	先天異常		原田 清	SBOs 2
10-12	4/15	09:00-11:50	歯学科第4講義室	顎変形症		原田 清	SBOs 3
13-14	4/21	12:50-14:40	歯学科第4講義室	基本手術(抜歯)		佐藤 昌	SBOs 21,22
15	4/21	14:50-15:40	歯学科第4講義室	骨系統疾患 1		佐藤 豊	SBOs 2
16	4/22	09:00-09:50	歯学科第4講義室	骨系統疾患 2		佐藤 豊	SBOs 2
17-18	4/22	10:00-11:50	歯学科第4講義室	血液疾患		道 泰之	SBOs 7
19-21	4/28	12:50-15:40	歯学科第4講義室	嚢胞(顎骨内、軟組織)		山口 聰	SBOs 11,12
22-23	5/7	12:50-14:40	歯学科第4講義室	外傷		生田 稔	SBOs 5
24-26	5/13	09:00-11:50	歯学科第4講義室	粘膜疾患		櫻井 仁亨	SBOs 6

27-28	5/14	12:50-14:40	歯学科第4講義室	神経疾患		嶋田 昌彦	SBOs 10
29-31	5/19	12:50-15:40	歯学科第4講義室	歯原性腫瘍		鶴澤 成一	SBOs 16,17
32	5/22	09:00-09:50	歯学科第4講義室	良性腫瘍		鶴澤 成一	SBOs 16
33-34	5/22	10:00-11:50	歯学科第4講義室	悪性腫瘍	診断法・治療法	原田 浩之	SBOs 18
35-37	5/26	12:50-15:40	歯学科第4講義室	唾液腺疾患		大山 巖雄	SBOs 20
38-40	5/27	09:00-11:50	歯学科第4講義室	悪性腫瘍	癌腫	原田 浩之	SBOs 18
41	6/3	12:50-13:40	歯学科第4講義室	前癌病変		山口 聰	SBOs 14,15
42-43	6/3	13:50-15:40	歯学科第4講義室	基本手術	歯根尖切除・骨整形・歯の再植	丸川 恵理子	SBOs 21,22
44	6/8	12:50-13:40	歯学科第4講義室	基本手術	歯根尖切除・骨整形・歯の再植	丸川 恵理子	SBOs 21,22
45-46	6/8	13:50-15:40	歯学科第4講義室	悪性腫瘍	肉腫・黒色腫・悪性リンパ腫	島本 裕彰	SBOs 18,19
47-49	6/10	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	消毒		富岡 寛文 工藤 雅範	SBOs 22
50-52	6/12	09:00-11:50	歯学部基礎実習室	抜歯の基本手技		津島 文彦 丸川 恵理子 森 正次	SBOs 22
53	6/16	14:50-15:40	歯学科第4講義室	顎関節疾患		儀武 啓幸	SBOs 13
54-56	6/17	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	臨床検査		黒原 一人 和氣 裕之	SBOs 21
57	6/18	14:50-15:40	歯学科第4講義室	顎関節疾患		儀武 啓幸	SBOs 13
58-60	6/19	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	切開・縫合		中久木 康一 小林 淳二	SBOs 22
61-63	6/24	12:50-15:40	歯学部基礎実習室	顎間固定		儀武 啓幸 小林 明子	SBOs 22
64-66	7/6	12:50-15:40	歯学科第4講義室	口腔外科試験		鶴澤 成一	

成績評価の方法

- ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。
- ・受講態度、筆記試験の成績を総合して評価する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

「外科研修マニュアル」京都大学医学研究科外科学教室編集、南江堂、2002
塩田重利:「最新口腔外科学」第4版、医歯薬出版、東京、1999
野間弘康、瀬戸皖一:「標準口腔外科学」第3版、医学書院、東京、2004
角 保徳、樋口勝規、梅村長生:「一からわかる口腔外科疾患の診断と治療」、医歯薬出版、東京、2006.
Fonseca Raymond J.: Oral and Maxillofacial Surgery.SAUNDERS W B CO, 2000. (ISBN: 0721696325)
日本口腔外科学会編:「口腔外科ハンドマニュアル'06、クインテッセンス出版株式会社、東京、2006

連絡先

鶴澤 成一 n-uzawa.mfs@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鶴澤 成一:月・水 17:00- 18:00

時間割番号	021182				
科目名	全身と歯科医療				
担当教員	深山 治久				
開講時期	前期	対象年次	5	単位数	3
コマ数:104+12 授業形態:講義・実習 モジュール番号:26					
授業の目的、概要等 1. 歯科医療に必要な臨床医学の基本的知識を身につける。 2. 特別なケアを必要とする患者の全身状態の評価法を学び、それに対する歯科医療の知識と基本的な技能を修得する。 3. 歯科医療に必要な全身管理ならびに麻酔に関する知識と技能を身につける。					
準備学習などについての具体的な指示					
構成ユニット 01 有病高齢者の歯科治療 02 障害と歯科医療 03 歯科医療と麻酔 04 歯科医療と救急医療 05 歯科医療と内科診断学					
モジュールの単位判定 すべてのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容及び平常の学習態度などが評価に加味される。					
教科書 歯科麻酔学／福島和昭, 原田純, 嶋田昌彦, 一戸達也, 丹羽均 編,金子謙 監修.:医歯薬出版, 2011 スタンダード全身管理・歯科麻酔学／小谷順一郎 編.:学建書院, 2011 臨床歯科麻酔学／丹羽均, 澁谷徹, 城茂治, 梶山加綱, 深山治久 編著.:永末書店, 2011					
参考書 JRC 蘇生ガイドライン／日本蘇生協議会, 日本救急医療財団 監修.:へるす出版, 2011					
連絡先 fukayama.anph@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 月 10:00-18:00 10号館4階教授室(ただし、部屋のドアが開いているときにはいつでも可)					

時間割番号	021183					
科目名	有病高齢者の歯科治療					
担当教員	大渡 凡人					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療						
コマ数:6+1						
授業形態:講義・実習						
ユニット番号:01						
授業の目的、概要等						
歯科医療に必要な老年医学の基本的知識を修得する。有病高齢者の歯科医療における特異性について理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 加齢による口腔領域ならびに全身の生理的・病的変化を説明できる。						
2) 高齢者の代表的な全身疾患の概念について説明できる。						
3) 高齢者の代表的な全身疾患について自身で調査し、その詳細を理解することができる。						
4) 口腔領域疾患と全身疾患との関連について正確な医学的知識を背景に説明できる。						
5) 歯科治療が高齢者の全身状態に及ぼす有害な影響を最小限にとどめるような全身管理ができる。						
6) 超高齢社会において歯科医師の果たすべき役割について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	12:50-13:40	歯学科第4講義室	有病高齢者の歯科治療 総論-1	1.リスクとリスクマネジメント 2.高齢歯科患者の実態 3.高齢者の特徴 4.リスクマネジメントの基本 5.治療前のリスクマネジメント 全身状態評価 ASA 分類	大渡 凡人
2	4/8	13:50-14:40	歯学科第4講義室	有病高齢者の歯科治療 総論-2	6.治療中のリスクマネジメント 局所麻酔薬 抗凝固薬 モニタリング 7.治療後のリスクマネジメント 抗菌薬 鎮痛剤	大渡 凡人
3	4/8	14:50-15:40	歯学科第4講義室	有病高齢者の歯科治療 循環器疾患-1	8.循環器疾患総論 9.血圧異常 高血圧 低血圧 10.虚血性心疾患 狭心症 心筋梗塞	大渡 凡人
4	4/9	09:00-09:50	歯学科第4講義室	有病高齢者の歯科治療 循環器疾患-2	11.不整脈 頻脈性不整脈 徐脈性不整脈 12.心不全 13.心臓弁膜症と感染性心内膜炎 歯科治療との関連 最近の動向 14.大動脈疾患 大動脈瘤 解離性大動脈瘤	大渡 凡人
5	4/9	10:00-10:50	歯学科第4講義室	有病高齢者の歯科治療 神経疾患 呼吸器疾患 代謝疾患	15.神経疾患 脳血管障害 神経変性疾患 16.呼吸器疾患 COPD 喘息 17.代謝疾患 糖尿病 骨粗鬆症(骨修飾薬)	大渡 凡人
6	4/9	11:00-11:50	歯学科第4講義室	有病高齢者の歯科治療 腎尿路疾患 肝疾患 血液疾患 その他の 全身疾患	18.腎尿路疾患 CKD 透析 19.肝疾患 肝炎 肝硬変 肝癌 20.血液疾患 貧血 ITP 白血病 21.その他の全身疾患	大渡 凡人
7	4/16	09:00-09:50	歯学科第4講義室	有病高齢者の歯科治療 試験		大渡 凡人
成績評価の方法						
・ユニット最終日(H27年4月16日)に、筆記試験を行い、総合的評価を行う。						
・適宜レポートによる形成的評価を行う。						

準備学習などについての具体的な指示
試験の受験資格 <ul style="list-style-type: none">・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
教科書 <p>高齢者歯科診療ガイドブック／日本老年歯科医学会 監修, 下山和弘, 櫻井薫, 深山治久, 米山武義 編.: 口腔保健協会, 2010</p> <p>老年医学テキスト／日本老年医学会 編.: メジカルビュー社, 2008</p> <p>全身的偶発症とリスクマネジメント : 高齢者歯科診療のストラテジー／大渡凡人 著.: 医歯薬出版, 2012</p>
参考書 <p>ハリソン内科学／ダン L. ロンゴ ほか 編, 福井次矢, 黒川清 日本語版監修.: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2013</p> <p>老年医学系統講義テキスト : カラー版／日本老年医学会 編集.: 西村書店, 2013</p>
連絡先 <p>t.owatari.gerd@tmd.ac.jp</p>
オフィスアワー <p>月～金 19:00～22:00 10号館5階 高齢者歯科学分野 准教授室</p>

時間割番号	021184				
科目名	障害と歯科医療				
担当教員	篠塚 修				
開講時期	前期	対象年次	5		
授業の目的、概要等					
障害と障害者について社会的視点から理解するとともに、障害の種類、概要を学び障害者歯科医療に必要な知識を習得する。					
授業の到達目標(SB0s)					
1)障害の概念を理解できる。 2)障害者の医療、福祉制度について理解できる。 3)発達障害、身体障害の概要と口腔の特徴を説明できる。 4)行動調整法の種類と適応を説明できる。 5)障害者の歯科治療と口腔保健指導を説明できる。 6)有病者への歯科治療時の対応を説明できる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/15	12:50-13:40	歯学科第4講義室	障害者と医療・福祉	篠塚 修
2	4/15	13:50-14:40	歯学科第4講義室	障害者と医療・福祉	篠塚 修
3	4/15	14:50-15:40	歯学科第4講義室	発達障害・身体障害	篠塚 修
4	4/16	10:00-10:50	歯学科第4講義室	発達障害・身体障害	篠塚 修
5	4/16	11:00-11:50	歯学科第4講義室	発達障害・身体障害	篠塚 修
6	4/22	12:50-13:40	歯学科第4講義室	行動調整法	楠本 康香
7	4/22	13:50-14:40	歯学科第4講義室	行動調整法	深山 治久
8	4/22	14:50-15:40	歯学科第4講義室	障害者の歯科治療と口腔保健指導	楠本 康香
9	4/23	09:00-09:50	歯学科第4講義室	有病者の歯科治療	篠塚 修
10	4/23	10:00-10:50	歯学科第4講義室	有病者の歯科治療	篠塚 修
11	4/30	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	篠塚 修
成績評価の方法					
ユニット最終日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。 適宜レポートによる形成的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
参考書を読んでおくことが望ましい。					
参考書					
スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科／日本障害者歯科学会 編：医歯薬出版，2009					
連絡先					
o.shinozuka.dpa@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。					

時間割番号	021185				
科目名	歯科医療と麻酔				
担当教員	深山 治久				
開講時期	前期	対象年次	5		
モジュール名:全身と歯科医療					
コマ数:33+1					
授業形態:講義・実習					
ユニット番号:02					
授業の目的、概要等					
歯科医療に必要な麻酔学の知識を修得する。歯科医療との関連性を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 歯科医療における麻酔学の役割を理解できる。全身状態評価の概要を理解できる。 2) 全身状態評価の概要を理解できる。 3) 全身麻酔法が理解できる。 4) 日帰り全身麻酔法の内容を理解できる。 5) 局所麻酔の方法・種類について理解できる。 6) 局所麻酔が実施できる。 7) 精神鎮静法について理解できる。 8) 歯科治療中の呼吸・循環管理の概要が理解できる。 9) 歯科治療中の全身異常の診断と処置が理解できる。 10) 障害者歯科治療における麻酔の役割を理解できる。 11) ペインクリニックにおける病態と治療法を理解できる。 12) 歯科における東洋医学について理解できる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/23	11:00-11:50	歯学科第4講義室	歯科麻酔学総論	深山 治久
2-3	4/30	10:00-11:50	歯学科第4講義室	全身状態評価1	深山 治久
4-5	5/13	12:50-14:40	歯学科第4講義室	全身状態評価2	深山 治久
6	5/13	14:50-15:40	歯学科第4講義室	全身麻酔法概論	深山 治久
7-8	5/14	09:00-10:50	歯学科第4講義室	心電図学	瀬畑 宏
9	5/14	11:00-11:50	歯学科第4講義室	全身麻酔法	深山 治久
10-11	5/19	09:00-10:50	歯学科第4講義室	全身麻酔法	深山 治久
12	5/19	11:00-11:50	歯学科第4講義室	全身麻酔の合併症	深山 治久
13	5/20	12:50-13:40	歯学科第4講義室	局所麻酔概論	深山 治久
14	5/20	13:50-14:40	歯学科第4講義室	局所麻酔薬	深山 治久
15	5/20	14:50-15:40	歯学科第4講義室	局所麻酔法	深山 治久
16-17	5/21	10:00-11:50	歯学科第4講義室	局所麻酔法	深山 治久
18-19	5/21	12:50-14:40	歯学科第4講義室	局所麻酔の合併症	深山 治久
20-21	5/26	09:00-10:50	歯学科第4講義室	精神鎮静法	深山 治久
22	5/26	11:00-11:50	歯学科第4講義室	モニタリング	深山 治久
23-25	5/27	12:50-15:40	歯学科第4講義室	実習(浸潤麻酔・伝達麻酔)	深山 治久
26-28	5/28	09:00-11:50	歯学科第4講義室	実習(浸潤麻酔・伝達麻酔)	深山 治久
29	6/1	12:50-13:40	歯学科第4講義室	東洋(漢方)医学療法	室賀 一宏
30-31	6/1	13:50-15:40	歯学科第4講義室	ペインクリニック	嶋田 昌彦
32	6/8	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	深山 治久
成績評価の方法					
・ユニット最終日(H27年6月8日)に、筆記試験を行い、総合的評価を行う。					

・適宜レポートによる形成的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

参考書

- ・Miller's Anesthesia, 6th ed, ミラーの麻酔科学(Medical science international) 歯科麻酔学(医歯薬出版)

連絡先

fukayama.anph@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月 10:00-18:00 10号館4階教授室(ただし、部屋のドアが開いているときにはいつでも可)

時間割番号	021186					
科目名	歯科医療と救急医療					
担当教員	脇田 亮					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療						
コマ数:10+1						
授業形態:講義・実習						
ユニット番号:03						
授業の目的、概要等						
歯科医療に必要な救急医学の基本的知識を修得する。歯科医療との関連性を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 歯科治療に際しての全身的ならびに局所的な偶発症を理解できる。						
2) 歯科治療に際しての全身的ならびに局所的な偶発症に対処できる。						
3) 心肺蘇生法が行える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	6/8	10:00-11:50	歯学科第4講義室	基本的心肺蘇生法の理論	脇田 亮	
3-4	6/15	12:50-14:40	歯学科第4講義室	高度救命処置の理論1	脇田 亮	
5	6/15	14:50-15:40	歯学科第4講義室	高度救命処置の理論2と偶発症	脇田 亮	
6	6/19	09:00-09:50	歯学科第4講義室	高度救命処置の理論2と偶発症	脇田 亮	
7-9	7/3	12:50-15:40	歯学科第4講義室 保存矯正実習室	救急蘇生法の理論と実際(実習を含む)	脇田 亮	実習は複数の場所で行います
10	7/13	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	脇田 亮	
成績評価の方法						
H27年7月13日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
・適宜レポートによる形成的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
参考書						
・AHA Health Care Provider manual G2010						
連絡先						
ryoanph@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火 17:00-18:00 10号館4階						

時間割番号	021187					
科目名	歯科医療と内科診断学					
担当教員	宮本 智行					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:全身と歯科医療						
コマ数:5+1						
授業形態:講義・実習						
ユニット番号:04						
授業の目的、概要等						
歯科医療に必要な内科診断学の基本的知識を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
1) 主訴、既往歴、現病歴、現症、身体所見を正確に把握できる。						
2) 意識、血圧、脈拍、呼吸数、体温などのバイタルサインを測定し、評価できる。						
3) 基本的な臨床検査の目的と検査法が説明できる。						
4) 代表的な内科学的な疾患の概念を理解しており、その詳細を調べることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-2	6/19	10:00-11:50	歯学科第4講義室	身体所見の取り方、バイタルサイン・各種臨床検査法とその評価	宮本 智行	1,2,3,4
3-5	6/22	12:50-13:40	歯学科第4講義室	バイタルサイン・各種の臨床検査法とその評価・実習	宮本 智行	1,2,3,4
6-8	7/3	09:00-11:50	歯学科第4講義室		宮本 智行	
9-11	7/8	09:00-11:50	歯学科第4講義室		宮本 智行	
12	7/13	10:00-10:50	歯学科第4講義室	試験	宮本 智行	
成績評価の方法						
・H27年7月13日に筆記試験を行い、総括的評価を行う。						
・適宜レポートによる形成的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格						
・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。						
・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
・レポート提出により受験資格を認めることがある。						
備考						
このユニットの実習は歯科医療と救急医療実習とリンクしている						
連絡先						
to-miyamo.anph@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
火 17:00-18:00						

時間割番号	021188				
科目名	発展歯科臨床				
担当教員	三浦 雅彦, 豊福 明				
開講時期	前期	対象年次	5	単位数	4
主な講義場所 第4講義室					
授業の目的、概要等 発展的な専門歯科領域における診断・治療法の基本を習得する。					
授業の到達目標(SB0s) 各ユニットによる。					
成績評価の方法 各ユニットによる。					
準備学習などについての具体的な指示 各ユニットによる。					
構成ユニット 01:臨床歯科放射線診断 02:臨床歯科放射線治療 03:スポーツ歯科臨床 04:顎機能障害 05:こころの病と歯科臨床 06:ケーススタディ 07:口腔顔面痛					
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先 三浦 雅彦:masa.mdth@tmd.ac.jp 豊福 明:toyoompm@tmd.ac.jp					
オフィスアワー 三浦 雅彦:月、水、金 16:00-18:00 M&Dタワー7階702 豊福 明:毎週火曜日 16:30-18:00 10号館2階 歯科心身医学教授室					

時間割番号	021189																																						
科目名	臨床歯科放射線診断																																						
担当教員	倉林 亨																																						
開講時期	前期	対象年次	5																																				
モジュール名: 発展歯科臨床 コマ数: 8+1 (必要自習時間3時間) 授業形態: 講義 ユニット番号: 01																																							
授業の目的、概要等 発展的な専門歯科領域における診断・治療法の基本を習得する。																																							
授業の到達目標(SBOs) 1) 口腔顎顔面領域の嚢胞、良性腫瘍や炎症の画像所見を理解し、診断できる。 2) 口腔顎顔面領域の悪性腫瘍の画像所見を理解し、診断できる。 3) 顎関節疾患の画像所見を理解し、診断できる。 4) 唾液腺疾患の画像所見を理解し、診断できる。 5) 全身疾患や先天異常と関連する口腔顎顔面領域の特徴的画像所見を理解し、診断できる。																																							
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>5/28</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>顎骨疾患の画像診断</td> <td>倉林 亨</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>6/4</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>顎骨疾患の画像診断</td> <td>倉林 亨</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>6/11</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>顎骨/軟組織疾患の画像診断</td> <td>倉林 亨</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>6/18</td> <td>12:50-14:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>軟組織疾患の画像診断</td> <td>倉林 亨</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7/6</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>試験</td> <td>倉林 亨</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1-2	5/28	12:50-14:40	歯学科第4講義室	顎骨疾患の画像診断	倉林 亨	3-4	6/4	12:50-14:40	歯学科第4講義室	顎骨疾患の画像診断	倉林 亨	5-6	6/11	12:50-14:40	歯学科第4講義室	顎骨/軟組織疾患の画像診断	倉林 亨	7-8	6/18	12:50-14:40	歯学科第4講義室	軟組織疾患の画像診断	倉林 亨	9	7/6	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	倉林 亨
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																		
1-2	5/28	12:50-14:40	歯学科第4講義室	顎骨疾患の画像診断	倉林 亨																																		
3-4	6/4	12:50-14:40	歯学科第4講義室	顎骨疾患の画像診断	倉林 亨																																		
5-6	6/11	12:50-14:40	歯学科第4講義室	顎骨/軟組織疾患の画像診断	倉林 亨																																		
7-8	6/18	12:50-14:40	歯学科第4講義室	軟組織疾患の画像診断	倉林 亨																																		
9	7/6	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	倉林 亨																																		
成績評価の方法 ・7月6日の筆記試験を総括的評価とする。																																							
準備学習などについての具体的な指示																																							
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																							
参考書 歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会 編: 医歯薬出版, 2008 歯科放射線診断 teaching file／金田隆, 倉林亨, 佐野司 編著: 砂書房, 2007 基本臨床画像診断／佐野司, 倉林亨 編著: 医歯薬出版, 2014 DIAGNOSTIC IMAGING: ORAL AND MAXILLOFACIAL／Koenig LJ ed.: AMIRSYS, 2012																																							
連絡先 kura.oral@tmd.ac.jp																																							
オフィスアワー 特に曜日は定めないが、事前にメールで連絡すること。																																							

時間割番号	021190																																																				
科目名	臨床歯科放射線治療																																																				
担当教員	三浦 雅彦																																																				
開講時期	前期	対象年次	5																																																		
モジュール名: 発展歯科臨床 ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数): 6+1 授業形態: 講義 ユニット番号: 02																																																					
主な講義場所 第4講義室																																																					
授業の目的、概要等 口腔・顎顔面領域がんに対する放射線療法の理論と実践を理解する。																																																					
授業の到達目標(SBOs) 1)放射線の物理学的特性を説明できる。 2)放射線の生物学的効果を説明できる。 3)治療可能比を説明できる。 4)種々の腫瘍に対する外照射を小線源治療の特徴を説明できる。 5)分割照射の特徴を説明できる。 6)口腔がんに対する放射線治療の特徴を説明できる。 7)口腔がんの放射線治療成績を説明できる。																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/4</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>放射線物理学</td> <td>渡邊 裕</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/4</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>放射線生物学・腫瘍学</td> <td>戒田 篤志</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/11</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>放射線腫瘍学概論</td> <td>吉村 亮一</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/11</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>放射線腫瘍学概論</td> <td>吉村 亮一</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/18</td> <td>09:00-09:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>口腔癌の放射線腫瘍学</td> <td>三浦 雅彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6/18</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>口腔癌の放射線腫瘍学</td> <td>三浦 雅彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/6</td> <td>10:00-10:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>試験</td> <td>三浦 雅彦</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	6/4	09:00-09:50	歯学科第4講義室	放射線物理学	渡邊 裕	2	6/4	10:00-10:50	歯学科第4講義室	放射線生物学・腫瘍学	戒田 篤志	3	6/11	09:00-09:50	歯学科第4講義室	放射線腫瘍学概論	吉村 亮一	4	6/11	10:00-10:50	歯学科第4講義室	放射線腫瘍学概論	吉村 亮一	5	6/18	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口腔癌の放射線腫瘍学	三浦 雅彦	6	6/18	10:00-10:50	歯学科第4講義室	口腔癌の放射線腫瘍学	三浦 雅彦	7	7/6	10:00-10:50	歯学科第4講義室	試験	三浦 雅彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																
1	6/4	09:00-09:50	歯学科第4講義室	放射線物理学	渡邊 裕																																																
2	6/4	10:00-10:50	歯学科第4講義室	放射線生物学・腫瘍学	戒田 篤志																																																
3	6/11	09:00-09:50	歯学科第4講義室	放射線腫瘍学概論	吉村 亮一																																																
4	6/11	10:00-10:50	歯学科第4講義室	放射線腫瘍学概論	吉村 亮一																																																
5	6/18	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口腔癌の放射線腫瘍学	三浦 雅彦																																																
6	6/18	10:00-10:50	歯学科第4講義室	口腔癌の放射線腫瘍学	三浦 雅彦																																																
7	7/6	10:00-10:50	歯学科第4講義室	試験	三浦 雅彦																																																
授業方法 講義																																																					
成績評価の方法 7月6日の筆記試験を統括的評価とする。																																																					
準備学習などについての具体的な指示 D3で学んだ放射線物理と放射線生物学の復習をしておくこと。																																																					
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																					
参考書 標準歯科放射線学第2版／淵端孟他: 医学書院, 2006 Radiology for the Radiologist 7th ed／Eric J Holl and Amato J Giaccia eds: Lippincott Williams & Wilkins, 2012 臨床放射線腫瘍学／日本放射線腫瘍学会・日本放射線腫瘍学研究機構: 南光堂, 2013																																																					
連絡先 masa.mdth@tmd.ac.jp																																																					
オフィスアワー 月、水、金 16:00-18:00 M&Dタワー7階702																																																					

時間割番号	021191					
科目名	スポーツ歯科臨床					
担当教員	上野 俊明, 中禮 宏, 高橋 敏幸					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名: 発展歯科臨床 授業形態: 講義 時間数: 6コマ 必修						
主な講義場所 7号館 第4講義室						
授業の目的、概要等 スポーツ医歯学の基本的知識を習得し、スポーツ医歯科学サポートの在り方を理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 歯科領域のスポーツ傷害の診断・治療および予防(安全対策)について説明できる。 2) マウスガードおよびフェイスガードの調製法について説明できる。 3) 咬合と運動機能の関わりについて説明できる。 4) スポーツのためのデンタルチェックについて説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/22	10:00-10:50	歯学科第4講義室	スポーツ歯科概論	スポーツと歯科の関わり, スポーツデンティストの役割, スポーツ医・科学サポートの実際, ドーピング防止プログラム等	高橋 敏幸, 上野 俊明, 中禮 宏
2	6/22	11:00-11:50	歯学科第4講義室	歯科領域のスポーツ傷害の診断・治療・予防	スポーツ傷害の疫学, 応急処置, 診断・治療, 予防・安全対策等	高橋 敏幸, 上野 俊明, 中禮 宏
3	6/25	09:00-09:50	歯学科第4講義室	マウスガードの調製法	マウスガードの歴史, 定義, 種類, 材料, 構造・設計, サーモフォーミングマシン, 臨床診査・検査・前処置, 技工テクニック, 調製の流れおよびメンテナンス	高橋 敏幸, 上野 俊明, 中禮 宏
4	6/25	10:00-10:50	歯学科第4講義室	フェイスガードの調製法	フェイスガードの歴史, 定義, 種類, 材料, 構造・設計, 臨床診査・検査・前処置, 技工テクニック, 調製の流れおよびメンテナンス	高橋 敏幸, 上野 俊明, 中禮 宏
5	7/2	09:00-09:50	歯学科第4講義室	咬合と全身の関わり	咬合, スポーツクレンジング, 筋パワー, ホフマン反射, 遠隔筋促進効果, 重心動揺, バランス, パフォーマンス・競技力の向上	高橋 敏幸, 上野 俊明, 中禮 宏
6	7/2	10:00-10:50	歯学科第4講義室	スポーツのためのデンタルチェック	デンタルチェックの目的と意義, 診査および検査項目と実施方法, プロブレム抽出, AFIインデックス, フィードバック	高橋 敏幸, 上野 俊明, 中禮 宏
7	7/10	10:00-10:50	歯学科第4講義室	筆記試験		高橋 敏幸, 上野 俊明, 中禮 宏
成績評価の方法 ・ユニット最終日の筆記試験による総括的評価を行い、合否を判定する。						
準備学習などについての具体的な指示 事前に資料が配布または WebClass にアップされた場合は予習してから講義に出席すること。						
試験の受験資格 ・3分の2以上出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。						
参考書						

要説スポーツ歯科医学／石上恵一, 上野俊明 [ほか] 編:医学情報社, 2015

実践スポーツマウスガード : 製作・調整と競技別サポート／上野俊明 編, 大山喬史 監修:医学情報社, 2014

スポーツ歯科入門ハンドブック : 健康スポーツ歯科をめざして／安井利一, 杉山義祥 編著, 姫野かつよ [ほか]著.:医学情報社, 2009

スポーツ歯科臨床マニュアル／日本スポーツ歯科医学会 編.:医学情報社, 2007

医師・歯科医師のための口腔診療必携 : 困ったときのマニュアル・ヒント集 202／青木茂樹 [ほか]編,高戸毅 監修.:金原出版, 2010

口と歯の事典／高戸毅, 天笠光雄, 葛西一貴, 古郷幹彦, 須佐美隆史, 鈴木茂彦, 谷口尚, 新美成二 編.:朝倉書店, 2008

スポーツ指導者のためのスポーツ医学／小出清一, 福林徹, 河野一郎 編.:南江堂, 2009

新スポーツのためのメディカルチェック／村山正博 監修,武者春樹 編.:南江堂, 2002

Textbook and Color Atlas of Traumatic Injuries to the Teeth, 4th Edition／Jens O. Andreasen (Editor), Frances M. Andreasen (Editor), Lars Andersson (Editor):Wiley-Blackwell, 2007

スポーツ医科学／中野昭一 編.:杏林書院, 1999

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

連絡先

上野 俊明:t.ueno.spm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

上野 俊明:月・木 16:00-17:00

時間割番号	021192					
科目名	顎機能障害					
担当教員	西山 暁					
開講時期	前期	対象年次	5			
授業の目的、概要等						
顎機能障害(顎関節症)について、疫学、病態、診査法、診断、治療法の基礎的知識を習得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 顎機能障害(顎関節症)の定義を理解する。 顎機能障害(顎関節症)と鑑別すべき疾患を理解する。 顎機能障害(顎関節症)の病態分類を理解する。 顎機能障害(顎関節症)の診査法を理解する。 顎機能障害(顎関節症)の治療概念を理解する。 顎機能障害(顎関節症)の治療方法を理解する。 顎機能障害(顎関節症)の病因について理解する。 顎機能障害(顎関節症)患者の状態について理解する。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	6/2	12:50-14:40	歯学科第4講義室	顎機能障害(顎関節症)の定義と鑑別疾患	顎関節症を中心とした顎機能障害の定義と、機能障害を引き起こす疾患について理解する	西山 暁
3	6/2	14:50-15:40	歯学科第4講義室	顎機能障害(顎関節症)の病態分類	顎関節、咀嚼筋の解剖と、それらに生じる症状を理解する	西山 暁
4	6/9	12:50-13:40	歯学科第4講義室	顎機能障害(顎関節症)の病因	多因子疾患である顎関節症の病因について理解する	西山 暁
5-6	6/9	13:50-15:40	歯学科第4講義室	顎口腔系における"力"について	顎関節症の病因の1つである"力"について理解する	西山 暁
7	6/16	12:50-13:40	歯学科第4講義室	顎機能障害(顎関節症)の診査	臨床現場における顎機能の診査法を理解する	西山 暁
8	6/16	13:50-14:40	歯学科第4講義室	顎機能障害(顎関節症)の治療概念	顎関節症の治療概念と治療法について理解する	西山 暁
9	6/22	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験		西山 暁
授業方法						
講義						
準備学習などについての具体的な指示						
顎関節ならびに咀嚼筋の解剖については、事前に復習するようにしてください。						
教科書						
新編顎関節症／日本顎関節学会 編：永末書店、2013						
TMDを知る：最新顎関節症治療の実際／井川雅子、村岡渡、大久保昌和、Greg Goddard 著：クインテッセンス出版、2011						
参考書						
OFP(口腔顔面痛)を知る：痛みの患者で困ったときに／井川雅子、今井昇、山田和男 著：クインテッセンス出版、2005						
TCHのコントロールで治す顎関節症／木野孔司 編著：医歯薬出版、2013						
口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック／日本口腔顔面痛学会 編：医歯薬出版、2013						
口腔顎顔面痛の最新ガイドライン：米国AAOP学会による評価、診断、管理の指針／Reny de Leeuw 編、杉崎正志、今村佳樹 監訳：クインテッセンス出版、2009						
連絡先						
anishi.tmj@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室						
火曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室						
水曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室						
木曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室						
金曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室						

時間割番号	021193				
科目名	こころの病と歯科臨床				
担当教員	豊福 明				
開講時期	前期	対象年次	5		
モジュール名:発展歯科臨床					
コマ数:15+1					
授業形態:講義					
ユニット番号:05					
授業の目的、概要等					
歯科医療に必要な精神医学および歯科心身医学の基本的知識を修得する。歯科医療との関連性を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 代表的 な精神疾患の概念を説明できる。 2) 精神疾患の代表的 な治療薬を説明できる。 3) 精神疾患患者の歯科治療上の問題を説明できる。 4) 歯科を受診する精神疾患患者への適切な対応を説明できる。 5) 歯科心身症の病態を 説明できる。 6) 代表的な歯科心身症の 診断と治療法を説明できる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/9	09:00-09:50	歯学科第4講義室	歯科心身症(総論)	豊福 明
2	6/9	10:00-10:50	歯学科第4講義室	舌痛症	豊福 明
3	6/9	11:00-11:50	歯学科第4講義室	非定型歯痛	豊福 明
4	6/16	09:00-09:50	歯学科第4講義室	口臭恐怖症	豊福 明
5	6/16	10:00-10:50	歯学科第4講義室	Phantom bite syndrome	豊福 明
6	6/16	11:00-11:50	歯学科第4講義室	口腔異常感症(セネストパチー)	豊福 明
7	6/25	12:50-13:40	歯学科第4講義室	てんかん	車地 暁生
8	6/25	13:50-14:40	歯学科第4講義室	不安障害	上里 彰仁
9	6/25	14:50-15:40	歯学科第4講義室	パーソナリティ障害	阿部 又一郎
10	7/2	12:50-13:40	歯学科第4講義室	躁うつ病と睡眠障害	西川 徹
11	7/2	13:50-14:40	歯学科第4講義室	統合失調症	山本 直樹
12	7/2	14:50-15:40	歯学科第4講義室	認知症	竹内 崇
13	7/15	12:50-13:40	歯学科第4講義室	歯科における精神疾患患者の見極め方	豊福 明
14	7/15	13:50-14:40	歯学科第4講義室	歯科における精神疾患患者への対応	豊福 明
15	7/15	14:50-15:40	歯学科第4講義室	精神疾患を合併した患者の歯科治療	豊福 明
16	7/17	09:00-09:50	歯学科第4講義室	試験	豊福 明
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット最終日(H27年7月17日)に、筆記試験を行い、形成的評価を行う。 ・適宜レポートによる形成的評価を行う。 					
準備学習などについての具体的な指示					
精神疾患患者が歯科受診した場合の対処法、および歯科心身症の診断や治療について理解するため、教科書・参考書やインターネットなどを用いて疾患概念や病態および治療法などに関する予習をしておく。					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 ・レポート提出により受験資格を認めることがある。 					
教科書					
歯科心身医学／日本歯科心身医学会 編:日本歯科心身医学会, 2003 ACP 内科医のための「こころの診かた」:ここから始める!あなたの心療／Robert K.Schneider, James L.Levenson [著],井出広幸, 内藤宏					

監訳PIPC 研究会 訳：丸善, 2009

精神科専門医のためのプラクティカル精神医学／山内俊雄 総編集岡崎祐士, 神庭重信, 小山司, 武田雅俊 編：中山書店, 2009

心身医療と歯科医療：歯・口腔・顎と心と健康科学／都温彦 編著：新興医学出版社, 2005

DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル／American Psychiatric Association [編], 日本精神神経学会 日本語版用語監修, 高橋三郎, 大野裕

監訳 染矢俊幸, 神庭重信, 尾崎紀夫, 三村将, 村井俊哉 訳：医学書院, 2014

参考書

ヒーリー精神科治療薬ガイド／デイヴィッド・ヒーリー [著], 田島治, 江口重幸 監訳 冬樹純子 訳：みすず書房, 2009

カプラン臨床精神医学ハンドブック：DSM-IV-TR 診断基準による診療の手引／ベンジャミン・J. サドック, バージニア・A. サドック 編 融道男, 岩脇淳 監訳：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2007

参照ホームページ

踊る歯科心身症 <http://atoyofpsd.net>

連絡先

toyoompm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週火曜日 16:30- 18:00 10号館2階 歯科心身医学教授室

時間割番号	021194																																																																			
科目名	ケーススタディ																																																																			
担当教員	若林 則幸																																																																			
開講時期	前期	対象年次	5																																																																	
ユニット: ケーススタディ ユニット責任者: 若林則幸 ユニット番号: 06 解説時期: 5年 前期 ユニットコマ数(授業コマ数+試験コマ数): 36 + 0 授業形態: 講義, グループ学習																																																																				
主な講義場所 第4講義室																																																																				
授業の目的、概要等 複数の臨床科目の実践を必要とする症例に対する治療計画の立案法を理解する。																																																																				
授業の到達目標(SBOs) 1) 与えられた症例の情報から個々の患者の問題点を抽出できる。 2) NBM(主訴)を考慮した治療計画の立案方法を説明できる。 3) EBMに基づいた治療計画の立案方法を説明できる。 4) 複数の臨床科目の方法論を必要とする症例の治療計画を説明できる。 5) 複数の臨床科目の中から症例に適した治療方法を選択する考え方を説明できる。 6) 有病高齢者の口腔機能回復とその維持に対する方策を立案できる。 7) 患者の社会的な背景を考慮した治療計画の立案方法を説明できる。																																																																				
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-3</td> <td>6/26</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>テーマ1 保存から補綴への流れ</td> <td>症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義</td> <td>若林 則幸, 和泉 雄一</td> </tr> <tr> <td>4-6</td> <td>7/1</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>テーマ1 保存から補綴への流れ</td> <td>グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問</td> <td>若林 則幸, 和泉 雄一</td> </tr> <tr> <td>7-9</td> <td>7/7</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>テーマ2 痛みに関する訴え</td> <td>症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義</td> <td>三浦 宏之, 興地 隆史</td> </tr> <tr> <td>10-12</td> <td>7/7</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>テーマ2 痛みに関する訴え</td> <td>グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問</td> <td>三浦 宏之, 興地 隆史</td> </tr> <tr> <td>13-15</td> <td>7/14</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>テーマ3 多様な訴えをもつ症例</td> <td>症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義</td> <td>田上 順次, 水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>16-18</td> <td>7/14</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>テーマ3 多様な訴えをもつ症例</td> <td>グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問</td> <td>田上 順次, 水口 俊介</td> </tr> <tr> <td>19-21</td> <td>7/16</td> <td>09:00-11:50</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>テーマ4 育成系診療における配慮</td> <td>症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義</td> <td>宮新 美智世, 小野 卓史</td> </tr> <tr> <td>22-24</td> <td>7/16</td> <td>12:50-15:40</td> <td>歯学科第4講義室</td> <td>テーマ4 育成系診療における配慮</td> <td>グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問</td> <td>宮新 美智世, 小野 卓史</td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-3	6/26	12:50-15:40	歯学科第4講義室	テーマ1 保存から補綴への流れ	症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義	若林 則幸, 和泉 雄一	4-6	7/1	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ1 保存から補綴への流れ	グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問	若林 則幸, 和泉 雄一	7-9	7/7	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ2 痛みに関する訴え	症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義	三浦 宏之, 興地 隆史	10-12	7/7	12:50-15:40	歯学科第4講義室	テーマ2 痛みに関する訴え	グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問	三浦 宏之, 興地 隆史	13-15	7/14	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ3 多様な訴えをもつ症例	症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義	田上 順次, 水口 俊介	16-18	7/14	12:50-15:40	歯学科第4講義室	テーマ3 多様な訴えをもつ症例	グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問	田上 順次, 水口 俊介	19-21	7/16	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ4 育成系診療における配慮	症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義	宮新 美智世, 小野 卓史	22-24	7/16	12:50-15:40	歯学科第4講義室	テーマ4 育成系診療における配慮	グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問	宮新 美智世, 小野 卓史
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																														
1-3	6/26	12:50-15:40	歯学科第4講義室	テーマ1 保存から補綴への流れ	症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義	若林 則幸, 和泉 雄一																																																														
4-6	7/1	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ1 保存から補綴への流れ	グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問	若林 則幸, 和泉 雄一																																																														
7-9	7/7	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ2 痛みに関する訴え	症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義	三浦 宏之, 興地 隆史																																																														
10-12	7/7	12:50-15:40	歯学科第4講義室	テーマ2 痛みに関する訴え	グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問	三浦 宏之, 興地 隆史																																																														
13-15	7/14	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ3 多様な訴えをもつ症例	症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義	田上 順次, 水口 俊介																																																														
16-18	7/14	12:50-15:40	歯学科第4講義室	テーマ3 多様な訴えをもつ症例	グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問	田上 順次, 水口 俊介																																																														
19-21	7/16	09:00-11:50	歯学科第4講義室	テーマ4 育成系診療における配慮	症例提示, 課題抽出, グループ発表, ミニ講義	宮新 美智世, 小野 卓史																																																														
22-24	7/16	12:50-15:40	歯学科第4講義室	テーマ4 育成系診療における配慮	グループワーク, ミニ講義, 発表, 症例経過提示, 質問	宮新 美智世, 小野 卓史																																																														
成績評価の方法 ・ユニットの合格判定には、グループ学習の成績(個人テストおよびグループテスト)を基にして、出席日数及び平常学習態度等が評価に加味される。																																																																				
準備学習などについての具体的な指示 事前学習として必要な資料は、授業3日前までに Web Class 上に掲示するので、必ず閲覧し、指示に従うこと。																																																																				
試験の受験資格 ・3分の2以上の授業、4分の3以上のグループ学習の出席を必要とする。 ・合格判定を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。																																																																				
構成ユニット 06 ケーススタディ																																																																				
モジュールの単位判定 モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判																																																																				

定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。

教科書

患者の診かたと歯科診療／黒崎紀正 [ほか]編：医歯薬出版，2001

参考書

Behavioral Dentistry. Mostofsky (著), Fortune (著) Wiley-Blackwell; 2 版 (2013/12/31) ISBN-13: 978-1118272060

備考

・ユニット責任者が決めた8つのグループに分け、グループ学習方式による個別評価とグループ評価を基に、出席の状況、平常点、学生相互評価を加味した総合評価を行う。

参照ホームページ

<http://www.tmd.ac.jp/pro/education/dental-student/dental-student.html>

連絡先

wakabayashi.rpyo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(メールにて面談の日程を調整すること) 歯科棟 11 階 部分床義歯補綴学分野教授室

時間割番号	021212					
科目名	口腔顔面痛					
担当教員	嶋田 昌彦, 山崎 陽子, 砂川 光宏, 西山 暁					
開講時期	前期	対象年次	5			
主な講義場所 第4講義室						
授業の目的、概要等 口腔顔面痛の概念を理解し、診断、治療法について理解する。						
授業の到達目標(SBOs) 1) 口腔顔面痛を分類できる。 2) 口腔顔面痛の発生機序を理解する。 3) 口腔顔面痛の診断基準を説明できる。 4) 有効な治療法を選択できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	7/10	12:50-13:40	歯学科第4講義室	口腔顔面痛(総論)	口腔顔面痛の概要を説明し、理解する。	嶋田 昌彦
2	7/10	13:50-14:40	歯学科第4講義室	「顎関節症」の痛み	顎関節症によって生じる痛みと、その痛みによるさまざまな影響について理解する。	西山 暁
3	7/10	14:50-15:40	歯学科第4講義室	神経障害性疼痛	神経障害性疼痛の発生機序、診断基準、治療法を理解する。	山崎 陽子
4	7/15	10:00-10:50	歯学科第4講義室	歯原性歯痛	歯の疾患が原因となる痛みの発生機構とその治療法を理解する。	砂川 光宏
5	7/15	11:00-11:50	歯学科第4講義室	非歯原性歯痛	非歯原性歯痛の分類と治療法について理解する。	嶋田 昌彦
6	7/17	12:50-13:40	歯学科第4講義室	筆記試験		嶋田 昌彦 山崎 陽子
成績評価の方法 ユニット最終日に筆記試験を行い、総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 侵害受容性疼痛の一般的な伝達経路(受容器から脳まで)を復習しておいて下さい。						
試験の受験資格 全授業時間数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。						
教科書 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック/日本口腔顔面痛学会 編:医歯薬出版, 2013 歯科麻酔学/福島和昭, 原田純, 嶋田昌彦, 一戸達也, 丹羽均 編,金子謙 監修:医歯薬出版, 2011 新編顎関節症/日本顎関節学会 編:永末書店, 2013						
参考書 神経障害性疼痛診療ガイドブック/小川節郎 編:南山堂, 2010 Jeffrey P. Okeson ; Bell's Oral and Facial Pain, 7th Ed. Quintessence Pub. Co. Chicago, 2014.						
連絡先 嶋田 昌彦:mshimada.ofpm@tmd.ac.jp 砂川 光宏:m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp 西山 暁:anishi.tmj@tmd.ac.jp 山崎 陽子:yamazaki-yo.ofpm@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 嶋田 昌彦:毎週水曜日 17:00~19:00 10号館5階疼痛制御学分野教授室(事前に連絡を入れること) 砂川 光宏:随時(必ず事前に連絡を入れること) 西山 暁:月曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室 火曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室 水曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室 木曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室 金曜日 17:00-20:00 歯科棟9階910室 山崎 陽子:月曜日~金曜日 17:00~18:00 10号館4階 疼痛制御学分野研究室						

時間割番号	021195				
科目名	臨床情報処理				
担当教員	佐々木 好幸				
開講時期	前期	対象年次	5	単位数	1
コマ数: 13(1)(+包括臨床実習内の3コマ)(必要自習時間数8時間) 授業形態: 演習 モジュール番号: 20					
主な講義場所					
各ユニットの講義場所を参照のこと					
授業の目的、概要等					
根拠に基づいた歯科医療を実践するために、情報を適切に処理・活用する能力を修得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
各ユニットの到達目標を参照のこと					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	7/17	10:00-10:50	歯学科第4講義室	試験	佐々木 好幸
成績評価の方法					
各ユニットの成績評価の方法を参照のこと					
準備学習などについての具体的な指示					
各ユニットの指示を参照のこと。					
試験の受験資格					
全ユニットの時間数合計の3分の2以上の出席を必要とする。					
構成ユニット					
01 EBM・EBD					
02 歯科医療情報システム					
03 歯科診療業務入門					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
sasaki.prev@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00					

時間割番号	021196				
科目名	根拠に基づく歯科医療				
担当教員	佐々木 好幸				
開講時期	前期	対象年次	5		
モジュール名:臨床情報処理					
コマ数:6+1/3(必要自習時間5時間)					
授業形態:演習					
ユニット番号:01					
授業の目的、概要等					
EBM(Evidence-based Medicine)の重要性を理解し、歯科医療に必要な情報を検索・収集・吟味し、歯科医療に応用する能力を修得する。					
授業の到達目標(SBOs)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) EBM の概念を説明できる。 2) 歯科治療に関する根拠を説明できる。 3) 根拠(Evidence)のレベルについて具体的に説明できる。 4) いくつかの症例における患者の問題を定式化できる。 5) 情報を自ら収集、分析して問題点を探し出すことができる。 6) 問題解決のための情報収集と絞込みができ、その評価の方法を説明できる。 7) 情報の批判的吟味ができる。 8) リスク比、オッズ比、感度、特異度、NNT を説明できる。 9) 統合された情報(二次情報)を解釈でき、いくつかの症例に適用できる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	7/1	12:50-15:40	歯学科第4講義室	根拠に基づく歯科医療 講義	佐々木 好幸
4-6	7/8	12:50-15:40	歯学科第4講義室	根拠に基づく歯科医療 演習	佐々木 好幸
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・筆記試験を行い、総括的評価を行う。 					
準備学習などについての具体的な指示					
2回目の演習までに指定の英文論文を解釈し、ワークシートにまとめること。					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 					
参考書					
Evidence-based medicine : EBM の実践と教育 / David L.Sackett [ほか]著.; エルゼビア・サイエンス, 2003					
EBM の道具箱 / カール・ヘネガン, ダグラス・バデノック 著; 齊尾武郎 監訳; 中山書店, 2007					
EBM 楽しい演習帳 / ポール・グラシュー, クリス・デルマー, ジャネット・ソールズベリー 著; 齊尾武郎 訳; 金芳堂, 2004					
・SE Straus, WS Richardson, P Glasziou, RB Haynes: Evidenced-based Medicine 3rd ED, Elsevier, 2005.					
履修上の注意事項					
1回目の演習に欠席した者は、速やかに担当教員に連絡すること。					
連絡先					
sasaki.prev@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00					

時間割番号	021197					
科目名	歯科医療情報システム					
担当教員	佐々木 好幸					
開講時期	前期	対象年次	5			
モジュール名:臨床情報処理						
コマ数:3+1/3(+包括臨床実習の3コマ)(必要自習時間1時間)						
授業形態:演習						
ユニット番号:02						
授業の目的、概要等						
歯科医療における情報の特性を理解し、歯科医療情報を適切に処理・活用する能力を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 医療情報の特性を説明できる。 2) 医療情報における歯科の特性を説明できる。 3) 診療録が具備すべき要件を説明できる。 4) POMR の概念を説明できる。 5) 患者情報からプロブレムを発見し、プロブレムリストを作成できる。 6) 医療情報をプロブレムごとに SOAP にまとめることができる。 7) 患者情報からの確な治療方針を立案し説明できる。 8) 歯学部附属病院医療情報システムを操作できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	7/9	12:50-15:40	歯学科第4講義室	歯科医療情報システム・POS	佐々木 好幸	本項目以外に、D6とのオーバーラップ時に、歯科医療情報システム操作実習を受講しなくてはならない。
4-6	10/29	09:00-11:50	歯科総合診療部医局	歯科医療情報システム操作実習	佐々木 好幸	4回のうち、決められた1回を受講する。
7-9	10/29	12:50-15:40	歯科総合診療部医局	歯科医療情報システム操作実習	佐々木 好幸	4回のうち、決められた1回を受講する。
10-12	10/30	09:00-11:50	歯科総合診療部医局	歯科医療情報システム操作実習	佐々木 好幸	4回のうち、決められた1回を受講する。
13-15	10/30	12:50-15:40	歯科総合診療部医局	歯科医療情報システム操作実習	佐々木 好幸	4回のうち、決められた1回を受講する。
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小テスト等を行い、形成的評価を行う。 ・筆記試験を行い、総括的評価を行う。 						
準備学習などについての具体的な指示						
シラバスを参照して、参考書のいずれかを予習しておくことが望ましい。誤った記載の情報が多いので、情報の信頼性に注意して予習すること。						
試験の受験資格						
<ul style="list-style-type: none"> ・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 						
参考書						
電子カルテってどんなもの?/電子カルテ研究会 編開原成允 [ほか]著:中山書店, 2002						
POS医療と医学教育の革新のための新しいシステム/日野原重明 著.:医学書院, 1993						

あすかちゃんの POS: ナースのための POS 入門 / 中木高夫 原作, キリ光乗 作画, : 照林社, 1993

POS をナースに / 中木高夫 著, : 医学書院, 1998

電子カルテ時代の POS: 患者指向の連携医療を推進するために / 日野原重明 監修, 渡辺直 著, : 医学書院, 2012

履修上の注意事項

このユニットは歯学科第 5 学年前期の 3 時間の講義・演習と、歯学科第 5 学年の包括臨床実習内の電子総合診療録操作実習の両方の出席を要する。

連絡先

sasaki.prev@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00

時間割番号	021198				
科目名	歯科診療文書				
担当教員	佐々木 好幸				
開講時期	前期	対象年次	5		
<p>モジュール名:臨床情報処理</p> <p>コマ数:3+1/3(必要自習時間2時間)</p> <p>授業形態:演習</p> <p>ユニット番号:03</p>					
授業の目的、概要等					
日本における歯科医療保険制度の概要を理解し、適切な診療を実施するための基本的業務を理解する。					
授業の到達目標(SBOs)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 保健、医療制度を説明できる。 2) 医療保険制度を説明できる。 3) 守秘義務、医療情報のセキュリティ管理の重要性を説明できる。 4) 個人情報の適切な保護について説明できる。 5) プライバシーと個人情報の違いを説明できる。 6) 医療情報の開示に関する注意点を説明できる。 7) 歯科医療における処方箋、依頼書、報告書、紹介状、照会状などの文書を記述できる。 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-3	7/13	12:50-15:40	歯学科第4講義室	診療文書・個人情報とプライバシー	佐々木 好幸
成績評価の方法					
・筆記試験を行い、総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
シラバスを参照して、参考図書や類似情報を予習しておくことが望ましい。					
試験の受験資格					
<ul style="list-style-type: none"> ・モジュール全体として、ユニット授業コマ数のうち、3分の2以上出席していなければならない。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。 					
参考書					
カルテ改ざん／石川寛俊 監修,医療情報の公開・開示を求める市民の会 編著,：さいろ社, 2004					
歯科医療過誤訴訟の課題と展望：新しい医療の指針を求めて／若松陽子 編,：世界思想社, 2005					
カルテ改ざん part2／石川寛俊 監修,医療情報の公開・開示を求める市民の会 編,：さいろ社, 2006					
カルテ改ざんはなぜ起きる：検証日本と海外／石川寛俊, カルテ改ざん問題研究会 著,：日本評論社, 2006					
連絡先					
sasaki.prev@tmd.ac.jp					
フィスアワー					
毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00					

時間割番号	021199				
科目名	包括臨床実習				
担当教員	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	5～6	単位数	43
授業の目的、概要等					
診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能は何であるのかを理解する。患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。					
準備学習などについての具体的な指示					
包括的臨床実習は、5年前期までに修得してきた全ての知識、態度、技能の集大成の場でもある。将来歯科医師になるためには、包括的臨床実習を円滑に進めるとともに有意義なものにしなければならない。そのためにも臨床実習の準備学習は必須である。詳細は各ユニットに具体的に示してある。					
構成ユニット					
01 包括臨床実習 Phase I					
02 頭頸部解剖（平成27年度5年次より開講）					
03 包括臨床実習 Phase II (A)					
04 包括臨床実習 Phase II (B)					
05 包括臨床実習 Phase III					
モジュールの単位判定					
モジュールの単位を取得するためには、当該モジュール内の全てのユニットに合格していなければならない。なお、ユニットの合格判定およびモジュールの単位判定に際しては、出席日数、提出レポート内容、及び平常学習態度等が評価に加味される。また、複数学年にまたがるモジュールについては、歯学カリキュラム単位取得及び進級判定基準総則に示す基準を併せて満たしていなければならない。					
連絡先					
荒木 孝二:karaki.gend@tmd.ac.jp					
小田 茂:oda.peri@tmd.ac.jp					
秀島 雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
荒木 孝二:月～金 16:30～18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)					
小田 茂:月～金 16:30～18:00					
秀島 雅之:水 17:00～18:00					

時間割番号	021200					
科目名	Phase I					
担当教員	荒木 孝二					
開講時期	後期	対象年次	5			
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-4	9/7	09:00-13:40	特別講堂	phase I オリエンテーション	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	
5-6	9/7	13:50-16:30	特別講堂	Phase I 臨床関連講義	砂川 光宏	
7-12	9/8	09:00-16:30	歯学科第4講義室	患者対応接遇セミナー	荒木 孝二	
13-18	9/14	09:00-16:30		各科実習		~10/23
19-21	10/26	09:00-11:50	病院演習室	オーバーラップ説明	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	
22-24	10/26	12:50-16:30	病院演習室	第一総合診療室関連講義	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	
25-30	10/27	09:00-16:30		オーバーラップ(D6と)		~11/4
準備学習などについての具体的な指示						
<p>必要自習時間45時間:各科実習は、包括臨床実習 Phase II への準備である。講義だけでなく、相互実習、治療見学・介助等、侵襲性の低い患者への歯科治療を行うので十分な予習が必要である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、基礎模型実習で習得した基本的な歯科技術練習をスキルスラボで復習することが望ましい。</p>						
連絡先						
k.karaki.gend@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
月～金 16:30-18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)						

時間割番号	021201					
科目名	Phase II (A)					
担当教員	荒木 孝二					
開講時期	後期	対象年次	5			
授業の目的、概要等						
患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者との信頼関係を築くことができる。 2) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 3) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 4) 患者に最も適した医療を説明できる。 5) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 6) 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 7) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 8) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 9) 医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 10) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 11) 的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。 12) インフォームドコンセントを行うことができる。 13) 処方と処方箋の書き方を説明できる。 14) 研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。 15) 基礎実習で習得した基本的治療技術を実施できる。 16) 自ら行った処置の予後について予測ができる。 17) 歯科診療上の偶発的な事態に適切に対処できる。 18) 歯科保健の維持・増進に適切な助言・援助ができる。 19) 症例報告の準備ができる。 20) 症例報告ができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-3	11/5	09:00-11:50	歯学科第4講義室	包括臨床実習 PhaseII オリエンテーション	荒木 孝二、小田 茂 秀島 雅之	
4-6	11/5	12:50-16:30	歯学科第4講義室	薬剤師関連講義	原澤 秀樹	
7-12	11/6	09:00-16:30	病院演習室	包括臨床実習 PhaseII オリエンテーション	荒木 孝二、小田 茂 秀島 雅之	
13-18	11/9	09:00-16:30	第1総合診療室	包括臨床実習 PhaseII オリエンテーション	荒木 孝二、小田 茂 秀島 雅之	
19-24	11/10	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		~12/18
25-30	1/6	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		~3/31
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオによる自己チェック(形成評価)。 ・エッセンシャルリクワイアメント達成度 ・平常点(包括臨床実習ライター、専門(特殊)診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録) 						
準備学習などについての具体的な指示						
必要自習時間70時間:ほぼ2日に1日の割合で患者治療を行うので、次に行う治療内容についての予習は必須である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、治療予定についての技術練習をスキルスラボで行うことが望ましい。						
試験の受験資格						
・5年後期の包括臨床実習 Phase II (A) の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ第6学年に進級できない。						
参考書						

1 からわかるコンポジットレジン修復 : レジンが簡単にとれないためのテクニック / 猪越重久 著, : クインテッセンス出版, 2012
歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice / 住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編, : クインテッセンス出版, 2013
・「失敗しない歯髄保存療法」 須田英明 他 クインテッセンス出版
・「歯科領域における偶発症の予防とその対策」 藤井彰(編) クインテッセンス出版
・「歯科におけるくすりの使い方 2007-2010」 佐々木次郎, 栗理十三雄(編) デンタルダイヤモンド社
・「チェアサイドにおける<アトラス>義歯修理の押さえどころ」 小林賢一 医歯薬出版
・「印象採得・精密印象を知る—適合のよい補綴物製作のために」 中村公雄, 西川 徹 他 クインテッセンス出版
・「クラウンブリッジの臨床」 Stephen F. Rosenstiel ほか著, 藤本順平共著・監訳 医歯薬出版
・「楽しく分かるクリニカルエンドントロジー」 小林千尋 医歯薬出版
・「若手歯科医のための臨床の技 50 保存修復」 安田 登 デンタルダイヤモンド社
・「猪越重久の MI 臨床—接着性コンポジットレジン充填修復」 猪越重久 デンタルダイヤモンド社

備考

- ・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 Phase II (A) の日程は別に定める
- ・エッセンシャルリクワイアメントの詳細は別に定める

連絡先

k.araki.gend@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月～金 16:30-18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)

時間割番号	021213				
科目名	頭頸部臨床解剖				
担当教員	柴田 俊一				
開講時期	後期	対象年次	5		
モジュール名: 包括臨床実習 (Phase 1) ユニット名: 頭頸部臨床解剖 ユニット番号: 01 開設時期: 5年 後期 コマ数(授業コマ数): 30+3(必要自習時間20時間) 授業形態: 講義・実習					
主な講義場所 第3講義室 解剖実習室					
授業の目的、概要等 歯科臨床における器官としての顎顔面領域の役割を理解するために、臨床症例を参考とした局所解剖学的構造と機能を人体解剖実習と連結させて統合的に修得する。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 咀嚼筋、表情筋の構成と機能を説明できる。 2) 舌と口蓋の形態学的特徴と機能を説明できる。 3) 唾液腺の形態学的特徴と機能を説明できる。 3) 頭頸部の脈管系を説明できる。 4) 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経の走向と分布および線維構成を説明できる。 5) 頭頸部の筋膜と筋間隙について説明できる。 6) 顔面神経麻痺に関連する解剖学的構造を説明できる。 7) 義歯設計筋圧形成に関連する筋を説明できる。 8) インプラント治療と関連する上下顎骨の形態学的特徴を説明できる。 9) 顎関節疾患と関連する顎関節の構造と機能を説明できる。 10) 嚥下に関連する咽頭喉頭の解剖学的構造を説明できる。 11) 発声に関連する喉頭の解剖学的構造を説明できる。 12) 国家試験出題範囲に含まれる構造物を確認する					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/9	09:00-09:50	歯学科第2講義室	顔面神経麻痺、耳下腺疾患	大山 巖雄
2	9/9	10:00-10:50	歯学科第2講義室	臨床解剖講義(表情筋?顔面神経?耳下腺)	秋田 恵一
3	9/9	11:00-11:50	歯学科第2講義室	実習課題説明	柴田 俊一
4-6	9/9	12:50-15:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 1(表情筋?耳下腺)	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美子, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
7	9/18	09:00-09:50	歯学科第3講義室	義歯設計と筋圧形成	水口 俊介
8	9/18	10:00-10:50	歯学科第3講義室	臨床解剖講義(咀嚼筋?口腔の諸器官)	秋田 恵一
9	9/18	11:00-11:50	歯学科第3講義室	実習課題説明	柴田 俊一
10-12	9/18	12:50-15:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 2(咀嚼筋?口腔)	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美子, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
13	10/2	09:00-09:50	歯学科第3講義室	インプラントの臨床	黒田 真司
14	10/2	10:00-10:50	歯学科第3講義室	臨床解剖講義(側頭下窩点上下顎骨)	秋田 恵一
15	10/2	11:00-11:50	歯学科第3講義室	実習課題説明	柴田 俊一
16-18	10/2	12:50-15:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 3(側頭下窩?下顎骨)	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美子, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
19	10/9	09:00-09:50	歯学科第3講義室	顎関節疾患の臨床	西山 暁

20	10/9	10:00-10:50	歯学科第3講義室	臨床解剖講義(顎関節の構造)	柴田 俊一
21	10/9	11:00-11:50	歯学科第3講義室	実習課題説明	柴田 俊一
22-24	10/9	12:50-15:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 4(顎関節)	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美子, 鹿野 俊一, 田巻 玉器
25	10/16	09:00-09:50	歯学科第3講義室	口腔ケアの臨床	戸原 玄
26	10/16	10:00-10:50	歯学科第3講義室	臨床解剖講義(咽頭?後頭)	柴田 俊一
27	10/16	11:00-11:50	歯学科第3講義室	実習課題説明	柴田 俊一
28-30	10/16	12:50-15:40	解剖学実習室	頭頸部解剖実習 5(咽頭?喉頭および上顎骨)	秋田 恵一, 柴田 俊一, 山口 久美子, 鹿野 俊一, 田巻 玉器

成績評価の方法

・解剖実習態度、口頭試問による形成的評価とともに、課題レポート提出による総括的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

- ・全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければならない。
- ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。

教科書

グレイ解剖学/Richard L.Drake, A.Wayne Vogl, Adam W.M.Mitchell 原著,塩田浩平, 瀬口春道, 大谷浩, 杉本哲夫 訳:エルゼビア・ジャパン, 2011

プロメテウス解剖学アトラス: 口腔・頭頸部/Eric W.Baker 著,坂井建雄, 天野修 監訳:医学書院, 2012

口腔解剖学/井出吉信, 前田健康, 天野修 編,脇田稔, 山下靖雄 監修:医歯薬出版, 2009

ネッター頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖学アトラス/Neil S. Norton 著,前田健康 監訳:医歯薬出版, 2012

「口腔解剖学 1-5」(ノ上條雍彦:アナトーム社)

履修上の注意事項

人体解剖実習用具ならびに実習着等が必要となる。(詳細については担当教員から指示ある予定)

連絡先

sshibata.mfa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(必ず事前に連絡の事)M&D タワー6F 南側 顎顔面解剖教授室

時間割番号	021566					
科目名	包括臨床実習 Phase II (B)					
担当教員	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之					
開講時期	通年	対象年次	6			
授業の目的、概要等						
患者本位の歯科医療を実践するために、必要な態度・知識・技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 患者との信頼関係を築くことができる。 2) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 3) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 4) 患者に最も適した医療を説明できる。 5) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 6) 説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 7) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 8) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 9) 医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 10) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 11) 的確な診察と検査から得られた所見を適切に診療録に記載できる。 12) インフォームドコンセントを行うことができる。 13) 処方と処方箋の書き方を説明できる。 14) 研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。 15) 基礎実習で習得した基本的治療技術を実施できる。 16) 自ら行った処置の予後について予測ができる。 17) 歯科診療上の偶発的な事態に適切に対処できる。 18) 歯科保健の維持・増進に適切な助言・援助ができる。 19) 症例報告の準備ができる。 20) 症例報告ができる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1-6	4/1	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		~7/17
7-12	8/17	09:00-16:30		包括臨床実習+各科実習		~11/6
13-18	10/26	09:00-16:30		オーバーラップ(D5 と)と包括臨床実習		~11/4
19-24	11/5	09:00-16:30		器具回収	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	
25-30	11/6	09:00-16:30		技工室大掃除	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・エッセンシャルリクワイヤメント達成度 ・臨床能力判定試験(終了時技能到達度確認試験+OSCE、症例発表) ・ポートフォリオの提出状況 ・平常点(包括臨床実習ライター、専門(特殊)診療外来実習担当指導者、看護師等からの観察記録) 						
準備学習などについての具体的な指示						
必要自習時間150時間: ほぼ2日に1日の割合で患者治療を行うので、次に行う治療内容についての予習は必須である。教科書・参考書などで知識の再確認をするだけでなく、治療予定についての技術練習をスキルスラボで行うことが望ましい。						
試験の受験資格						
・6年の包括臨床実習 Phase II (B)の全授業時間数のうち、4分の3以上出席していなければ臨床能力判定試験(終了時技能到達度確認試験+OSCE、症例発表)を受験することができない。						
参考書						

歯内療法のケースアセスメントと臨床：根管形態からみる・ストラテジーを選ぶ／興地隆史 著、：医歯薬出版、2013
歯周病学の迷信と真実：その論文の解釈は正しいか？／関野愉、小牧令二 著、：クインテッセンス出版、2012
垂直歯根破折歯を救え！：いざという時使いたいサイエンス&テクニク／二階堂徹 監修、菅谷勉、海老原新 執筆、：クインテッセンス出版、2013

- ・「失敗しない歯髄保存療法」須田英明 他 クインテッセンス出版
- ・「歯科領域における偶発症の予防とその対策」藤井彰(編) クインテッセンス出版
- ・「歯科におけるくすりの使い方 2007-2010」佐々木次郎、東理十三雄(編) デンタルダイヤモンド社
- ・「チェアサイドにおける<アトラス>義歯修理の押さえどころ」小林賢一 医歯薬出版
- ・「印象採得・精密印象を知る—適合のよい補綴物製作のために」中村公雄、西川 徹 他 クインテッセンス出版
- ・「クラウンブリッジの臨床」Stephen F. Rosenstiel ほか著、藤本順平共著・監訳 医歯薬出版
- ・「楽しく分かるクリニカルエンドドントロジー」小林千尋 医歯薬出版
- ・「若手歯科医のための臨床の技 50 保存修復」安田 登 デンタルダイヤモンド社
- ・「猪越重久の MI 臨床—接着性コンポジットレジン充填修復」猪越重久 デンタルダイヤモンド社

備考

- ・具体的な班分け、詳細な包括臨床実習 Phase II (B) の日程は別に定める
- ・エッセシャルリクワイヤメントの詳細は別に定める。
- ・臨床能力判定試験(終了時技能到達度確認試験+OSCE、症例発表)の実施方法、合格基準等は別に定める。

連絡先

荒木 孝二:karaki.gend@tmd.ac.jp
小田 茂:oda.peri@tmd.ac.jp
秀島 雅之:m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

荒木 孝二:月～金 16:30～18:00 1号館西5階教授室(必ず事前にメール連絡をすること)
小田 茂:月～金 16:30～18:00
秀島 雅之:水 17:00～18:00

時間割番号	021567					
科目名	包括臨床実習 PhaseⅢ					
担当教員	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之					
開講時期	後期	対象年次	6			
授業の目的、概要等						
卒後臨床研修の現場を体験するとともに、卒後臨床研修へ円滑に進めるために必要な態度・知識・技能を修得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
<ol style="list-style-type: none"> 1) 卒後臨床研修の意義を説明できる。 2) 卒後臨床研修の現場を体験する。 3) 診療の補助・介助が円滑にできる。 4) 症例報告に対して適切な質疑応答ができる。 5) 包括臨床実習 PhaseⅡ で習得した基本的治療技術を実施できる。 6) 個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 7) 患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 8) 患者に最も適した医療を説明できる。 9) 必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 10) 説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 11) 患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 12) 患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考
1	11/6	14:50-16:30	歯学科第4講義室	包括臨床実習 PhaseⅢ オリエンテーション	荒木 孝二, 小田 茂, 秀島 雅之	
2-7	2/8	09:00-16:30		包括臨床実習 PhaseⅢ		~3/11
成績評価の方法						
・詳細は PhaseⅢオリエンテーション時に示す。						
準備学習などについての具体的な指示						
必要自習時間20時間:既に PhaseⅡ 終了時まで、最低限の基本的な歯科治療内容の理解と実践は達成されているが、これだけでは卒後臨床研修を行うに当たり決して十分な準備が出来ているとは言えない。そこで PhaseⅡ で修得した知識・技術の再確認とさらなる向上を目指すために PhaseⅢを履修するのであるが、時間の許す限り、スキスルラボなどでの歯科技術の訓練を行うことが望ましい。						
試験の受験資格						
・ユニット試験は行わないが、6年の包括臨床実習 PhaseⅢで各診療科が提示するアドバンス選択実習科目(1コース3コマ)を選択し、10コース(30コマ)以上出席していなければユニット履修を認めない。						
参考書						
歯科臨床イヤーノート = Year note of dental practice / 住友雅人, 木下淳博, 沼部幸博, 松村英雄 編:クインテッセンス出版, 2013 1からわかるコンポジットレジン修復: レジンが簡単にとれないためのテクニック / 猪越重久 著.:クインテッセンス出版, 2012 ・「失敗しない歯髄保存療法」 須田英明 他 クインテッセンス出版 ・「歯科領域における偶発症の予防とその対策」 藤井彰(編) クインテッセンス出版 ・「歯科におけるくすりの使い方 2007-2010」 佐々木次郎、東理十三雄(編) デンタルダイヤモンド社 ・「チェアサイドにおける<アトラス>義歯修理の押さえどころ」 小林賢一 医歯薬出版 ・「印象採得・精密印象を知る—適合のよい補綴物製作のために」 中村公雄、西川 徹 他 クインテッセンス出版 ・「クラウンブリッジの臨床」 Stephen F. Rosenstiel ほか著、藤本順平共著・監訳 医歯薬出版 ・「楽しく分かるクリニカルエンドドントロジー」 小林千尋 医歯薬出版 ・「若手歯科医のための臨床の技 50 保存修復」 安田 登 デンタルダイヤモンド社 ・「猪越重久の MI 臨床—接着性コンポジットレジン充填修復」 猪越重久 デンタルダイヤモンド社						
備考						
・詳細な包括臨床実習 PhaseⅢの内容・実施日程は別に定める						
連絡先						

荒木 孝二:k.araki.gend@tmd.ac.jp

小田 茂:oda.peri@tmd.ac.jp

秀島 雅之:m.hideshowita.rpro@tmd.ac.jp

オフィスアワー

荒木 孝二:月～金 16:30～18:00 1号館西5階教室(必ず事前にメール連絡をすること)

小田 茂:月～金 16:30～18:00

秀島 雅之:水 17:00～18:00

時間割番号	021119				
科目名	デンタルエクスターンシップ(2015年度)				
担当教員	川口 陽子, 森尾 郁子				
開講時期	通年	対象年次	1~6	単位数	1
成績評価の方法					
○単位認定条件					
1)タイ拠点における海外研修プログラム					
(1) 語学能力(英語)					
語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の3つの中から、いずれかの基準をクリアすること。					
(2) 海外派遣英語準備コース(歯科英語)の履修					
語学検定における所定の点数を取得している学生も、事前の英語準備コースは必修とする。					
(3) 健康教育等に関する準備コースの履修					
(4) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修					
(5) 研修報告書の提出					
日本語および英語(詳細は別に定める)					
(6) 研修報告会における発表					
研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。					
(7) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)					
2) 学部学生海外研修奨励賞による研修プログラム					
(1) 語学能力(英語)					
語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の3つの中から、いずれかの基準をクリアすること。					
(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修					
(3) 研修報告書の提出					
日本語および英語(詳細は別に定める)					
(4) 研修報告会における発表					
研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。					
(5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)					
3) その他の海外研修プログラム(歯学科教育委員会が認めたもの)					
(1) 語学能力(英語)					
語学検定における所定の点数の取得(TOEFL(iBT) 79 以上、TOEIC 730 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の3つの中から、いずれかの基準をクリアすること。					
(2) 研修特別コースの履修					
研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める)					
(3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修					
(4) 研修報告書の提出					
日本語および英語(詳細は別に定める)					
(5) 研修報告会における発表					
研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。					
(6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)					
準備学習などについての具体的な指示					
モジュールの単位判定					
それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、歯学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					

単位の取扱いについては『歯学科専門科目「デンタルエクスターンシップ」に関する単位認定の取扱い』を参照のこと。

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1)タイ拠点海外研修プログラム(事前研修を含む。) 2)学部学生海外研修奨励賞(事前研修を含む。) 3)その他の海外研修プログラム(歯学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを修了した学生に対し、歯学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。

連絡先

川口 陽子:yoko.ohp@tmd.ac.jp

森尾 郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp

オフィスアワー

川口 陽子:火・水 16:00-18:00 歯科棟北 10 階 健康推進歯学分野教授室

森尾 郁子:毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7 階 教授室

医 齿 学 融 合 教 育
医 齿 学 基 盘 教 育

時間割番号	021043					
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅰ)					
担当教員	能登 洋, 水口 俊介					
開講時期	通年	対象年次		2		
主な講義場所						
3号館2階医学科講義室1 (4月25日(木)は、3号館3階医学科講義室2で実施)						
授業の目的、概要等						
医療・研究において必要とされる統計学の基礎と臨床的意義を学ぶ。基本的な概念や手法や臨床での活用を習得するほか統計学の思想や数学的原理の理解にも触れる。						
授業の到達目標(SBOs)						
エビデンスを正しく読解できる統計学的知識と臨床的技能を習得する						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	11:10-12:00	医学科講義室2	臨床統計Ⅰ-1	統計学と医療	能登 洋
2	5/14	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-2	統計学と医療	能登 洋
3	5/28	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-3	統計学と医療	能登 洋
4	6/4	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-3	統計学と医療	能登 洋
5	6/11	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-4	統計学と医療	能登 洋
6	6/18	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-5	統計学と医療	能登 洋
7	6/25	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-6	統計学と医療	能登 洋
8	7/23	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-7	応用演習	能登 洋
9	10/29	10:05-10:55	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-9	統計学と医療	徳永 伸一
10	10/29	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-10	統計学と医療	徳永 伸一
11	11/5	10:05-10:55	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-11	統計学と医療	徳永 伸一
12	11/5	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-12	統計学と医療	徳永 伸一
13	11/12	10:05-10:55	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-13	統計学と医療	徳永 伸一
14	11/12	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-14	統計学と医療	徳永 伸一
15	11/19	10:05-10:55	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-15	統計学と医療	徳永 伸一
16	11/19	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-16	統計学と医療	徳永 伸一
17	12/10	10:05-10:55	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-17	応用演習	徳永 伸一
18	12/10	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-18	統計学と医療	能登 洋
19	12/17	10:05-10:55	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-19	統計学と医療	能登 洋
20	12/17	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-20	統計学と医療	能登 洋
21	1/14	10:05-10:55	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-21	統計学と医療	能登 洋
22	1/14	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-22	統計学と医療	能登 洋
23	1/21	10:05-10:55	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-23	応用演習	能登 洋
24	1/21	11:10-12:00	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ-24	統計学と医療 総括	徳永 伸一
25	3/3	13:00-13:50	医学科講義室1	臨床統計Ⅰ	予備日(基本授業日数には含まれない)	能登 洋
授業方法						
講義・演習による						
授業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・EBM/EBD ・統計の種類と研究の種類 ・相関・検査特性・治療/予防に関する統計学の基礎と応用法 ・統計学の思想や数学的原理 						
成績評価の方法						
科目責任者が応用演習を主として判定する。						
成績評価の基準						

<p>科目責任者が応用演習中に行う試験を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 教科書および WebClass 上にアップロードされる資料等を活用して予習・復習に役立てること。</p>
<p>試験の受験資格 医学部・歯学部第 2 学年（履修上の注意事項参照）</p>
<p>教科書 臨床統計はじめの一步 Q&A：統計のイロハから論文の読み方、研究のつくり方まで／能登洋 著.：羊土社, 2008</p>
<p>参考書 EBM の正しい理解と実践 Q&A：一問一答で疑問解消, ケーススタディで即実践／能登洋 著.：羊土社, 2003 日常診療にすぐに使える臨床統計学：ベストな診断と治療ができる!／能登洋 著.：羊土社, 2011 2 週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION：すぐのできる EBM 実践法／能登洋 著.：南江堂, 2013 数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山館周恒, 熊坂一成 著.：医歯薬出版, 2005 やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著.：医歯薬出版, 2002 入門統計解析／松原望 著.：東京図書, 2007</p>
<p>他科目との関連 グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。</p>
<p>履修上の注意事項 ・予習課題や試験について事前連絡することがあるため、WebClass を受講前に確認すること 「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する。・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する。</p>
<p>備考 担当教員: 能登 洋, 徳永 伸一 成績評価法: 教員ごとに試験を行い、最終的に両者の成績を総合的に評価する</p>
<p>連絡先 水口 俊介 s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp 能登 洋 noto-ky@umin.net</p>
<p>オフィスアワー 水口 俊介 随時</p>

時間割番号	021044		
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーション I)		
担当教員	高田 和生, 森尾 郁子, Janelle Renee Moross		
開講時期	通年	対象年次	2

主な講義場所

Class A: 医学科講義室 1:3 号館 2 階

Class B: 共用セミナー室 5:M&D タワー15 階

Class C: 共用セミナー室 6:M&D タワー15 階

Class D: 共用セミナー室 1:M&D タワー24 階

Class E: 共用セミナー室 2:M&D タワー23 階

Class F: 共用セミナー室 4:M&D タワー22 階

Class G: 共用セミナー室 3:M&D タワー23 階

Class H: 大学院講義室 1:M&D タワー21 階 注目:(10/8 演習室 5-1, 5-2: 3 号館 5 階)

授業の目的、概要等

本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語の運用能力は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。そして、本学の基本理念達成には、単なる言語としての英語力だけではなく、それ以上に、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容をリンクさせることにより、双方に対するの更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。

授業の到達目標(SBOs)

- 1) 英語により医学情報(論文やデータベース)を読む能力、口頭または文書で情報発信を行い、議論する能力を持つ
- 2) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる
- 3) 世界共通言語による世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/16	11:10-12:00		Introduction/Critical Thinking/Group Dynamics	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
2	4/30	11:10-12:00		Health Supplements	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
3	5/21	11:10-12:00		Hand Washing/Gloves	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
4	7/16	11:10-12:00		Presentation Basics	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
5	10/1	10:05-10:55		Cadaver Presentation Group 5	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
6	10/1	11:10-12:00		Cadaver	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
7	10/8	10:05-10:55		Medical Tourism Presentation Group 2	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
8	10/8	11:10-12:00		Medical Tourism	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
9	11/26	10:05-10:55		In Vitro Fertilization (IVF) Presentation Group 1	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
10	11/26	11:10-12:00		In Vitro Fertilization (IVF)	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
11	12/3	10:05-10:55		Nosocomial Infections Presentation Group 6	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
12	12/3	11:10-12:00		Nosocomial Infections	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
13	1/28	10:05-10:55		Obesity Presentation Group 3	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
14	1/28	11:10-12:00		Obesity	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
15	2/4	10:05-10:55		Dental Health Presentation Group 4	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
16	2/4	11:10-12:00		Dental Health	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross

授業方法

1. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

2. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ／生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配備する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。

授業内容

詳細は別表のとおり

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。

- ・ Vocabulary quiz performance
- ・ Class participation (discussion/presentation/homework)
- ・ Optional essays

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。

- ・ Vocabulary quiz performance (30%)
- ・ Class participation (discussion/presentation/ homework) (70%)
- ・ Optional essays (bonus 10%)

準備学習などについての具体的な指示

指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくる。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには「欠席」が全セッションの 3 分の 1 未満(2015 年度は 5 回以下)であることを必要条件とする(十分条件ではない)。なお、本科目における出欠確認方法および出欠ルールを以下の通りとする。病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】

本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 WebClass に掲示する。出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】

- ・ 授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする
- ・ 授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に入室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする
- ・ 授業開始後 10 分経過時以降の入室(または授業終了時まで入室なし)、または、入室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする

教科書

最新医学用語演習：医学英語演習／岡田聚、名木田恵理子 著、南雲堂、1993

指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくる。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

参考書

最強のクリティカルシンキング・マップ：あなたに合った考え方を見つけよう：critical thinking map／道田泰司 著、日本経済新聞出版社、2012

クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする40の原則入門編／E. B. ゼックミスタ 著、宮元 博章 訳、北大路書房

クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする 40 の原則／Zechmeister, Eugene B., Johnson, James E., 宮元, 博章, 道田, 泰司, 谷口, 高士, 菊池, 聡、北大路書房、1996

履修上の注意事項

遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。

連絡先

高田 和生 takada.rheu@tmd.ac.jp

森尾 郁子:imorio.edev@tmd.ac.jp

Janelle Renee Moross:Janelle Renee Moross.jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高田 和生オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

森尾 郁子:毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7階 教授室

Janelle Renee Moross:Janelle Renee Moross: 毎週水曜日 PM 4:30-6:00 M&D タワー8階 教授室

時間割番号	021046		
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅰ)		
担当教員	吉田 雅幸, 水口 俊介		
開講時期	2年通年	対象年次	2

授業科目名英訳: Bioethics

授業の目的、概要等

なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、コトをおこなってしまうのか、あるいは、すべきコトに気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。

歯学生、医学生、歯科医師、医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステム的対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標(SB0s)

歯学生、医学生、歯科医師あるいは医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある歯科医師および医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	7/2	11:10-12:00	医学科講義室1	生命倫理Ⅰ-1	生命倫理総論(導入)	吉田 雅幸 水口 俊介
2	7/9	11:10-12:00	医学科講義室1	生命倫理Ⅰ-2	神経倫理的な医療倫理の考え方の勧め～ウサギを飼うとはどういうことか～	江花 有亮

授業方法

講義・グループワーク

自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。

担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙(50～60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(50～60%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(歯科医師および医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて少しインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の 3 分の 2 以上であること。(第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの全9回の講義のうち、6回以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までの全12回(予定)(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、8回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと)

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

参考書

生命倫理と法／樋口 範雄,土屋 裕子,岩田 太.:弘文堂, 2005

遺伝診療をとりまく社会 : その科学的・倫理的アプローチ／水谷修紀, 吉田雅幸 監修,吉田雅幸, 小笹由香 編.:ブレーン出版, 2007

医療の倫理ジレンマ : 解決への手引き : 患者の心を理解するために／バーナード・ロウ 著,北野喜良, 中澤英之, 小宮良輔 監訳.:西村書店, 2003

上記の文献については各自で読んでおくことが好ましい。

他の参考文献は講義のなかで随時紹介する。

② 吉田雅幸・小笹由香編『遺伝診療をとりまく社会—その科学的・倫理的アプローチ』(ブレーン出版、2007年)(絶版ですので必要な時は生命倫理研究センターで貸し出しますので申請して下さい)

③ バーバード・ロウ『医療の倫理ジレンマ—解決への手引き 患者の心を理解するために』(西村書店、2003年)(絶版ですが中古はわりと入手しやすいです)

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClass で行うので確認すること。「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要。歯科医師、医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野) (Eメールアドレス@tmd.ac.jpの前)

桑名 仁 生命倫理研究センター hkuwcie(2015/3/27まで)

2015/4/1以降の問い合わせ先は後日追記いたします。

参照ホームページ

各講義時に適宜指示

連絡先

吉田 雅幸 masa.vasc@tmd.ac.jp

水口 俊介 s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

オフィスアワー

吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

水口 俊介随時

時間割番号	021120					
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅱ)					
担当教員	能登 洋, 水口 俊介					
開講時期	通年	対象年次	3			
主な講義場所						
3号館3階講義室2						
授業の目的、概要等						
医療・研究において必要とされる統計学の臨床的意義と応用法を学ぶ						
授業の到達目標(SBOs)						
エビデンスを正しく読解・活用できる実践技能を習得する						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/24	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-1	EBM/EBD 実践	能登 洋
2	9/24	11:10-12:00	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-2	EBM/EBD 実践	能登 洋
3	10/1	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-3	EBM/EBD 実践	能登 洋
4	10/8	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-4	EBM/EBD 実践	能登 洋
5	10/15	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-5	EBM/EBD 実践	能登 洋
6	10/15	11:10-12:00	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-6	EBM/EBD 実践	能登 洋
7	10/22	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-7	EBM/EBD 実践	能登 洋
8	10/29	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-8	EBM/EBD 実践	能登 洋
9	11/5	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-9	EBM/EBD 実践	能登 洋
10	11/26	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-10	EBM/EBD 実践	能登 洋
11	12/3	10:05-10:55	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-11	応用演習	能登 洋
12	1/7	11:10-12:00	医学科講義室2	臨床統計Ⅱ-12	EBM/EBD 実践 総括	能登 洋
授業方法						
講義・演習による						
授業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・教育・研究と著作権・肖像権臨床実習と個人情報の保護 ・様々なネットワークサービスとセキュリティ ・相関・診断・治療/予防に関する EBM/EBD 						
成績評価の方法						
科目責任者が、応用演習を主として判定する。						
成績評価の基準						
科目責任者が、応用演習中に行う試験を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書を活用して予習・復習に役立てること。また、e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。						
試験の受験資格						
臨床統計Ⅰ単位取得済みであること。(履修上の注意事項参照)						
教科書						
臨床統計はじめの一歩 Q&A: 統計のイロハから論文の読み方、研究のつくり方まで/能登洋 著.; 羊土社, 2008						
参考書						
EBM の正しい理解と実践 Q&A: 一問一答で疑問解消、ケーススタディで即実践/能登洋 著.; 羊土社, 2003						
日常診療にすぐに使える臨床統計学: ベストな診断と治療ができる!/能登洋 著.; 羊土社, 2011						
2 週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION: すぐにできる EBM 実践法/能登洋 著.; 南江堂, 2013						
誰でも分かる著作権: 情報化・コンテンツ・教育関係者のために: この 1 冊で/岡本薫 著.; 全日本社会教育連合会, 2005						
他科目との関連						
グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。						
履修上の注意事項						

・予習課題や試験について事前連絡することがあるため、WebClass を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では到達度を測る目的で試験を実施する。 ・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する。

備考

担当教員:能登 洋水口 俊介

連絡先

水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

能登 洋:noto-ty@umin.net

オフィスアワー

水口 俊介:随時

時間割番号	021121				
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅡ)				
担当教員	高田 和生, 森尾 郁子, Janelle Renee Moross				
開講時期	通年	対象年次	3		
主な講義場所					
Class A: 医学科講義室 2:3 号館 3 階					
Class B: 共用セミナー室 5:M&D タワー15 階					
Class C: 共用セミナー室 6:M&D タワー15 階					
Class D: 共用セミナー室 1:M&D タワー24 階					
Class E: 共用セミナー室 4:M&D タワー22 階					
Class F: 共用セミナー室 2:M&D タワー23 階					
Class G: 共用セミナー室 11:M&D タワー6 階					
Class H: 共用セミナー室 12:M&D タワー6 階					
授業の目的、概要等					
<p>本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語の運用能力は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。そして、本学の基本理念達成には、単なる言語としての英語力だけではなく、それ以上に、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で議論を行うのに必要な「適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考」、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容をリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。</p>					
授業の到達目標(SBOs)					
<ol style="list-style-type: none"> 1) 英語により医学情報(論文やデータベース)を読む能力、口頭または文書で情報発信を行い、議論する能力を持つ 2) 適切な基準や根拠に基づく、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる 3) 世界共通言語による世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ 					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	4/9	09:00-09:50		Critical Thinking Workshop	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
2	4/9	10:05-10:55		Critical Thinking Workshop	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
3	4/9	11:10-12:00		Critical Thinking Workshop	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
4	5/21	09:00-09:50		Debate Basics - ORE practice	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
5	6/18	09:00-09:50		Man Dies of Toothache	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
6	6/25	09:00-09:50		(Man Dies of Toothache) Discussion/Debate - Pros & Cons Practice	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
7	7/2	09:00-09:50		Placebo Usage	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
8	7/9	09:00-09:50		(Placebo Usage) Discussion/Debate - Clearer Opinions with reasons	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
9	7/16	09:00-09:50		Electronic Cigarettes	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
10	7/23	09:00-09:50		(Electronic Cigarettes) Discussion/Debate - Evidence and Validity	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
11	9/17	09:00-09:50		Percutaneous Endogastric Tube (PEG)	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
12	9/24	09:00-09:50		(Percutaneous Endogastric Tube (PEG)) Discussion/Debate - Bias	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
13	10/1	09:00-09:50		IV Drips Quick Fix	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
14	10/8	09:00-09:50		(IV Drips Quick Fix) Discussion/Debate - Source Data	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross

15	10/15	09:00-09:50		Blood Transfusions & Religion	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
16	10/22	09:00-09:50		(Blood Transfusions & Religion) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
17	10/29	09:00-09:50		Baby Farming	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
18	11/5	09:00-09:50		(Baby Farming) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
19	11/12	09:00-09:50		Euthanasia Presentation Group 5	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
20	11/12	10:05-10:55		(Euthanasia) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
21	11/19	09:00-09:50		Influenza Vaccinations Presentation Group 2	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
22	11/19	10:05-10:55		(Influenza Vaccinations) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
23	11/26	09:00-09:50		Gender Identity Disorder	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
24	12/3	09:00-09:50		(Gender Identity Disorder) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
25	12/10	09:00-09:50		Prenatal Testing Presentation Group 1	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
26	12/10	10:05-10:55		(Prenatal Testing) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
27	12/17	09:00-09:50		Cosmetic Surgery Presentation Group 6	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
28	12/17	10:05-10:55		(Cosmetic Surgery) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
29	1/7	09:00-09:50		Volunteering Overseas Presentation Group 3	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
30	1/7	10:05-10:55		(Volunteering Overseas) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
31	1/14	09:00-09:50		Vaccinations Presentation Group 4	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
32	1/14	10:05-10:55		(Vaccinations) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
33	1/21	09:00-09:50		Fluoridation	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
34	1/28	09:00-09:50		(Fluoridation) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
35	2/4	09:00-09:50		Multitasking	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
36	2/18	09:00-09:50		(Multitasking) Discussion/Debate -	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross

授業方法

1. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

2. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ/生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配備する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。

授業内容

詳細は別表のとおり

成績評価の方法

最終成績は以下にもとづき判定される。

- ・ Vocabulary quiz performance
- ・ Class participation (discussion/presentation/homework)
- ・ Optional essays

成績評価の基準

最終成績は下記比重による。

- ・ Vocabulary quiz performance (30%)
- ・ Class participation (discussion/presentation/ homework) (70%)
- ・ Optional essays (bonus 10%)

準備学習などについての具体的な指示

指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくること。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

試験の受験資格

本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには「欠席」が全セッションの 3 分の 1 未満(2015 年度は 12 回以下)であることを必

要条件とする(十分条件ではない)。なお、本科目における出欠確認方法および出欠ルールを以下の通りとする。病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。

【出欠確認方法】

本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 WebClass に掲示する。出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。

【出欠ルール】

- ・ 授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする
- ・ 授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に来室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする
- ・ 授業開始後 10 分経過時以降の来室(または授業終了時まで来室なし)、または、来室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする

教科書

最新医学用語演習：医学英語演習／岡田聚 名木田恵理子 著、南雲堂、1993

指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくる。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。

参考書

最強のクリティカルシンキング・マップ：あなたに合った考え方を見つけよう：critical thinking map／道田泰司 著、日本経済新聞出版社、2012

クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする40の原則入門編／E. B. ゼックミスタ 著、宮元 博章 訳、北大路書房

クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする 40 の原則／Zechmeister, Eugene B., Johnson, James E. 宮元, 博章, 道田, 泰司, 谷口, 高土, 菊池, 聡、北大路書房、1996

履修上の注意事項

遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。

連絡先

高田 和生 takada.rheu@tmd.ac.jp

森尾 郁子 imorio.edev@tmd.ac.jp

Janelle Renee Moross: Janelle Renee Moross jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高田 和生 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

森尾 郁子: 毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7 階 教授室

Janelle Renee Moross: Janelle Renee Moross: 毎週水曜日 PM 4:30-6:00 M&D タワー8 階 教授室

時間割番号	021045		
科目名	医歯学基盤教育(生命倫理Ⅰ)		
担当教員	吉田 雅幸, 水口 俊介		
開講時期	2年通年	対象年次	3

授業科目名英訳: Bioethics

授業の目的、概要等

なぜ人は後で倫理的問題になるとは気付かずに、コトをおこなってしまうのか、あるいは、するべきコトに気付かず(あるいは気付いても)おこなわないままにしてしまうのか。

歯学生、医学生、歯科医師、医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第2学年においては、医療者としての視点および倫理観について導入と総論的事項について学習する。第3学年および第4学年において、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステム的対応について学習し、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標(SB0s)

歯学生、医学生、歯科医師あるいは医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。これまでに培った個別的文献型倫理学から発展させ、医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある歯科医師および医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/16	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-3	医療事故と法的問題	高瀬 浩造
2	4/23	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-4	保険診療・診療報酬と倫理的問題	藍 真澄
3	4/30	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-5	疫学研究デザイン・実際	神田 英一郎
4	5/7	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-6	臨床治験と倫理的問題	石井 秀人
5	5/14	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-7	医療経済を考える	井伊 雅子
6	5/28	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-8	歯科診療に関わる倫理的問題	水口 俊介
7	6/4	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-9	医科診療に潜む倫理的問題	石井 秀人
8	6/11	09:00-09:50	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-10	到達度評価甲	吉田 雅幸
9	9/17	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-11	輸血に関連した倫理的問題	梶原 道子
10	9/17	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-12	生殖医療と倫理、遺伝子検査に関わる倫理的問題	小笹 由香
11	1/21	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-13	終末期医療と倫理(終末期医療の制度)	伊藤 亜希
12	1/28	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-14	終末期医療と倫理(亜急性型の終末期、がん等)	三宅 智
13	2/4	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-15	終末期医療と倫理(慢性型の終末期)	阿部 庸子
14	2/18	10:05-10:55	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-16	宗教と倫理	小川 有閑
15	2/18	11:10-12:00	医学科講義室2	生命倫理Ⅰ-17	宗教と倫理	小川 有閑

授業方法

講義・グループワーク

自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。

担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙(50～60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(50～60%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する到達度評価甲・乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(歯科医師および医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。

準備学習などについての具体的な指示

あらかじめ講義のトピックスについて少しインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。

試験の受験資格

講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第3学年前期の到達度評価甲については、第2学年から第3学年前期の到達度評価甲前までの全9回の講義のうち、6回以上の出席であること。第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の到達度評価甲後から第4学年前期の到達度評価乙までの全12回(予定)(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、8回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと)

教科書

教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。

参考書

生命倫理と法／樋口 範雄・土屋 裕子・岩田 太.: 弘文堂, 2005

遺伝診療をとりまく社会 : その科学的・倫理的アプローチ／水谷修紀, 吉田雅幸 監修, 吉田雅幸, 小笹由香 編: プレイン出版, 2007

医療の倫理ジレンマ : 解決への手引き : 患者の心を理解するために／バーナード・ロウ 著, 北野喜良, 中澤英之, 小宮良輔 監訳: 西村書店, 2003

上記の文献については各自で読んでおくことが好ましい。

他の参考文献は講義のなかで随時紹介する。

② 吉田雅幸・小笹由香編『遺伝診療をとりまく社会—その科学的・倫理的アプローチ』(プレイン出版、2007年)(絶版ですので必要な時は生命倫理研究センターで貸し出しますので申請して下さい)

③ バーバード・ロウ『医療の倫理ジレンマ—解決への手引き 患者の心を理解するために』(西村書店、2003年)(絶版ですが中古はわりと入手しやすいです)

履修上の注意事項

授業責任者からの連絡は、WebClassで行うので確認すること。「到達度評価甲」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要。 歯科医師、医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員)

(教員名) (診療科・分野) (Eメールアドレス@tmd.ac.jpの前)

桑名 仁 生命倫理研究センター hkuwcie(2015/3/27まで)

2015/4/1以降の問い合わせ先は後日追記いたします。

参照ホームページ

各講義時に適宜指示

時間割番号	021165		
科目名	歯医学基盤教育(生命倫理Ⅱ)		
担当教員	吉田 雅幸, 水口 俊介		
開講時期	前期	対象年次	4

授業科目名英訳: Bioethics

授業の目的、概要等

なぜ人は目につくことを過大評価してしまうのか、あるいは、先々のことを考えるのが難しく、現状維持をしてしまうのか。
 歯学生、医学生、歯科医師、医師をはじめとした医療者には、医療を担うにふさわしい倫理感覚を持つことが期待される。医療現場では、倫理的問題に対して組織的に対処するシステムがある程度構築されており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は減っている。しかし、わが国の医療関連法は基本的には性善説で成り立っており、個人の資質による倫理的問題が生じる余地は大きく残されている。また、システム自体が暴走した場合には、最後の砦になるのは個人の倫理感覚のみである。したがって、生命倫理においてはシステムについて学ぶだけでなく、これまでに培った自らの個別的倫理感覚をシステムとの関係の中で、どのように生かすのか、あるいは抑えるのかを考察・構築する必要がある。

第4学年においては、医療および研究における具体的事例とともにその倫理的問題点とシステムの対応について学習し、病院実習・研究への参加などの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点とそれにふさわしい倫理的思考を構築する。

授業の到達目標(SBOs)

歯学生、医学生、歯科医師あるいは医師として求められる実践的倫理判断の養成を図る。病院実習・研究への参加などの際に医療チームの一員たるプロフェッショナルとして持つべき視点を構築する。すなわち、将来実際に経験することになる医療や研究の現場の具体的事例について、単に批評するだけでは済まされず、実際に判断し、指示を出し、さらにその責任を取らなければならない立場にある歯科医師および医師の持つべき倫理的思考過程について学習し、応用し自ら考えることでそれを構築・実践する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	10:05-10:55	医学科講義室1	生命倫理Ⅱ-1	カウンセリングロールプレイ(遺伝カウンセリングを例として)①	甲畑 宏子
2	4/23	11:10-12:00	医学科講義室1	生命倫理Ⅱ-2	カウンセリングロールプレイ(遺伝カウンセリングを例として)②	甲畑 宏子
3	5/7	11:10-12:00	特別講堂	生命倫理Ⅱ-3	研究倫理・研究者倫理(倫理違反の具体例もあげて)	桑名 仁
4	5/14	10:05-10:55	特別講堂	生命倫理Ⅱ-4	脳死判定と臓器移植	坂下 千瑞子
5	5/14	11:10-12:00	特別講堂	生命倫理Ⅱ-5	救命救急トリアージと倫理的問題	大友 康裕
6	5/21	09:00-09:50	特別講堂	生命倫理Ⅱ-6	到達度評価乙	江花 有亮
7	5/21	10:05-10:55	特別講堂	生命倫理Ⅱ-7	研究倫理ワークショップ①	吉田 雅幸
8	5/21	11:10-12:00	特別講堂	生命倫理Ⅱ-8	研究倫理ワークショップ②	吉田 雅幸

授業方法

講義・グループワーク

自分が実際に考えることが重要であるため、グループワーク、討論、発表といった、単なる座学ではなく、参加型の講義形式も予定している。諸君の積極的な参加を期待している。

授業内容

詳細は別授業日程表のとおり

臨床の課題はより現実的に考えることが重要であるため、できる限り当該臨床科目の履修時期にあわせて講義予定を組んでいる。
 担当講師は、医療のさまざまな領域で活動する専門医、専門職の講師をはじめとして、医療以外の分野で活動している実務者にもそれぞれの立場からみた医療や研究について、すなわち他職種や医療者以外の倫理観を含めて問題提起あるいは情報提供を得て、医療者・研究者の倫理について実践的な講義を展開する。

成績評価の方法

講義への出席を単位取得の必要条件とし、第3学年の成績も含めて考慮し、第3学年前期の応用演習および第4学年前期の到達度評価乙(50~60%)、適宜実施する小テストおよび小レポート、プレゼンテーションおよびディスカッションへの参加、素行等(50~60%)をもとにあわせて総合的に評価する。

成績評価の基準

第3学年前期と第4学年前期の2回実施する応用演習・到達度評価乙の点数、適宜実施する小テストおよび小レポートの点数(歯科医師および医師の持つべき視点と倫理的思考過程について習得し、応用し自ら考えることができているかどうか)、プレゼンテーションお

<p>よびディスカッションへの参加の教員評価(積極的に参加しているか、適切な関与をおこなっているか)等を合計し、60点未満を不合格とする。尚、反プロフェッショナル行為(不正なコピー、試験の不正、出席の不正)がみられた場合は成績に関わらず不合格とする。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>あらかじめ講義のトピックスについて少しインターネット等で調べて、そのトピックスに関連する倫理的問題に対して自分なりの見解をもって講義に臨むことが好ましい。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>講義への出席が、講義時間数の3分の2以上であること。(第4学年前期の到達度評価乙については、第3学年前期の応用演習後から第4学年前期の到達度評価乙までの全12回(昨年度予定していたよりも1回減りましたのでご注意ください)(同一日の連続する時限についてはそれぞれ1時限で1回とみなす)のうち、8回以上の出席であること。各回の講義についての出席の要件は、下記の履修上の注意を参照のこと)</p>
<p>教科書</p> <p>教科書は使用せず、レジュメ・資料等をそのつど配布する。</p>
<p>参考書</p> <p>生命倫理と法／樋口 範雄・土屋 裕子・岩田 太：弘文堂、2005 遺伝診療をとりまく社会：その科学的・倫理的アプローチ／水谷修紀、吉田雅幸 監修・吉田雅幸、小笹由香 編：ブレーン出版、2007 医療の倫理ジレンマ：解決への手引き：患者の心を理解するために／バーナード・ロウ 著、北野喜良、中澤英之、小宮良輔 監訳：西村書店、2003</p> <p>上記に挙げる文献については各自で読んでおくことが好ましい。 他の参考文献は講義のなかで随時紹介する。</p> <p>②吉田雅幸・小笹由香編『遺伝診療をとりまく社会—その科学的・倫理的アプローチ』(ブレーン出版、2007年)(絶版ですので必要な時は生命倫理研究センターで貸し出しますので申請して下さい)</p> <p>③バーナード・ロウ『医療の倫理ジレンマ—解決への手引き 患者の心を理解するために』(西村書店、2003年)(絶版ですが中古はわりと入手しやすいです)</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>授業責任者からの連絡は、WebClassで行うので確認すること。「応用演習」「到達度評価乙」の回では、到達度を測る。定期試験は実施しないが、進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要。歯科医師、医師といった医療者に期待される倫理観を培うために、それぞれの講義時に自ら系統的に考えることが最も重要である。各回の講義について遅刻、早退は系統的に問題に対処する趣旨に反するため、原則的に認めない。また、出席等の手続きについての不正に対しては、医療者に期待される倫理観から著しく外れることから、厳正に対処する。</p>
<p>備考</p> <p>○問い合わせ先(講義担当教員) (教員名)(診療科・分野)(Eメールアドレス@tmd.ac.jpの前) 桑名 仁 生命倫理研究センター hkuwcie(2015/3/27まで) 2015/4/1以降の問い合わせ先は後日追記いたします。</p>
<p>参照ホームページ</p> <p>各講義時に適宜指示</p>
<p>連絡先</p> <p>吉田 雅幸: masa.vasc@tmd.ac.jp 水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>吉田 雅幸: オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。 水口 俊介: 随時</p>

時間割番号	021166					
科目名	医歯学基盤教育(臨床統計Ⅲ)					
担当教員	能登 洋, 水口 俊介					
開講時期	前期	対象年次	4			
主な講義場所 歯科棟南4階 歯学部特別講堂						
授業の目的、概要等 臨床統計Ⅰ・Ⅱで学習した統計学の臨床的意義と応用法をもとに実臨床につながる発展学習を行う。診療ガイドラインや臨床研究の創り方にも触れる。問題解決において必須となる情報収集を適切に効果的に行う能力を習得するほか、著作権や情報の扱いにも触れる。						
授業の到達目標(SB0s) エビデンスを正しく読解し、実臨床に活用できる能力を習得する						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	10:05-10:55	特別講堂	臨床統計Ⅲ-1	EBM/EBD 発展	能登 洋
2	4/9	11:10-12:00	特別講堂	臨床統計Ⅲ-2	EBM/EBD 発展	能登 洋
3	4/16	10:05-10:55	特別講堂	臨床統計Ⅲ-3	EBM/EBD 発展	能登 洋
4	4/16	11:10-12:00	特別講堂	臨床統計Ⅲ-4	EBM/EBD 発展	能登 洋
5	4/30	10:05-10:55	特別講堂	臨床統計Ⅲ-5	EBM/EBD 発展	能登 洋
6	4/30	11:10-12:00	特別講堂	臨床統計Ⅲ-6	応用演習	能登 洋
授業方法 講義・演習による						
授業内容 ・検診 ・診療ガイドライン ・人口統計 ・臨床研究の創り方 ・EBM/EBD の実践						
成績評価の方法 科目責任者が、応用演習を主として判定する。						
成績評価の基準 科目責任者が、応用演習中に行う試験を主として判定する。追試・再試については原則として東京医科歯科大学試験規則に従う。						
準備学習などについての具体的な指示 教科書を活用して予習・復習に役立てること。また、e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。						
試験の受験資格 臨床統計Ⅰ・Ⅱ単位取得済みであること。(履修上の注意事項参照)						
教科書 臨床統計はじめの一步 Q&A: 統計のイロハから論文の読み方、研究のつくり方まで / 能登洋 著, : 羊土社, 2008						
参考書 EBM の正しい理解と実践 Q&A: 一問一答で疑問解消, ケーススタディで即実践 / 能登洋 著, : 羊土社, 2003 日常診療にすぐに使える臨床統計学: ベストな診断と治療ができる! / 能登洋 著, : 羊土社, 2011 2 週間でマスターするエビデンスの読み方使い方のキホン = 2 WEEKS TO MASTER THE BASICS OF EVIDENCE APPRAISAL AND APPLICATION: すぐにできる EBM 実践法 / 能登洋 著, : 南江堂, 2013						
他科目との関連 グローバルコミュニケーション・生命倫理と相互関連した講義内容である。						
履修上の注意事項 ・予習課題や試験について事前連絡することがあるため、WebClass を受講前に確認すること ・「応用演習」の回では、到達度を測る目的で試験を実施する。 ・進級のためには全授業回数(2限連続は2回)の2/3以上の出席が必要 ・各講義の遅刻・早退は原則的に認めない。また、出席手続きなどの不正に対しては厳正に対処する。						
備考						

担当教員:能登 洋

連絡先

水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

能登 洋:note-ty@umin.net

オフィスアワー

水口 俊介:随時

時間割番号	021167		
科目名	医歯学基盤教育(グローバル・コミュニケーションⅢ)		
担当教員	高田 和生, 森尾 郁子, Janelle Renee Moross		
開講時期	前期	対象年次	4

主な講義場所

Class A: 演習室 5:1 号館西 6 階
Class B: 演習室 6:1 号館西 6 階
Class C: 演習室 7:1 号館西 6 階
Class D: 演習室 8:1 号館西 6 階
Class E: 演習室 9:1 号館西 6 階
Class F: 演習室 10:1 号館西 6 階
Class G: 演習室 11:1 号館西 6 階
Class H: 演習室 1-2:1 号館西 6 階
Class I: 演習室 3-4:1 号館西 6 階
Class J: 第 1 ゼミナール室:1 号館東 7 階
Class K: 第 4 ゼミナール室:7 号館 6 階、注目:(5 月 7 日は第 3 ゼミナール室:1 号館東 6 階になります。)
Class L: 第 2 ゼミナール室:1 号館東 7 階、注目:(4 月 9 日と 16 日は病院演習室、歯学部附属病院 4 階になります。)

授業の目的、概要等

本学は、基本理念の一つに「国際性と指導力を備えた人材の育成」を掲げている。グローバル化が進む昨今、世界の共通言語である英語の運用能力は、医学・歯学研究の最先端におけるコミュニケーションおよび情報発信ツールにとどまらず、国家・地域レベルでの健康向上のために医療をリードし、そして世界標準に沿った質の高い医療・歯科医療を提供するための情報収集・意見交換ツールとして、必要不可欠である。そして、本学の基本理念達成には、単なる言語としての英語力だけではなく、それ以上に、世界規模で注目されている医療・健康問題に精通し、論理的な思考のもとに意見を持ち、国際舞台で議論を行うのに必要な適切な基準や根拠に基づき、論理的で、偏りのない思考、いわゆる「クリティカルシンキング」ができなくてはならない。そこで、本科目においては、到達目標を以下のように設定する。そして、並行して進む医歯学専門教育、生命倫理教育、臨床統計教育と本科目での学習内容をリンクさせることにより、双方に対しての更なる学習動機づけおよび学習効果向上を図り、21 世紀の医療を担い、リードする医師、歯科医師に共通して必要とされる基盤資質の修得のための学習機会を提供する。

授業の到達目標(SBOs)

- 1) 英語により医学情報(論文やデータベース)を読む能力、口頭または文書で情報発信を行い、議論する能力を持つ
- 2) 適切な基準や根拠に基づき、論理的で、偏りのない思考(クリティカルシンキング)ができる
- 3) 世界共通言語による世界の医療・健康事情の把握とそれによる広い視野を持つ

授業計画

回	日付	時刻	授業内容	担当教員
1	4/9	09:00-09:50	Telomeres	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
2	4/16	09:00-09:50	(Telomeres) Present information you found and discuss in your group	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
3	4/23	09:00-09:50	Stem Cells and Teeth	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
4	4/30	09:00-09:50	(Stem Cells and Teeth) Present information you found and discuss in your group	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
5	5/7	09:00-09:50	Vinegar Test for Cervical Cancer	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
6	5/7	10:05-10:55	(Vinegar Test for Cervical Cancer) Present information you found and discuss in your group	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross
7	5/14	09:00-09:50	TED Talks Doctors Make Mistakes	森尾 郁子, 高田 和生, Janelle Renee Moross

授業方法

1. 医学関連英語語彙・フレーズの習得

医歯学専門知識習得ステージに合わせたスケジュールを組み、発音も重視した学習を行う。毎回あらかじめ学習内容を指定し、授業において Vocabulary quiz という形で学習度の確認を行う。

2. Small group discussion

医歯学専門知識修得ステージ/生命倫理および臨床統計学習内容に合わせたトピック・論点を選定し、2 から 4 人ずつの小グループにて議論を行う。毎回 Native level speaker(s)を講師兼 Moderator/facilitator として配備する。議論のプロダクトを、文書または口頭にて

発表する機会も用意する。クリティカルシンキングのための導入および振り返り機会を適宜用意する。
授業内容 詳細は別表のとおり
成績評価の方法 最終成績は以下にもとづき判定される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Class participation (discussion/presentation/homework) ・ Optional essays
成績評価の基準 最終成績は下記比重による。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Class participation (discussion/presentation/ homework) (100%) ・ Optional essays (bonus 10%)
準備学習などについての具体的な指示 指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくる。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。
試験の受験資格 本科目においては最終試験は行わないが、進級のためには「欠席」が全セッションの 3 分の 1 未満(2015 年度は 2 回以下)であることを必要条件とする(十分条件ではない)。なお、本科目における出欠確認方法および出欠ルールを以下の通りとする。病気等による欠席は、診断書が提出されたとしても欠席として扱われる。 <p>【出欠確認方法】</p> 本科目ではカードリーダーによる出欠管理は行わず、授業を通して担当講師が出欠を確認する。出欠状況は毎セッション終了後にデータ整理後 WebClass に掲示する。出欠状況について授業責任者側から個別に連絡・注意することはしないため、各自で確認し適切に行動すること。確固たる証拠にもとづく事実相違がある場合は、授業責任者に相談すること。 <p>【出欠ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業開始時より授業終了時まで在室した場合を「出席」とする ・ 授業開始時に在室していなかったが授業開始後 10 分以内に入室し、授業終了時まで在室した場合を「遅刻」とし、「遅刻」3 回を「欠席」1 回とカウントする ・ 授業開始後 10 分経過時以降の入室(または授業終了時まで入室なし)、または、入室時間に限らず授業終了の前に退室した場合は、「欠席」とする
教科書 最新医学用語演習：医学英語演習／岡田聚、名木田恵理子 著、南雲堂、1993 指示に従い Vocabulary quiz のための学習およびグループ議論、ディベート、口頭プレゼンテーションの準備をしてくる。その際、科目担当者からの指示(文書・口頭)に従うと共に、指定される資料だけでなく、インターネットなどを用いて議論を深めるために役立つ他資料や情報を主体的に収集し、準備に努めること。
参考書 最強のクリティカルシンキング・マップ：あなたに合った考え方をを見つけよう：critical thinking map／道田泰司 著、日本経済新聞出版社、2012 クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする40の原則入門編／E. B. ゼックミスタ 著、宮元 博章 訳、北大路書房 クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする 40 の原則／Zechmeister, Eugene B., Johnson, James E., 宮元, 博章, 道田, 泰司, 谷口, 高土, 菊池, 聡、北大路書房, 1996
履修上の注意事項 遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。
連絡先 高田 和生 takada.rheu@tmd.ac.jp 森尾 郁子 imorio.edev@tmd.ac.jp Janelle Renee Moross: Janelle Renee Moross jmoross.isc@tmd.ac.jp
オフィスアワー 高田 和生 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。 森尾 郁子 毎週木曜日 PM 4:30- PM 7:00 M&D タワー7 階 教授室 Janelle Renee Moross: Janelle Renee Moross: 毎週水曜日 PM 4:30-6:00 M&D タワー8 階 教授室

時間割番号	021047					
科目名	頭頸部基礎					
担当教員	井関 祥子, 秋田 恵一					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	4	
英文名: Head and Neck Basic Medical Sciences						
主な講義場所						
3号館2階 医学科講義室1						
実習は3号館地下1階、4階、歯学科講義室1などで行うので、時間割表を確認すること。						
授業の目的、概要等						
<p>高齢化社会となり、疾病の多様性が認められる日本の医療現場では、口腔内疾患、身体的疾患を総合的に治療する必要がある。そのため、歯学を理解した医師、医学を理解した歯科医師の養成は、社会が求めるものである。医療系総合大学である本学が先進的な医歯学融合教育を実践することで、医科・歯科両学科の学生が将来の基盤となる頭頸部に関する基礎的な知識をともに学び、共有することは肝要である。</p> <p>2年次に行われる本ブロックにおいては、頭頸部領域に関する組織学、解剖学、生理学、発生学の講義・実習の多くを医歯共通授業として行う。本ブロックが基礎・専門科目領域における医歯相互の関連を確認する機会となることで、3年次以降の医歯学融合教育の礎となることを目標とする。</p>						
授業の到達目標(SBOs)						
頭頸部領域の構造と機能を理解する。具体的な項目については授業内容の項を参照すること。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	備考
1	6/22	09:00-10:20	医学科講義室1	脳神経概論1	秋田 恵一	
2	6/22	10:30-11:50	医学科講義室1	脳神経概論2	原田 理代	
3	6/22	12:50-14:10	医学科講義室1, 保存矯正実習室	単語テスト(保存矯正実習室)	秋田 恵一	
4	6/22	14:20-17:10	医学科講義室1, 保存矯正実習室	mini-PBL(講義室1)	秋田 恵一	
5	6/23	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学(顔面皮下・浅層)	柴田 俊一	
6	6/23	14:20-17:10	解剖学実習室 医 学科講義室1	人体解剖学(顔面皮下・浅層)	秋田 恵一, 柴田 俊一, 二村 昭元, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 田巻 玉器, 原田 理代, 鹿野 俊一, 那須 久代	
7	6/24	09:00-10:20	医学科講義室1	感覚器の生理1 体性感覚・嗅覚・味覚	泰羅 雅登	
8	6/24	10:30-11:50	医学科講義室1	運動器の生理	泰羅 雅登	
9	6/24	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 咀嚼筋(浅層)・顔面(中層)・側頭下窩	柴田 俊一	
10	6/24	14:20-17:10	解剖学実習室 医 学科講義室1	人体解剖学 咀嚼筋(浅層)・顔面(中層)・側頭下窩	秋田 恵一, 柴田 俊一, 二村 昭元, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 田巻 玉器, 原田 理代, 鹿野 俊一, 那須 久代	
11	6/25	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 顔面(深層)・舌	柴田 俊一	
12	6/25	14:20-17:10	解剖学実習室 医 学科講義室1	人体解剖学 顔面(深層)・舌	秋田 恵一, 柴田 俊一, 二村 昭元, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 田巻 玉器, 原田 理代, 鹿野 俊一, 那須 久代	
13	6/26	09:00-10:20	医学科講義室1	歯の総論1	柴田 俊一	
14	6/26	10:30-11:50	医学科講義室1	歯の総論2	柴田 俊一	
15-16	6/26	12:50-17:10	医学科講義室1, 解剖学実習室	組織学(口腔)	田畑 純	講義終了は 15:40を予定
17	6/29	09:00-10:20	医学科講義室1	分子発生生物学1	井関 祥子	
18	6/29	10:30-11:50	医学科講義室1	分子発生生物学2	井関 祥子	
19	6/29	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 眼窩・眼球	秋田 恵一	

20	6/29	14:20-17:10	解剖学実習室	人体解剖学 眼窩・眼球	秋田 恵一, 柴田 俊一, 二村 昭元, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 田巻 玉器, 原田 理代, 鹿野 俊一, 那須 久代
21	6/30	12:50-14:10	歯学科第1講義室	組織学(眼)	田畑 純
22	6/30	14:20-17:10	歯学科第1講義室	組織学(眼)	田畑 純
23	7/1	09:00-10:20	医学科講義室1	感覚器の生理2 視覚	泰羅 雅登
24	7/1	10:30-11:50	医学科講義室1	頭頸部の臨床1 眼科学の臨床	大野 京子
25-26	7/1	12:50-17:10	医学科講義室1, 保存矯正実習室	単語テスト(保存矯正実習室)・mini-PBL(講義室1)	秋田 恵一
27	7/2	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 外耳・中耳・内耳	秋田 恵一
28	7/2	14:20-17:10	解剖学実習室 医学科講義室1	人体解剖学 外耳・中耳・内耳	秋田 恵一, 柴田 俊一, 二村 昭元, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 田巻 玉器, 原田 理代, 鹿野 俊一, 那須 久代
29	7/3	09:00-10:20	医学科講義室1	感覚器の生理3 平衡覚	杉内 友理子
30	7/3	10:30-11:50	医学科講義室1	頭頸部の臨床2 耳科学の臨床	角田 篤信
31	7/3	12:50-15:40	歯学科第1講義室	組織学(耳)	田畑 純
32	7/3	15:50-17:10	歯学科第1講義室	組織学(耳)	田畑 純
33	7/6	09:00-10:20	医学科講義室1	感覚器の生理4 聴覚	杉原 泉
34	7/6	10:30-11:50	医学科講義室1	頭頸部の臨床3 咽頭・喉頭の臨床	杉本 太郎
35-36	7/6	12:50-17:10	医学科講義室1, 保存矯正実習室	単語テスト(保存矯正実習室)・mini-PBL(講義室1)	秋田 恵一
37	7/7	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 鼻腔・副鼻腔・口蓋	秋田 恵一
38	7/7	14:20-17:10	解剖学実習室	人体解剖学 鼻腔・副鼻腔・口蓋	秋田 恵一, 柴田 俊一, 二村 昭元, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 田巻 玉器, 原田 理代, 鹿野 俊一, 那須 久代
39	7/8	09:00-10:20	医学科講義室1	分子発生生物学3	井関 祥子
40	7/8	10:30-11:50	医学科講義室1	頭頸部の臨床4 頭頸部外科の臨床	杉本 太郎
41	7/8	12:50-14:10	医学科講義室1	人体解剖学 咽頭(外側)・咽頭・喉頭	秋田 恵一
42	7/8	14:20-17:10	解剖学実習室	人体解剖学 咽頭(外側)・咽頭・喉頭	秋田 恵一, 柴田 俊一, 二村 昭元, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 田巻 玉器, 原田 理代, 鹿野 俊一, 那須 久代
43-44	7/9	12:50-17:10	医学科講義室1	mini-PBL	秋田 恵一
45-46	7/10	09:00-11:50	医学科講義室1	試験(TBL形式)	秋田 恵一, 井関 祥子, 山口 久美子
47	7/10	12:50-14:10	医学科講義室1	試験(記述形式)	秋田 恵一, 井関 祥子
48	7/10	14:20-17:10	解剖学実習室	解剖(まとめと納棺)	秋田 恵一, 柴田 俊一, 二村 昭元, 山口 久美子, 坂本 裕次郎, 田巻 玉器, 原田 理代, 鹿野 俊一, 那須 久代

授業方法

講義・実習(解剖学・組織学)

授業内容

以下を目標とした授業内容である。

- ①骨格・軟骨・関節・靭帯・筋 を理解する。
- ②脳神経と主要な血管・リンパ管走行 を理解する。
- ③口腔内構造:顎骨および歯, 舌, 口蓋, 唾液腺 を理解する。
- ④頭頸部における内分泌腺の位置を理解し、分泌されるホルモンを列挙できる。
- ⑤視覚, 聴覚, 平衡覚, 体性感覚, (嗅覚, 味覚)の感覚刺激受容の概要を理解する。

<p>⑥(平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。)</p> <p>⑦眼球と付属器の構造と機能、眼球運動を理解する。</p> <p>⑧(対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。)</p> <p>⑨外耳・中耳・内耳の構造を理解する。</p> <p>⑩口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造と神経支配を理解する。</p> <p>⑪咀嚼と嚥下を理解する。</p> <p>⑫鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を理解する。</p> <p>⑬神経系・感覚器の形成過程を理解する。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>実習中の個人課題、グループ課題、および、最終日に行われる個人およびグループに対する筆記試験で評価を行う。期間中に行われる解剖学用語テストは、各学科の人体解剖学の成績の一部となる。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>課題・TBLの成績の合計が6割を超えている場合を合格とする。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の前には授業内容を確認し、該当範囲の教科書を読んで参加すること。 <p>各学科の関連講義(人体発生学、人体解剖学、組織学、生理学導入等)の内容は知っていることを前提として講義を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の前には手順に目を通し、予習してくること。 <p>解剖学用語試験について解答できるように、十分に自習すること。また、実習に臨むにあたり、必要に応じて参考資料、補助教材を用い実習手順により予習をおこなうこと。予習が不完全であるとそれだけ実習に時間がかかり遅くなるという悪循環になる。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>講義開始時の学生証による出席確認で2/3以上出席していること、実習開始時に3/4以上出席していること。下記「履修上の注意」に記される理由により実習の遅刻は欠席とみなす。</p>
<p>教科書</p> <p>口腔組織・発生学／脇田稔、前田健康、山下靖雄、明坂年隆 編：医歯薬出版、2006</p> <p>口腔組織・発生学：カラーエッセンシャル／ジェイムズ・K.エイヴリー 著、高野吉郎 監訳、佐々木崇寿、矢嶋俊彦、入江一元 訳：西村書店、2002</p> <p>歯の解剖学／藤田恒太郎 原著：金原出版、1996</p> <p>標準生理学 第8版：医学書院、2014</p> <p>基礎歯科生理学／森本 俊文（編集）、二ノ宮 裕三（編集）、岩田 幸一（編集）、山田 好秋（編集）：医歯薬出版、2014</p> <p>教科書6 ISBN 4895926508</p> <p>書名 ラングマン人体発生学</p> <p>著者名 T.W.サドラー 著、安田峯生 訳、出版社 メディカル・サイエンス・インターナショナル 出版年 2010</p> <p>Ten Cate's Oral Histology 6th Ed., Antonio Nanci, Mosby</p> <p>Oral Anatomy, Embryology and Histology B.K.B.Berkovitz, G.R.Holland, B.J.Moxham, Mosby</p> <p>Purves, Neuroscience 4th ed., Sinauer, 2007</p> <p>Siegel and Sapru, Essential Neuroscience 2nd ed., Lippincott, 2010</p> <p>組織学・解剖学・生理学・発生学の教科書については、それぞれの学科のシラバスを参照のこと</p>
<p>参考書</p> <p>カールソン神経科学テキスト：脳と行動／カールソン [著]、泰羅雅登、中村克樹 監訳：丸善出版、2013</p> <p>神経科学：脳の探求：カラー版／M.F.ペアー、B.W.コノーズ、M.A.パラディーソ 著、加藤宏司、後藤薫、藤井聡、山崎良彦 監訳：西村書店、2007</p> <p>Principles of Neural Science／Eric Kandel (著)、James Schwartz (著)、Thomas Jessell (著)、Steven Siegelbaum (著)、A.J. Hudspeth (著)：McGraw-Hill Professional, 2012</p> <p>カンデル神経科学：メディカルサイエンスインターナショナル、2014</p> <p>Developmental Biology Scott F. Gilbert Sinauer Associates Inc., U.S.</p> <p>組織学・解剖学・生理学・発生学の参考書については、それぞれの学科のシラバスを参照のこと</p>
<p>履修上の注意事項</p>

遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱う。実習に際しては、あらかじめ配布された手順を十分に予習して臨むこと。

備考

○問い合わせ先(講義担当教員、*ブロックコーディネーター)

(教員名) (診療科・分野) (Eメールアドレス@tmd.ac.jp の前)

秋田恵一 臨床解剖学分野 akita.fana
井関祥子 分子発生学分野 s.iseki.emb
大野京子 眼科学分野 k.ohno.oph
柴田俊一 顎顔面解剖学分野 sshibata.mfa
杉内友理子 システム神経生理学分野 ysugiuchi.phy1
杉原泉 システム神経生理学分野 isugihara.phy1
泰羅雅登 認知神経生物学分野 masato.cnb
田畑 純 硬組織構造生物学分野 tabatamj.bss
中田隆夫 細胞生物学分野 nakata.cbio
山口久美子* 医歯学融合教育支援センター yamaguchi.fana

○人体解剖学実習担当教員等

秋田恵一、二村昭元、原田雅代、那須久代(臨床解剖学分野)
柴田俊一、鹿野俊一、田巻玉器(顎顔面解剖学分野)
坂本裕次郎(口腔保健衛生基礎学分野)
山口久美子(先駆的医療人材育成分野)

○PCを用いた実習・試験担当教員

木下淳博、須永昌代(教育メディア開発部)
山口久美子(先駆的医療人材育成分野)

○運営補助: 医歯学融合教育支援センター教員

連絡先

井関 祥子.s.iseki.emb@tmd.ac.jp
秋田 恵一.akita.fana@tmd.ac.jp

オフィスアワー

井関 祥子 随時 (必ず事前に連絡すること)
秋田 恵一 メール等でアポイントメントを取る。

時間割番号	021122				
科目名	頭頸部臨床				
担当教員	原田 清, 杉本 太郎				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	4
主な講義場所					
3号館3階 医学科講義室2					
授業の目的、概要等					
<p>頭頸部にはいわゆる五感と総称される視覚、嗅覚、聴平衡覚、味覚、触覚や、呼吸、構音、咀嚼、嚥下、発声などの重要な機能を持つ臓器が多数存在している。これらの機能は複雑に絡み合っており、ひとつが障害をきたすとその他の機能も影響を受け、日常生活の質に重大な影響を及ぼす。そういった複雑な頭頸部領域に生ずる疾患について理解するためには、ブロック形式で一括して当該領域について集中的に学ぶ事が非常に効率的で、かつその理解や習得の程度も深まると考えられる。3年次に行われる当ブロックにおいては、医歯学両学部を有する東京医科歯科大学の特徴を生かし、医学部と歯学部の学生が共に学習し、議論し、隣接領域の理解を深める事を目的とする。</p>					
授業の到達目標(SBOs)					
<p>①頭頸部領域の構造と機能の理解 ②頭頸部領域の疾患の基本的な知識の理解 ③頭頸部領域の疾患の診断と治療の理解 ④これらを利用した臨床推論が可能となること</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1-2	1/12	10:00-11:50	医学科講義室 2	オリエンテーション・基礎医学復習テスト	杉本 太郎 山口 久美子
3	1/12	12:50-13:40	医学科講義室 2	耳鼻咽喉科学総論	堤 剛
4	1/12	13:50-14:40	医学科講義室 2	耳科学 1(症候学)	野口 佳裕
5	1/12	14:50-15:40	医学科講義室 2	耳科学 2(外耳・中耳)	野口 佳裕
6	1/13	09:00-09:50	医学科講義室 2	耳科学 3(内耳)	高橋 正時
7	1/13	10:00-10:50	医学科講義室 2	耳科学 4(めまい・平衡障害)	堤 剛
8	1/13	11:00-11:50	医学科講義室 2	鼻科学 1(解剖生理・検査)	野口 佳裕
9	1/13	12:50-13:40	医学科講義室 2	鼻科学 2(疾患1)	鈴木 康弘
10	1/13	13:50-14:40	医学科講義室 2	鼻科学 3(疾患2)	鈴木 康弘
11	1/13	14:50-15:40	医学科講義室 2	咽頭・全身疾患	鈴木 康弘
12	1/14	12:50-14:10	医学科講義室 2	耳鼻咽喉科ミニケース	川島 慶之
13	1/14	14:20-15:40	医学科講義室 2	耳鼻咽喉科ミニケース	高橋 正時
14	1/15	09:00-09:50	医学科講義室 2	口腔・唾液腺疾患	角田 篤信
15	1/15	10:00-10:50	医学科講義室 2	救急疾患	角田 篤信
16	1/15	11:00-11:50	医学科講義室 2	喉頭 1(総論)	川島 慶之
17	1/15	12:50-13:40	医学科講義室 2	喉頭 2(疾患)	川島 慶之
18	1/15	13:50-14:40	医学科講義室 2		
19	1/15	14:50-15:40	医学科講義室 2		
20	1/18	09:00-09:50	医学科講義室 2	頭頸部外科学総論聴器・鼻副鼻腔・上咽頭・頭蓋底の腫瘍	朝蔭 孝宏
21	1/18	10:00-10:50	医学科講義室 2	頭頸部領域の臨床解剖 1(頭部)	秋田 恵一
22	1/18	11:00-11:50	医学科講義室 2	頭頸部癌の放射線治療	吉村 亮一
23	1/18	12:50-13:40	医学科講義室 2	口腔・唾液腺の腫瘍	朝蔭 孝宏
24	1/18	13:50-14:40	医学科講義室 2	咽頭・喉頭の腫瘍	杉本 太郎
25	1/18	14:50-15:40	医学科講義室 2	甲状腺・気管食道・頸部の疾患	角 卓郎
26	1/19	09:00-09:50	医学科講義室 2	頭頸部領域の臨床解剖 2(頭蓋底)	秋田 恵一
27	1/19	10:00-10:50	医学科講義室 2	鼻副鼻腔・頭蓋底の腫瘍	朝蔭 孝宏
28	1/19	11:00-11:50	医学科講義室 2	頭蓋底腫瘍・脳神経	河野 能久
29	1/19	12:50-13:40	医学科講義室 2	形成外科総論	森 弘樹

30	1/19	13:50-14:40	医学科講義室 2	顔面領域の構造と外傷	岡崎 睦
31	1/19	14:50-15:40	医学科講義室 2	組織再建の考え方と臨床例	岡崎 睦
32	1/20	09:00-09:50	医学科講義室 2	頭頸部・頭蓋底再建の現状と課題	岡崎 睦
33	1/20	10:00-10:50	医学科講義室 2	未定	
34	1/20	11:00-11:50	医学科講義室 2	未定	
35	1/20	12:50-14:10	医学科講義室 2	頭頸部外科患者参加型講義	杉本 太郎
36	1/20	14:20-15:40	医学科講義室 2	頭頸部外科ミニケース	清川 佑介
37-39	1/21	12:50-17:10	医学科講義室 2	頭頸部病理実習	伊藤 崇 坂本 啓
40-42	1/22	09:00-11:50	医学科講義室 2	耳鼻咽喉科TBL	堤 剛
43-44	1/22	12:50-15:40	医学科講義室 2	頭頸部外科TBL	朝蔭 孝宏
45	1/25	09:00-09:50	医学科講義室 2	口腔外科総論	原田 清
46	1/25	10:00-10:50	医学科講義室 2	顎口腔の悪性腫瘍	原田 浩之
47	1/25	11:00-11:50	医学科講義室 2	顎口腔の外傷	樺沢 勇司
48	1/25	12:50-13:40	医学科講義室 2	皮膚・軟部腫瘍の診断と治療	田中 顕太郎
49	1/25	13:50-14:40	医学科講義室 2	難治性潰瘍	田中 顕太郎
50	1/25	14:50-15:40	医学科講義室 2	手足・体幹の先天異常と外傷	宇佐美 聡
51	1/26	09:00-09:50	医学科講義室 2	熱傷の局所治療と瘢痕ケロイド	植村 法子
52	1/26	10:00-10:50	医学科講義室 2	顔面・頭部領域の先天異常	植村 法子
53	1/26	11:00-11:50	医学科講義室 2	美容外科	森 弘樹
54	1/26	12:50-13:40	医学科講義室 2	予備枠	
55	1/26	13:50-14:40	医学科講義室 2	口腔顎顔面の先天性疾患と顎顔面変形症	原田 清
56	1/26	14:50-15:40	医学科講義室 2	顎口腔の良性腫瘍および嚢胞	山口 聡
57	1/27	09:00-09:50	医学科講義室 2	顎関節疾患	儀武 啓幸
58	1/27	10:00-10:50	医学科講義室 2	歯・歯周疾患と炎症性疾患	荒木 孝二
59	1/27	11:00-11:50	医学科講義室 2	口腔粘膜疾患	津島 文彦
60	1/27	12:50-14:10	医学科講義室 2	口腔外科ミニケース	島本 裕彰
61	1/27	14:20-15:40	医学科講義室 2	口腔外科患者参加型講義	島本 裕彰
62	1/28	12:50-14:10	医学科講義室 2	形成外科ミニケース	森 弘樹
63	1/28	14:20-15:40	医学科講義室 2	形成外科ミニケース	宇佐美 聡
64-66	1/29	09:00-11:50	医学科講義室 2	形成外科TBL	岡崎 睦 森 弘樹
67	1/29	12:50-13:40	医学科講義室 2	矯正(仮)	
68-69	1/29	13:50-15:40	医学科講義室 2	予備枠	
70	2/1	09:00-09:50	医学科講義室 2	眼科序論	大野 京子
71	2/1	10:00-10:50	医学科講義室 2	眼症候学	島田 典明
72	2/1	11:00-11:50	医学科講義室 2	予備枠	
73	2/1	12:50-13:40	医学科講義室 2	屈折異常・調節障害	大野 京子
74	2/1	13:50-14:40	医学科講義室 2	斜視・弱視	大野 京子
75	2/1	14:50-15:40	医学科講義室 2	小児眼科・未熟児眼	東 範行
76	2/2	09:00-09:50	医学科講義室 2	ぶどう膜炎	鴨居 功樹
77	2/2	10:00-10:50	医学科講義室 2	眼科検査方法・色覚	堀江 真太郎
78	2/2	11:00-11:50	医学科講義室 2	予備枠	
79	2/2	12:50-13:40	医学科講義室 2	網膜血管疾患・色覚	吉田 武史
80	2/2	13:50-14:40	医学科講義室 2	網膜剥離・糖尿病網膜症	村井 秀樹
81	2/2	14:50-15:40	医学科講義室 2	救急疾患	吉田 武史
82	2/3	09:00-09:50	医学科講義室 2	緑内障	相原 一
83	2/3	10:00-10:50	医学科講義室 2	白内障	高瀬 博
84	2/3	11:00-11:50	医学科講義室 2	神経眼科	清澤 源弘
85	2/3	12:50-13:40	医学科講義室 2	予備枠	

86	2/3	13:50-14:40	医学科講義室 2	予備枠	
87	2/3	14:50-15:40	医学科講義室 2	角膜	諸星 計
88	2/4	12:50-14:10	医学科講義室 2	眼科ミニケース	鴨居 功樹
89	2/4	14:20-15:40	医学科講義室 2	眼科ミニケース	大野 京子
90-92	2/5	09:00-11:50	医学科講義室 2	眼科TBL	大野 京子
93-94	2/5	12:50-15:40	医学科講義室 2	口腔外科・歯科 TBL	原田 清, 島本 裕彰

授業方法

講義 68 回(基礎医学復習テスト、ミニケース、患者参加型講義含む)

病理実習 1 回

試験 5 回(TBL)

授業内容

ブロック開始時に頭頸部領域全般についての基礎医学の復習テストを行い、これまで学んできた基礎的事項の理解度を再評価する。当ブロックの講義を行う主たる診療科は、耳鼻咽喉科(第1週)、頭頸部外科(第2週)、形成外科(第2~3週)、口腔外科・歯科(第3週)、眼科(第4週)であるが、適宜関連する他科、即ち、臨床解剖(第1・2週)、放射線科(第2週)、脳外科(第2週)といった他科の協力も得てこれらの領域の講義も複合的に取り入れ、理解を深める手助けとする。なお、形成外科については、その診療範囲は全身であるため、講義、試験とも、頭頸部領域のみでなく全身を対象としたものになる。また、第2週には医科歯科合同の病理実習を行い、各週の後半には主たる診療科のミニケースや患者参加型講義を行い、臨床推論の基礎と実際を学んで行く。第2~4週の最終日(金曜日)には医歯学融合教育支援センターの協力を得てTBLを行って学習内容の理解の確認を行うと共に、知識の統合的な理解を深める。

成績評価の方法

講義や実習の出席状況及び態度、5回のTBLによる総合成績で評価する。講義と実習の出席は原則としてカードリーダーによるチェックによって個々に判定するが、その他に各教員の裁量で講義の際中に出席を取りその代わりとする場合もある。

なお、本人でない者によるカードリーダーのタッチ、講義開始と終了のみカードリーダーでタッチして講義そのものに出ないなどの不正行為があった場合はすべての科を不合格とする。

成績評価の基準

5回のTBLの配点は均等とし、個々のTBLにおいて合格基準を満たす事がブロック合格の条件となる。不合格の科に関して再試験を行う。不合格の場合の再試験は、当ブロック終了翌月の3月に行われる筆記テストによって行う。

準備学習などについての具体的な指示

- ・頭頸部基礎の知識がある前提で講義を行う。頭頸部臨床ブロックの開始前には必ず頭頸部基礎の復習をすること。
- ・直前に講義に関する情報を追加することがあるので、教務課からのメールおよびWebClass上の連絡事項を確認すること。
- ・時間割表で授業内容を確認し、教科書の関連項目に目を通して授業に出席すること

試験の受験資格

講義と実習の合計3分の2以上の出席を要する。

教科書

NEW 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学／喜多村健, 森山寛 編: 南江堂, 1999

標準形成外科学／平林慎一, 鈴木茂彦 編: 医学書院, 2011

標準口腔外科学／野間弘康, 瀬戸[カン]一 編: 医学書院, 2004

現代の眼科学／吉田晃敏, 谷原秀信 編所敬 監修: 金原出版, 2012

TEXT 形成外科 第3版: 南山堂, 2015(近刊)

参考書

新耳鼻咽喉科学／切替一郎 原著, 野村恭也 監修, 加我君孝 編集: 南山堂, 2013

がんを見逃さない: 頭頸部癌診療の最前線／岸本誠司 専門編集: 中山書店, 2013

Grabb and Smith's Plastic Surgery／Charles H. Thome MD (編集), Scott P. Bartlett MD (編集), Robert W. Beasley MD (編集), Sherrell J. Aston (編集), Geoffrey C. Gurtner MD (編集), Scott L. Spear MD FACS (編集): Lippincott Williams & Wilkins, 2007

Operative Oral and Maxillofacial Surgery／John D. Langdon, Peter A. Brennan: Hodder Education, 2011

動画でみるみるわかる眼科検査テクニック: 基本手順から疾患の捉え方まで、検査のすべてが、みえる、わかる、できる／松本長太 監修, 前田裕子 編著: メディカ出版, 2013

Clinical ophthalmology／Jack J. Kanski, Bradley Bowling: Elsevier Saunders, 2011

履修上の注意事項

講義、実習、試験の集合場所はすべて3号館3階の医学科講義室2とする。大人数での講義・実習となるので、これらを円滑に進めるた

め、時間厳守とし、カードリーダーによる出席チェックは迅速に行い、担当教員の業務遂行にも協力していただきたい。特に患者参加型講義においては遅刻、私語、写真撮影や音声の記録は厳禁とする。

備考

○問い合わせ先(担当教員)を以下に記載します。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科: 杉本太郎: sugimoto.oto@tmd.ac.jp

形成外科: 森 弘樹: moriplas@tmd.ac.jp

口腔外科: 島本裕彰: hiroaki.osur@tmd.ac.jp

眼科: 高瀬 博: h.takase.oph@tmd.ac.jp

人体病理: 伊藤 崇: tito.pth1@tmd.ac.jp

口腔病理: 坂本 啓: s-kei.mpa@tmd.ac.jp

○運営補助: 医歯学融合教育支援センター教員

参照ホームページ

日本耳鼻咽喉科学会ホームページ <http://www.jibika.or.jp/>

日本頭頸部癌学会ホームページ <http://www.jshnc.umin.ne.jp/>

日本形成外科学会ホームページ <http://www.jsprs.or.jp/>

日本口腔外科学会ホームページ <http://www.jsoms.or.jp/>

日本眼科学会ホームページ <http://www.nichigan.or.jp/index.jsp>

<http://lib.tmd.ac.jp/e-service/e-books.html>

連絡先

杉本 太郎: sugimoto.oto@tmd.ac.jp

時間割番号	021123				
科目名	老年医学				
担当教員	水口 俊介, 下門 顯太郎				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2

授業科目名英訳: Geriatrics

授業の目的、概要等

高齢化社会にある日本の医療現場では、一部の科を除けば高齢患者を診察する機会が必ずあると言っても過言ではない。したがって、いずれの科を専攻するにも加齢に伴う身体・精神諸機能の変化や、高齢者の疾病の特徴を理解しておくことは重要である。東京医科歯科大学の特徴として、医学部と歯学部が、ともに老年医学ブロックで学習することで、今後必要性が増す高齢者への学際的な医療を意識した知識や技能を習得することが望まれる。

(ブロック概要)

高齢者の正常加齢的变化と疾病の特徴を学ぶ。また、実際の症例の分析を行いながら、高齢者の身体や精神の機能および生活環境の評価を行うことで、高齢者の診療上問題となる事項を学習する。なお、高齢医学ブロックでは、上記目標に向けて医学部学生と歯学部学生がすべて同じ講義を受け、実習を行う。

授業の到達目標(SBOs)

- ① 加齢のメカニズムを理解する
- ② 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解する
- ③ 高齢者の疾病の特徴を理解する
- ④ 高齢者の口腔疾患が身体・精神に及ぼす影響を理解する
- ⑤ 高齢者の医療・歯科医療の留意点を理解する
- ⑥ 高齢者の医療および福祉の社会的システムを理解する
- ⑦ 高齢者医療の倫理を理解する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員
1	2/8	09:00-09:50	医学科講義室 2	基礎医学復習	下門 顯太郎
2	2/8	10:00-10:50	医学科講義室 2	ミニケース	下門 顯太郎
3	2/8	11:00-11:50	医学科講義室 2	高齢者の医療と経済	川淵 孝一
4-6	2/8	12:50-15:40	医学科講義室 1, 第1 総合診療室	口腔ケア実習 高齢者体験実習	遠藤 圭子, 水口 俊介, 品田 佳世子, 竹内 周平
7	2/9	09:00-09:50	医学科講義室 2	加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化	下門 顯太郎
8	2/9	10:00-10:50	医学科講義室 2	高齢者の疾患の特徴	下門 顯太郎
9	2/9	11:00-11:50	医学科講義室 2	褥瘡	田中 顯太郎
10	2/9	12:50-13:40	医学科講義室 2	加齢のメカニズム①	丸山 直記
11	2/9	13:50-14:40	医学科講義室 2	加齢のメカニズム②	丸山 直記
12	2/9	14:50-15:40	医学科講義室 2	老年症候群と CGA	下門 顯太郎
13	2/10	09:00-09:50	医学科講義室 2		
14	2/10	10:00-10:50	医学科講義室 2		
15	2/10	11:00-11:50	医学科講義室 2		
16	2/10	12:50-13:40	医学科講義室 2	高齢者歯科	水口 俊介
17	2/10	13:50-14:40	医学科講義室 2	高齢者の精神	阿部 庸子
18	2/10	14:50-15:40	医学科講義室 2	認知症・せん妄	阿部 庸子
19	2/12	12:50-13:40	医学科講義室 2	高齢者の栄養	豊島 堅志
20	2/12	13:50-14:40	医学科講義室 2	骨折・骨粗鬆症・転倒・歩行機能障害	麻生 義則
21	2/12	14:50-15:40	医学科講義室 2	高齢者の薬物治療	豊島 堅志
22	2/15	09:00-09:50	医学科講義室 2	介護保険制度・チーム医療・地域医療	阿部 庸子
23-24	2/15	10:00-11:50	医学科講義室 2	ケースカンファレンス	下門 顯太郎
25-27	2/15	12:50-15:40	医学科講義室 1	高齢者体験実習 口腔ケア実習	竹内 周平, 水口 俊介, 品田 佳世子, 遠藤 圭子
28-33	2/16	09:00-15:40	医学科講義室 2	学外実習	

34	2/17	09:00-09:50	医学科講義室 2	学外実習報告会	
35	2/17	10:00-10:50	医学科講義室 2	摂食嚥下機能① 歯科の内容	中根 綾子
36	2/17	11:00-11:50	医学科講義室 2	摂食嚥下機能② 医科の内容	角 卓郎
37	2/17	14:20-17:10	医学科講義室 2	病理実習	根木 真理子
38	2/18	12:50-13:40			
39	2/18	13:50-14:40	医学科講義室 2	嚥下性肺炎	阿部 庸子
40	2/18	13:50-14:40			
41	2/18	13:50-14:40	医学科講義室 2	パラメディカル講義	佐原 まち子
42	2/18	14:50-15:40			
43	2/19	09:00-09:50			
44	2/19	09:00-09:50	医学科講義室 2		
45	2/19	10:00-10:50	医学科講義室 2	筆記試験	
46	2/19	10:00-10:50			
47	2/19	11:00-11:50			
48	2/19	11:00-11:50			
49-51	2/19	12:50-15:40	医学科講義室 2	TBL	

授業方法

重要な教科書および参考書を後述する。これらおよび文献をもとにした自主学習を前提とし、試験もその内容に準ずる。講義および症例を用いたグループ討論、高齢者体験実習、口腔ケア実習、学外実習に参加し、知識の整理と臨床的な応用能力を身につける。等に、老年医学ブロックは、異なる分野の学生が、知識を交換し、相互理解、協力姿勢を身につけることが求められる。

成績評価の方法

ブロック最終日の筆記試験、TBLでの評価、実習レポート、日々の提出課題、出席を総合的に加算して行う。

準備学習などについての具体的な指示

教科書

老年医学系統講義テキスト：カラー版／日本老年医学会 編集：西村書店、2013

高齢者歯科診療ガイドブック／日本老年歯科医学会 監修：下山和弘、櫻井薫、深山治久、米山武義 編：口腔保健協会、2010

参考書

老年医学テキスト／日本老年医学会 編：メジカルビュー社、2008

病棟レジデント、病棟医のための高齢患者診療マニュアル／下門顯太郎 編：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2013

健康長寿診療ハンドブック：実地医家のための老年医学のエッセンス／日本老年医学会 編：日本老年医学会、2011

高齢者総合的機能評価ガイドライン／鳥羽研二 監修、長寿科学総合研究 CGA ガイドライン研究班 著：厚生科学研究所、2003

認知症地域ケアガイドブック：早期発見から看取りまで／認知症介護研究・研修東京センター 監修：ワールドプランニング、2012

新老年学／大内尉義 編集代表、秋山弘子 編集代表、折茂肇 編集顧問：東京大学出版会、2010

The Washington Manual, Subspecialty Consult Series, Geriatrics Subspecialty Consult／Kyle Moylan: Lippincott Williams and Wilkins, 2003

Brocklehurst's Textbook of Geriatric Medicine and Gerontology (Seventh Edition)／Howard M. Fillit: Saunders, 2010

組織病理アトラス／小池盛雄、恒吉正澄、深山正久、森永正二郎 編：文光堂、2005

履修上の注意事項

授業講義中およびTBL時間内のグループ学習において、パソコンや携帯端末を用いた電子化資料の使用ならびにインターネットでの検索を禁止いたします。必ず、あらかじめ自己学習を行い、認められた図書や資料を使用して下さい。実習における注意事項 実習の振替はありませんので、必ず参加するようにお願いします。また、病理学の日程については、間違えないよう必ず確認して下さい。実習の詳細も該当頁をご覧ください。

備考

○問合わせ先(担当教員)

下門顯太郎(医学部老年病内科) kshimoka.vasc@tmd.ac.jp

水口俊介(歯学部全部床義歯補綴学) s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

阿部庸子(医学部老年病内科) yk.abe.vasc@tmd.ac.jp

○運営補助: 医歯学融合教育支援センター教員

参照ホームページ

日本老年医学会 <http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/>

日本老年歯科医学会 <http://www.gerodontology.jp/>

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 <http://www.jsdr.or.jp/>

厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

連絡先

水口 俊介 s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp

下門 顯太郎 k.shimoka.vasc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水口 俊介 随時

時間割番号	021214				
科目名	包括医療統合教育				
担当教員	鶴田 潤, 中川 美奈, 高田 和生, 山口 久美子, 瀬川 裕子, 川上 千春, 藤田 めぐみ				
開講時期	通年(秋)	対象年次	5~6	単位数	1
主な講義場所					
3号館3階医学科講義室2など。最新の時間割表を確認すること。					
授業の目的、概要等					
口腔医療、全身医療それぞれの進歩・複雑化により、高齢者や合併症や複雑な背景を抱える患者の医療には医、歯をはじめとした多職種間で連携性・協調性のとれた包括的医療が必要とされる。そのような観点から、本学では医療系総合大学の特性を生かし、学科横断、講座横断、および学年縦断的な医歯学融合教育の礎をつくる以下の6つの目的をかかげる。					
授業の到達目標(SBOs)					
①診療において、他の専門職、患者および患者家族に配慮し良好な関係を築くとともに、専門職種にふさわしい振る舞いができる。					
②基礎医学の知識をもとに疾患の病因・病態・臨床徴候などを十分理解し、頻度の高い疾患や重篤な病態に関しては、適切な評価法を算定し所見を解釈すると同時に、診断および治療法に関する知識を診療に応用できる。					
③全身疾患と口腔疾患の関連を考慮した診療ができる。					
④高齢者包括的評価をおこなうことができる。					
⑤医療機関内の制度、資源や社会における医療福祉制度を理解する。					
⑥医学の様々な分野でフロンティアを切り開く創造能力を養う					
⑦メンタルストレスに直面した際の適切な自己管理、通常時の自己研鑽、自己学習ができる					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容
1	12/21	12:50-14:10		臨床講義	抗菌薬
2	12/21	14:20-15:40		イノベーター	regulatory science1
3	12/21	15:50-17:10			
4	12/22	12:50-14:10		臨床講義	全身医療と歯科疾患
5	12/22	14:20-15:40		イノベーター	regulatory science2
6	12/22	15:50-17:10			
授業方法					
講義・グループ討論・自己学習とプレゼンテーションほか					
成績評価の方法					
参加態度、個人およびグループ課題、筆記試験で評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
・講義の前には授業内容を確認し、予習しておくこと。					
・実習の前には要項に目を通し、予習しておくこと。また、実習に臨むにあたり、必要に応じて参考資料、補助教材を用い予習をおこなうこと。					
試験の受験資格					
講義:2/3以上の出席、実習:3/4以上の出席					
履修上の注意事項					
出席は講義:実習開始時の学生証による確認とする。出席に関する不正行為が発覚した場合は、試験の受験資格を失う事もある。遅刻は本人の学習の妨げになるほか、同じグループのメンバーの学習にも大きな迷惑となることから、厳しく取扱われ、正当な理由のない遅刻は欠席とみなす。実習に際しては、あらかじめ配布された手順を十分に予習して臨むこと。					
備考					
オフィスアワー:鶴田潤、中川美奈;随時(必ず事前に連絡すること)					
連絡先(メールアドレス);					
鶴田 潤: turucie@tmd.ac.jp					
中川美奈: mnakagawa.gast@tmd.ac.jp					
連絡先					
鶴田 潤:能登 洋: noto-ky@umin.net 水口俊介: s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp					

高田 和生:takada.rheu@tmd.ac.jp

山口 久美子:yamaguchi.fana@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鶴田 潤:水口俊介:随時

高田 和生:オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡してから訪問すること。

連携教育(教養教育)

時間割番号	000402																																																																																																																						
科目名	教養英語																																																																																																																						
担当教員	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																						
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	4																																																																																																																		
<p>・曜日・時間:火曜1～2限</p> <p>・対象学科:歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表3-1)</p> <p>別表3-4)</p> <p>別表4-5)</p>																																																																																																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>This is a two-part course. Depending on the instructor and the semester, students will study speaking and listening skills through conversations and presentations or concentrate on reading and writing particularly via summarizing, paraphrasing, or other techniques. New vocabulary will be introduced and tested in both sections of the course.</p> <p>The primary goal of this course is to improve the overall reading, writing, speaking, and listening skills of students majoring in dentistry.</p>																																																																																																																							
<p>授業の到達目標(SB0s)</p> <p>Objectives for particular classes will depend on the semester and instructor. The following are objectives for particular classes:</p> <p>Inokuma:</p> <p>To develop skills in recognizing various styles of writing and to consider how those rhetorical techniques function to make written texts convincing and persuasive.</p> <p>Dennisson:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) summarize dental-related topics using easy, non-technical terminology 2) ask appropriate questions and respond to them during discussions and presentations 3) use the internet and/or other English resources to find reliable, current health-related information 4) create basic academic Power Point presentation slides/poster in English 5) provide peer evaluations on presentation performance 																																																																																																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/14</td><td>10:30-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第1回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/21</td><td>10:30-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第2回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/28</td><td>10:30-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第3回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/12</td><td>10:30-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第4回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>5</td><td>6/16</td><td>10:30-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第5回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>6</td><td>6/23</td><td>10:30-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第6回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>7</td><td>6/30</td><td>10:30-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第7回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>8-9</td><td>7/7</td><td>08:50-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第8回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>10-11</td><td>7/14</td><td>08:50-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第9回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>12-13</td><td>7/21</td><td>08:50-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第10回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>14-15</td><td>7/28</td><td>08:50-12:00</td><td>第4ゼミナル室, 病院演習室</td><td>第11回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>16</td><td>9/29</td><td>08:50-10:20</td><td>歯学科第1講義室, 大学院講義室2</td><td>第12回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>17</td><td>10/6</td><td>08:50-10:20</td><td>歯学科第1講義室, 大学院講義室2</td><td>第13回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>18</td><td>10/13</td><td>08:50-10:20</td><td>歯学科第1講義室, 大学院講義室2</td><td>第14回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>19</td><td>10/20</td><td>08:50-10:20</td><td>歯学科第1講義室, 大学院講義室2</td><td>第15回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>20</td><td>10/27</td><td>08:50-10:20</td><td>歯学科第1講義室, 大学院講義室2</td><td>第16回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>21</td><td>11/10</td><td>08:50-10:20</td><td>歯学科第1講義室, 大学院講義室2</td><td>第17回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> <tr><td>22</td><td>11/17</td><td>08:50-10:20</td><td>歯学科第1講義室, 大学院講義室2</td><td>第18回</td><td>猪熊 恵子, Jeanette Dennisson</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/14	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第1回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	2	4/21	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第2回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	3	4/28	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第3回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	4	5/12	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第4回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	5	6/16	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第5回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	6	6/23	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第6回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	7	6/30	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第7回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	8-9	7/7	08:50-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第8回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	10-11	7/14	08:50-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第9回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	12-13	7/21	08:50-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第10回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	14-15	7/28	08:50-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第11回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	16	9/29	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第12回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	17	10/6	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第13回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	18	10/13	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第14回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	19	10/20	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第15回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	20	10/27	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第16回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	21	11/10	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第17回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson	22	11/17	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第18回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																																		
1	4/14	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第1回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
2	4/21	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第2回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
3	4/28	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第3回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
4	5/12	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第4回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
5	6/16	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第5回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
6	6/23	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第6回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
7	6/30	10:30-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第7回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
8-9	7/7	08:50-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第8回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
10-11	7/14	08:50-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第9回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
12-13	7/21	08:50-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第10回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
14-15	7/28	08:50-12:00	第4ゼミナル室, 病院演習室	第11回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
16	9/29	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第12回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
17	10/6	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第13回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
18	10/13	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第14回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
19	10/20	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第15回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
20	10/27	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第16回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
21	11/10	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第17回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		
22	11/17	08:50-10:20	歯学科第1講義室, 大学院講義室2	第18回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson																																																																																																																		

23	11/24	08:50-10:20	歯学科第1講義室 大学院講義室2	第19回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
24	12/1	08:50-10:20	歯学科第1講義室 大学院講義室2	第20回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
25	12/8	08:50-10:20	歯学科第1講義室 大学院講義室2	第21回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
26	12/15	08:50-10:20	歯学科第1講義室 大学院講義室2	第22回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
27	12/22	08:50-10:20	歯学科第1講義室 大学院講義室2	第23回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
28	1/5	08:50-10:20	歯学科第1講義室 大学院講義室2	第24回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
29	1/12	08:50-10:20	歯学科第1講義室 大学院講義室2	第25回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
30	1/19	08:50-10:20	歯学科第1講義室 大学院講義室2	第26回	猪熊 恵子, Jeanette Dennisson
授業方法					
Skills Instruction and Practice					
授業内容					
Week 1: Orientation					
Weeks 2-14: Skills Instruction and Continuous Assessment					
Week 15: Review and/or Final Assessment					
Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.					
成績評価の方法					
評価: Grading schemes will vary by class and instructor. See the syllabus for your specific class for more details. Students in particular classes may be required to submit assignments online.					
再評価: 有(再評価方法「教養英語」としての学年末課題)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
Attendance and participation are both essential.					
試験の受験資格					
「教養英語」は前期と後期の2クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。再評価の対象となるのは、各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。					
備考					
Students are expected to prepare for discussions outside of class time. It is recommended to have regular access to some form of portable electronic device (e.g., tablet, notebook PC) for use in- and outside the class.(Dennisson)					
参照ホームページ					
Visit http://www.tmd.ac.jp/artsci/eng/ for more information about instructors, study-abroad and independent learning resources.					
連絡先					
猪熊 恵子:inokuma.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
猪熊 恵子:水曜日 12時30分~13時					
木曜日 12時30分~13時20分					
管理研究棟 3階 猪熊研究室					

時間割番号	000403																																																																				
科目名	情報科学演習																																																																				
担当教員	中口 悦史, 水口 俊介, 金澤 学																																																																				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1																																																																
<p>対象学科・学年: 歯学科2年次 曜日・時限: (第9～16週のみ) 木曜日3・4時限(12:50～16:00) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 2-2), 4-3), 4-4)</p>																																																																					
主な講義場所 湯島・図書館情報検索室																																																																					
授業の目的、概要等 歯科・歯科技工の分野においても、電子カルテや統計解析に留まらず、3D プリンタや CAD/CAM の利用による義歯・歯冠等技工物の設計・製造、義歯・歯冠等を含む咬合解析、薬物動態や歯垢形成など非線形現象の数理解析など、さまざまなコンピュータ利用技術の研究開発が進められている。この授業ではシミュレーションやCAEの基礎となる数値解析法と、データ解析ソフトウェアの利用法について概説し、コンピュータプログラミングによって基礎的なシミュレーションを含む演習を行うことにより、コンピュータ利用技術へのより深い理解と、プログラミングを通じた論理的思考力の向上を目指す。																																																																					
授業の到達目標(SBOs) 数理モデルと数値解析法、コンピュータプログラミング、データ解析ソフトウェアの利用法の基礎を理解する。																																																																					
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>11/26</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>第1回</td> <td>オリエンテーション, 数値解析法講義</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>12/3</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>第2回</td> <td>プログラミング演習1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>12/10</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>第3回</td> <td>統計学演習1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>12/17</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>第4回</td> <td>統計学演習2</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>1/7</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>第5回</td> <td>プログラミング演習2</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>1/14</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>第6回</td> <td>数値解析法演習1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>1/21</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>第7回</td> <td>数値解析法演習2</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>15-16</td> <td>1/28</td> <td>12:50-16:00</td> <td>情報検索室</td> <td>第8回</td> <td>総合演習</td> <td>中口 悦史</td> </tr> </tbody> </table>							回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1-2	11/26	12:50-16:00	情報検索室	第1回	オリエンテーション, 数値解析法講義	中口 悦史	3-4	12/3	12:50-16:00	情報検索室	第2回	プログラミング演習1	中口 悦史	5-6	12/10	12:50-16:00	情報検索室	第3回	統計学演習1	中口 悦史	7-8	12/17	12:50-16:00	情報検索室	第4回	統計学演習2	中口 悦史	9-10	1/7	12:50-16:00	情報検索室	第5回	プログラミング演習2	中口 悦史	11-12	1/14	12:50-16:00	情報検索室	第6回	数値解析法演習1	中口 悦史	13-14	1/21	12:50-16:00	情報検索室	第7回	数値解析法演習2	中口 悦史	15-16	1/28	12:50-16:00	情報検索室	第8回	総合演習	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																															
1-2	11/26	12:50-16:00	情報検索室	第1回	オリエンテーション, 数値解析法講義	中口 悦史																																																															
3-4	12/3	12:50-16:00	情報検索室	第2回	プログラミング演習1	中口 悦史																																																															
5-6	12/10	12:50-16:00	情報検索室	第3回	統計学演習1	中口 悦史																																																															
7-8	12/17	12:50-16:00	情報検索室	第4回	統計学演習2	中口 悦史																																																															
9-10	1/7	12:50-16:00	情報検索室	第5回	プログラミング演習2	中口 悦史																																																															
11-12	1/14	12:50-16:00	情報検索室	第6回	数値解析法演習1	中口 悦史																																																															
13-14	1/21	12:50-16:00	情報検索室	第7回	数値解析法演習2	中口 悦史																																																															
15-16	1/28	12:50-16:00	情報検索室	第8回	総合演習	中口 悦史																																																															
授業方法 スライドによる講義と、コンピュータを用いた演習によって進める。																																																																					
授業内容 初回はオリエンテーションとして、歯科における CAD/CAM/CAE などコンピュータ利用技術と、CAE の基礎となる数値解析法の概要に関する講義を行う。 その後、データ解析ソフトウェアを利用したプログラミングを中心として、統計学や数値解析法の演習を行う。																																																																					
成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 0% ・ その他(課題) 100% 再評価: 有(筆記試験) 「試験の受験資格」を満たすもののみを評価の対象とし、毎回出題する演習課題によって評価する。期末試験等は行わない。期限までに提出されない課題があったものには単位を認めないことがある。																																																																					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による																																																																					
準備学習などについての具体的な指示 ・ 1年次に学習した「数学」、「物理学」、「情報処理」と、2年次の「臨床統計 I」をよく復習のこと。微分方程式や材料力学など高度な内容は授業で説明するので、特に予習の必要はない。 ・ 各回の課題は前回までの内容も含むので、必要に応じて復習し、不明な点があれば早めに担当教員に質問して、授業に臨むこと。																																																																					
試験の受験資格 授業回数3分の2以上の出席、ならびに、すべての課題の提出。																																																																					
教科書 特に指定しない。必要な教材はプリントまたはウェブ、LMS で配付する。																																																																					
参考書																																																																					

CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編.: 医歯薬出版, 2012
CAD/CAM/CAE 入門／雨宮好文 監修,安田仁彦 著.: オーム社, 1999
有限要素法／Jacob Fish, Ted Belytschko [原著],山田貴博 監訳,永井学志, 松井和己 訳.: 丸善, 2008
有限要素法概説 : 理工学における基礎と応用／菊地文雄 著.: サイエンス社, 1999
数値計算／洲之内治男 著.: サイエンス社, 2002
R プログラミングマニュアル／間瀬茂 著.: 数理工学社, 2014
はじめての R : ごく初歩の操作から統計解析の導入まで／村井潤一郎 著.: 北大路書房, 2013
Rの基礎とプログラミング技法／U. リゲス 著,石田／基広 訳,シュプリンガー・ジャパン株式会社 編集.: 丸善出版, 2012
Rによる医療統計学／Peter Dalgaard [著],岡田昌史 監訳.: 丸善, 2007
バイオサイエンスの統計学／市原清志著.: 南江堂, 1990-02

履修上の注意事項

・ 出欠確認は原則として出欠管理システムによる。 ・ 課題等を保存するため, USB メモリを持参することが望ましい。

連絡先

中口 悦史:nakaguti.las@tmd.ac.jp
水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp
金澤 学:m.kanazawa.ore@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中口 悦史:[国府台・ヒポ4階研究室] (前期)水・木 12:00～13:00(後期)月・水 12:00～13:00/[湯島・2号館2階教養部連絡室] (D2 情報科学演習・OE2 プロデ担当)木 11:45～12:45・16:00～17:00/電子メールによる質問等は随時受け付ける。
水口 俊介随時
金澤 学:火木金 16:00- 18:00

時間割番号	000404																																																																			
科目名	サイエンスPBL																																																																			
担当教員	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 大塚 淳, 伊藤 正則, 松本 幸久																																																																			
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1																																																															
<p>・対象: 歯学科 2 年生</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>2-2)自然現象を探究するための手法を知る。</p> <p>4-3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける</p>																																																																				
<p>主な講義場所</p> <p>歯学部演習室 5-11</p> <p>ただし、9月29日(3時限のみ)、10月20日、11月24日は、第1講義室で行う。</p>																																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決する技術を習得する。学生間での話し合いと教員によるアドバイスによって、問題点を解決する方法と正解は必ずしも1つでは無いことを理解すると同時に、自身の学習方法n欠点を理解し、改善する。加えて、簡潔かつ解り易い言葉で説明する技術と建設的な話し合いを行ううえで必要なコミュニケーション技術を習得する。</p>																																																																				
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。</p> <p>2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。</p> <p>3. 建設的な話し合いを行うことができる。</p>																																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>9/29</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学科第1講義室 歯学部演習室</td> <td>第1回</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久</td> <td>歯学科演習室5~11</td> </tr> <tr> <td>3-4</td> <td>10/6</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学部演習室</td> <td>第2回</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久</td> <td>歯学科演習室5~11</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>10/13</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学部演習室</td> <td>第3回</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久</td> <td>歯学科演習室5~11</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>10/20</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>第4回</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>10/27</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学部演習室</td> <td>第5回</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久</td> <td>歯学科演習室5~11</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>11/10</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学部演習室</td> <td>第6回</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久</td> <td>歯学科演習室5~11</td> </tr> <tr> <td>13-14</td> <td>11/17</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学部演習室</td> <td>第7回</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久</td> <td>歯学科演習室5~11</td> </tr> <tr> <td>15-16</td> <td>11/24</td> <td>12:50-16:00</td> <td>歯学科第1講義室</td> <td>第8回</td> <td>服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考	1-2	9/29	12:50-16:00	歯学科第1講義室 歯学部演習室	第1回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11	3-4	10/6	12:50-16:00	歯学部演習室	第2回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11	5-6	10/13	12:50-16:00	歯学部演習室	第3回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11	7-8	10/20	12:50-16:00	歯学科第1講義室	第4回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久		9-10	10/27	12:50-16:00	歯学部演習室	第5回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11	11-12	11/10	12:50-16:00	歯学部演習室	第6回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11	13-14	11/17	12:50-16:00	歯学部演習室	第7回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11	15-16	11/24	12:50-16:00	歯学科第1講義室	第8回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	備考																																																														
1-2	9/29	12:50-16:00	歯学科第1講義室 歯学部演習室	第1回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11																																																														
3-4	10/6	12:50-16:00	歯学部演習室	第2回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11																																																														
5-6	10/13	12:50-16:00	歯学部演習室	第3回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11																																																														
7-8	10/20	12:50-16:00	歯学科第1講義室	第4回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久																																																															
9-10	10/27	12:50-16:00	歯学部演習室	第5回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11																																																														
11-12	11/10	12:50-16:00	歯学部演習室	第6回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11																																																														
13-14	11/17	12:50-16:00	歯学部演習室	第7回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久	歯学科演習室5~11																																																														
15-16	11/24	12:50-16:00	歯学科第1講義室	第8回	服部 淳彦, 奈良 雅之, 清田 正夫, 伊藤 正則, 大塚 淳, 松本 幸久																																																															
<p>授業方法</p> <p>problem-based learning (PBL)</p>																																																																				
<p>授業内容</p> <p>10名程度から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の①-③の順に行う。</p> <p>①配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。</p> <p>②各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。</p> <p>③整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する答えを導き出す。</p> <p>従って、この授業では学生間での話し合いが中心となり、話し合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。</p>																																																																				
<p>成績評価の方法</p> <p>評価は、出席、グループによる話し合いへの参加、グループごとの発表会での発表内容、ノートの記述内容などによる。詳細は第1回目のガイダンスで説明する。</p>																																																																				

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、整理しておくこと。</p>
<p>教科書</p> <p>課題シートなどの配布資料</p>
<p>連絡先</p> <p>伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp 清田 正夫:kiyota.las@tmd.ac.jp 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp 奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp 松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室 清田 正夫:毎週月曜日、木曜日 12:00~13:00 ヒポクラテス4階数学研究室(清田) 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2) 奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4階 松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3階生物教員実験室</p>

時間割番号	000405				
科目名	生命科学(人体の生物学)				
担当教員	伊藤 正則				
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2
<p>・曜日・時間:火・木曜日3・4限</p> <p>・対象学科・専攻:歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。</p>					
授業の目的、概要等					
歯学の専門教育の基盤となる生物学を総合的に学習し、専門教育へスムーズにつなげることを目的とする。					
授業の到達目標(SBOs)					
生命現象の発現・制御機構を器官、組織、細胞、分子レベルで説明することができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1-2	4/14	12:50-16:00	第1講義室	第1回	松本 幸久, 伊藤 正則, 服部 淳彦
3-4	4/16	12:50-16:00	第1講義室	第2回	松本 幸久, 伊藤 正則, 服部 淳彦
5-6	4/21	12:50-16:00	第1講義室	第3回	松本 幸久, 伊藤 正則, 服部 淳彦
7-8	4/23	12:50-16:00	第1講義室	第4回	松本 幸久, 伊藤 正則, 服部 淳彦
9-10	4/30	12:50-16:00	第1講義室	第5回	松本 幸久, 伊藤 正則, 服部 淳彦
11-12	5/7	12:50-16:00	第1講義室	第6回	松本 幸久, 伊藤 正則, 服部 淳彦
13-14	5/12	12:50-16:00	第1講義室	第7回	松本 幸久, 伊藤 正則, 服部 淳彦
15	5/19	12:50-14:20	第1講義室	第8回	松本 幸久, 伊藤 正則, 服部 淳彦
授業方法					
講義形式で行う。					
授業内容					
代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統発生的・進化的な観点を加えて説明する。					
成績評価の方法					
評価:試験 80%・レポート 0%					
その他(授業期間内での試験 20%)					
再評価:有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。					
準備学習などについての具体的な指示					
復習を行うこと。知識が体系的になるようにノートを整理する。					
教科書					
ヒューマンバイオロジー 第7版/シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳:医学書院, 2005					
必要に応じて参考資料を配布する。					
参考書					
改定第2版 はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学/前野正夫, 磯川桂太郎 著.:羊土社, 2008					
Essential 細胞生物学/Bruce Alberts, Dennis Bray, Karen Hopkin, Alexander Johnson, Julian Lewis, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter 著,中村桂子, 松原謙一 監訳:南江堂, 2011					
からだの構造と機能/A.シェフラー, S.シュミット 著,三木明德, 井上貴央 監訳:西村書店, 1998					
履修上の注意事項					
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。					
連絡先					
itohmt.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室					

時間割番号	000406																																																															
科目名	生命科学(生物物理化学)																																																															
担当教員	奈良 雅之, 本郷 敏雄																																																															
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2																																																											
<p>・曜日・時間:火曜日1時限(または1, 2時限)</p> <p>・対象学科:歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>1年生の化学(一般化学)で勉強した原子・分子の構造論、化学熱力学をさらに深めることにより、生命現象を物理化学の理論に基づいて理解します。構造化学、化学熱力学全般を奈良が、電気生理学入門を本郷が担当することにより、教養部教育から学部教育への「円滑な橋渡し」を心掛けています。講義内容はかなり高度になりますので、受講者は授業にしっかり取り組まないと「大きなギャップ」とも受け止められるかもしれません。</p>																																																																
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>①量子論の基礎を理解できる。</p> <p>②相平衡、化学平衡、酸化還元平衡を熱力学の原理に基づいて理解できる。</p> <p>③電気生理学を具体例として、学部で詳しく学ぶ内容と教養部で習う自然科学が深く関わっていることを理解できる。</p> <p>④講義内容に関する演習問題や参考文献を自学自習で取り組むことができる。</p>																																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/14</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第1講義室</td> <td>第1回</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/21</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第1講義室</td> <td>第2回</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/28</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第1講義室</td> <td>第3回</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/12</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第1講義室</td> <td>第4回</td> </tr> <tr> <td>5-6</td> <td>5/19</td> <td>08:50-12:00</td> <td>第1講義室</td> <td>第5回</td> </tr> <tr> <td>7-8</td> <td>5/26</td> <td>08:50-12:00</td> <td>第1講義室</td> <td>第6回</td> </tr> <tr> <td>9-10</td> <td>6/2</td> <td>08:50-12:00</td> <td>第1講義室</td> <td>第7回</td> </tr> <tr> <td>11-12</td> <td>6/9</td> <td>08:50-12:00</td> <td>第1講義室</td> <td>第8回</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>6/16</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第1講義室</td> <td>第9回</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>6/23</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第1講義室</td> <td>第10回</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>6/30</td> <td>08:50-10:20</td> <td>第1講義室</td> <td>第11回</td> </tr> </tbody> </table>					回	日付	時刻	講義室	授業題目	1	4/14	08:50-10:20	第1講義室	第1回	2	4/21	08:50-10:20	第1講義室	第2回	3	4/28	08:50-10:20	第1講義室	第3回	4	5/12	08:50-10:20	第1講義室	第4回	5-6	5/19	08:50-12:00	第1講義室	第5回	7-8	5/26	08:50-12:00	第1講義室	第6回	9-10	6/2	08:50-12:00	第1講義室	第7回	11-12	6/9	08:50-12:00	第1講義室	第8回	13	6/16	08:50-10:20	第1講義室	第9回	14	6/23	08:50-10:20	第1講義室	第10回	15	6/30	08:50-10:20	第1講義室	第11回
回	日付	時刻	講義室	授業題目																																																												
1	4/14	08:50-10:20	第1講義室	第1回																																																												
2	4/21	08:50-10:20	第1講義室	第2回																																																												
3	4/28	08:50-10:20	第1講義室	第3回																																																												
4	5/12	08:50-10:20	第1講義室	第4回																																																												
5-6	5/19	08:50-12:00	第1講義室	第5回																																																												
7-8	5/26	08:50-12:00	第1講義室	第6回																																																												
9-10	6/2	08:50-12:00	第1講義室	第7回																																																												
11-12	6/9	08:50-12:00	第1講義室	第8回																																																												
13	6/16	08:50-10:20	第1講義室	第9回																																																												
14	6/23	08:50-10:20	第1講義室	第10回																																																												
15	6/30	08:50-10:20	第1講義室	第11回																																																												
<p>授業方法</p> <p>授業は基本的に講義形式で進めます。</p>																																																																
<p>授業内容</p> <p>①ガイダンス 熱力学の原理(復習)</p> <p>②熱力学の原理 開放系の熱力学:化学ポテンシャル</p> <p>③相平衡①:相律、溶液の熱力学</p> <p>④相平衡②:二成分系の状態図の見方、使い方</p> <p>⑤化学平衡:ギブスエネルギーと平衡定数、平衡定数の温度変化</p> <p>⑥電気化学①:電解質、酸化還元反応、電池</p> <p>⑦電気化学②:ネルンストの式、標準電極電位、濃淡電池</p> <p>⑧電気化学③:電気化学ポテンシャル、膜電位・膜平衡</p> <p>⑨電気生理学入門①</p> <p>⑩電気生理学入門②</p> <p>⑪化学熱力学のまとめ、量子論導入</p> <p>⑫原子・分子の構造論① 量子論の原理</p> <p>⑬原子・分子の構造論② 量子論の原理</p> <p>⑭原子・分子の構造論③ 量子論の応用</p> <p>⑮原子・分子の構造論④ 量子論の応用</p>																																																																

<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験(定期試験) 100%・レポート 0%</p> <p>その他 10% (授業中の演習、出席カードの回答状況を考慮する)</p> <p>再評価: 有 (再評価方法 再試験)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>予習: 資料・参考書などで該当する箇所に目を通しておく。</p> <p>復習: 講義に関連した演習問題を解いて、理解していることを確認する。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上の出席</p>
<p>教科書</p> <p>一般化学 / Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著, 一國雅巳 訳, オーム社, 1995</p>
<p>参考書</p> <p>量子化学: 基礎からのアプローチ / 真船文隆 著, 化学同人, 2008</p> <p>化学熱力学(修正版) / 原田義也 著, 裳華房, 2002</p>
<p>連絡先</p> <p>奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4階</p> <p>本郷 敏雄:生命科学(生物物理化学):教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。</p>

時間割番号	000407																																																																																																				
科目名	人文社会科学総合講義																																																																																																				
担当教員	田中 智彦, 土佐 朋子, 高尾 千津子																																																																																																				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2																																																																																																
<p>・曜日・時間:火曜2限</p> <p>・対象学科:歯学科</p> <p>・科目を履修して得られるコンピテシー 別表1-1)~10)</p>																																																																																																					
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人文科学的なものの方や見方に触れ、人間という存在ならびに人間が構築する世界について、多角的にとらえ観察する力と、継続して自ら思考し続ける力を身につけることを目的とする。</p> <p>人間という存在は、得体の知れない、不可思議な存在である。これまで、人間は、そのような自らの存在について、あらゆる角度からアプローチを試みてきた。その営みの蓄積は、文学、思想、文化などの形をとって、我々の目の前に存在している。</p> <p>本授業では、主に、歴史、文学、思想の立場から、「人間とはどのような存在なのか」ということについて、思索をめぐらしてみることとする。</p>																																																																																																					
<p>授業の到達目標(SBOs)</p> <p>①「人間とは何か」について、主体的に考える姿勢を養う。</p> <p>②人間の創造してきた歴史、思想、文学に関する基礎的な知識を身につけ、自ら進んで享受しようとする意識を持てるようにする。</p>																																																																																																					
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/29</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第1回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>2</td><td>10/6</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第2回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>3</td><td>10/13</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第3回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>4</td><td>10/20</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第4回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>5</td><td>10/27</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第5回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>6</td><td>11/10</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第6回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>7</td><td>11/17</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第7回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>8</td><td>11/24</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第8回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>9</td><td>12/1</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第9回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>10</td><td>12/8</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第10回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>11</td><td>12/15</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第11回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>12</td><td>12/22</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第12回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>13</td><td>1/5</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第13回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>14</td><td>1/12</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第14回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> <tr><td>15</td><td>1/19</td><td>10:30-12:00</td><td>第1講義室</td><td>第15回</td><td>高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	9/29	10:30-12:00	第1講義室	第1回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	2	10/6	10:30-12:00	第1講義室	第2回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	3	10/13	10:30-12:00	第1講義室	第3回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	4	10/20	10:30-12:00	第1講義室	第4回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	5	10/27	10:30-12:00	第1講義室	第5回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	6	11/10	10:30-12:00	第1講義室	第6回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	7	11/17	10:30-12:00	第1講義室	第7回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	8	11/24	10:30-12:00	第1講義室	第8回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	9	12/1	10:30-12:00	第1講義室	第9回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	10	12/8	10:30-12:00	第1講義室	第10回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	11	12/15	10:30-12:00	第1講義室	第11回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	12	12/22	10:30-12:00	第1講義室	第12回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	13	1/5	10:30-12:00	第1講義室	第13回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	14	1/12	10:30-12:00	第1講義室	第14回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子	15	1/19	10:30-12:00	第1講義室	第15回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																																																
1	9/29	10:30-12:00	第1講義室	第1回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
2	10/6	10:30-12:00	第1講義室	第2回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
3	10/13	10:30-12:00	第1講義室	第3回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
4	10/20	10:30-12:00	第1講義室	第4回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
5	10/27	10:30-12:00	第1講義室	第5回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
6	11/10	10:30-12:00	第1講義室	第6回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
7	11/17	10:30-12:00	第1講義室	第7回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
8	11/24	10:30-12:00	第1講義室	第8回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
9	12/1	10:30-12:00	第1講義室	第9回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
10	12/8	10:30-12:00	第1講義室	第10回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
11	12/15	10:30-12:00	第1講義室	第11回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
12	12/22	10:30-12:00	第1講義室	第12回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
13	1/5	10:30-12:00	第1講義室	第13回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
14	1/12	10:30-12:00	第1講義室	第14回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
15	1/19	10:30-12:00	第1講義室	第15回	高尾 千津子, 田中 智彦, 土佐 朋子																																																																																																
<p>授業方法</p> <p>歴史学、哲学、文学の教員によるリレー方式。講義中心である。</p>																																																																																																					
<p>授業内容</p> <p>1、オリエンテーション・思想①【担当:田中智彦】</p> <p>2、思想②</p> <p>3、思想③</p> <p>4、思想④</p> <p>5、思想⑤</p> <p>6、文学①【担当:土佐朋子】</p> <p>7、文学②</p> <p>8、文学③</p> <p>9、文学④</p> <p>10、文学⑤</p>																																																																																																					

<p>11、歴史①【担当:高尾千津子】</p> <p>12、歴史②</p> <p>13、歴史③</p> <p>14、歴史④</p> <p>15、歴史⑤</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験0%・レポート 50%</p> <p>その他50%(各教員が課す小レポート等)</p> <p>再評価:有(再評価方法 原則として再レポート)</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>授業中の講義をしっかりと聴き、提起される問題について自分なりの考察を行うこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>レポート提出:3人の担当者の授業それぞれにつき、3分の2以上の出席が必要。</p>
<p>教科書</p> <p>担当教員の指示に従う。</p>
<p>参考書</p> <p>授業中にその都度紹介する。</p>
<p>他科目との関連</p> <p>1年次の人文社会科学科目を総合的に発展させた内容となる。</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>1、レポート提出のためには、思想①～⑤、文学①～⑤、歴史①～⑤、それぞれについて3分の2以上の出席が必要である。 2、また、単位取得のためには、思想、歴史、文学すべてのレポート課題に合格することが必要である。 3、それぞれ5回目にまとめの作業(レポート執筆)を行うが、万が一その日に欠席をした場合には、欠席届などによる所定の手続きをとると同時に、メールなどでできるだけ早く担当者に連絡を取ること。</p>
<p>連絡先</p> <p>高尾 千津子:takao.las@tmd.ac.jp</p> <p>田中 智彦:tanaka.las@tmd.ac.jp</p> <p>土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>高尾 千津子:毎週金曜日 12:30～13:30</p> <p>田中 智彦:毎週月曜日 11:00～13:00 管理研究棟 2階 哲学研究室</p> <p>土佐 朋子:毎週水曜 PM.12:30-PM.14:50</p> <p>管理研究棟 2階文学研究室</p>